MultiWriter 4550

PR-L4550
N1153-L4550

レーザープリンター

ユーザーズマニュアル

893-810024-001-A
第2版

このユーザーズマニュアルは、必要なときすぐに参照できるよう、お手元に置いておくようにしてください。

安全にかかわる表示

プリンターを安全にお使いいただくために、このユーザーズマニュアルの指示に従って操作してください。
このユーザーズマニュアルには製品のどこが危険か、指示を守らないとどのような危険に遭うか、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明されています。
また、製品内で危険が想定される箇所またはその付近には警告ラベルが貼り付けられています。

ユーザーズマニュアルならびに警告ラベルでは、危険の程度を表す言葉として「警告」と「注意」という用語を使用しています。それぞれの用語は次のような意味を持つものとして定義されています。

	指示を守らないと、**人が死亡する、または重傷**を負うおそれがあることを示します。
	指示を守らないと、**火傷やけがのおそれ、および物的損害**の発生のおそれがあることを示します。

危険に対する注意・表示の具体的な内容は「注意の喚起」、「行為の禁止」、「行為の強制」の3種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義されています。

注意の喚起　注意の喚起は、「△」の記号を使って表示されています。この記号は指示を守らないと、危険が発生するおそれがあることを示します。記号の中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。

毒性の物質による被害のおそれがあることを示します。	**火傷**を負うおそれがあることを示します。
レーザー光による失明のおそれがあることを示します。	**指などがはさまれる**おそれがあることを示します。
発煙または発火のおそれがあることを示します。	**特定しない一般的な注意・警告**を示します。
感電のおそれがあることを示します。	

行為の禁止

行為の禁止は「⃠」の記号を使って表示されています。この記号は行為の禁止を表します。記号の中の絵表示はしてはならない行為の内容を図案化したものです。

	プリンターを分解・修理・改造しないでください。**感電や火災**のおそれがあります。		指定された場所には触らないでください。**感電や火傷などの傷害**が起こるおそれがあります。

行為の強制

行為の強制は「●」の記号を使って表示されています。この記号は行為の強制を表します。記号の中の絵表示はしなければならない行為の内容を図案化したものです。危険を避けるためにはこの行為が必要です。

	プリンターの電源プラグをコンセントから抜いてください。**感電や火災**のおそれがあります。

本文中で使用する記号の意味

このユーザーズマニュアルでは、「安全にかかわる表示」のほかに、本文中で次の2種類の記号を使っています。それぞれの記号について説明します。

記号	内　容
重要	この注意事項および指示を守らないと、プリンターが故障するおそれがあります。また、システムの運用に影響を与えることがあります。
チェック	この注意事項および指示を守らないと、プリンターが正しく動作しないことがあります。

商標について

NEC、NECロゴ、FontAvenueは日本電気株式会社の商標、または登録商標です。
Microsoft、Windows、Windows NT、MS-DOSは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
Netscape、Netscape Navigatorは米国 Netscape Communications Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
i486は米国Intel Corporationの商標です。
HPは米国Hewlett-Packard Companyの商標です。
ESC/Pはセイコーエプソン株式会社の登録商標です。
NetWareは米国Novell, Inc.の登録商標です。
Macintosh、Mac OS、QuickDraw、QuickDraw GX、TrueType、漢字Talkは米国Apple Computer, Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
IBM、ATは米国International Business Machines Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
UNIXはThe Open Groupの米国ならびに他の国における登録商標です。
Ethernetは米国ゼロックス社の登録商標です。
Adobe、Acrobat、Acrobat ReaderおよびPhotoshopはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の登録商標、または商標です。
MULTIWRITER、PrintAgent、MOPYING、NMPS、DocuWorksは富士ゼロックス株式会社の登録商標、または商標です。
その他記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

OSの表記について

Windows XPはMicrosoft Windows XP Home Edition operating systemおよびMicrosoft Windows XP Professional operating systemの略です。Windows 2000はMicrosoft Windows 2000 Professional operating systemおよびMicrosoft Windows 2000 Server operating systemの略です。Windows 2000 Advanced ServerはMicrosoft Windows 2000 Advanced Server operating systemの略です。Windows 2000 Datacenter ServerはMicrosoft Windows 2000 Datacenter Server operating systemの略です。Windows NT 4.0はMicrosoft Windows NT Workstation operating system Version 4.0およびMicrosoft Windows NT Server network operating system Version 4.0の略です。Windows NT Server 4.0, Terminal Server EditionはMicrosoft Windows NT Server network operating system Version 4.0,Terminal Server Editionの略です。Windows NT Server, Enterprise Edition 4.0はMicrosoft Windows NT Server, Enterprise Edition network operating system Version 4.0の略です。Windows MeはMicrosoft Windows Millennium Edition operating systemの略です。Windows 98はMicrosoft Windows 98 operating systemの略です。Windows 98 Second EditionはMicrosoft Windows 98 Second Edition operating systemの略です。Windows 95はMicrosoft Windows 95 operating systemの略です。

ご注意

1. 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
2. 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
3. NECの許可なく複製・改変などを行うことはできません。
4. 本書は内容について万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
5. プリンターの機能の一部は使用する環境あるいはソフトウエアによってはサポートされない場合があります。
6. 運用した結果の影響については4項および5項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
7. 本製品を第三者に売却・譲渡する際は必ず本書も添えてください。

はじめに

このたびはNECのプリンターをお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

MultiWriter 4550は高性能なCPUを搭載し、スループットの高速化を実現した、レーザープリンターです。さらに、大容量給紙、大容量排紙、用途に合わせた豊富な給紙/排紙を実現しています。

MultiWriter 4550の特長を以下に示します。

- 最高45ページ/分の印刷速度(A4サイズ横の場合)
- 200万枚ページの長寿命エンジン搭載
- 大容量ホッパーとフェースアップトレー、両面印刷ユニット等のオプション品を用意
- ネットワークインターフェース標準装備
- 2段カセット標準
- 最大給紙容量3550枚(オプション装着時)
- 最大排紙容量3000枚(オプション装着時)
- 最高1500dpi相当の解像度(600dpi+SET)

また、Windows環境でより簡単に、より快適に使用していただける印刷統合管理ソフトウエア「PrintAgent」に対応しています。PrintAgentにより、プリンターの状態や印刷の進行状況を確認したり、より快適な「MOPYING*」を実現しています。

* 「MOPYING」については、「プリンティングスタイル「MOPYING」とは」(8ページ)をお読みください。

マニュアルをお読みになり、MultiWriter 4550を十分にご活用ください。

2002年12月　初版
2003年4月　第2版

目次

4章　操作パネルについて 99

5章　印刷するには 119

6章　日常の保守 135

7章　故障かな？と思ったら .. 147

8章　ユーザーサービス 193

9章　オプション 201

マニュアルの種類と使い方

MultiWriter 4550本体や付属のプリンターソフトウエアの取り扱い方を説明したマニュアルには、「ユーザーズマニュアル（本書）」と「活用マニュアル（添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録）」があります。また、各プリンターソフトウエアの詳細については画面上の「ヘルプ」をご覧ください。

MultiWriter 4550　ユーザーズマニュアル（本書）

プリンターのセットアップから、プリンターの基本的な操作方法、および困ったときの対処方法などを、この1冊で説明しています。本書はいつでもご覧になれるようにお手元に置いてください。

閲覧用

印刷用

MultiWriter 4550　活用マニュアル（プリンターソフトウエアCD-ROMに収録）

ネットワーク環境で印刷する場合の設定方法、プリンターソフトウエアやメニューモードの詳細、および技術情報などについて説明しています。

活用マニュアルには、HTML形式を採用した汎用のブラウザーで閲覧する「活用マニュアル（閲覧用）」と、PDF形式を採用したAdobe社のAcrobat Readerで参照および印刷ができる「活用マニュアル（印刷用）」があります。ご使用の目的に応じて活用してください。記載内容については活用マニュアルの内容（xiiiページ）をご覧ください。

また、活用マニュアル（閲覧用）の開き方についてはxページ、活用マニュアル（印刷用）の開き方、および印刷方法についてはxiページをご覧ください。

ユーザーズマニュアルと活用マニュアルそれぞれを、目的に応じてお使いいただくために、次ページに目的別マニュアルガイドを示します。

目的別マニュアルガイド

セットアップするには

目的	参照先
プリンターを安全に使うために	ユーザーズマニュアル 安全にお使いいただくために
プリンターを設置する コンピューターと接続する ネットワークに接続する	ユーザーズマニュアル　1章
プリンターソフトウエアをインストールする プリンターソフトウエアについて	ユーザーズマニュアル　2章

セットアップができたら

目的	参照先
用紙について	ユーザーズマニュアル　3章
スイッチ・ランプについて	ユーザーズマニュアル　4章
アプリケーションから印刷する	ユーザーズマニュアル　5章
IPP、LPR(TCP/IP)を使って印刷する	活用マニュアル　3章
MOPYINGしたい 便利な機能を使って印刷する	活用マニュアル　4章
メニューモードを使って設定する	活用マニュアル　7章
制御コードを使う	活用マニュアル　付録

必要に応じて

目的	参照先
EPカートリッジを交換する プリンターの清掃について	ユーザーズマニュアル　6章
ユーザーサービスについて	ユーザーズマニュアル　8章
オプションについて	ユーザーズマニュアル　9章
ユーティリティーを使ってIPアドレスを設定する	活用マニュアル　3章
うまく印刷できないときには 紙づまりのときは	ユーザーズマニュアル　7章 活用マニュアル　9章
ネットワークで困ったときには	活用マニュアル　9章
このプリンターの性能は？	ユーザーズマニュアル　付録
印刷範囲が知りたい	活用マニュアル　付録
文字コード表が見たい	活用マニュアル　付録
わからない用語がある	ユーザーズマニュアル 用語解説

活用マニュアル(閲覧用)を見るには

活用マニュアル(閲覧用)はHTMLファイル形式です。添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されており、お手持ちのコンピューターの画面上でブラウザーを使って閲覧できます。なお、閲覧するにはブラウザーはMicrosoft Internet Explorer 4.0以上またはNetscape Navigator 4.0以上が必要です。あらかじめインストールして以下の手順を行ってください。

❶ **お使いのOS(日本語版)を起動する。**

❷ **プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。**

「プリンタソフトウエアCD-ROMメニュー」が起動します。

> お使いのコンピュータによっては、自動的にメニュープログラムが立ち上がらない場合があります。その場合は、CD-ROMのルートディレクトリーにある「MWSETUP.exe」を実行してください。

❸ **[オンラインマニュアル]をクリックする。**

右側のボックスにオンラインマニュアルの名称が表示されます。

❹ **右側のボックスの[MultiWriter 4550活用マニュアル(閲覧用)]を選び、[オンラインマニュアルを読む]をクリックする。**

ブラウザーが起動して、活用マニュアルのトップページが表示されます。

活用マニュアル(印刷用)を印刷するには

活用マニュアル(印刷用)はPDFファイル形式です。活用マニュアルをお手元で見られるように印刷したい場合には、活用マニュアル(印刷用)をお使いください。なお、印刷するにはAdobe Acrobat Reader 4.0以上(添付のプリンターソフトウエアCD-ROMには、Adobe Acrobat Reader 5.0を収録しています)が必要です。あらかじめインストールしてください。

このオンラインマニュアルはA4サイズの大きさで作成されています。ここではWindows XPの環境でMultiWriter 4550を使って活用マニュアルを印刷する手順を説明します(あらかじめプリンタードライバーをインストールする必要があります。本書の2章を参照してインストールしてください)。他のOSをお使いの方は多少画面表示が異なりますが、手順は同じです。

❶ 前ページの手順❶～❸を行い、オンラインマニュアル一覧を表示する。

❷ 右側のボックスの[MultiWriter 4550活用マニュアル(印刷用)]を選び、[オンラインマニュアルを読む]をクリックする。

Adobe Acrobat Readerが起動して、活用マニュアル(印刷用)のトップページが表示されます。

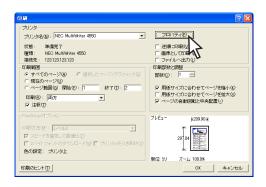
❸ 印刷したい章を選び、クリックする。

印刷したい章のイメージアイコンをクリックしてください。希望の章が開きます。

❹ [ファイル]メニューの[印刷]をクリックする。

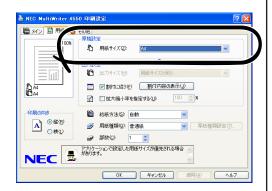
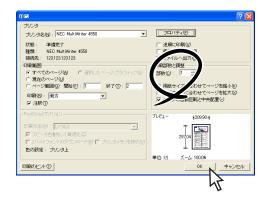
[印刷]ダイアログボックスが表示されます。

❺ [プロパティ]をクリックする。

[プリンタのプロパティ]ダイアログボックスが表示されます。

❻ [用紙]タブをクリックする。

[用紙]シートが表示されます。

❼ [用紙サイズ]から[A4]を選択し、[OK]をクリックする。

[印刷]ダイアログボックスに戻ります。

❽ 印刷部数を指定して[OK]をクリックする。

活用マニュアルの内容

活用マニュアルに記載されている主な内容は、以下のとおりです。

1章　オプション

大容量ホッパー、フィニッシャー、両面印刷ユニット、LANボード、LANアダプター、増設メモリーなどの取り付け、取り外し手順および、使用できるコンピューターとプリンターケーブルを記載しています。(記載内容は本書と同じです。)

2章　プリンターソフトウエアのインストール

プリンターソフトウエアをインストールしてプリンターを使用できる手順について各OS毎に記載しています。また、プリンター管理者用インストール手順、PrintAgentの追加・削除についても説明しています。

- プリンターソフトウエアCD-ROM について
- プリンターソフトウエアの動作環境
- インストール方法の選択
- 「インストールプログラム」からのインストール
- 「プラグ・アンド・プレイ」によるインストール
- プリンタードライバーの削除
- PrintAgent の追加・削除
- プリンター管理者用インストール
- 日本語MS-DOS 環境

3章　ネットワークでの設定

MultiWriterを使ってネットワーク印刷するための設定手順について説明しています。

- LANボードおよび無線LANプリンターボードを使用するためのIPアドレスなどの設定手順
- DHCP の設定
- ネットワーク印刷するための各OSネットワークポートの設定(印刷先の変更)
  IPP(Internet Printing Protocol)、UNIX用印刷サービス(LPR)、Standard TCP/IP Port (LPR)、LPRバイトカウント機能、NEC Internet Printing System (IPP)、Microsoft TCP/IP 印刷(LPR)、ターミナルサービス環境
- ユーティリティーによるLANボードの設定
  WWWブラウザー、Telnet 、PrintAgent プリンタ管理ユーティリティ
- より便利なネットワーク機能
  SNMP 、アクセス制限

4章　より進んだ使い方

プリンターソフトウエアを使ったMultiWriterの便利な機能の紹介および設定方法について説明しています。

- 両面印刷の設定
- フィニッシャー機能
- 複数ページ印刷
- 仕分け印刷の設定(丁合い機能、合紙機能)
- 拡大・縮小印刷
- MOPYING 設定ウィンドウ
- 定形外用紙サイズの設定
- 印刷位置の調整
- リプリント機能
- 文書結合
- 「PrintAgent 」ツールバー
- プリンタステータスウィンドウ
- プリンタ自動切替
- 保守情報のメール通知
- リモート電源制御
- 印刷ログの出力
- プリンタ利用情報通知機能
- Web PrintAgent
- プリンタードライバーのバージョンアップ

5章　用紙のセット

使用できる用紙の種類や用紙についての注意事項、ホッパー、定形外用紙カセット、トレーへの用紙セット方法について説明しています。(記載内容は本書と同じです。)

6章　操作パネル

プリンターの操作パネル上のディスプレイ、ランプ、スイッチについて詳しく説明しています。

7章　メニューモード

ESC/Pエミュレーションモードを含めてメニューモードの詳細について説明しています。

- メニューモードでの設定変更のしかた
- メニューモード設定項目一覧（メモリースイッチの設定変更のしかた、メニューツリー）
- メニューの詳細
- メモリースイッチの内容
- 動作エミュレーションの切り替え（ESC/Pエミュレーションモード）

8章　日常の保守

EPカートリッジの交換手順、清掃手順、ステープル針の補充手順について説明しています。（記載内容は本書と同じです。）

9章　故障かな？と思ったら

故障かな？と思った場合の原因と処置方法を以下の症状に分けて説明しています。また、プリンターの運搬、消耗品の廃棄について記載しています。

- 修理に出す前に
- 印刷できないときは
- アラーム表示が出ているときは
- 印刷に異常が見られるときは
- 思うように印刷できないときは
- フィニッシャー機能がうまくできないときは
- PrintAgent システムが起動しないときは
- プリンタステータスウィンドウがおかしいときは
- リプリント機能が動作しないときは
- PrintAgent を正しく動作させるために
- ネットワークで思うように印刷できないときは
- 紙づまりのときは
- プリンターを運搬するときは
- プリンター・消耗品を廃棄するときは

10章　ユーザーサービス

お客様登録された方へ用意されているさまざまなユーザーサービス、プリンターの寿命、ユーザーズマニュアルの再購入について説明しています。

付録　技術情報

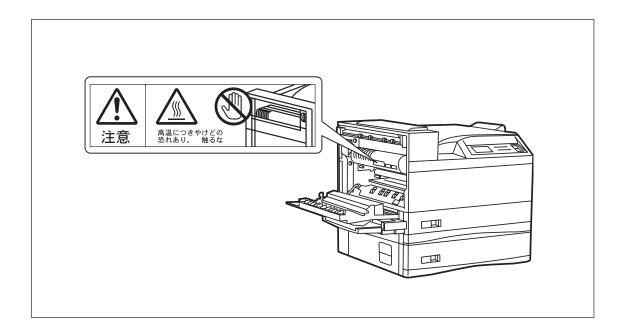
本書に記載しているプリンターの仕様、用紙の規格の他に文字コード表、印刷範囲などの詳細な技術情報について記載しています。

- 仕　様
- 用紙の規格
- 文字の種類
- 文字コード表
- 印刷範囲
- NPDL の初期状態
- 制御コード
- 機能拡張制御コード
- ディスプレイ表示一覧
- テスト印刷のプリント結果
- 増設メモリー対応表
- 電子ソート機能有効時の印刷保証枚数表
- インターフェース
- 用語解説

安全にお使いいただくために

警告ラベルについて

MultiWriter 4550 プリンター内の危険性を秘める部品やその周辺には警告ラベルが貼り付けられています。これはプリンターを操作する際、考えられる危険性を常にお客様に意識していただくためのものです。

警告ラベルは下図に示す場所に貼られています。もしこのラベルが貼り付けられていない、はがれかかっている、汚れているなどして読めない場合は、販売店または、NECサービス窓口にご連絡ください。

安全上のご注意

ここで示す注意事項はプリンターを安全にお使いになる上で特に重要なものです。この注意事項の内容をよく読んで、ご理解いただき、プリンターをより安全にご活用ください。記号の説明については表紙の裏の「安全にかかわる表示」を参照してください。

警告

プリンターの内部をのぞかない

このプリンターはレーザー(レーザーダイオード)を使用しています。電源がONになっているときに内部をのぞいたり、鏡などを差し込んだりしないでください。万一、レーザー光が目に入ると失明するおそれがあります(レーザー光は目に見えません)。

分解・修理・改造はしない

ユーザーズマニュアルに記載されている場合を除き、分解したり、修理/改造を行ったりしないでください。プリンターが正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の原因となるおそれがあります。

針金や金属片を差し込まない

通気孔などのすきまから金属片や針金などの異物を差し込まないでください。感電するおそれがあります。

煙や異臭、異音がしたら電源OFF

万一、煙、異臭、異音などが生じた場合は、ただちに電源スイッチをOFFにして電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災の原因となるおそれがあります。

ぬれた手で電源プラグを抜かない

お手入れの際は電源プラグをコンセントから抜いてください。また、ぬれた手で抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。

EPカートリッジを火の中に投げ入れない

EPカートリッジを火の中に投げ入れないでください。EPカートリッジ内に残っているトナーの粉じん爆発により、やけどをするおそれがあります。

⚠ 注意

こわれた液晶ディスプレイには触らない

こわれた液晶ディスプレイには触らないでください。操作パネルの液晶ディスプレイ内には人体に有害な液体があります。万一、壊れた液晶ディスプレイから流れ出た液体が、口に入った場合は、すぐにうがいをして、医師に相談してください。また、皮膚に付着したり目に入ったりした場合は、すぐに流水で15分以上洗浄して、医師に相談してください。

雷が鳴りだしたらプリンターに触らない

火災・感電の原因となります。雷が発生しそうなときは電源プラグをコンセントから抜いてください。また雷が鳴りだしたらケーブル類も含めて装置には触らないでください。

電源コードに薬品類をかけない

電源コードに殺虫剤などの薬品類をかけないでください。コードの被覆が劣化し、感電や火災の原因となることがあります。

プリンター内に異物を入れない

プリンター内に水などの液体、ピンやクリップなどの異物を入れないでください。火災や感電、故障の原因となります。もし入ってしまったときは、すぐ電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に連絡してください。

電源コードを抜くときはコードを引っ張らない

電源プラグを抜くときはプラグ部分を持って行ってください。コード部分を引っ張るとコードが破損し、火災や感電の原因となるおそれがあります。

損傷した電源コードは使わない

電源コードが破損した場合は、ビニールテープなどで補修して使用しないでください。補修した部分が過熱し、火災や感電の原因となるおそれがあります。損傷したときは、すぐに同じ電源コードに取り替えてください。

高温注意

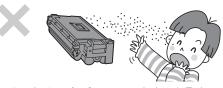
プリンターのカバーを開けて作業する場合は、十分に冷めてから行ってください。プリンターの内部には使用中に高温になる定着ユニットという部品があり、触ると火傷するおそれがあります。

巻き込み注意

プリンターの動作中は用紙挿入口、排出口に手や髪の毛を近づけないでください。髪の毛が巻き込まれたり、指がはさまれたりしてけがをするおそれがあります。

作動中のフィニッシャーに触れない

フィニッシャーが作動しているとき、作動部分には触れないでください。指をはさみ、けがをするおそれがあります。またつまったステープル針を取り除くときには、指などにけがをしないように十分ご注意ください。

目や口にトナーを入れない

EPカートリッジに入っているトナーを目や口に入れないでください。トナーが目や口に入ると健康を損なうおそれがあります。特にお子様の手の届かないところに保管し、お子様が触れないようにしてください。

掃除機でトナーを吸わない

床などにこぼしたトナーは、ほうきで掃き取るか、または石けん水を湿らせた布等でふき取ってください。掃除機でトナーを吸い取ると、吸い取ったトナーが掃除機内部で粉じん発火・爆発するおそれがあります。

100V以外のコンセントに差し込まない

電源は指定された電圧、電流の壁付きコンセントをお使いください。指定外の電源を使うと火災や漏電になることがあります。

直射日光が当たるところには置かない

プリンターを窓ぎわなどの直射日光が当たる場所には置かないでください。そのままにすると内部の温度が上がり、プリンターが異常動作したり、火災を引き起こしたりするおそれがあります。

不安定な場所に置かない

プリンターを不安定な場所には置かないでください。プリンターが破損するおそれがあるばかりではなく、思わぬけがや周囲の破損の原因となることがあります。

電源コードをたこ足配線にしない

コンセントに定格以上の電流が流れると、コンセントが過熱して火災の原因となるおそれがあります。

電源コードは曲げたりねじったりしない

電源コードを無理に曲げたり、ねじったり、束ねたり、ものを載せたり、はさみ込んだりしないでください。またステープルなどで固定することも避けてください。コードが破損し、火災や感電の原因となるおそれがあります。

プリンターを1人で持ち上げない

プリンターの質量は約44.5kgです。(EPカートリッジ含まず)。

装置側面の取っ手を持って、3人以上で運んでください。2人以下で運ぶと腰を痛めるおそれがあります。

専用電源コード以外は使わない

プリンターに添付されている電源コード以外のコードを使わないでください。電源コードに定格以上の電流が流れると火災になるおそれがあります。

電源プラグを中途半端に差し込まない

電源プラグはしっかりと差し込んでください。中途半端に差し込んだまま、ほこりがたまると接触不良の発熱による火災の原因となるおそれがあります。また、プラグ部分は時々抜いて、乾いた布でほこりやゴミをよくふき取ってください。ほこりがたまったままで、水滴などが付くと発熱し、火災となることがあります。

無線LANボードに関する安全上のご注意

オプションの無線LANボードを取り付けた場合の注意事項について説明します。

心臓ペースメーカーに近づけない

埋め込み型心臓ペースメーカーを装着されている方は、無線LANボードをペースメーカー装着部から22cm以上離して使用してください。心臓ペースメーカーの近くで使用するとペースメーカーが正しく動作しないおそれがあります。

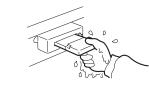
飛行機内では使用しない

飛行機内では無線LANボードを装着したプリンターの電源は切ってください。電子機器に影響を与え、事故の原因となるおそれがあります。現在、各航空会社では航空機の飛行状態などに応じて、機内での無線機器・電子機器などの使用を禁止しており、無線LANボードもその該当機器となります。詳しい内容については、各航空会社にお問い合わせください。

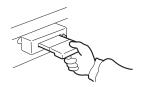
使用禁止区域では使用しない

心臓ペースメーカーや補聴器などの医療機器を使用している方が近接する可能性がある場所では使用しないでください。特に医療機関側が無線LANボードの使用を禁止した区域では、無線LANボードを使用しないでください。また、医療機関側が無線LANボードの使用を認めた区域でも、近くで医療用電気機器が使用されている場合には、プリンターの電源は切ってください。

無線LANボードの電波出力は、例えば携帯電話などに比べてはるかに低く抑えられており、医療電気機器に与える影響は極めて少ないものですが、医療機器が正しく動作しないおそれがあります。使用に際しては各医療機関の指示に従ってください。詳しい内容については、各医療機関にお問い合わせください。

ぬれた手で触らない

無線LANボードがプリンターに取り付けられているときに、ぬれた手で無線LANボードやプリンターに触らないでください。ぬれた手で触ると感電するおそれがあります。

⚠ 注 意

無線LANカードの
差し込む向きを間違えない

無線LANボードのPCカードスロットに無線LANカードを取り付けるときは、カードの向きを間違えないでください。差し込む向きを間違うと故障や発火の原因となるおそれがあります。

補聴器のそばで
使用しない

補聴器を装着されている方、またはその近くで無線LANボードを使用しないでください。補聴器を装着されている方の近くで無線LANボードを使用すると、補聴器にノイズを引き起こし、事故の原因となるおそれがあります。

プリンティングスタイル MOPYINGとは

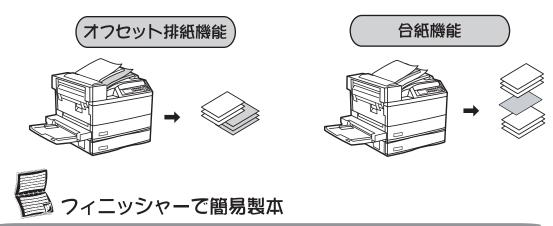
～MultiWriterを使って手間もコストも大幅削減！～

MOPYING(Multiple Original coPY and printING)とは、オリジナルのドキュメントをコピー機で複数コピーするのではなく、MultiWriterで必要部数を直接印刷する新しいドキュメント処理スタイルのことです。MultiWriter 4550に搭載されているPrintAgentの機能を使うと、MultiWriterをコピー機のような使い方ができるばかりでなく、手間のかかる原稿の準備作業がパソコン上でできます。

コピー機を使ってドキュメントを複数コピーする作業と比較すると、導入コストやランニングコストを低く抑えることができます。しかも、オリジナル出力なので仕上がりがきれいです。

ページ順、部単位で出力できる簡易ソーター

オフセット排紙機能と丁合い機能を組み合わせると、簡易ソーターとしてご利用になれます。複数の部数を印刷するときなど印刷後の用紙を部ごとに水平にずらして仕分けし、排紙トレー上に排出します。さらに、指定されたホッパーにセットした色の違う用紙(合紙)を挿入して印刷ジョブごとに仕分けて排紙トレー上に排出することもできます。

フィニッシャーで簡易製本

MultiWriter 4550では、フィニッシャーを装着することにより、最大50枚(坪量64.0g/m²)までステープルどめや穴あけすることができます。面倒な簡易製本処理まで素早く自動で行え、大容量排紙もサポートしています。会議などで使う複数枚の書類を何部か印刷したい場合は、フィニッシャーの機能を使うと印刷後すぐに配付でき、非常に便利です。

コピー機を使わずに必要部数をそのまま印刷

MultiWriter 4550はオフセット排紙・合紙機能による簡単仕分け印刷を標準でサポートしています。例えば、会議の資料は原稿をコピー機で複数コピーするのではなく、MultiWriterで必要な分だけ直接印刷すれば、オリジナルの品質で資料が作成できます。

コピー機を使った複写出力

① 原稿を作成
② 原稿を出力
③ 原稿の順番を揃える
④ 必要部数を両面コピー＆丁合い
⑤ 出来上がり

網かけ、グラデーションが黒くつぶれた仕上がり

Logo

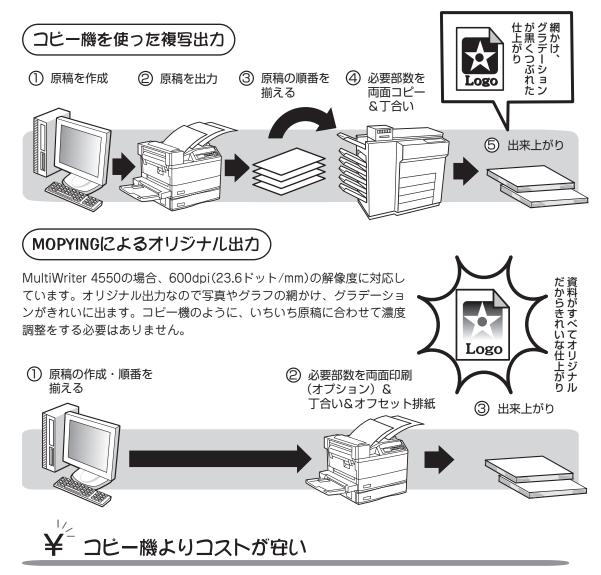
MOPYINGによるオリジナル出力

MultiWriter 4550の場合、600dpi(23.6ドット/mm)の解像度に対応しています。オリジナル出力なので写真やグラフの網かけ、グラデーションがきれいに出ます。コピー機のように、いちいち原稿に合わせて濃度調整をする必要はありません。

資料がすべてオリジナルだからきれいな仕上がり

Logo

① 原稿の作成・順番を揃える
② 必要部数を両面印刷（オプション）＆丁合い＆オフセット排紙
③ 出来上がり

¥ コピー機よりコストが安い

MultiWriterを使った場合、コピー機のような契約によるコピーチャージを必要としません。MultiWriterは感光体とトナーを一体型にしたEPカートリッジを採用することで、トナー交換の作業を容易にし、メンテナンスを不要にしています。

さらに、約30,000ページ*1印刷可能なEPカートリッジ(型番：PR-L4550-12、EF-3464)は、1枚あたり約2.2円*2と低コスト。

MultiWriterの導入は同等機能のコピー機を導入する場合と比較した場合、ランニングコストが半分以下で済みます。

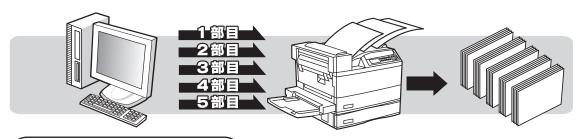
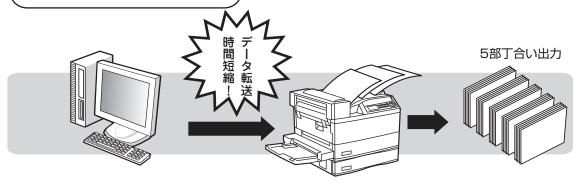
*1 A4サイズ1枚あたりの画像面積比（1ページ中の黒い部分の面積比と印刷範囲との比率）が約5%の片面連続印刷時
*2 平成14年12月現在

高速印刷・電子ソートですばやい仕上がり

MultiWriter 4550は、毎分45ページの高速印刷を実現。しかも電子ソート機能*1を使えばプリンターのメモリーに印刷データを蓄えて必要部数を印刷するので、パソコンからプリンターへ部数分のデータ転送が不要です*2。これによって、トータル印刷処理時間が短縮されます。

*1　電子ソート機能を有効にする場合、64MB以上のメモリー増設(オプション)が必要です。また、ハードディスク(オプション)を追加することにより、多量のページを蓄えることができます。

*2　増設メモリー容量、ページ数により必要枚数分データ転送を行う場合があります。

従来の丁合い機能を使った出力

電子ソート機能を使った出力

プリンターのメモリーやハードディスクに蓄えられたデータを使って電子ソート

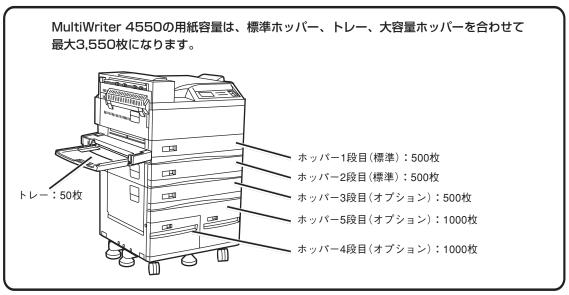
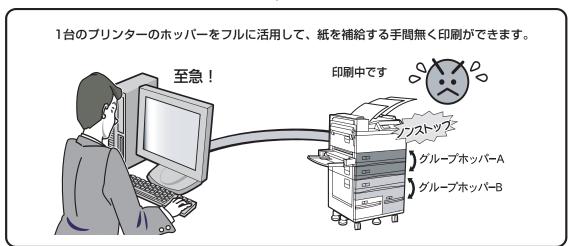
用紙がなくなると自動的に切り替え（グループホッパー）

給紙元として使っているいくつかのホッパーを組み合わせて一つのグループにします*1。印刷中、そのグループ化したホッパーの中で用紙が足りなくなると*2、次のホッパーに自動的に切り替わる*3ので、連続印刷・多量印刷ができてとても便利です。オプションの大容量ホッパー(2.500枚積載可)*4があると便利です。

*1 グループA、グループBの2つのグループを設定可能。プリンタードライバーからは、ホッパーの組み合わせを気にせず、直接グループホッパーを指定することができます。
*2 オペレーターパネルのLCDにて、用紙がなくなったホッパーを確認することができます。
*3 用紙が足りなくなったホッパーには、印刷中でも用紙をつぎ足すことができます。このことによりノンストップ印刷が可能となります。
*4 大容量ホッパー4および5で積載可能。大容量ホッパー3の積載枚数は500枚です。

MultiWriter 4550の用紙容量は、標準ホッパー、トレー、大容量ホッパーを合わせて最大3,550枚になります。

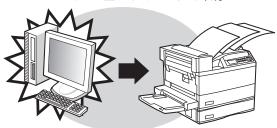
1台のプリンターのホッパーをフルに活用して、紙を補給する手間無く印刷ができます。

一度印刷した文書なら、すぐリプリント（再印刷）

PrintAgentの「リプリント機能」を使うと、一度印刷したデータを設定範囲内でパソコンのスプールフォルダーに残しておき、再印刷することができます。これを使えば、いちいちアプリケーションを立ち上げずにコピー感覚ですぐ再印刷が可能。

しかも蓄えた印刷データを自由に組み合わせて再印刷することも可能です。

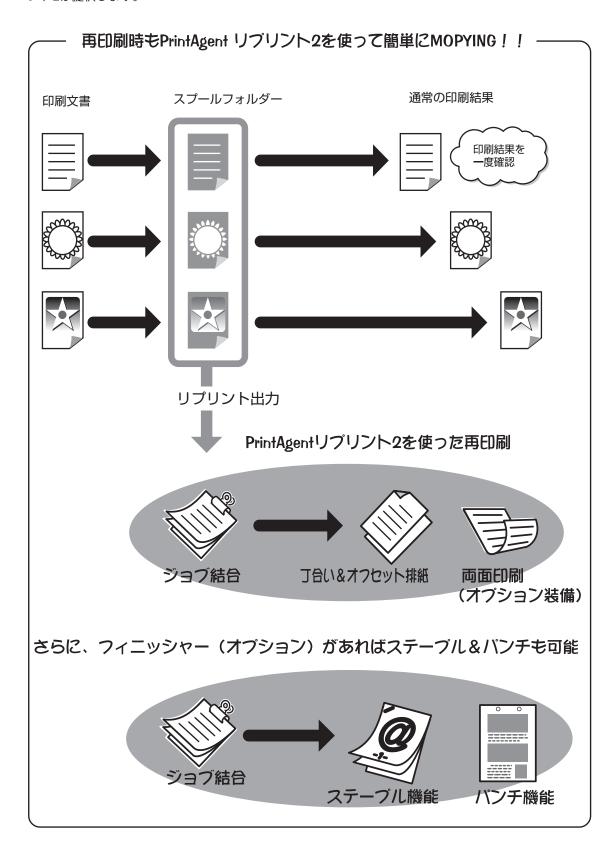
コピー作業のように原稿を持って席とコピー機を往復することはありません。自席でPrintAgentを使って作業は終了です。

① 一度印刷したデータなら・・・

② PrintAgentが覚えているのでアプリケーションを立ち上げなくてもすぐ印刷

しかも、覚えているドキュメントで自由な組み合わせが可能（ジョブ結合）

さっき印刷した1月分と3月分の資料を再印刷したい！

さらに、再印刷する文書でも丁合い＆オフセット排紙で仕分けされた出力が可能です！

リプリント機能はMultiWriterに添付されている印刷統合ソフトウエア「PrintAgent」のPrintAgent リプリント2が提供します。

MOPYING設定ウィンドウで簡単設定

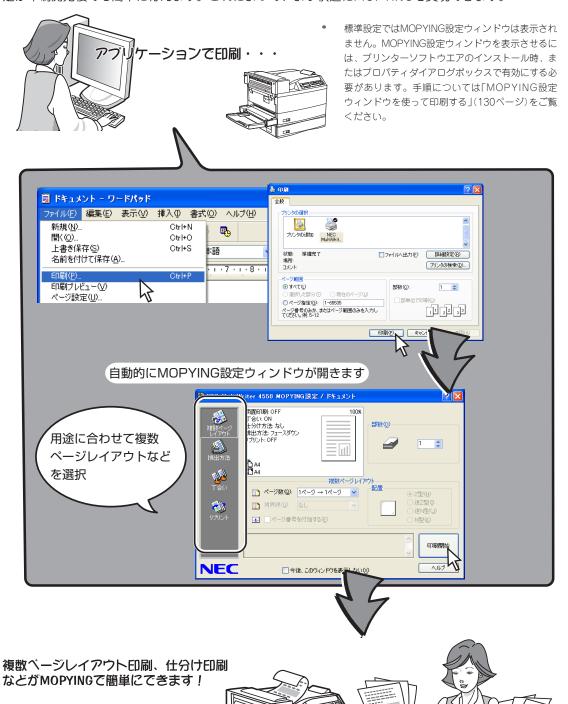
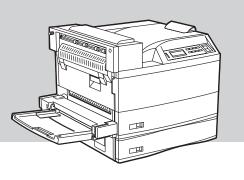
MultiWriter 4550では、印刷開始前にプリンタードライバーのプロパティで設定を忘れても大丈夫。アプリケーションの印刷を選択した後に「MOPYING設定ウィンドウ」が表示される*ので、複数ページ印刷の設定が印刷開始後でも簡単に行えます。これによって、より快適にMOPYINGを実現できます。

アプリケーションで印刷・・・

* 標準設定ではMOPYING設定ウィンドウは表示されません。MOPYING設定ウィンドウを表示させるには、プリンターソフトウエアのインストール時、またはプロパティダイアログボックスで有効にする必要があります。手順については「MOPYING設定ウィンドウを使って印刷する」（130ページ）をご覧ください。

自動的にMOPYING設定ウィンドウが開きます

用途に合わせて複数ページレイアウトなどを選択

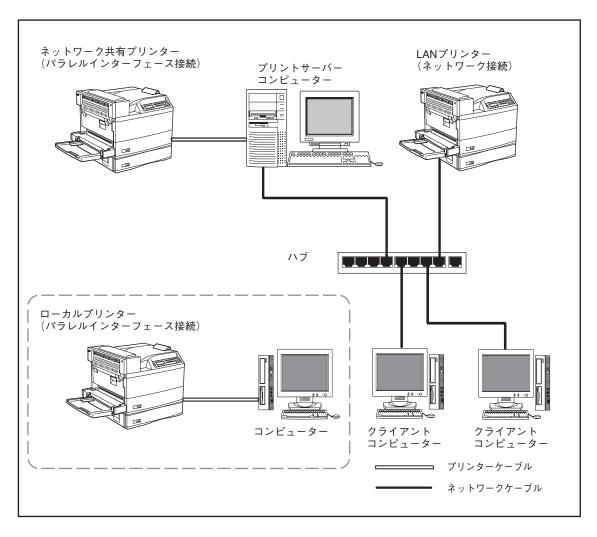
複数ページレイアウト印刷、仕分け印刷などがMOPYINGで簡単にできます！

1章
プリンターの設置

この章では、お買い上げになったプリンターの箱を開けてから、中身を確認し、テスト印刷、ネットワークでプリンターが使えるようになるまでを以下の手順で説明します。

1 設置に必要なスペースを用意する
2 箱の中身を確認する
3 各部の名称を確認する
4 EPカートリッジを取り付ける
5 用紙をセットする
6 電源コードを接続する
7 テスト印刷をする

8 コンピューターに接続する

9 ネットワークに接続する

Step 1 ネットワークケーブルを接続する
Step 2 IPアドレスとサブネットマスクを設定する
Step 3 コンフィグレーションページを印刷する

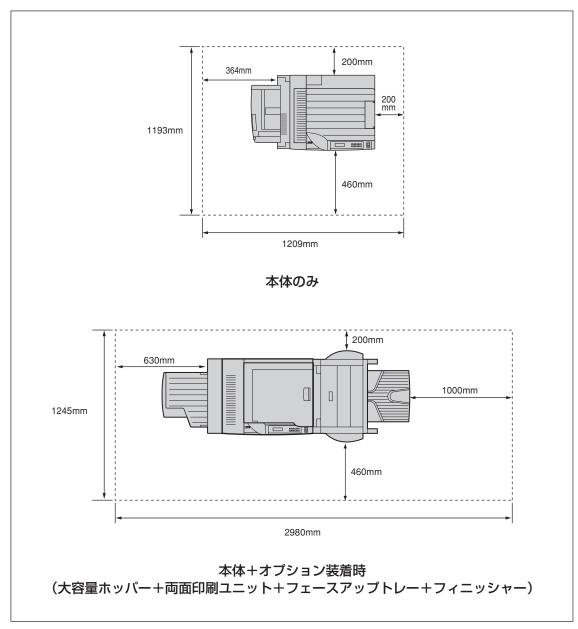
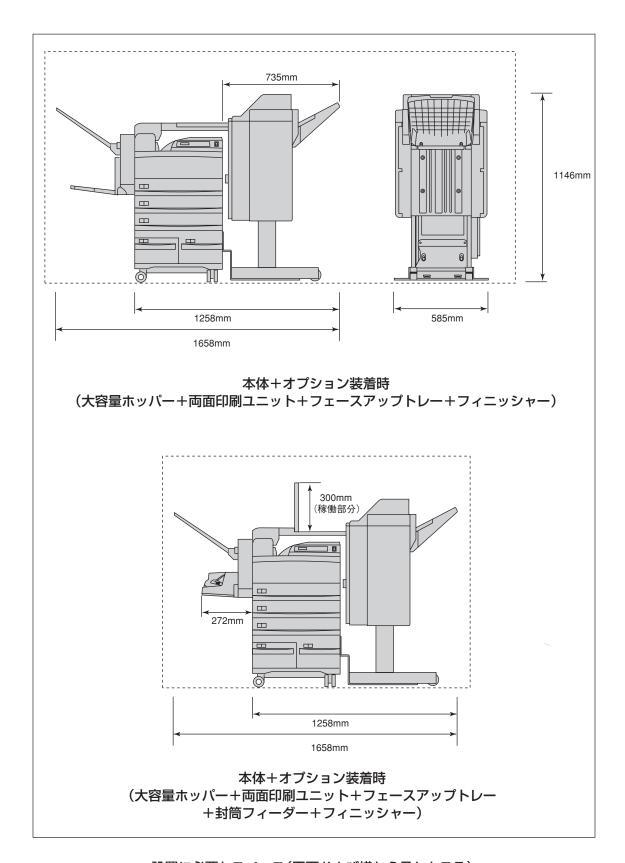
MultiWriter 4550はパラレルインターフェース接続およびネットワーク接続ができます。お使いの環境や目的に合わせて接続してください(接続方法については「8　コンピューターに接続する」または「9　ネットワークに接続する」をご覧ください)。

MultiWriter 4550の接続例

1 設置に必要なスペースを用意する

MultiWriter 4550を安全、快適にご使用いただくためには19ページの「設置してはいけない場所」をよくお読みになり、下図に示すスペースを確保してください。

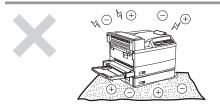
設置に必要なスペース（上から見たところ）

本体＋オプション装着時
（大容量ホッパー＋両面印刷ユニット＋フェースアップトレー＋フィニッシャー）

本体＋オプション装着時
（大容量ホッパー＋両面印刷ユニット＋フェースアップトレー
＋封筒フィーダー＋フィニッシャー）

設置に必要なスペース（正面および横から見たところ）

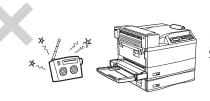
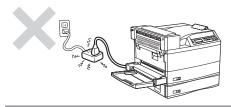
設置してはいけない場所

次のような場所には設置しないでください。

直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、温度変化の激しい場所(暖房器、エアコン、冷蔵庫などの近く)には設置しないでください。温度変化により結露現象が起こり故障の原因となることがあります。

じゅうたんを敷いた場所では使用しないでください。静電気による障害で装置が正しく動作しないことがあります。

強い振動の発生する場所に設置しないでください。装置が正しく動作しないことがあります。

腐食性ガスの発生する場所、薬品類がかかるおそれのある場所には設置しないでください。部品が変形したり傷んだりして装置が正しく動作しなくなることがあります。

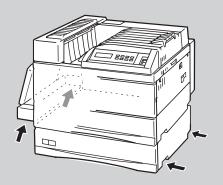
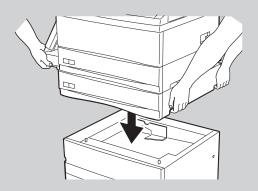
上から物が落ちてきそうな場所には設置しないでください。衝撃などにより装置が正しく動作しなくなることがあります。

ラジオやテレビなどの近くには設置しないでください。プリンターのそばで使用すると、ラジオやテレビの受信機などに受信障害を与えることがあります。

添付の電源コードだけで、コンセントに届かない場所に設置しないでください。延長コードの過容量、延長コードへのコンセントの差し込みにより発熱するおそれがあります。

2 箱の中身を確認する

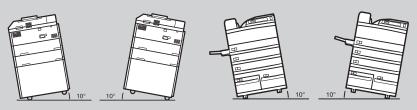
まず、下の注意をよくお読みになり、箱を開けて、次のページに示すものがすべてそろっていることを確認してください。それからそれぞれの点検を行ってください。万一足りないものや損傷しているものがある場合には、販売店に連絡してください。

⚠注意

取り扱い上のご注意

- プリンターは約44.5kgの重さがあります。プリンターを持ち上げるときは、図中の矢印で示している4か所の取っ手に手を掛けて、3人以上で持ち上げてください。その際、腰を痛めないように十分に膝を曲げ、プリンターの左右にあるくぼみを両手でしっかりと持ってください。

- プリンターを大容量ホッパー(オプション)などの設置場所に置くとき、図中の4か所の取っ手から指がプリンター側に出ていると、指を挟むおそれがあります。

- 大容量ホッパー(オプション)を取り付けたプリンターを移動する場合は、プリンターを10度以上に傾けないでください。転倒などによるケガの原因となることがあります。
  また、スロープなどの傾斜を移動する場合は、装置右側(レベラーの付いていない側面)を前向きにして移動させてください。レベラーのある面を前向きにすると、傾斜に引っかかり、レベラー破損や装置転倒の原因となることがあります。

横から見た図　　正面から見た図

＊ 添付品のEPカートリッジは約30,000ページ（A4用紙、画像面積比5%連続印刷時）印刷可能です。

プリンターの箱を開けたら次のことを忘れずに行ってください。

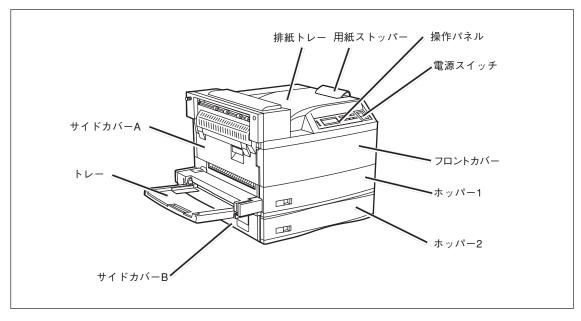
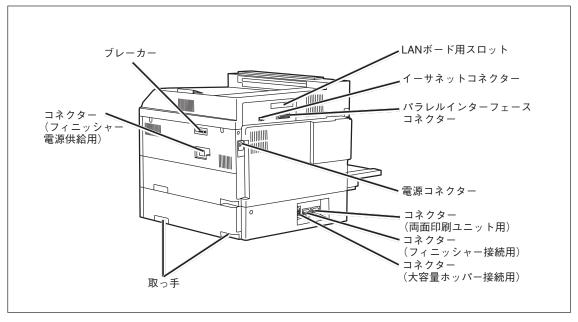
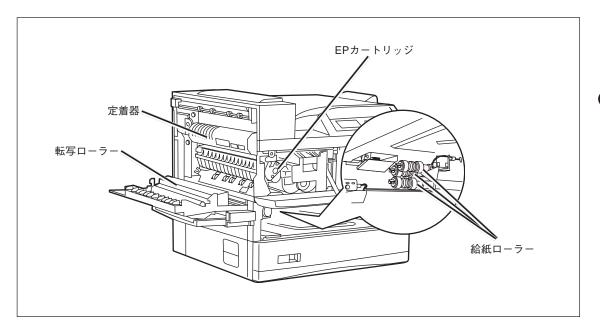
重要

プリンター上部に添付されている手順書に従って、定着器の固定金具を取り外してください。

チェック

- お客様登録申込書に所定事項を記入して登録してください。（FAXでも受け付けております。詳しくはお客様登録申込書をお読みください。）
- 保証書、NECサービス網一覧表をなくさないよう大切に保管してください。

3 各部の名称を確認する

プリンターを使用する前に各部の名称と位置を確認してください。

プリンター前面

プリンター背面

プリンター内部

EPカートリッジ交換や紙づまり処理の際、転写ローラーには手を触れないでください。印刷不良の原因となります。

4 EPカートリッジを取り付ける

EPカートリッジは印刷を行うためのトナーやOPCドラム、現像ユニットなどが一体化されたものです。消耗品のため、トナー残少やOPCドラム寿命でアラームが発生したら交換します(交換手順については、6章の「EPカートリッジの交換」をご覧ください)。

ここではまず、添付のEPカートリッジを取り付ける手順を説明します。取り付けの際は、強い光が当たる場所を避け、できるだけ5分以内で作業を終了してください。

⚠ 注意

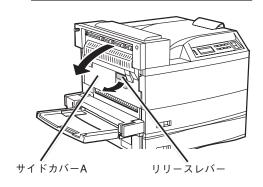
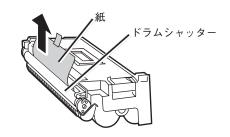
床などにこぼしたトナーは、ほうきで掃き取るか、または石けん水を湿らせた布等でふき取ってください。掃除機でトナーを吸い取ると、吸い取ったトナーが掃除機内部で粉じん発火・爆発するおそれがあります。

❶ リリースレバーを引きながら、ゆっくりとサイドカバーAを開く。

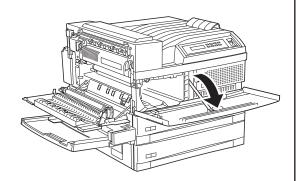
✔チェック

プリンター内部の部品には手を触れないでください。印刷不良の原因となります。

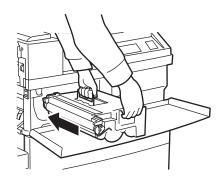
❷ EPカートリッジを袋から取り出し、ドラムシャッターの間に入っている紙を取り除く。

✔チェック

- ドラムシャッターは、中の感光体(ドラム)に光が当たらないように保護しています。ドラムシャッターをむやみに開けないでください。印刷不良の原因となります。
- ドラム表面には手を触れないでください。ドラムを汚したり、傷つけることがあります。

❸ EPカートリッジを水平に持って図のように5、6回振り、中のトナーを分散させる。

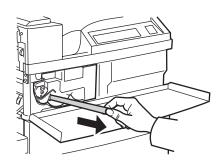
中のトナーが均一でないと、印刷品質が低下することがあります。

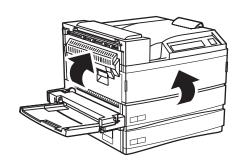
❹ フロントカバーを開く。

❺ EPカートリッジの上部の取っ手とレバーを持ち、プリンター内部の形状に合わせながら奥までセットする。

チェック

「カチッ」と音がして、EPカートリッジのレバーが元の位置に戻り、EPカートリッジが確実にセットされたことを確認してください。正しくセットされていないと、印刷不良の原因となります。

❻ トナーシールを引き抜く。

トナーシールは正常に引き抜いた場合、全部で約60cmほどの長さです。

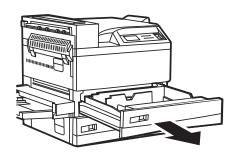
トナーシールは、カートリッジと平行にまっすぐ引き抜いてください。斜めに引くと、途中でトナーシールが切れてしまうことがあります。

❼ サイドカバーAとフロントカバーを閉じる。

チェック

- EPカートリッジが正しくセットされていないと、サイドカバーAが正しく閉じません。この場合は、再度EPカートリッジを正しくセットし直してください。
- 各カバーが確実に閉じていることを確認してください。完全に閉じていないと、印刷不良が発生することがあります。
- EPカートリッジをセットした後、1、2枚目までの出力の際に音がすることがありますが、動作不良および画質に影響はありません。
- 新しいEPカートリッジを使い始めてしばらくの間は、網点画像や1ドットラインの印刷濃度が薄くなっている場合があります。

5 用紙をセットする

テスト印刷するためにA4サイズの用紙をホッパーにセットする手順を説明します。その他の用紙のセット方法、使用できる用紙については「3章　用紙のセット」(79ページ)をご覧ください。

重要

プリンターにセットする用紙は、両面とも印刷されていない用紙をセットしてください。すでに一度印刷された用紙をプリンターにセットしないでください。
一度印刷された用紙をセットして印刷すると、給紙できない、紙づまりになるなどプリンターの故障の原因となる場合があります。

❶ **用紙カセットを手前に引き出す。**

重要

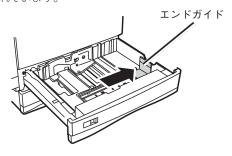
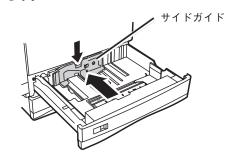
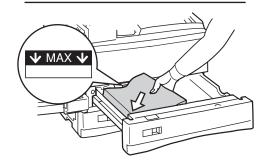
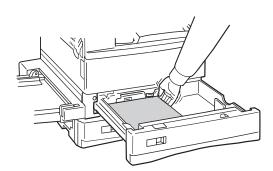
用紙カセットを取り外す必要がある場合(定形外用紙カセットと交換する場合)、取り外した用紙カセットは平たんで固い表面の場所に置いてください。用紙カセットをじゅうたんなどの上に置くと、用紙カセット下側のばねやワイヤーが引っかかり、破損するおそれがあります。

❷ **エンドガイドを軽く持ち上げて、セットする用紙サイズより外側にずらす。**

用紙サイズの位置は、用紙カセットの底面に表示されています。

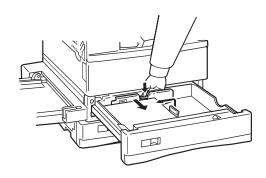
❸ **サイドガイドのつまみを下げながら、サイドガイドをセットする用紙サイズより外側にずらす。**

❹ 用紙の端をそろえ、印刷したい面を上にして用紙カセットの左手前に合わせてセットする。

チェック

- 包みから出した新しい用紙はさばかないでください。用紙をさばくと静電気が起きて紙づまりの原因になることがあります。
- 用紙カセットに収容できる枚数は約500枚(坪量64.0g/m²)です。用紙上限線を越えないように用紙を入れてください。
- 一つの用紙カセット内にサイズや質の異なる用紙をセットしないでください。紙づまりの原因になります。

❺ 手で用紙の端をそろえる。

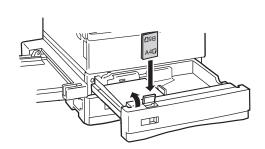
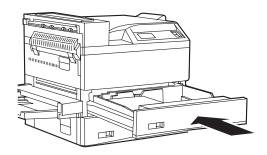
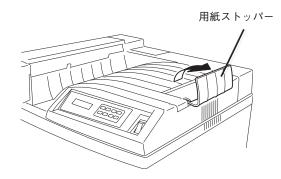
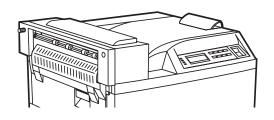
❻ セットした用紙のサイズに合うように、エンドガイドとサイドガイドを内側にずらす。

用紙カセットの底面に表示されている用紙サイズを参考にしてガイドをセットしてください。このとき、それぞれのガイドが正しくセットされていればガイドは動きません。もしガイドが動くようでしたらもう一度セットし直してください。

用紙およびエンドガイド、サイドガイドが正しくセットされていないと用紙サイズが検知されず、紙づまりが起こることがあります。

❼ 付属の用紙サイズラベルをセットしたサイズを表面にして用紙カセットに差し込む。

付属の用紙サイズラベルはホッパー1～3に、用紙サイズシールはホッパー4、5で使用してください。

❽ 用紙カセットを奥に突き当たるところまでゆっくりと押し込む。

❾ 用紙ストッパーを準備する。

A3、B4サイズの場合、用紙ストッパーを立てます。

A4、B5、A5、レターサイズサイズの場合、そのままお使いください。

残った用紙の保管方法

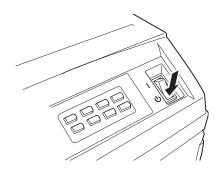
残った用紙は変質を防ぐため、次のことに注意して正しく保管してください。

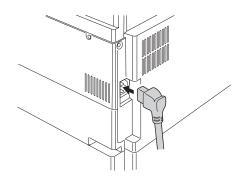
- 用紙は包装してあった紙で包み直してください。
- キャビネットの中など直射日光の当たらない、湿気の少ない場所に保管してください。
- 用紙はしわ、折れ、カールなど癖がつかないように、平らな場所に水平にして保管してください。

6 電源コードを接続する

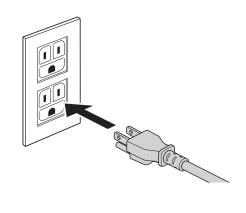
⚠注意

電源コードは、添付されているものを使用してください。定格に満たない電源コードを使うと火災や感電、故障のおそれがあります。

❶ プリンターの電源スイッチがOFFになっていることを確認する。

❷ 電源コードを電源コネクターに差し込む。

電源コネクターは、プリンター背面から見て左側にあります。

❸ もう一方の電源プラグを3極電源コンセント（電流容量15A以上）に差し込む。

重要

- 電源プラグは電流容量15A以上の壁付き3極コンセントに差し込んでください。
- プリンターの電源コードは、コンピューター本体の補助コンセントには接続しないでください。

⚠注意

アースを付けないで使用しない

2極/3極変換プラグを使用するときは、以下のことについてご注意ください。

- 2極/3極変換プラグを使用するときはアース線を次のどれかに取り付けてください。
  - — 電源コンセントのアース端子
  - — 銅片などを650mm以上地中に埋めたもの
  - — 接地工事（第3種）を行っている接地端子
- 次のようなところにはアース線を接続しないでください。
  - — ガス管（引火や爆発のおそれがあります。）
  - — 電話専用アース線および避雷針（落雷時に大量の電流が流れるおそれがあります。）
  - — 水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役目を果たしません。）

7 テスト印刷をする

コンピューターに接続する前に、プリンターが正常に動くことを確かめるためにプリンターの操作パネルのスイッチを使って、テスト印刷をします(操作パネルについては4章をご覧ください)。また、あらかじめ「5　用紙をセットする」(26ページ)でA4サイズの用紙をカセットにセットしてから行ってください。

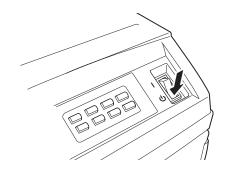
このテスト印刷は「7章　故障かな？と思ったら」の処置が終わった後にも実行することをお勧めします。

印刷中は電源スイッチをOFFにしないでください。印刷中にOFFにすると紙づまりおよび故障の原因になります。

用紙カセットにA4サイズの用紙がセットされていることを確認してください。

❶ **電源スイッチをONにする。**

ディスプレイに次のメッセージが順に表示されます。

“イニシャライズチュウ”
“ウォームアップチュウ”

❷ **印刷可ランプが点灯することを確認する。**

ホッパ゜1　A4ヨコ　ポ゜ート
フツウシ　NPDL

❸ **操作パネルの[印刷可]スイッチを押す。**

印刷可ランプが消灯します。

ホッパ゜1　A4ヨコ　ポ゜ート

❹ **トレーに用紙をセットした場合は、ここで[トレー]スイッチを押し、印刷する用紙のサイズを選択する。**

トレーが選択され、ディスレプレイには“トレー”と表示されます。

トレー　A4ヨコ　ポ゜ート

チェック

- トレーの場合は、自動的に用紙サイズを検出しないので、[トレー]スイッチで用紙サイズを選択してください。
- トレーにセットする用紙がOHPフィルムや厚紙、ラベル紙の場合は、メニューモード設定項目一覧(109ページ)を参照して、メニューモードの「トレーヨウシシュベツ」項目で用紙種別の設定を行ってください。この場合、印刷は片面で行われます。
- スイッチで選択した用紙サイズよりも小さい用紙に印刷したり、用紙のセット方向をまちがえて印刷すると、用紙をはみだして印刷してしまい、プリンター内部のローラーを汚す原因となります。ローラーが汚れてしまったときはテスト印刷を数枚行い、汚れを取り除いてください。

❺ [メニュー]スイッチを押す。

ディスプレイには“テストメニュー　→”と表示されます。

テストメニュー　→

❻ [>]スイッチを押す。

ディスプレイ下段には“←ステータスインサツジッコウ→”と表示されます。

テストメニュー
←ステータスインサツジ゛ッコウ→

❼ [>]スイッチを押す。

データランプが点灯し、プリンターはテスト印刷を実行します。ディスプレイには“テストインサツチュウ”と表示されテスト印刷を開始します。

テストインサツチュウ

❽ 印刷結果を確認する。

＊＊　プリンタ環境設定　＊＊

00000000

H/W情報

Version	コントローラ	00．00
	エンジン	00．00
給紙構成	ホッパ1	A 4　横
	ホッパ2	B 4　縦
	ホッパ3	A 3　縦
	ホッパ4	レター　横
	ホッパ5	B 5　横
	トレー	A 5　縦

メモリ容量	32MB	
トナー残量	100%	
オプション	両面印刷ユニット	
	フィニッシャ	
	フェースアップトレー	
	ハードディスク	なし
	封筒フィーダ	なし

メニュー情報

印刷設定メニュー	コピー枚数	1枚
	トナー節約	OFF
	ホッパ初期設定	ホッパ1
用紙メニュー	用紙種別設定	
	ホッパ1	普通紙
	ホッパ2	普通紙
	ホッパ3	普通紙
	ホッパ4	普通紙
	ホッパ5	普通紙
	手差し	普通紙
	合紙モード設定	ホッパ4
	リレー給紙設定	
	ホッパ1	OFF
	ホッパ2	OFF
	ホッパ3	OFF
	ホッパ4	OFF
	ホッパ5	OFF
	トレー	OFF
	グループ設定	
	ホッパ1	OFF
	ホッパ2	OFF
	ホッパ3	OFF
	ホッパ4	OFF
	ホッパ5	OFF
	トレー	OFF
印字位置設定	ホッパ1微調整	
	TM　0mm	LM　0mm
	ホッパ2微調整	
	TM　0mm	LM　0mm
	ホッパ3微調整	
	TM　0mm	LM　0mm
	ホッパ4微調整	
	TM　0mm	LM　0mm
	ホッパ5微調整	
	TM　0mm	LM　0mm
	トレー微調整	
	TM　0mm	LM　0mm
	表面微調整	
	TM　0mm	LM　0mm
	裏面微調整	
	TM　0mm	LM　0mm

オプション設定	両面印刷設定	
	初期設定	OFF
	綴じ代	ロング1
	余白	0mm
	クリップ	ON
	フェースアップトレー	使用
	排出先設定	フェースダウン
運用メニュー	節電機能	有効
	節電時間設定	10分
	自動排出	無効
	メモリ設定	標準
フォントメニュー	1バイト系ゼロ	0
	2バイト系ゼロ	0
	ANK	標準
	漢字	明朝
	文字セット	JIS1978
	国別	日本
動作メニュー	動作エミュレーション	
	インタフェース1	NPDL
	インタフェース2	NPDL
	動作自動切り替え	
	インタフェース1	OFF
	インタフェース2	OFF
	タイムアウト	30秒
NPDL設定	A4ポート桁数	78桁
	エミュレーション	201PL
	136桁モード	無効
I/F設定	インタフェース1	
	双方向設定	ニブル
	インタフェース2	
	IPアドレス	11.22.33.44
	サブネットマスク	255.0.0.0
	ｹﾞｰﾄｳｪｲｱﾄﾞﾚｽ	0.0.0.0
	DHCP	OFF
	アクセス制限	OFF
メモリスイッチ		12345678
	MSW1	00000000
	MSW2	00000000
	MSW3	00000000
	MSW4	00000000
	MSW5	00000000
	MSW6	00000000
	MSW7	00000000
	MSW8	00000000
	MSW9	00000000
	MSW10	00000000

ステータス印刷結果例

これでテスト印刷は終了です。

次に、プリンターをコンピューターまたはネットワークへ接続します。

プリンターをコンピューターと接続するには「8 コンピューターに接続する」（次ページ）、プリンターをネットワークに接続するには「9 ネットワークに接続する」（34ページ）に進んでください。

8 コンピューターに接続する

ここでは、プリンターとコンピューターをプリンターケーブルで接続する方法を説明します。プリンターをネットワークへ接続してお使いになる場合は、「9　ネットワークに接続する」(34ページ)に進んでください。

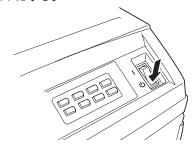
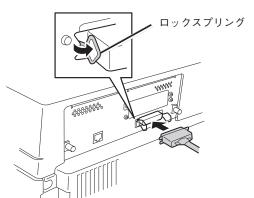
本プリンターにはプリンターケーブルは添付しておりません。お使いになる環境に合わせて別途お買い求めになる必要があります。プリンターケーブルの種類については、「使用できるプリンターケーブル」(234ページ)をご覧になり、ご使用のコンピューターに合ったプリンターケーブルを確認してください。

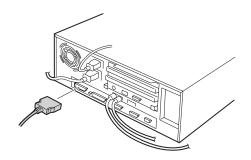
重要

パソコン本体とプリンターとの接続は、当社指定のケーブルをご使用ください。指定以外のケーブルを使用したり、市販のプリンターバッファー、プリンター切り替え器、プリンター共有器、コピープロテクターなどを使用すると、機能の一部または全部が正常に動作しない場合があります。

チェック

- MultiWriter 4550をコンピューターのUSBコネクターに接続する場合は、オプションの「USBプリンターケーブル」が必要です。
- ネットワークに接続する場合は、オプションの「マルチプロトコルLANボード」と専用のネットワークケーブル、ドライバーソフトウエアが必要です。

❶ プリンターおよびコンピューターの電源をOFFにする。

❷ プリンターケーブルのコネクターをプリンター背面のインタフェースコネクターに差し込み、コネクター両端のロックスプリングで固定する。

❸ プリンターケーブルのもう一方のコネクターをコンピューターに接続する。

コンピューターのインターフェース用コネクターの位置については、コンピューターのマニュアルを参照してください。

これでコンピューターへの接続は終了です。

次に、「2章　プリンターソフトウエアのインストール」(51ページ)に進み、ソフトウエアをインストールしてください。

1 プリンターの設置

9 ネットワークに接続する

MultiWriter 4550はLANボードを標準で装備していますので、そのままネットワークに接続して、ネットワークプリンターとしてお使いいただけます。また、オプションのLANボード、またはLANアダプターを取り付けてネットワークに接続すれば、ネットワークプリンターとしてお使いになれます。さらに、オプションの無線LANプリンターボード(型番 PR-WL-11)を取り付ければケーブルレスでネットワークに接続できます。

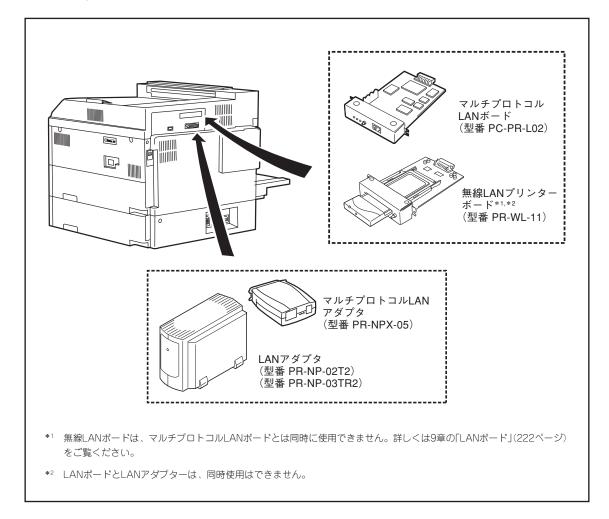
ここでは、ネットワークに接続するために必要な手順を以下のステップで手順を説明します。

Step 1 ネットワークケーブルを接続する
Step 2 IPアドレスとサブネットマスクを設定する

- LANボードの場合
- LANアダプターの場合
- 無線LANボードの場合

Step 3 コンフィグレーションページを印刷する

*1 無線LANボードは、マルチプロトコルLANボードとは同時に使用できません。詳しくは9章の「LANボード」(222ページ)をご覧ください。

*2 LANボードとLANアダプターは、同時使用はできません。

ネットワークオプション取り付け例

Step 1　ネットワークケーブルを接続する

LANボード／LANアダプターは、ネットワークに接続するインターフェースとして10BASE-Tおよび100BASE-TXの2種類に対応しています。ネットワークケーブルは添付されていないため、次の表に従って適切なケーブルを別途お求めの上、LANボード／LANアダプターに接続してください。接続手順は以下をご覧ください。

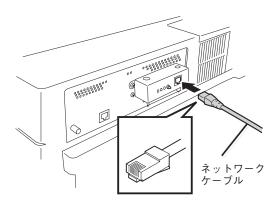
ケーブルタイプ	コネクターの形状	型番
Ethernet（10BASE-T） Fast Ethernet（100BASE-TX）		PK-CA117 PK-CA118

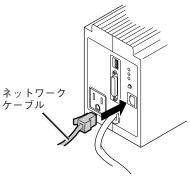
重要

- ケーブルを接続する前に、他のネットワーク利用者が印刷やファイルの転送を行っていないことを確認してください。
- プリンター、LANアダプターの電源を必ずOFFにしてからケーブルの接続を行ってください。ONのまま接続するとプリンターの誤動作の原因となります。

❶ ケーブルのコネクターを接続する。

ネットワークケーブル接続後の確認については、LANボード／LANアダプターの取扱説明書をご覧ください。

<LANボードをご使用の場合>
プリンターの電源をOFFにし、ケーブルのコネクターをLANボードのコネクターに差し込みます。

LANボード

<LANアダプターをご使用の場合>
LANアダプターの電源コードを壁付きACコンセントから抜き、ネットワークケーブルのコネクターをLANアダプターのEthernet用コネクターに差し込みます。

LANアダプター

Ethernet用コネクター

❷ **電源を入れる。**

<LANボードをご使用の場合>

プリンターの電源をONにします。

<LANアダプターをご使用の場合>

LANアダプターの電源コードのプラグを壁付きACコンセントに差し込み、プリンターの電源をONにします。

ネットワークケーブルの接続ができたら、次ページの「Step2　IPアドレスとサブネットマスクを設定する」に進んでください。

Step 2　IPアドレスとサブネットマスクを設定する

MultiWriter 4550をネットワーク環境で利用するために、プリンターにIPアドレスとサブネットマスクを設定する必要があります。設定方法には主に以下の4通りがあります。

- プリンターの操作パネルを使って設定する（操作パネルについては4章参照）
- EASY設定ユーティリティ（プリンターに添付のCD-ROMに収録）を使って設定する
- PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ（プリンターに添付のCD-ROMに収録）を使って設定する
- 無線LANプリンタ導入ウィザード（プリンターに添付のCD-ROMに収録）を使って設定する（無線LANボードのみ対応）

接続されているLANオプションごとに適切な設定方法で説明します。以下のページを参照してください。

- LANボード（標準） 37ページ
- LANアダプター 41ページ
- 無線LANボード 44ページ

LANボード（標準）の場合

ここでは、プリンターの操作パネルを使った設定方法を説明します。その他の設定方法は添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されている活用マニュアルの「3章 ネットワークでの設定」をご覧ください。
設定するIPアドレス、サブネットマスクなどの値は、ご使用になるネットワークの管理者におたずねください。

DHCPサーバーをお使いの場合は、「DHCPを有効にする」（40ページ）をご覧になり、手順に従ってください。

IPアドレスとサブネットマスクの設定を変更する

❶ **操作パネルの［印刷可］スイッチを押す。**

印刷可ランプが消灯します。

❷ **データランプが点灯していないことを確認する。**

点灯している場合は［シフト］スイッチを押しながら［排出］スイッチを押して、プリンター内部に残っている印刷データを印刷してください。

□ データ

❸ **［メニュー］スイッチを押す。**

プリンターはメニューモードに入り、ディスプレイに“テストメニュー　　→”と表示されます。

❹ **ディスプレイに“Ｉ／Ｆセッテイメニュー”と表示されるまで［∨］スイッチを数回押す。**

メニューの内容については「メニューツリー（113～115ページ）を参照してください。

❺ [>]スイッチを1回押す。

I/Fセッテイメニュー
←インタフェース1　セッテイ →

❻ [∨]スイッチを1回押す。

ディスプレイ下段に"←インタフェース２　セッテイ　→"と表示されます。

I/Fセッテイメニュー
←インタフェース2　セッテイ →

❼ [>]スイッチを1回押す。

ディスプレイに"ＩＰアドレス"と表示されます。

ＩＰアト゛レス
０１１．０２２．０３３．０４４＊

❽ IPアドレスを設定する。

[設定変更]スイッチで設定を変更します。1回押すごとに以下のように数字が変わります。

0→1→2→3→4→5→6→7→8→9

カーソルを移動させるには、[>]スイッチを押します。カーソルは右方向しか動きません。入力し間違えたら、[<]スイッチで手順❼に戻って入力し直してください。

❾ [∨]スイッチを押す。

ディスプレイに"サブネットマスク"と表示されます。

サフ゛ネットマスク
２５５．０００．０００．０００＊

❿ サブネットマスクを設定する。

[設定変更]スイッチで設定を変更します。1回押すごとに以下のように数字が変わります。

0→1→2→3→4→5→6→7→8→9

カーソルを移動させるには、[>]スイッチを押します。カーソルは右方向しか動きません。入力し間違えたら、[<]スイッチを押し、手順❼に戻って入力し直してください。

> ゲートウェイアドレスの設定を行う場合は、上記の「IPアドレスとサブネットマスクを設定する」と同様の手順で操作パネルからゲートウェイアドレスを設定することができます。「メニューツリー」（113ページ）を参照して設定してください。

⓫ [メニュー終了]スイッチを押して、メニューモードを終了させる。

これで設定完了です。プリンターはセレクト状態になり、印刷可ランプが点灯し、ディスプレイは通常表示になります。

メニュー終了

⓬ コンフィグレーションページを印刷する。

手順については「Step 3　コンフィグレーションページを印刷する」（49ページ）を参照してください。

⓭ コンフィグレーションページの印刷例（次ページ）を参照して、正しく設定されているか設定内容を確認する。

これでネットワークへの接続は完了です。

次に、「2章　プリンターソフトウエアのインストール」（51ページ）に進み、プリンターソフトウエアをインストールしてください。

工場出荷時の印刷例

```
NEC Network Interface Configuration Page

<Network Information>

     F/W Version              :   02. 04 00001.0000000000
*1   ID Number                :   NFE-290000
     Printer Name             :   NFE-290000
*1   MAC Address              :   00:00:4C:29:00:00
     H/W Description          :   NEC NetworkPrinter700084
     10Base/100Base           :   " Auto （？） "
     Half/Full Duplex         :   " Auto （？） "
     Printing Log             :   " Off"

<Self-Diagnosis>

     Link Test                :   " No connection"
     Network Status           :   " OK"

<TCP/IP>

*2   IP Address               :    11. 22. 33. 44
*2   Subnet Mask              :   255.  0.  0.  0
     Gateway Address          :     0.  0.  0.  0
     Auto IP Address          :   " On"
     Max. Number of Session   :   64
     Session Timeout [sec]    :   120
     Keep Alive               :   " On"
     FTP Timeout [min]        :   10
     DHCP                     :   " Off"
     e-Mail Service           :   " Off"
     Current Active Session   :   0
```

IPアドレス、サブネットマスク設定変更後の印刷例

```
NEC Network Interface Configuration Page

<Network Information>

     F/W Version              :   02. 04 00001.0000000000
*1   ID Number                :   NFE-290000
     Printer Name             :   NFE-290000
*1   MAC Address              :   00:00:4C:29:00:00
     H/W Description          :   NEC NetworkPrinter700084
     10Base/100Base           :   " Auto（10Base） "
     Half/Full Duplex         :   " Auto（Half Duplex） "
     Printing Log             :   " Off"

<Self-Diagnosis>

     Link Test                :   " OK"
     Network Status           :   " OK"

<TCP/IP>

*3   IP Address               :   123.123.123. 123
*3   Subnet Mask              :   255.255.255.  0
     Gateway Address          :     0.  0.  0.  0
     Auto IP Address          :   " On"
     Max. Number of Session   :   64
     Session Timeout [sec]    :   120
     Keep Alive               :   " On"
     FTP Timeout [min]        :   10
     DHCP                     :   " Off"
     e-Mail Service           :   " Off"
     Current Active Session   :   0
```

*1　ID NumberおよびMAC AddressはLANボード個々の情報を示します。

*2　IPアドレス、サブネットマスクの工場出荷値です。

*3　IPアドレス、サブネットマスクの変更された例です。

DHCPを有効にする

DHCPサーバーをお使いの場合は、以下の手順でDHCPを有効にしてください。設定はプリンターの操作パネルでメニューモードに入って行います。メニューモードについては4章の「メニューモード」(108ページ)を参照してください。

❶ [印刷可]スイッチを押す。

印刷可ランプが消灯します。

❷ データランプが点灯していないことを確認する。

点灯している場合は[シフト]スイッチを押しながら[排出]スイッチを押して、プリンター内部に残っている印刷データを印刷してください。

データ

❸ [メニュー]スイッチを押す。

プリンターはメニューモードに入り、ディスプレイに“テストメニュー　　→”と表示されます。

テストメニュー →

❹ ディスプレイに“I/Fセッテイメニュー”と表示されるまで[∨]スイッチを数回押す。

メニューの内容については「メニューツリー」(113ページ～115ページ)を参照してください。

I/Fセッテイメニュー →

❺ [>]スイッチを1回押す。

I/Fセッテイメニュー
←インタフェース1　セッテイ →

❻ [∨]スイッチを1回押す。

ディスプレイ下段に“←インタフェース２　セッテイ　→”と表示されます。

I/Fセッテイメニュー
←インタフェース2　セッテイ →

❼ [>]スイッチを1回、[∨]スイッチを数回押す。

ディスプレイ上段に“DHCP”と表示されます。

DHCP
←　OFF*

❽ [設定変更]スイッチを押す。

“ON”に設定されます。

❾ [メニュー終了]スイッチを押して、メニューモードを終了させる。

これで設定完了です。プリンターはセレクト状態になり、印刷可ランプが点灯し、ディスプレイは通常表示になります。

DHCPが有効になりました。

IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスはDHCPサーバーから取得した値が表示されます。また、表示されるまでは多少時間がかかる場合があります。

LANアダプターの場合

LANアダプターでネットワークに接続するために、プリンターにIPアドレスとサブネットマスクを設定します。お使いになるLANアダプターの種類によって設定方法が異なります。

＜LANアダプタ(型番 PR-NP-02T2、型番 PR-NP-03TR2)をお使いの場合＞

- プリンターの操作パネルで設定できます。
- PrintAgentプリンタ管理ユーティリティで設定できます。(活用マニュアル参照)

＜マルチプロトコルLANアダプタ(型番 PR-NPX-05)をお使いの場合＞

LANアダプターに添付のマニュアルを参照してください。

ここでは、プリンターの操作パネルでの設定方法を説明します。その他の設定方法については、添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されている活用マニュアル「3章　ネットワークでの設定」をご覧ください。

プリンターの操作パネルによる設定では、あらかじめ、メニューモードでI/F設定の「双方向設定」を「ECP」に設定しておく必要があります。

設定するIPアドレス、サブネットマスクの値は、ご使用になるネットワークの管理者におたずねください。

I/F設定をECPに変更する

❶ 操作パネルの[印刷可]スイッチを押す。

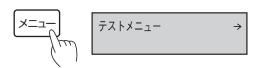
印刷可ランプが消灯します。

❷ データランプが点灯していないことを確認する。

点灯している場合は[シフト]スイッチを押しながら[排出]スイッチを押して、プリンター内部に残っている印刷データを印刷してください。

データ

❸ [メニュー]スイッチを押す。

プリンターはメニューモードに入り、ディスプレイに"テストメニュー　　→"と表示されます。

❹ ディスプレイに"I／Fセッテイメニュー"と表示されるまで[∨]スイッチを数回押す。

メニューの内容については「メニューツリー」(113ページ〜115ページ)を参照してください。

❺ **[>]スイッチを2回押して、ディスプレイ下段に“←　ニブル＊”を表示させる。**

❻ **[設定変更]スイッチを1回押して、ディスプレイ下段に“←　ECP＊”を表示させる。**

設定変更

ソウホウコウ　セッテイ
←　ECP*

❼ **[メニュー終了]スイッチを押す。**

メニューモードを終了します。

メニュー終了

❽ **プリンターの電源をOFFにする。**

[ソウホウコウ　セッテイ]の設定の変更を有効にするために、プリンターの電源をいったんOFFにする必要があります。

❾ **プリンターの電源をONにする。**

プリンターの電源を再投入することによって、設定が有効になります。

次に、「IPアドレスとサブネットマスクの設定を変更する」に進んでください。

IPアドレスとサブネットマスクの設定を変更する

❶ **[印刷可]スイッチを押す。**

印刷可ランプが消灯します。

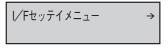
❷ **データランプが点灯していないことを確認する。**

点灯している場合は[シフト]スイッチを押しながら[排出]スイッチを押して、プリンター内部に残っている印刷データを印刷してください。

データ

❸ **[メニュー]スイッチを押す。**

プリンターはメニューモードに入り、ディスプレイに“テストメニュー　→”と表示されます。

❹ **ディスプレイに“Ｉ／Ｆセッテイメニュー”と表示されるまで[∨]スイッチを数回押す。**

❺ **[>]スイッチを2回押し、ディスプレイ下段に“←　ＥＣＰ＊”を表示させる。**

```
ソウホウコウ　セッテイ
←                ECP*
```

❻ **[V]スイッチを1回押し、ディスプレイに“ＩＰアドレス”を表示させる。**

```
IPアト゛レス
011.022.033.044*
```

❼ **IPアドレスを設定する。**

[設定変更]スイッチで設定を変更します。1回押すごとに以下のように数字が変わります。

0→1→2→3→4→5→6→7→8→9

カーソルを移動させるには、[>]スイッチを押します。カーソルは右方向しか動きません。入力し間違えたら、[<]スイッチで手順❻に戻って入力し直してください。

❽ **[V]スイッチを押す。**

ディスプレイに“サブネットマスク”と表示されます。

```
サフ゛ネットマスク
011.022.033.044*
```

❾ **サブネットマスクを設定する。**

[設定変更]スイッチで設定を変更します。1回押すごとに以下のように数字が変わります。

0→1→2→3→4→5→6→7→8→9

カーソルを移動させるには、[>]スイッチを押します。カーソルは右方向しか動きません。入力し間違えたら、[<]スイッチを押し、手順❻に戻って入力し直してください。

❿ **[メニュー終了]スイッチを押して、メニューモードを終了させる。**

これで設定完了です。プリンターはセレクト状態になり、印刷可ランプが点灯し、ディスプレイは通常表示になります。

メニュー終了

⓫ **コンフィグレーションページを印刷する。**

LANアダプターに添付の取扱説明書をご覧になり、コンフィグレーションページ印刷をしてください。

⓬ **コンフィグレーションページの印刷例（39ページ）を参照して、正しく設定されているか設定内容を確認する。**

これでネットワークへの接続は完了です。

次に、「2章　プリンターソフトウエアのインストール」（51ページ）に進み、プリンターソフトウエアをインストールしてください。

無線LANボードの場合

無線LANプリンターボード(型番 PR-WL-11)でネットワークに接続するために、プリンターにIPアドレスとサブネットマスクなどを設定します。設定方法には、以下の2通りがあります。

- 無線LANプリンタ導入ウィザード(プリンターに添付のCD-ROMに収録)を使って設定する(無線LANボードのみ対応)
- EASY設定ユーティリティ(プリンターに添付のCD-ROMに収録)を使って設定する

チェック

- EASY設定ユーティリティや無線LANプリンタ導入ウィザードをお使いになれない環境の場合は、プリンターの操作パネルを使って設定します。設定手順はLANアダプターの場合と同じです。本章の「LANアダプターの場合」(41ページ)をご覧ください。
- 無線LANボードの詳細については無線LANボードに添付の取扱説明書をご覧ください。
- 設定するIPアドレス、サブネットマスクなどの値は、ご使用になるネットワークの管理者におたずねください。

無線LANプリンタ導入ウィザードを使って設定する

本プリンターに添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているユーティリティー「無線LANプリンタ導入ウィザード」を使って、無線LANボードを装着したプリンターと無線LANカード、アクセスポイントの設定を画面の指示に従って設定していきます。
このユーティリティーは、Windows XP/2000/NT 4.0/Me/98/95/で使用できます。詳細については、添付のプリンターソフトウエアCD-ROMの[WIRELESS]フォルダー内に収録されている[README.TXT]をご覧ください。以下に、起動方法までを説明します。

重要

- Windows XPでご使用になる場合は、アカウントの種類を[コンピュータの管理者]でログオンしてください。
- Windows 2000またはWindows NT 4.0でご使用になる場合は、Administratorsの権限を持ったユーザーでOSにログオンしてください。権限を持たないユーザーでログオンした場合には設定できません。
- プリンターにIPアドレスを設定する場合は、プリンターにIPアドレスを設定するために使うコンピューターとプリンターがIPルータなどを介さない(同一ネットワーク内)で接続された環境で行ってください。
- 無線LANプリンタ導入ウィザードの場合、コンピューターのディスプレイは800×600ピクセル以上の解像度、High Color(16ビット色)以上の設定を推奨します。
- 暗号キーに変更する場合は無線LANボードを先に変更し、その後にアクセスポイントやコンピューターの設定を変更してください。
- 「ネットワークタイプ」、「ネットワーク名」、「暗号キー」を間違って設定した場合は、いったん工場出荷状態に戻し再度設定を行ってください。工場出荷状態へ戻す手順は、添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されている活用マニュアルの「3章　ネットワークでの設定」をご覧ください。

チェック

ご使用の前に、起動しているすべてのアプリケーションを終了してください。

無線LANボードは初期設定がPeer to Peerのネットワーク名“NECPRWRGRP”になっているので、無線LANが入ったPCで無線LANの設定とPeer to Peerネットワーク名を“NECPRWRGRP”にしておかないと無線LANボードの設定(IPアドレス以外)は変更できません。

❶ お使いのOS(日本語版)を起動する。

❷ プリンターソフトウエアCD-ROMをセットし、メニュープログラムを立ち上げる。

> お使いのコンピューターによっては、自動的にメニュープログラムが立ち上がらない場合があります。その場合はCD-ROMのルートディレクトリーにある「MWSETUP.exe」を実行してください。

❸ 画面左側の[ユーティリティ]をクリックする。

❹ [無線LANプリンタ導入ウィザード]を選択し、[フォルダを開く]をクリックする。

プリンターソフトウエアCD-ROM内の[WIRELESS]フォルダーが開きます。

❺ [SetupWiz.EXE]アイコンをダブルクリックする。

[無線LANプリンタ導入ウィザード]ウィンドウが表示されます。

❻ [次へ]をクリックする。

[設定方法の選択]が表示されます。

> **設定方法の選択**
>
> - 初期設定
>
>   プリンターが出荷時の状態、または無線LANボードの設定を初期化してから再度設定したい場合には、こちらを選択してください。
>
> - 設定変更
>
>   パソコン・プリンター間の通信が可能な状態から、無線LANボードの設定を変更したい場合には、こちらを選択してください。
>
> - 通信確認
>
>   設定後の通信確認のために、現在のコンピューターの設定で通信可能なプリンターを表示確認する場合には、こちらを選択してください。

以降の設定に関しては、無線LANプリンタ導入ウィザードの説明欄に詳細な説明を記載しています。説明文をよくお読みになって設定を行ってください。

EASY設定ユーティリティを使って設定する

ここでは、添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているユーティリティー「EASY設定ユーティリティ」を使った設定方法を説明します。その他の設定方法は添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されている活用マニュアルの「3章 ネットワークでの設定」をご覧ください。
詳細については、添付のプリンターソフトウエアCD-ROMの[EASY]フォルダー内に収録されている「README.TXT」をご覧ください。

重要

- Windows XP/2000またはWindows NT 4.0でご使用になる場合は、[コンピュータの管理者]または、Administratorsの権限を持ったユーザーでOSにログオンしてください。権限を持たないユーザーでログオンした場合には設定できません。
- プリンターにIPアドレスを設定する場合は、プリンターにIPアドレスを設定するために使うコンピューターとプリンターがIPルーターなどを介さない(同じサブネットマスク内)で接続された環境で行ってください。

❶ **お使いのOS(日本語版)を起動する。**

❷ **プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。**

[プリンタソフトウエアCD-ROMメニュー]ダイアログボックスが表示されます。

お使いのコンピューターによっては、自動的にメニュープログラムが立ち上がらない場合があります。その場合は、CD-ROMのルートディレクトリーにある「MWSETUP.exe」を実行してください。

❸ **[ユーティリティ]をクリックする。**

❹ **[EASY設定ユーティリティ]を選択し、[フォルダを開く]をクリックする。**

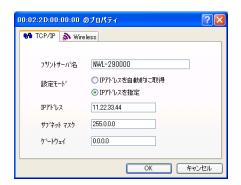
プリンターソフトウエアCD-ROM内の[EASY]フォルダーが開きます。

❺ **[NICSET.EXE]アイコンをダブルクリックする。**

❻ **一覧からプリンターのMACアドレスを選択し、［プロパティ］ボタンをクリックする。**

一覧にプリンターが表示されない場合は、［リフレッシュ］ボタンをクリックし、再検索を行ってください。

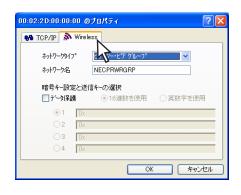
❼ **プリントサーバー名を確認する。**

ネットワーク上から見たプリンターの名前が［プリントサーバ名］ボックスに表示されます。プリントサーバー名の変更もできます。

❽ **［設定モード］で［IPアドレスを指定］を選択する。**

❾ **IPアドレス、サブネットマスクを入力する。**

❿ **ゲートウェイアドレスを設定する。**

ゲートウェイ（ルーター）を使用しないネットワーク環境では、設定の必要はありません。

⓫ **［Wireless］タブをクリックする。**

⓬ **［ネットワークタイプ］で接続する無線LAN環境を選択する。**

⓭ **ネットワーク名を入力する。**

接続したいアクセスポイントやネットワークに付けられているネットワーク名と同じ名前を設定します。

⓮ **必要に応じて、［データ保護］をチェックする。**

チェックを付けると、WEP（Wired Equivalent Privacy）データ暗号化方式により、無線LANで転送されるデータを暗号化します。

⓯ **必要に応じて、［暗号キー］を入力する。**

暗号キーは、アクセスポイントやコンピューターが、無線LANプリンターにデータを送信する時に使用する暗号キーと同じものを設定します。暗号キーは5文字（16進数で10桁）または13文字（16進数で26桁）のどちらかの文字数のみで設定することができます。
また、暗号キーは次のように使用します。

- 無線LANプリンターが受信する無線メッセージを復号します。
- 無線LANプリンターが送信する無線メッセージを暗号化します。

重要

- 暗号キーを変更する場合は無線LANボードを先に変更し、その後にアクセスポイントやコンピューターの設定を変更してください。
- 「ネットワークタイプ」、「ネットワーク名」、「暗号キー」を間違って設定した場合は、いったん工場出荷状態に戻してから再度設定を行ってください。

使用できる文字について

- ［英数字を使用する］を選択したときは、半角英数字と文字記号（「＊」アスタリスクを除く）が使えます。
- ［16進数を使用する］を選択したときは、”0～9”、”A～F”が使えます。

⓰ **［OK］をクリックして、EASY設定ユーティリティを終了する。**

以上で設定は完了です。

次に、「2章　プリンターソフトウエアのインストール」（51ページ）に進み、プリンターソフトウエアをインストールしてください。

Step 3　コンフィグレーションページを印刷する

コンフィグレーションページとは、LANボード／LANアダプターのIPアドレスやサブネットマスク、MACアドレス等のネットワークの設定情報が一覧できるLANステータス印刷のことです。ネットワークケーブルを接続したとき、またはネットワークに関する変更を行った前後などにコンフィグレーションページを印刷して設定内容の確認を行ってください。

オプションのLANボード/無線LANボードおよびLANアダプターに添付のマニュアルをご覧になりコンフィグレーションページを印刷してください。

❶ プリンターの電源スイッチをONにする。

電源ON後、プリンターが印刷可能な状態(印刷可ランプ点灯)になったことを確認します。

コンフィグレーションページを印刷する前に用紙がプリンターにセットされていることを確認してください。用紙がセットされていない場合は「3章　用紙のセット」(79ページ)を参照してセットしてください。

❷ プリンターの操作パネルの[印刷可]スイッチを押す。

印刷可ランプが消灯します。

❸ [メニュー]スイッチを押す。

ディスプレイには“テストメニュー　→”と表示されます。

テストメニュー　→

❹ [>]スイッチを1回、[∧]スイッチを2回押す。

ディスプレイ下段には“←LANステータス　ジッコウ→”と表示されます。

テストメニュー　→
←LANステータス　ジ゛ッコウ→

❺ [>]スイッチを押す。

データランプが点灯し、LANボードの設定情報の印刷を開始します。

インサツチュウ

❻ コンフィグレーションページを参照してLANボードの設定内容を確認する。

39ページのコンフィグレーションページの印刷例を参考にしてください。

印刷例は工場出荷時におけるLANボードの設定情報と、IPアドレスとサブネットマスクの設定変更後の印刷例です。

ネットワークへのセットアップ後やプリンターの設定を変更した後は必ずコンフィグレーションページを印刷して大切に保管しておいてください。

以上で設定は完了です。

2章
プリンターソフトウエアのインストール

この章では、Windows XP*1/2000/NT 4.0/Me/98*2/95 日本語版環境にプリンターソフトウエア*3をインストールし、プリンターを指定するまでの手順について説明します。また、その他の環境で使用する際の設定も説明します。

*1　以下、本書でWindows XPと表記している場合は、Windows XP Home EditionとProfessionalを含みます。

*2　以下、本書でWindows 98と表記している場合は、Windows 98 Second Editionを含みます。

*3　プリンターソフトウエアは、次の2つのソフトウエアから構成されます。

① プリンタードライバー：Windows環境でプリンターへの印刷制御を行うソフトウエア

② PrintAgent：印刷統合管理ソフト「PrintAgent（プリントエージェント）」は、ネットワークプリンターで印刷する方のために豊富なサービスを提供するソフトウエアです。

重要

- MultiWriterのプリンターソフトウエアを正しくインストールするためには、インストールする前に「PrintAgentを正しく動作させるために」（162ページ）をお読みください。
- インストールプログラムを実行する前に、起動中のアプリケーションをすべて終了させてください。

フロッピーディスクでインストールする場合

本書ではCD-ROMを使った手順で説明しています。プリンターソフトウエアCD-ROMから作成したプリンターソフトウエアディスクを使用してインストールをする場合、インストールの途中でフロッピーディスクの交換を求める画面が表示されることがあります。その場合は画面の指示に従ってフロッピーディスクの入れ替えを行ってください。

プリンターソフトウエアCD-ROMについて

MultiWriter 4550に添付のプリンターソフトウエアCD-ROMは、Windows XP/2000/NT 4.0/Me/98/95のコンピューター環境に対応した、ソフトウエアを提供しています。

このCD-ROMは、ISO9660フォーマットに従って作成されています。MacintoshでこのCD-ROMを見るためには、ISO9660機能拡張ファイルが必要です。詳しくはMacintosh本体またはOSのマニュアルをご覧ください。

CD-ROMの構成は以下のとおりです。

□ メニュープログラム

- はじめに
  プリンターソフトウエアCD-ROMについて注意事項などが書かれています。ご使用になる前にお読みください。
- インストール
  Windows XP/2000/NT 4.0/Me/98/95に対応したプリンターソフトウエアをインストールできます。
- オンラインマニュアル
  「MultiWriter 4550 活用マニュアル」の閲覧用(HTML形式)と、印刷用(PDF形式)の2つが収録されています。オンラインマニュアルを閲覧するためにはブラウザー、印刷するためには「Adobe Acrobat Reader」が必要です。詳細については「マニュアルの種類と使い方」(viiiページ)またはメニュープログラム内のユーティリティーをご覧ください。
- ユーティリティー
  - iPrinting.DeliveryService*
  - ドキュメント・ハンドリング・ソフトウエア「DocuWorks Ver.4.1 (体験版)」
  - NEC Internet Printing System(Windows NT 4.0対応版およびWindows 98/95対応版)
  - NEC TrueTypeバーコードフォントキット
    NEC TrueTypeバーコードフォントとNEC TrueTypeバーコードフォントユーティリティです。
  - NEC FontAvenue TrueTypeフォント3書体
  - 帳票エディタ「帳楽」お試し版
  - EASY設定ユーティリティ
  - 無線LANプリンタ導入ウィザード
  - 印刷ログユーティリティ
  - MultiWriterドライバ配信
  - Adobe Acrobat Reader
- バージョンアップ
  CD-ROMに収録されている最新のプリンタードライバーにアップデートできます。詳細や手順についてはご利用になる前に、「ご利用の前に」(Update.txt)または活用マニュアルの4章「より進んだ使い方」をご覧ください。

その他に、Windows XP/2000/NT 4.0/Me/98/95に対応したMultiWriterシリーズのプリンターソフトウエアを収録しています。詳しくは、それぞれのソフトウエアに関連するフォルダー内にある、「はじめにお読みください」(Readme.txt)をご覧ください。

* 詳しくは、CD-ROMの[¥PRINTDS¥MANUAL]フォルダーのオンラインマニュアル(HTML形式)を参照してください。

プリンターソフトウエアの動作環境

MultiWriter 4550に添付のプリンターソフトウエアの動作環境は以下のとおりです。

接続方法	動作コンピューター*1	対応OS	メモリー
ネットワークインターフェース パラレルインターフェース	PC98-NXシリーズを含むIBM PC/AT互換機（DOS/V対応機）	Windows XP*2（日本語版） Windows 2000（日本語版） Windows NT 4.0（日本語版） Windows Me（日本語版） Windows 98（日本語版） Windows 98 Second Edition（日本語版） Windows 95（日本語版）	OSの動作条件に準じます。
	PC-9800シリーズ		

*1　OSによって動作するコンピューター条件が異なります。詳しい動作条件は各OSのマニュアルを参照してください。
*2　Windows XP 64-Bit Editionには対応していません。

メモリーについては、PrintAgentをクライアントーサーバーシステムでご使用の場合、プリントサーバーには64Mバイト以上(Windows XP/2000の場合は256Mバイト以上)のメモリーを搭載し運用されることを推奨します。

PrintAgentが利用できるネットワーク環境について

PrintAgentはネットワーク環境で、プリンターを次の形態でご使用の場合にご利用できます。

- 標準装備のLANボード、およびオプションのLANボードまたはLANアダプターでプリンターがネットワークに接続されている。（対応している型番については9章の「オプション」をご覧ください。）
- 無線LAN環境ではオプションの無線LANプリンターボード(型番 PR-WL-11)で接続されている。
- 共有プリンターの場合(クライアント・サーバー接続)、プリントサーバーコンピューターのOSがWindows XP/2000/NT 4.0/Me/98/95/で、プリントサーバーコンピューターに本プリンターソフトウエアがインストールされている。
- お使いのコンピューターに、ネットワークに接続するためのネットワークボード／カード／アダプターなどを接続し、ネットワークの設定にTCP/IPプロトコルがインストールされている。詳しくはOSのマニュアルをご覧ください。

重要

ネットワーク環境でネットワーク共有プリンターをお使いになるためには、あらかじめOSの共有設定を有効にしておく必要があります。詳しくはOSのマニュアルをご覧ください。

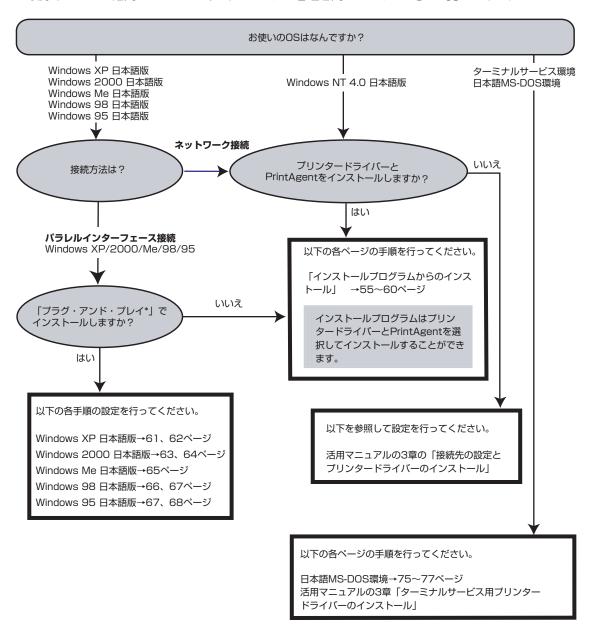
プリンターソフトウエアの容量

プリンターソフトウエアをインストールするのに必要なハードディスク容量は次のとおりです。インストールする前に以下の表で確認してください。

インストール方法	Windows XP/2000 日本語版	Windows NT 4.0 日本語版	Windows Me/98/95 日本語版
PrintAgentを含む標準設定	約9.8MB	約10.6MB	約9.5MB
PrintAgentを含む一般ユーザー向け（最大）	最大 約12.8MB	最大 約13.6MB	最大 約12.5MB
PrintAgentを含む管理者向け	最大 約14.8MB	最大 約15.6MB	最大 約14.5MB
プリンタードライバーのみ	約3.3MB	約4.1MB	約3.0MB

インストール方法の選択

プリンターソフトウエアをコンピューターにインストールする前に、お使いになるコンピューターの条件に従ってインストール方法を選択します。以下のフローチャートの矢印に進み、それぞれのページへ進んでください。

なお、プリンターを管理したり、LANボードまたはLANアダプターの設定を行う場合は、「管理者インストール」をする必要があります。インストール手順については、添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されている活用マニュアル2章の「プリンター管理者用インストール」をご覧ください。

＊「プラグ・アンド・プレイ」機能とは、Windows XP/2000/Me/98/95がインストールされているコンピューターで新しい周辺機器などを接続すると、コンピューターの起動時や接続時にその周辺機器を検出し、自動的にインストールが実行される機能です。

「インストールプログラム」からのインストール

Windows XP/2000/NT 4.0/Me/98/95で動作しているコンピューターでMultiWriterをご利用になる場合、プリンターソフトウエアCD-ROMのインストールプログラムを使ってプリンターソフトウエア(プリンタードライバーおよびPrintAgent)をインストールします。

プリンターソフトウエアCD-ROMはドライブに挿入するだけで自動的にメニュープログラムが起動します。

LANボードまたはLANアダプターで接続されたプリンターに印刷を行う場合は、以下の手順でインストールを行い、手順❼で、[NEC TCP/IP Port]を選択します。

ここではWindows XP 日本語版を例にとり、プリンターソフトウエア(プリンタードライバーおよびPrintAgent)のインストール手順を説明します。

Windows XPにインストールするユーザーは、アカウントの種類が[コンピュータの管理者]である必要があります。また、Windows 2000またはWindows NT 4.0にインストールするには、[Administrators]または[Domain Admins]グループのメンバーである必要があります。

❶ **Windows XP 日本語版を起動する。**

❷ **プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。**

[プリンタソフトウェアCD-ROMメニュー]が起動します。

お使いのコンピューターによっては、自動的にメニュープログラムが立ち上がらない場合があります。その場合はCD-ROMのルートディレクトリーにある「MWSETUP.exe」を実行してください。

❸ **[インストール]をクリックする。**

❹ **右側のボックスから[MultiWriter 4550]を選んで[インストール開始]をクリックする。**

お使いのOSにインストール可能なプリンター名が表示されます。

❺ [次へ]をクリックする。

はじめに、プリンタードライバーをインストールする設定を行います。

❻ [プリンタドライバをインストールする]を選び、[次へ]をクリックする。

[プリンタドライバをインストールしない]を選んだ場合は、手順❾へ進んでください。

MOPYING設定ウィンドウを表示させるには、ここで[印刷開始時にMOPYING設定ウィンドウを表示する]をチェックしてください。

MOPYING設定ウィンドウの詳細については添付のプリンターソフトウエアCD-ROMの「¥MW4550¥Disk1¥Drivers.txt」を参照してください。

❼ プリンターの接続先を選ぶ。

ネットワーク接続されていない場合はこのダイアログボックスは表示されません。次の「[ローカルポート]を選んだ場合」へ進んでください。

- [ローカルポート]は、コンピューターがプリンターとプリンターケーブルで接続されているときに選びます。
- [ネットワーク共有プリンタ]は、MultiWriterがプリントサーバー上に共有されているときに選びます。
- [NEC TCP/IP Port]は、プリンターがLANボード(標準装備含む)またはLANアダプターを装備しており、ネットワーク上に接続されているときに選びます。

<[ローカルポート]を選んだ場合>

希望するポートを選び[次へ]をクリックする。
手順❽へ進んでください。

<[ネットワーク共有プリンタ]を選んだ場合>

プリンターの接続先を指定し、[次へ]をクリックする。

プリンターの接続先を[ネットワークパス名]に直接入力するか、[参照]をクリックして表示される一覧から指定します。
手順❾へ進んでください。

<[NEC TCP/IP Port]を選んだ場合>

LANボード、またはLANアダプターのIPアドレス、またはホスト名を設定し、[次へ]をクリックする。

IPアドレスを設定する場合

[検索]をクリックします。検索結果ダイアログボックスで使用するプリンターを選択し、[OK]をクリックすると簡単にIPアドレスが設定できます。

❽ **[次へ]をクリックする。**

ネットワークに接続され、Windows XP/2000またはWindows NT 4.0をご利用の場合は、次のダイアログボックスが表示されます。
このダイアログボックスが表示されない場合は、次の手順❾へ進んでください。

すでに代替ドライバーがインストールされている場合はリストに表示されません。

続いて、PrintAgentのインストールを行います。

❾ **[PrintAgentをインストールする]を選び、[次へ]をクリックする。**

[PrintAgentをインストールしない]を選んだときは、手順⓬へ進んでください。

⑩ **使用目的に応じて[標準インストール]または[一般ユーザ向けカスタムインストール]のインストール方法を選び、[次へ]をクリックする。**

[一般ユーザ向けカスタムインストール]を選ぶと、標準的なソフトウエアの項目が表示されます。インストールする項目にチェックを付けて[次へ]をクリックしてください。[全追加]をクリックするとすべてチェックが付きます。[全削除]をクリックするとすべてチェックが外れます。

⑪ **PrintAgentのインストール先とスプールファイルの作成先を指定する。フォルダーを確認して[次へ]をクリックする。**

すでに他の機種のPrintAgentがインストールされているときはこのダイアログボックスは表示されません。手順⑫へ進んでください。

次のメッセージが出たときはインストール先のディスク空き容量が少なくなっています。フォルダーを変更する、または不要なファイルを削除してください。

⑫ **設定した内容を確認し、[完了]をクリックする。**

⑬ **[OK]をクリックする。**

⓮ **インストールが終了したら[OK]をクリックする。**

再起動を促すダイアログボックスが表示された場合は、画面の指示に従ってコンピューターを再起動してください。

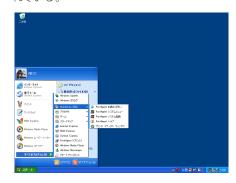
⓯ **プリンターソフトウエアが正常にインストールされていることを確認する。**

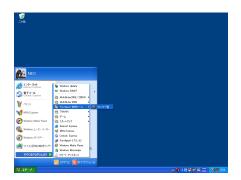
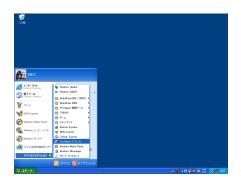
カスタムインストールでインストールを行った場合、選択されたオプションによっては登録されているアイコンが異なります。

□ [プリンタとFAX]フォルダー内*に、[NEC MultiWriter 4550]アイコンが登録されている。

＊ Windosw XP以外は、[プリンタ]フォルダーになります。

□ タスクバーのトレイに、[PrintAgentシステム]アイコンが登録されている。

□ スタートメニューの[すべてのプログラム]に[MultiWriter 4550]というフォルダーが追加され、その下にPrintAgent関連のアイコンが登録されている。

Windows XP以外の場合は、スタートメニューの[プログラム]から確認することができます。

□ スタートメニューの[すべてのプログラム]に[PrintAgent管理ツール]というフォルダーが追加され、[プリンタ一覧]が登録されている。
（カスタムインストールでプリンタ一覧を選択した場合）

□ スタートメニューの[すべてのプログラム]の下に[PrintAgent リプリント2]が登録されている。

Windows XPをご使用の場合、プリンタソフトウエアをインストール後にプリンターを接続すると「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されることがあります。この場合は、以下の手順でウィザードを終了してください。

1. [次へ]をクリックする。

2. [ハードウェアのインストール]で、[インストールの停止]をクリックする。

3. [完了]をクリックする。

「プラグ・アンド・プレイ」によるインストール

ここでは、Windows 日本語版において、「プラグ・アンド・プレイ」機能を使ってプリンターソフトウエアをインストールする手順について説明します。

Windows XP 日本語版

ここでは、Windows XP 日本語版にプリンターソフトウエアをインストールする手順を説明します。

❶ **プリンターケーブルを接続する。**

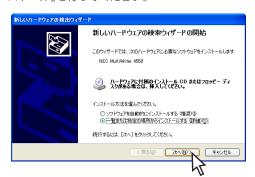
❷ **MultiWriter 4550の電源をONにする。**

❸ **コンピューターの電源をONにする。**

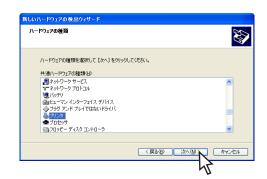
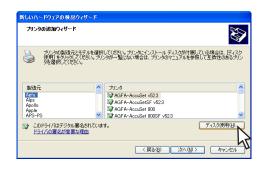
Windows XP 日本語版を起動します。

新しいハードウエアの検出画面が表示されます。

❹ **［一覧または特定の場所からインストールする（詳細）］を選び、［次へ］をクリックする。**

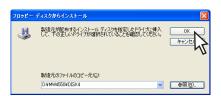
このダイアログボックスが表示されなかった場合、55ページの『「インストールプログラム」からのインストール』を行ってください。

接続先のポート名はプリンターケーブルを接続したポート名となり、通常は「LPT1」になります。

❺ **［検索しないでインストールするドライバを選択する］を選び、［次へ］をクリックする。**

❻ **［プリンタ］を選び、［次へ］をクリックする。**

❼ **［ディスク使用］をクリックする。**

❽ **プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。**

❾ **ファイルのコピー元を指定し、[OK]をクリックする。**

ファイルの指定は、CD-ROMドライブ名、コロン（：）、円記号（¥）に続けて「MW4550¥DISK4」と入力します。

❿ **使用するプリンター名を選び、[次へ]をクリックする。**

インストールを開始します。

以下の[ハードウエアのインストール]ダイアログボックスが表示される場合があります。添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているソフトウエアは、弊社により動作を確認しております。

[続行]をクリックし、インストールを続行してください。

なお、[インストールの停止]をクリックした場合はインストールが中止されます。

⓫ **[完了]をクリックする。**

これでプリンタードライバーのインストールは完了です。

次にPrintAgentをインストールするには、『「インストールプログラム」からのインストール』の手順❻（56ページ）で[プリンタドライバをインストールしない。]を選んだ場合の手順に従ってインストールしてください。

Windows 2000 日本語版

ここでは、Windows 2000 日本語版にプリンターソフトウエアをインストールする手順を説明します。

❶ **プリンターケーブルを接続する。**

❷ **MultiWriter 4550の電源をONにする。**

❸ **コンピューターの電源をONにする。**

Windows 2000 日本語版を起動します。

❹ **[次へ]をクリックする。**

このダイアログボックスが表示されなかった場合、55ページの『「インストールプログラム」からのインストール』を行ってください。

接続先のポート名はプリンターケーブルを接続したポート名となり、通常は「LPT1」になります。

❺ **[デバイスに最適なドライバを検索する]を選び、[次へ]をクリックする。**

❻ **[場所を指定]を選び、[次へ]をクリックする。**

❼ **プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。**

❽ **ファイルのコピー元を指定し、[OK]をクリックする。**

ファイルの指定は、CD-ROMドライブ名、コロン(:)、円記号(¥)に続けて「MW4550¥DISK4」と入力します。

❾ **内容を確認し、[次へ]をクリックする。**

インストールを開始します。

❿ [完了]をクリックする。

✔チェック

[デジタル署名が見つかりませんでした]というメッセージダイアログボックスが表示される場合があります。プリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているプリンターソフトウエアは、弊社により動作を確認しております。

[はい]をクリックし、インストールを続行してください。

なお、[いいえ]をクリックした場合はインストールが中止されます。

これでプリンタードライバーのインストールは完了です。

次にPrintAgentをインストールするには、『「インストールプログラムから」のインストール』の手順❻(56ページ)で[プリンタドライバをインストールしない。]を選んだ場合の手順に従ってインストールしてください。

Windows Me 日本語版

ここでは、Windows Me 日本語版にプリンターソフトウエアをインストールする手順を説明します。

❶ **プリンターケーブルを接続する。**

❷ **MultiWriter 4550の電源をONにする。**

❸ **コンピューターの電源をONにする。**

Windows Me 日本語版を起動します。

❹ **プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。**

❺ **[適切なドライバを自動的に検索する]を選び、[次へ]をクリックする。**

このダイアログボックスが表示されなかった場合、55ページの『「インストールプログラム」からのインストール』の手順を行ってください。

接続先のポート名はプリンターケーブルを接続したポート名となり、通常は「LPT1」になります。

❻ **選択項目の中の[場所]がCD-ROMのルートを示しているドライバーを選択して、[OK]をクリック する。**

❼ **プリンターの名前を確認して、[完了]をクリックする。**

❽ **[完了]をクリックする。**

先に[PrintAgentセットアップ]ダイアログボックスが表示されますが、ここでの手順を終了した後、次の手順へ進んでください。

❾ **PrintAgentをインストールする場合は[OK]をクリックする。**

このあとは56ページの手順❺からと同じです。
PrintAgentをインストールしない場合は、[キャンセル]をクリックし、インストールを終了します。

Windows 98 日本語版

ここでは、Windows 98 日本語版にプリンターソフトウエアをインストールする手順を説明します。

❶ **プリンターケーブルを接続する。**

❷ **MultiWriter 4550の電源をONにする。**

❸ **コンピューターの電源をONにする。**

Windows 98 日本語版を起動します。

❹ **[次へ]をクリックする。**

このダイアログボックスが表示されなかった場合、55ページの『「インストールプログラム」からのインストール』の手順を行ってください。

接続先のポート名はプリンターケーブルを接続したポート名となり、通常は「LPT1」になります。

❺ **[使用中のデバイスに最適なドライバを検索する]を選び、[次へ]をクリックする。**

❻ **プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。**

❼ **選択項目の中から[CD-ROMドライブ]をチェックして[次へ]をクリックする。**

❽ **[次へ]をクリックする。**

❾ **プリンターの名前を確認して、[完了]をクリックする。**

❿ [完了]をクリックする。

先に[PrintAgentセットアップ]ダイアログボックスが表示されますが、ここでの手順を終了した後、次の手順へ進んでください。

⓫ PrintAgentをインストールする場合は[OK]をクリックする。

このあとは56ページの手順❺からと同じです。PrintAgentをインストールしない場合は、[キャンセル]をクリックし、インストールを終了します。

Windows 95 日本語版

ここでは、Windows 95 日本語版にプリンターソフトウエアをインストールする手順を説明します。

❶ プリンターケーブルを接続する。

❷ MultiWriter 4550の電源をONにする。

❸ コンピューターの電源をONにする。

Windows 95 日本語版を起動すると[デバイスドライバウィザード]か[新しいハードウェア]ダイアログボックスが表示されます。

これらのダイアログボックスが表示されなかった場合、55ページの『「インストールプログラム」からのインストール』を行ってください。

接続先のポート名はプリンターケーブルを接続したポート名となり、通常は「LPT1」になります。

<[デバイスドライバウィザード]ダイアログボックスが表示された場合>

プリンターソフトウエアCD-ROMをセットし、[次へ]をクリックする。

手順❹に進んでください。

<[新しいハードウェア]ダイアログボックスが表示された場合>

[ハードウェアの製造元が提供するドライバ]を選び、[OK]をクリックする。

手順❾に進んでください。

❹ [完了]をクリックする。

❺ プリンターの名前を確認して、[完了]をクリックする。

❻ [OK]をクリックする。

❼ [ファイルのコピー元]を指定して、[OK]をクリックする。

ファイルの指定は、CD-ROMドライブ名、コロン(：)、円記号(￥)に続けて「MW4550￥DISK2」と入力します。
プリンタードライバーがインストールされます。

❽ PrintAgentをインストールする場合は[OK]をクリックする。

このあとは56ページの手順❺からと同じです。
PrintAgentをインストールしない場合は、[キャンセル]をクリックし、インストール手順を終了します。

❾ プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。

❿ [ファイルのコピー元]を指定して、[OK]をクリックする。

ファイルの指定は、CD-ROMドライブ名、コロン(：)、円記号(￥)に続けて「MW4550￥DISK2」と入力します。

⓫ プリンターの名前を確認し、[完了]をクリックする。

プリンタードライバーがインストールされます。

⓬ PrintAgentをインストールする場合は[OK]をクリックする。

このあとは56ページの手順❺からと同じです。
PrintAgentをインストールしない場合は、[キャンセル]をクリックし、インストールを終了します。

プリンタードライバーの削除

ここではプリンタードライバーの削除手順を説明します。必要なファイルが削除されてしまったなどでプリンターが正常に動かなくなったときはプリンタードライバーを再インストールする必要があります。プリンタードライバーを再インストールするには、一度既存のプリンタードライバーを削除(アンインストール)してから行います。

重要

- プリンタードライバーの削除を実行する前に起動中のアプリケーションをすべて終了させてください。
- プリンターが印刷中の場合は、プリンタードライバーの削除はできません。印刷が終了してから削除してください。

Windows XP 日本語版

❶ **[プリンタとFAX]フォルダーを開く。**

インストールされているプリンターアイコンが表示されます。

❷ **[NEC MultiWriter 4550]アイコンをクリックする。**

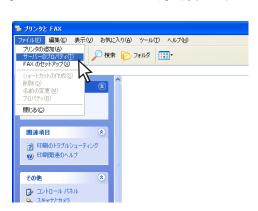
❸ **[ファイル]メニューの[削除]をクリックする。**

❹ **[はい]をクリックする。**

MultiWriter 4550のプリンタードライバーが削除されます。

❺ **[ファイル]メニューの[サーバーのプロパティ]をクリックする。**

[プリントサーバーのプロパティ]が開きます。

2 プリンターソフトウエアのインストール

❻ [ドライバ]タブをクリックする。

❼ [インストールされたプリンタ ドライバ]から[NEC MultiWriter 4550]をクリックする。

❽ [削除]をクリックする。

❾ [はい]をクリックする。

次のダイアログボックスが表示された場合は、Windows XPの再起動後、手順❺からやり直してプリンタードライバーを削除してください。

❿ [インストールされたプリンタ ドライバ]から[NEC MultiWriter 4550]が削除されたことを確認し、[閉じる]をクリックする。

[プリントサーバーのプロパティ]を閉じます。

Windows 2000 日本語版

❶ **[プリンタ]フォルダーを開く。**

インストールされているプリンターアイコンが表示されます。

❷ **[NEC MultiWriter 4550]アイコンをクリックする。**

❸ **[ファイル]メニューの[削除]をクリックする。**

❹ **[はい]をクリックする。**

MultiWriter 4550のプリンタードライバーが削除されます。

❺ **[ファイル]メニューの[サーバーのプロパティ]をクリックする。**

[プリントサーバーのプロパティ]が開きます。

❻ **[ドライバ]タブをクリックする。**

❼ **[インストールされたプリンタ ドライバ]から[NEC MultiWriter 4550]をクリックする。**

❽ **[削除]をクリックする。**

❾ **[はい]をクリックする。**

✔チェック

次のダイアログボックスが表示された場合は、Windows 2000の再起動後、手順❺からやり直してプリンタードライバーを削除してください。

❿ **[インストールされたプリンタ ドライバ]から[NEC MultiWriter 4550]が削除されたことを確認し、[閉じる]をクリックする。**

[プリントサーバーのプロパティ]と[プリンタ]フォルダーを閉じます。

Windows NT 4.0 日本語版

❶ [プリンタ]フォルダーを開く。

❷ [NEC MultiWriter 4550]アイコンをクリックする。

❸ [ファイル]メニューの[削除]をクリックする。

❹ [はい]をクリックする。

MultiWriter 4550のプリンタードライバーが削除されます。

Windows Me/98/95 日本語版

❶ [プリンタ]フォルダーを開く。

インストール済みのプリンターアイコンが表示されます。

❷ [NEC MultiWriter 4550]アイコンをクリックする。

❸ [ファイル]メニューの[削除]をクリックする。

❹ [はい]をクリックする。

MultiWriter 4550のプリンタードライバーが削除されます。

次のダイアログボックスが表示された場合は、[はい]をクリックしてください。

PrintAgentの追加・削除

MultiWriter4550のプリンターソフトウエアのインストーラーでは、プリンターソフトウエアの機能ごとに、追加と削除をすることができます。

ここではPrintAgentの追加と削除方法を説明します。

追加・削除の手順を始める前に「PrintAgentをインストール/アンインストールする時の注意事項」(162ページ)をお読みください。

❶ **[コントロールパネル]フォルダーを開く。**

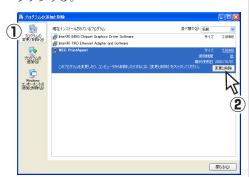
❷ **[プログラムの追加と削除]アイコンをダブルクリックする。**

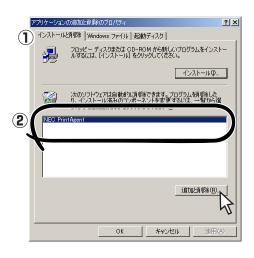
Windows XP以外の場合は[アプリケーションの追加と削除]をクリックします。

❸ **[PrintAgentオプション選択]ダイアログボックスを開く。**

<Windows XP/2000の場合>

① 左側の[機能選択]バーから[プログラムの変更と削除]をクリックする。
② [NEC PrintAgent]を選んで、[変更/削除]をクリックする。

<Windows NT 4.0/Me/98/95の場合>

① [インストールと削除]シートを開く。
② 自動的に削除できるソフトウエアの一覧から[NEC PrintAgent]を選んで、[追加と削除]をクリックする。

Windows NT 4.0

Windows Me/98/95

❹ 対象機種を選択してからチェックを変更し、[次へ]をクリックする。

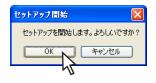
チェックを付けると追加、チェックを外すと削除になります。
また、複数機種のチェックを付ける（外す）と複数機種のオプションを同時に追加（削除）することができます。

管理者向けカスタムインストールを行った場合は選択できるオプションが異なります。

チェック

- MultiWriter 2050など他のMulti-Writerシリーズのプリンターソフトウエアがインストールされているとそれぞれのプリンターソフトウエアのオプションが表示される場合があります。
- オプションを追加する場合、セットアップに必要な媒体を要求する画面が表示されますが、プリンターソフトウエアCD-ROMがCD-ROMドライブにセットされている場合、セットアップに必要なファイルを自動的に参照し、インストールされます。

❺ [完了]をクリックする。

パスワードが設定されている場合に管理者向けのオプションを削除するには、あらかじめ設定したパスワードの入力が必要です。

❻ [OK]をクリックする。

❼ 追加・削除が終了したら[OK]をクリックする。

再起動を促すダイアログボックスが表示された場合は、画面の指示に従ってコンピューターを再起動してください。

❽ すべてのオプションを削除した場合はソフトウエアの一覧から[NEC PrintAgent]が削除されたことを確認し、[OK]をクリックする。

他機種のPrintAgentがインストールされている場合は、ソフトウエアの一覧からPrintAgentは削除されません。

日本語MS-DOS環境

ここでは、日本語MS-DOS環境から印刷をするために必要なプリンターの設定内容を説明します。

プリンターを選択する

使用しているアプリケーション上で印刷するときにプリンターの名称を指定します。指定できない場合は、次の表に示す優先順位で指定してください。(ただしアプリケーションによってはMultiWriter 4550の機能の一部が使用できないことがあります。)

優先順位	プリンター名称	動作モード*[3]
1	MultiWriter 3650N	ページプリンター(またはレーザープリンター)
2	MultiWriter 2850N、2850	
3	MultiWriter 2350N、2350、2150	
4	MultiWriter 2800N、2800、2300N	
5	MultiWriter 2300、2100、210S	
6	MultiWriter 2650M、2250H	
7	MultiWriter 2650、2650E、2250	
8	MultiWriter 4050M、4050	
9	MultiWriter 2050	
10	MultiWriter 2200X2、2200XE、2000X2	
11	MultiWriter 2200X	
12	MultiWriter 2000X	
13	MultiWriter 2000FW	
14	MultiWriter 2200NW2、PC-PR2000/6W	
15	MultiWriter 2200NW、MultiWriter 2000E	
16	PC-PR2000/4R、PC-PR2000/4W	
17	PC-PR4000E/4、PC-PR4000/4	
18	MultiWriter 1250、1400X、1000EW、PC-PR1000E/4W、PC-PR1000E/4、PC-PR1000/4R、PC-PR1000/4、PC-PR2000/2、PC-PR2000/4あるいはNPDL Level 2	
19	PC-PR1000、PC-PR1000/2	
20	PC-PR2000あるいはNPDL	
21	PC-PR602R*[1,]*[2]、PC-PR602*[1,]*[2]、PC-PR601*[1,]*[2]	201PLエミュレーション
22	PC-PR201/47、PC-PR201/45L、PC-PR201/60、PC-PR201/80A、PC-PR201/65A、PC-PR201/60A、PC-PR101/60あるいは201PL	
23	PC-PR201X、PC-PR201J、PC-PR201GS、PC-PR201/45、PC-PR101GS	
24	PC-PR201G、PC-PR201V、PC-PR201V2、PC-PR201H3、PC-PR101G、PC-PR101G2	
25	上記以外のPC-PR201系、PC-PR101系プリンター(PC-PR201、PC-PR201F2、PC-PR201H2、PC-PR101、PC-PR101F2、PC-PR101E、PC-PR101E2など)	

*[1] A4ポートレート桁数が80桁のとき、用紙の左側の余白量が異なるときは、アプリケーション上で余白量を変更してください。
*[2] 文字を縮小したときの印刷結果が異なるときは、プリンター設定を優先順位の下位機種に変更してください。
*[3] ほとんどのアプリケーションでは、プリンターの動作モードを自動的に切り替えています。したがって、本プリンターの動作モードは201PLエミュレーションモード(お買い上げ時の設定)のままご使用になれます。

プリンターを設定する

MS-DOS環境でコンピューターをお使いの場合、プリンターの設定はメニューモードを使って行います。メニューモードの操作方法、メニューツリーについては本書の113〜115ページ、各設定項目については添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されている活用マニュアルの7章「メニューモード」を参照してください。

PC-PR201系、101系プリンターを選択した場合

プリンターの指定でPC-PR201系、あるいは101系プリンターを選択した場合は、アプリケーションと本プリンターを次のような設定が標準です。

ソフトウエア：　シートフィーダー付き、単票(カット紙)、連続送り
プリンター：　201PLエミュレーションモード、136桁モード有効、用紙位置中央

MS-DOS環境での両面印刷設定

MS-DOS環境で両面印刷する際に必要な情報について説明します。MS-DOS環境で印刷する場合はメニューモード、および操作パネルの[両面]スイッチでより設定します。

両面印刷の設定

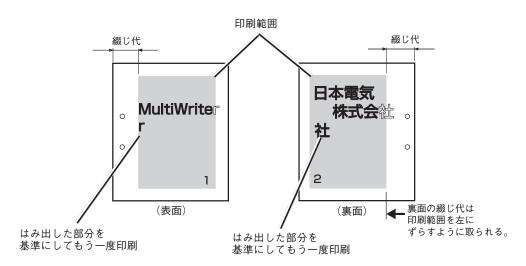
MS-DOSアプリケーションを使って両面印刷する場合、次の設定変更が必要です。
両面印刷をする場合、64MB以上のメモリーの増設をお勧めいたします。

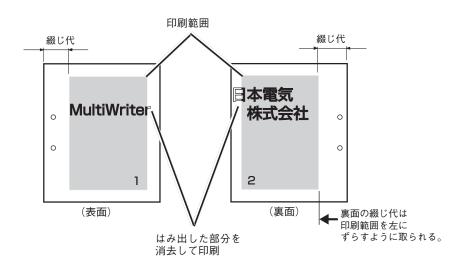
両面印刷のために必要な設定項目

メニューモード設定項目	備考
印字位置設定メニュー ー 表面微調整 ー 裏面微調整	表面、裏面ともに TM: ＋3.9 〜 −3.9ミリ LM: ＋3.9 〜 −3.9ミリ
両面印刷メニュー ー 初期設定ON ー 初期設定OFF	ー
両面印刷メニュー ー とじしろロング1 ー とじしろショート1 ー とじしろロング2 ー とじしろショート2	添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されている活用マニュアル7章の「両面印刷メニュー」を参照してください。
両面印刷メニュー：余白	0 〜 20ミリ
両面印刷メニュー ー クリップON ー クリップOFF	余白を多く取り過ぎた場合、印刷からはみ出たデータを次ページに印刷する（ON）か、消去する（OFF）かを設定します。

クリッピング機能について

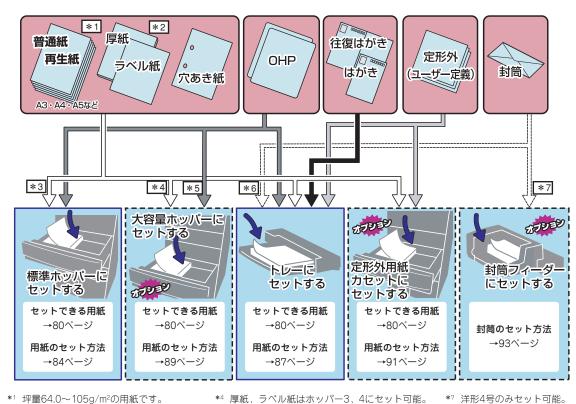
余白(とじしろ)を多く取り過ぎると、印刷データが用紙の印刷範囲を超えてしまう場合があります。クリッピング機能とは、このような場合に印刷範囲からはみ出したデータを次の行に印刷するか、はみ出した分を消去してそのまま印刷するかを選択します。ただし、両面印刷時にのみ有効で、メニューモードで設定します(メニューモードについては108ページを参照してください)。

- 「クリップ」をOFFにすると、はみ出した印刷データを次の行に引き続いて印刷します。それ以降の印刷データは1行ずつずれることになります。(アプリケーションによっては、はみ出したデータを消去するものもあります)。

クリップOFF(チェックしていない)の場合

- 「クリップ」をONにすると、はみ出した印刷データを消去して印刷を続けます。

クリップON(チェックしている)の場合

3章 用紙のセット

この章では、MultiWriter 4550で使用できる用紙、用紙のセット方法について説明します。

MultiWriter 4550は豊富な給紙機構(ホッパーおよびトレー)をもつプリンターです。用途に合わせて使い分けてください。

＊1 坪量64.0～105g/m²の用紙です。

＊2 厚紙は坪量106～200g/m²の用紙です。

＊3 厚紙、ラベル紙はホッパー2にセット可能。

＊4 厚紙、ラベル紙はホッパー3、4にセット可能。

＊5 OHPはホッパー3にセット可能。

＊6 ユーザー定義サイズとしてセット可能。

＊7 洋形4号のみセット可能。

用紙について

ここではMultiWriter 4550で使用できる用紙、用紙のセット方向について説明します。用紙をセットする前に必ずお読みになり、使用できる用紙を確認してから印刷してください。

使用できる用紙

使用できる用紙の種類、サイズ、および枚数は以下の表のとおりです。用紙の規格、印刷範囲については付録「用紙の規格」(237ページ)を参照してください。

給紙口	セットできる用紙			両面印刷
	種類	サイズ	枚数*2	
ホッパー1 (標準ホッパー1)	普通紙*1(乾式PPC用紙)	A3、B4、A4、B5、A5、レター	500	○
	OHPフィルム	A4	—	×
	穴あき紙	A3、B4、A4、B5、A5、レター	—	○
ホッパー2 (標準ホッパー2) ・ ホッパー3 (大容量ホッパー3)	普通紙*1(乾式PPC用紙)	A3、B4、A4、B5、レター	500	○
	厚紙(〜180g/m^2)	A3、B4、A4、B5、レター	—	○ *3
	OHPフィルム	A4	—	×
	ラベル紙	A4、B4	—	×
	穴あき紙	A3、B4、A4、B5、レター	—	○
ホッパー4 (大容量ホッパー4)	普通紙*1(乾式PPC用紙)	A4、B5、レター	1000	○
	厚紙(〜180g/m^2)	A4、B5、レター	—	○ *3
	ラベル紙	A4	—	×
	穴あき紙	A4、B5、レター	—	○
ホッパー5 (大容量ホッパー5)	普通紙*1(乾式PPC用紙)	A4、B5、レター	1000	○
	穴あき紙	A4、B5、レター	—	○
ホッパー1 (定形外用紙 カセット)	普通紙*1	— A3、B4、A4、B5、A5、レター — 定形外用紙(182〜297× 139.7〜431.8mm)	500	×
	OHPフィルム	A4	—	×
	穴あき紙	普通紙と同じ	—	○
ホッパー2 (定形外用紙 カセット) ・ ホッパー3 (定形外用紙 カセット)	普通紙*1(乾式PPC用紙)	— A3、B4、A4、B5、レター — 定形外用紙(182〜297× 182〜431.8mm)	500	×
	厚紙(〜180g/m^2)		—	×
	OHPフィルム	A4	—	×
	ラベル紙	A4、B4	—	×
	穴あき紙	普通紙と同じ	—	×
トレー	普通紙*1(乾式PPC用紙)	— A3、B4、A4、B5、A5、レター — 定形外用紙(100〜297×105〜431.8mm)	50	○
	厚紙(〜200g/m^2)		—	○ *3,*5
	OHPフィルム	A4	—	×
	ラベル紙	A4、B4	—	×
	はがき	官製はがき、官製往復はがき	—	×
	穴あき紙	A3、B4、A4、B5、A5、レター	—	○
	封筒*4	100〜297×105〜431.8mm以内の封筒	—	×
封筒フィーダー	封筒	洋形4号	100	×

*1 坪量64.0g/m^2〜105.0g/m^2(連量55〜90kg)の用紙です。用紙種類の選択については、下表を参照してください。
*2 坪量64.0g/m^2(連量55kg)の用紙を使用した場合です。普通紙以外は用紙厚によりセット枚数が異なります。
*3 坪量120.0g/m^2(連量103kg)以上の用紙は両面印刷できません。
*4 定形外用紙、厚紙として使用可能です。プリンタードライバーでユーザー定義サイズ、厚紙を選択してご使用ください。
*5 定形外用紙は両面印刷できません。

普通紙(乾式PPC用紙、定形用紙)以外の用紙は両面印刷できません。

使用できる用紙坪量とプリンタードライバーの用紙種類の選択の関係は、以下の表のとおりです。

本マニュアルでの用紙分類	用紙坪量目安	プリンタードライバーでの用紙種類	両面印刷
普通紙	64〜70g/m^2	普通紙	○
	70〜105g/m^2	厚紙1	○
厚紙	105〜120g/m^2	厚紙2	○
	120〜140g/m^2	厚紙3	×
	140〜160g/m^2	厚紙4	×

本マニュアルでの用紙分類	用紙坪量目安	プリンタードライバーでの用紙種類	両面印刷
厚紙	160〜180g/m^2	厚紙5	×
	180〜200g/m^2	厚紙6	×
ラベル紙	—	ラベル紙	×
OHP	—	OHP	×
穴あき紙	—	穴あき紙	○

厚紙2〜6と用紙の坪量の関係は、目安です。用紙の種類等により定着性は変化します。テスト印刷を実施し、確認を行ってください。

定形外用紙のご使用について

MultiIWriter 4550では、次の方法により定形外サイズの用紙に印刷ができます。

- トレー(標準)
  幅:100〜297mm x 長さ:105〜431.8mm
- ホッパ1(定形外用紙カセット装着時)
  幅:182〜297mm x 長さ:139.7〜431.8mm
- ホッパ2およびホッパ3(定形外用紙カセット装着時)
  幅:182〜297mm x 長さ:182〜431.8mm

チェック

- 定形外用紙をご使用になる際は、必ず事前確認を行ってからご使用ください。
- 用紙の縦横比が極端なサイズの用紙では、紙づまりや斜行の原因となる場合があります。
  (例) 幅:182mm x 長さ:431.8mm、幅:297mm x 長さ:139.7mmなど
  目安として、縦横比1:2程度までの用紙をご使用ください。

用紙についての注意事項

用紙をセットする前に以下の注意事項をお読みください。また、はがき、往復はがき、OHPフィルム、ラベル紙、穴あき紙、プレ印刷用紙、封筒、定形外用紙をセットする際の注意事項については94ページ〜97ページに記載していますので、併せてお読みください。

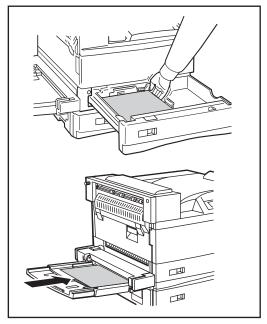
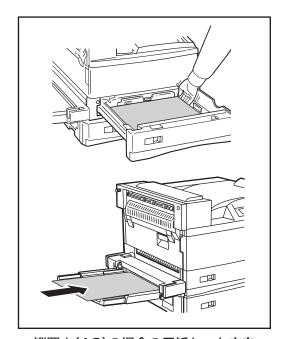
- 次のような用紙への印刷は避けてください。ご使用になると印刷不良、紙づまり、プリンターの故障の原因となるおそれがあります。
  - 無塵紙
  - 裏移り防止用の白粉(ミクロパウダー)が塗布された用紙
  - 熱で変質するインクを使った用紙、変質しやすい用紙
  - カーボン紙、ノンカーボン紙、感圧紙、感熱紙、酸性紙
  - ざら紙や繊維質の用紙など、表面が滑らかでない用紙
  - ミシン目のある用紙
  - 紙の表面に特殊コーティングした用紙、表面加工したカラー用紙
  - シワがある、折れている、破れている、湿っている、ぬれている、長期間放置した、カールしている、静電気で密着している、貼り合わせてある、のりが付いているなどの用紙
  - ステープル針、クリップ、リボン、テープなどが付いている用紙
  - のりが付いている封筒
  - 熱転写プリンター、インクジェットプリンターで印刷した後の用紙
  - 次のような状態の用紙
    合紙全体がラベルで覆われていないもの、部分的に使用したもの、ラベルがはがれかかっているもの、カールしているもの、表面に糊がしみ出ているもの
  - すでに一度印刷した用紙
- 再生紙、ラベル紙の使用については制限があります。「付録　技術情報」を参照してください。
- はがき、往復はがき、封筒、OHPフィルム、およびラベル紙の印刷品質は、規格を満たす普通紙の印刷品質より劣る場合があります。
- OHPフィルム、ラベル紙、穴あき紙をプリンターにセットセットするときは十分にさばいてから行ってください。
- ラベル紙への印刷は、ラベルの切れ目部分に文字やイラストがかからないようにしてください。
- 吸湿した用紙への印刷は避けてください。ご使用になるとしわの原因となるおそれがあります。しわが発生した場合は、新しい用紙と交換してください。
- 高温・高湿や低温・低湿などの環境条件でプリンターを使用する場合は、常温に比べて用紙が環境の影響を受けやすいため、用紙の保管方法に注意する必要があります。ご使用にならない用紙は、プリンター内に放置せずに梱包時の包装紙やダンボール箱に入れて保管してください。
- 用紙の保管について

  用紙の保管について次の点に注意してください。印刷不良、紙づまり、故障の原因となります。
  - 湿気を避ける。
  - 使用直前まで開封しない。
  - 用紙が変形しないような状態で保管する。
  - 保管場所と使用場所との間に環境の差がある場合は、使用場所の環境になじませるような保管をする。

用紙のセット方向

横置きにセットできる用紙サイズは、A4、A5、B5、レター、官製はがき、封筒の6種類です。
縦置きにセットできる用紙サイズは、A3、A4、A5、B4、B5、レター、官製往復はがきの7種類です。
また、はがき、往復はがきをトレーにセットする場合は、あらかじめ「用紙をセットする時の注意」の「はがき、往復はがき」(94ページ)をお読みください。

給紙先／用紙サイズ		A3	A4		A5		B4	B5		レター		はがき	往復はがき	封筒
		タテ	ヨコ	タテ	ヨコ	タテ	タテ	ヨコ	タテ	ヨコ	タテ	ヨコ	タテ	ヨコ
標準ホッパー	1	○	○	×	○	×	○	○	×	○	×	×	×	×
	2	○	○	×	×	×	○	○	×	○	×	×	×	×
大容量ホッパー	3	○	○	×	×	×	○	○	×	○	×	×	×	×
	4	×	○	×	×	×	×	○	×	○	×	×	×	×
	5	×	○	×	×	×	×	○	×	○	×	×	×	×
トレー		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○*1
封筒フィーダー		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○*2

*1　定形外用紙として使用する。
*2　洋形4号のみ。

横置き(A4)の場合の用紙セット方向

縦置き(A3)の場合の用紙セット方向

用紙カセットに用紙をセットする

ホッパーから印刷するには、標準用紙カセットに用紙をセットします。用紙はホッパー1～3には坪量64.0g/m^2(連量55kg)の普通紙なら各500枚まで、ホッパー4、ホッパー5には坪量64.0g/m^2(連量55kg)の普通紙なら各1000枚までセットできます。各ホッパーで使用できる用紙については、「用紙について」(80ページ)をご覧ください。

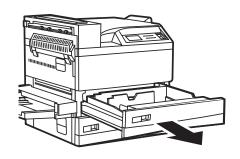
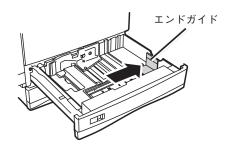
重要

用紙カセットにセットする用紙は、両面とも印刷されていない用紙をセットしてください。すでに一度印刷された用紙を用紙カセットにセットしないでください。一度印刷された用紙をセットして、その用紙の裏に印刷すると、印刷不良や給紙できなかったり、紙づまりを起こすばかりでなく、プリンターの故障の原因となる場合があります。また異なる用紙サイズの用紙を同じ用紙カセットにセットしないでください。紙づまりの原因となります。

ここでは例としてホッパー1に用紙をセットするときの手順を示しますが、ホッパー2に用紙をセットする場合も同じです。

1. **用紙カセットを手前に引き出す。**

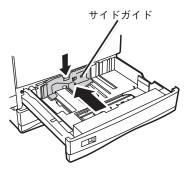
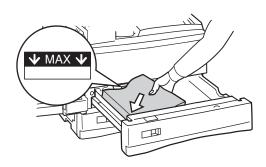
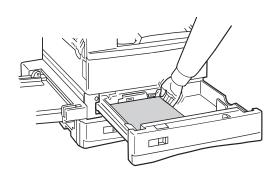
重要

用紙カセットを取り外す必要がある場合(定形外用紙カセットと交換する場合)、取り外した用紙カセットは平たんで固い表面の場所に置いてください。用紙カセットをじゅうたんなどの上に置くと、用紙カセットの下側のばねやワイヤーが引っかかり、破損するおそれがあります。

2. **エンドガイドを軽く持ち上げて、セットする用紙サイズより外側にずらす。**

用紙サイズの位置は、用紙カセットの底面に表示されています。

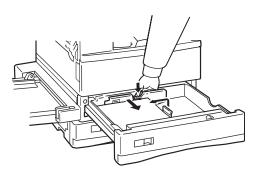
3. **サイドガイドのつまみを下げながら、サイドガイドをセットする用紙サイズより外側にずらす。**

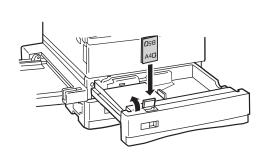
用紙サイズの位置は、用紙カセットの底面に表示されています。

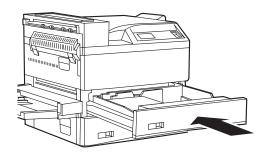
❹ **用紙の端をそろえ、印刷したい面を上にして用紙カセットの左手前に合わせてセットする。**

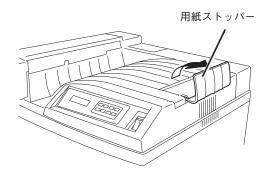
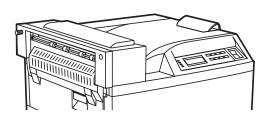
チェック

- 包みから出した新しい用紙はさばかないでください。用紙をさばくと静電気が起きて紙づまりの原因になることがあります。
- 用紙カセットに収容できる枚数は約500枚(坪量64g/m²)です。用紙上限線を越えないように用紙を入れてください。紙づまりの原因となります。
- 1つの用紙カセット内にサイズや質の異なる用紙をセットしないでください。紙づまりの原因になります。

❺ **手で用紙の端をそろえる。**

❻ **セットした用紙のサイズに合うように、エンドガイドとサイドガイドを内側にずらす。**

用紙カセットの底面に表示されている用紙サイズを参考にしてガイドをセットしてください。
このとき、それぞれのガイドが正しくセットされていればガイドは動きません。もしガイドが動くようでしたらもう一度正しくセットし直してください。

用紙およびエンドガイド、サイドガイドが正しくセットされていないと用紙サイズが検知されず、紙づまりが起こることがあります。

❼ **付属の用紙サイズラベルをセットしたサイズを表面にして用紙カセットに差し込む。**

付属の用紙サイズラベルはホッパー1～3に、用紙サイズシールはホッパー4、5でお使いください。

8 用紙カセットを奥に突き当たるところまでゆっくりと押し込む。

用紙をセットし終えた用紙カセットは重くなっています。取り付ける際は用紙カセットを両手で持ってプリンターに差し込んでください。

9 用紙ストッパーを準備する。

A3、B4サイズの場合、用紙ストッパーを立てます。

A3、B4サイズ以外の場合は、そのままお使いください。

普通紙以外を使用する際は、メニューモードの「ヨウシメニュー」―「ヨウシシュベツ」でセットした用紙の種別を設定する必要があります。詳細は113～115ページのメニューツリーを参照してください。

残った用紙の保管方法

残った用紙は変質を防ぐため、次のことに注意して正しく保管してください。

- 用紙は包装してあった紙で包み直してください。
- キャビネットの中など直射日光の当たらない、湿気の少ない場所に保管してください。
- 用紙はしわ、折れ、カールなど癖がつかないように、平らな場所に水平にして保管してください。

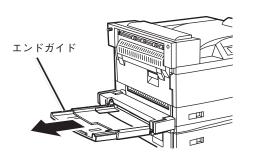
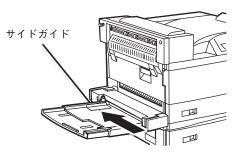
トレーに用紙をセットする

トレーには普通紙やラベル紙をはじめ、厚紙、はがき、往復はがき、封筒、OHPフィルム、定形外用紙、穴あき紙をセットすることができます。
トレーの容量は坪量64.0g/m²(連量55kg)の普通紙、穴あき紙で約50枚です。ラベル紙、はがき、往復はがき、封筒、OHPフィルムは約20枚までセットすることができます。

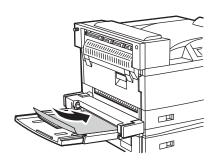
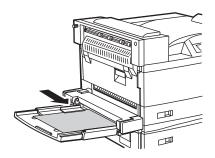
普通紙以外を使用する際は、メニューモードの「ヨウシメニュー」—「ヨウシシュベツ」—「トレー　ヨウシシュベツ」でそれぞれ「アツガミ」、「OHP」、「ラベルシ」、「アナアキシ」に設定する必要があります。詳細は113～115ページのメニューツリーを参照してください。

重要

- トレーに用紙以外の物や手を載せないでください。トレーが破損するおそれがあります。
- トレーから印刷しないときは、必ずエンドガイドを閉じてご使用ください。ほこりや異物が入りやすくなり、プリンターの破損や故障のおそれがあります。
- トレーにセットする用紙は両面とも印刷されていない用紙をセットしてください。すでに一度印刷された用紙をトレーにセットしないでください。一度印刷された用紙をセットして、その用紙の裏に印刷すると、印刷不良や給紙できなかったり、紙づまりを起こすばかりでなく、プリンターの故障の原因となる場合があります。
- トレーに用紙をセットした時は、用紙サイズを操作パネルで設定する必要があります。詳細は「4章　操作パネルについて」(99ページ)を参照して、[トレー]スイッチで設定してください。また、異なる用紙サイズをセットした時にも、そのつど操作パネルで設定を行ってください。
- トレーに封筒をセットした時は、プリンタードライバーで以下の設定をして印刷を行ってください。
  —用紙サイズで[ユーザー定義サイズ]を選択し、用紙サイズを入力してください。
  —用紙種類で[厚紙]を選択し、任意の厚紙レベルを選択してください。

❶ **トレーを横に倒し、必要に応じてエンドガイドを引き出す。**

❷ **サイドガイドを奥側にずらす。**

❸ 用紙の端をそろえ、印刷したい面を下にして、トレーの手前に合わせ、差し込み口に軽く突き当たるまで入れる。

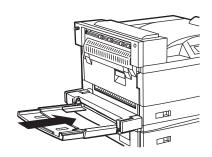
チェック

- トレーから給紙する場合は、用紙の間に空気が入るように、紙をさばいてください。これにより複数枚の紙送り(重送)や紙づまりなどの発生を防ぎます。
- トレーに表示されている用紙上限線を越えて用紙を入れないでください。紙づまりの原因となります。
- トレーに用紙をセットする際には、印刷する面を下にしてください。

❹ サイドガイドを、これから使用する用紙サイズの目盛りに合わせる。

❺ 操作パネルでセットした用紙サイズを設定する。

操作パネルの[印刷可]スイッチを押してから、[トレー]スイッチを押して、用紙サイズを設定します(操作パネルの詳細は、99ページ参照)。

- [トレー]スイッチを1回押すごとに用紙サイズは以下のように変わります。

  「A4タテ→A4ヨコ→A5タテ→A5ヨコ→B4タテ→B5タテ→B5ヨコ→LTタテ→LTヨコ→ハガキ→ハガキ2→フウトウ→A3タテ」
- Windows環境で定形外サイズを印刷する場合、操作パネルで用紙サイズを設定する必要はありません。

❻ 印刷が終了したら、引き出したエンドガイドとトレーを元に戻す。

普通紙以外を使用する際は、メニューモードの「ヨウシメニュー」—「ヨウシシュベツ」でセットした用紙の種別を設定する必要があります。詳細は113〜115ページのメニューツリーを参照してください。

重要

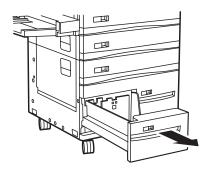
往復はがきは、折り返しや折り目がついているものを使用しないでください。折れた状態でトレーにセットすると、紙づまりの原因となるだけでなく、プリンターが故障するおそれがあります。

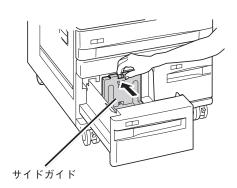
大容量ホッパーに用紙をセットする

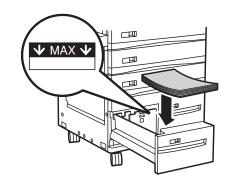
大容量ホッパーのホッパー3に用紙をセットする方法は用紙カセット1、2にセットする方法と同じです(「用紙カセットに用紙をセットする」84ページ参照)。ここではホッパー4、ホッパー5に用紙をセットする方法を説明します。

ホッパー3にはA3、A4、B4、B5、レターをセットすることができ、坪量64.0g/m²(連量55kg)の普通紙なら500枚までセットできます。ホッパー4、ホッパー5にはA4、B5、レターをセットすることができ、坪量64.0g/m²(連量55kg)の普通紙なら各1000枚までセットできます。

用紙カセットにセットする用紙は、両面とも印刷されていない用紙をセットしてください。すでに一度印刷された用紙を用紙カセットにセットしないでください。一度印刷された用紙をセットして、その用紙の裏に印刷すると、印刷不良や給紙できなかったり、紙づまりを起こすばかりでなく、プリンターの故障の原因となる場合があります。また異なる用紙サイズの用紙を同じ用紙カセットにセットしないでください。紙づまりの原因となります。

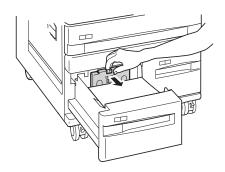
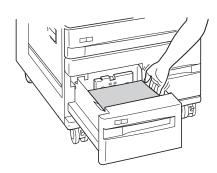
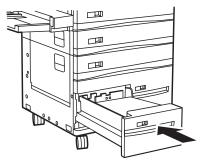
❶ 用紙カセットを手前に引き出す。

❷ サイドガイドのつまみを引きながら、セットする用紙サイズより外側にずらす。

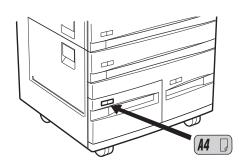
用紙サイズの位置は、用紙カセットの底面に表示されています。
サイドガイドの位置を変えることにより、用紙のサイズを変更することができます。

❸ 用紙の端をそろえ、印刷したい面を上にして用紙カセットの左手前に合わせてセットする。

- 包みから出した新しい用紙はさばかないでください。用紙をさばくと静電気が起きて紙づまりの原因になることがあります。
- 用紙上限線を越えないように用紙を入れてください。紙づまりの原因となります。
- 1つの用紙カセット内にサイズや質の異なる用紙をセットしないでください。紙づまりの原因となります。

❹ セットした用紙のサイズに合うように、サイドガイドを内側にずらす。

用紙カセットの底面に表示されている用紙サイズを参考にしてサイドガイドをセットしてください。このとき、サイドガイドが正しくセットされていればガイドは動きません。もしサイドガイドが動くようでしたらもう一度正しくセットし直してください。

チェック

用紙が正しくセットされていないと用紙サイズが検知されず、紙づまりが起こることがあります。

❺ 手で用紙の端をそろえる。

❻ 用紙カセットをホッパーの奥に突き当たるところまでゆっくりと押し込む。

❼ セットしたサイズの用紙サイズシール（付属品）を用紙カセットに貼る。

付属の用紙サイズラベルは用紙カセット3に、用紙サイズシールは用紙カセット4、5でお使いください。

普通紙以外を使用する際は、メニューモードの「ヨウシメニュー」―「ヨウシシュベツ」でセットした用紙の種別を設定する必要があります。詳細は113～115ページのメニューツリーを参照してください。

残った用紙の保管方法

残った用紙は変質を防ぐため、次のことに注意して正しく保管してください。

- 用紙は包装してあった紙で包み直してください。
- キャビネットの中など直射日光の当たらない、湿気の少ない場所に保管してください。
- 用紙はしわ、折れ、カールなど癖がつかないように、平らな場所に水平にして保管してください。

定形外用紙カセットに用紙をセットする

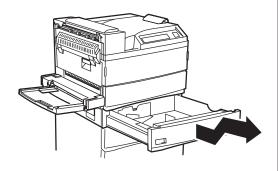
定形外用紙カセットは、ホッパー1、2または大容量ホッパー3の標準用紙カセットと交換して使用することができます。定形外用紙カセットには普通紙や定形外用紙をはじめ、厚紙、OHPフィルム、穴あき紙、ラベル紙をセットすることができます。

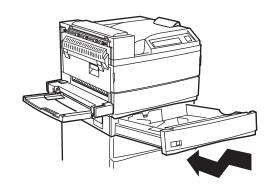
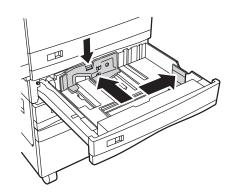
定形外用紙カセットの容量は坪量64.0g/m^2(連量55kg)の普通紙で約500枚です。
片方向通信の場合は、プリンタードライバーのプロパティで[プリンタ構成シート]を開き、使用する定形外カセットを選択する必要があります。
両面印刷およびフィニッシャーへの排出は対応していません。

定形外用紙カセットにセットする用紙は両面とも印刷されていない用紙をセットしてください。すでに一度印刷された用紙を定形外用紙カセットにセットしないでください。一度印刷された用紙をセットして、その用紙の裏に印刷すると、印刷不良や給紙できなかったり、紙づまりを起こすばかりでなく、プリンターの故障の原因となる場合があります。

チェック

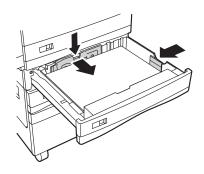
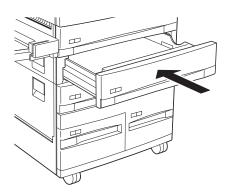
- 定形外用紙カセットを取り外す際は、軽くカセットを持ち上げてください。
- 定形外用紙カセットはホッパー1、ホッパー2、ホッパー3にセットできます。
- 定形外用紙カセットにセットされた用紙は、定形用紙(A4など)がセットされても定形外用紙として扱われます。

❶ **使用するホッパーの用紙カセットをいっぱいに引き出し、少し上方に持ち上げて取り外す。**

❷ **取り外したホッパーに定形外用紙カセットを取り付ける。**

3 用紙のセット

❸ **サイドガイド、エンドガイドをセットする用紙サイズより外側にずらす。**

❹ **用紙をそろえ、印刷したい面を上にして用紙カセットの左手前に合わせて、セットする。**

- 用紙上限線を越えないように用紙を入れてください。紙づまりの原因となります。
- 1つの用紙カセット内にサイズや質の異なる用紙をセットしないでください。紙づまりの原因となります。

❺ **セットした用紙のサイズに合うように、サイドガイドとエンドガイドを内側にずらす。**

用紙カセットの底面に表示されている用紙サイズを参考にしてガイドをセットしてください。
このとき、それぞれのガイドが正しくセットされていればガイドは動きません。もしガイドが動くようでしたらもう一度正しくセットし直してください。

❻ **用紙カセットをホッパーの奥に突き当たるところまでゆっくりと押し込む。**

封筒フィーダーに封筒をセットする

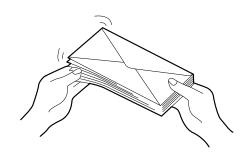
封筒フィーダーにセットする封筒は、洋形4号(内カマス*、のりなし)をご使用ください。最大100枚セットすることができます。

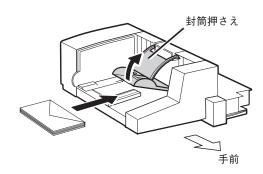
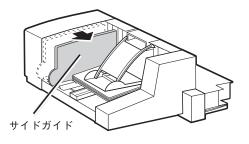
＊ 内カマスとは、封筒の裏側ののりしろが内側にあるものです。

フラップ(封筒の折り返し部分)面は印刷を行わないでください。紙づまりの原因となるだけでなく、プリンターが故障するおそれがあります。

❶ フラップ(封筒の折り返し部分)をきちんと折り曲げる。

フラップがはね上がらないように、平らなところできちんと折り曲げてください。

❷ 封筒の両端を持って、十分にさばく。

❸ 封筒押さえを持ち上げ、封筒を手前にセットする。

印刷する面を下にしてください。

❹ セットした封筒が固定されるように、サイドガイドを封筒に合わせてずらす。

封筒フィーダーを本体に装着する方法は、220ページの「封筒フィーダー」を参照してください。

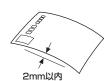
3 用紙のセット

用紙をセットする時の注意

はがき、往復はがき

重要

往復はがきは、折り返しや折り目がついているものを使用しないでください。折れた状態でトレーにセットすると、紙づまりの原因となるだけでなく、プリンターが故障するおそれがあります。

- はがき、往復はがきに反りがあるときは、反りの幅が2mm以内になるようにし、反りの方向が右の図のようになるように直してからセットしてください。

- 印刷所で印刷を施された官製はがき（年賀状など）には裏移り防止用の白い粉が塗布されていることがあります。このプリンターでこのようなはがきへの印刷を繰り返すと、白い粉によりプリンター内部のローラーの摩擦力が低下し、はがきがうまく送れなくなることがあります。このようなはがきを使用するときは、印刷の前にはがきの両面についている粉を乾いた布などで軽く払ってください。

- はがきをまとめてセットする場合は、はがきを十分さばいてからセットしてください。

- 印刷したはがきをポストに入れるときは、反りが5mm以内になるように直してください。反りが大きいと郵便番号読取機の処理に不都合が生じます。

- 往復はがきを使用する場合は、プリンタードライバーの用紙サイズで[ユーザ定義サイズ]を選択し、サイズを指定してご使用ください。

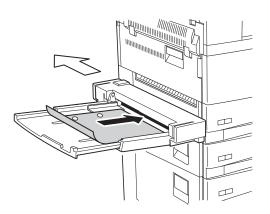
OHPフィルム、ラベル紙、穴あき紙

- OHPフィルム、ラベル紙、穴あき紙は十分にさばいてからセットしてください。
- OHPフィルムは使用環境、種類によっては静電気が発生し、正常に給紙できないときがあります。その際は、手差しに1枚ずつセットして印刷することをお勧めします。
- ラベル紙は保管状態によっては反りが生じ、正常に給紙できないときがあります。その際は、反りを直して印刷してください。
- ラベル紙への印刷は、ラベルの切れ目部分に文字やイラストがかからないようにしてください。

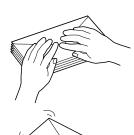
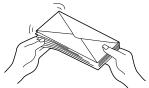
- 次のような状態のラベル紙への印刷は避けてください。印刷不良、紙づまり、プリンターの故障の原因となります。

  - 台紙全体がラベルで覆われていないラベル紙
  - 部分的に使用したラベル紙
  - ラベルがはがれかかっているラベル紙
  - カールしているラベル紙
  - 表面にのりがしみ出ているラベル紙

- 穴あき紙に印刷する場合は、プリンタードライバーの用紙種別で穴あき紙を選択して印刷を行ってください。また、用紙をセットする際は、穴のある辺がプリンター奥側になるようにセットしてください。

封筒

重要

フラップ(封筒の折り返し部分)面には印刷をしないでください。紙づまりの原因となるだけでなく、プリンターが故障することがあります。

- 洋形4号は、封筒フィーダー(オプション)、トレーにセットできます。その他のサイズは、トレーにのみセットできます。
- トレーで封筒を使用する場合は、プリンタードライバーから[ユーザ定義サイズ]を選択し、サイズを指定してご使用ください。
- 封筒は、内カマス、のりなしをご使用ください。ただし封筒の材質によりご使用になれない場合があります。
- 封筒をセットする前に、封筒の束を平らなところへ置き、フラップ(封筒の折り返し部分)をきちんと折り曲げてフラップがはね上がらないようにしてください。フラップをきちんと折り曲げない状態でセットすると、用紙サイズエラーになることがあります。
- 封筒の両端を持って、十分さばいてからセットしてください。

定形外用紙

重要

形状が長方形以外の不規則な形状の用紙、角が直角でない用紙は正常な給紙ができません。紙づまりの原因となるだけでなく、プリンターが故障するおそれがあります。

チェック

定形外用紙は、Windows XP、Windows 2000、Windows NT 4.0、Windows Me、Windows 98、Windows 95からの印刷が可能です。

- 対応可能な用紙の厚み(坪量)は、定形用紙に比べて扱える範囲がせまくなる場合があります。定形外用紙を使用する場合は、事前に十分な試し印刷をして印刷動作を確認することをお勧めします。
- 用紙の紙質、繊維目方向、プレ印刷、ホールパンチ、ミシン目などにより正常に印刷されない場合があります。
- 用紙の種類、繊維目方向によっては印刷後大きくカールするものがあります。
- 印刷した用紙が正常にスタックされない場合があります。この場合はそのつど用紙を取り除いてください。

プレ印刷用紙

プレ印刷用紙は、PPC用紙に比べ印刷時の転写不良や定着時のカールが大きくなる傾向にあるので、PPC用紙に比べ斜行やひどい場合は角折れ、紙づまりなどの障害率が高くなることがあります。本プリンターの印刷位置誤差が許容される範囲および使用用紙を事前に確認の上、十分使用可能という範囲においてプレ印刷用紙を使用する場合は、以下の収納および保管条件を守ってください。

- 原則として、プレ印刷をしてから環境の影響を避けるため、即納入の形態をとること。
- プレ印刷業者から納入された用紙は保管環境を守り、プレ印刷時点より6か月を最大保管期間とする。

詳細については下記のチェックポイントを参照してください。

– プレ印刷用紙を使用する場合には、用紙は推奨紙に準ずる上質なPPC用紙を使用してください。（プレ印刷をする際の表面に薄く塗る水分や油分による影響や、インク自身の収縮により、用紙は変形しやすくなります。）

– プレ印刷は、片面のみで行ってください。

– プレ印刷の事前のチェックポイント

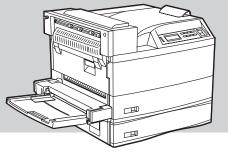
□ 定着部のジャム（紙づまり）、巻き込み角折れの有無
内容：プレ印刷時に、印刷面に薄く水分を含ませ、印刷後、乾燥させるような印刷は、水分が多かったり、乾燥が不十分だったりして、通常の用紙より多くの水分を含んでいます。このように水分等がある状態で定着すると激しいカールを伴い、定着ローラーへの巻き込みジャムあるいは爪へ当たり、角折れが起こることがあります。
処置：プレ印刷業者と相談の上、印刷方法、用紙の変更、梱包方法などを含め、協議してください。

□ 転写不良の有無、用紙カールの程度
内容：プレ印刷のインクの凹凸や部分的吸湿、包装などの不備により用紙が変形し、OPCドラムに密着できなくなります。
処置：包装方法、保管方法をチェックし、改善してください。また、必要に応じて印刷方法、用紙を変更してください。

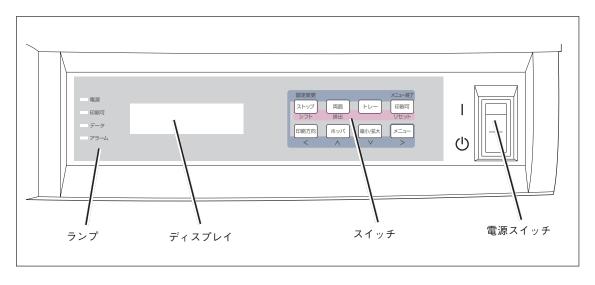
□ 重送の有無
内容：プレ印刷のインクにより用紙とインクがくっついています。
処置：プレ印刷業者に印刷方法などの変更を依頼してください。

□ ジャム（紙づまり）
内容：マイクロパウダー*やインク等によって用紙の摩擦力が下がることにより、フィード力が失われジャムが多発します。2,000～7,000枚印刷後くらいから発生するようなケースがあります。
処置：マイクロパウダーやある種のインクには滑りやすい物質が含まれています。マイクロパウダーを使用している場合は使用を中止してください。また、インクに問題がある場合は印刷方法（インク）の変更などを行ってください。

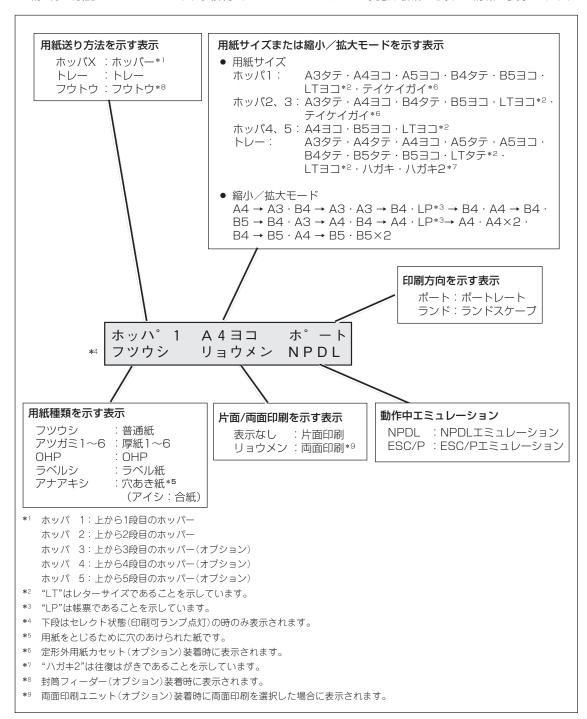
* マイクロパウダーとは、プレ印刷時に、裏にプレ印刷のバック転写が生じないように利用するものです。また、インク自身にもその役割を持っているものがあります。

4章 操作パネルについて

この章では、操作パネルやメニューモードなどプリンターの操作の基本的なことについて説明しています。

操作パネルはユーザーがプリンターの状態を見たり、設定を行ったりするためのものです。ここでは主にNPDL（Level 2）で使用する時の、操作パネル上の「ディスプレイ」および「ランプ」の表示の意味と、「スイッチ」の使い方について説明します。

ESC/Pエミュレーションでは、一部機能が異なります。詳しくは添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されている活用マニュアルの「7章　メニューモード」をご覧ください。

操作パネル

ディスプレイ

16桁2行の液晶ディスプレイです。英数字とカナで、プリンターの状態や操作に関する情報を表示します。

ディスプレイの表示

その他の表示内容については本書の「アラーム表示が出ているときは」（150ページ）、「メニューツリー」（113～115ページ）または、添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されている活用マニュアルの付録「ディスプレイ表示一覧」をご覧ください。

ランプ

印刷可

印刷可ランプ(緑)

点灯　プリンターがセレクト状態（印刷データを受信できる状態）になっています。

消灯　プリンターがディセレクト状態（印刷データを受信できない状態）になっています。

ただし、I/F設定がECPモード中は、印刷データを受信します。

電源

電源ランプ(緑)

点灯　プリンターの電源がONになっています。

消灯　プリンターの電源がOFFになっています。

データ

データランプ(橙)

点灯　プリンターが受信中でなく、かつプリンター内に印刷データが残っていることを示します。

I/F設定がECPモード中にディセレクト状態でデータ受信しているときは、データランプは点滅/点灯しません。

点滅　プリンターが印刷データを受信中です。

消灯　プリンターが受信中でなく、かつプリンター内に印刷データが残っていないことを示します。

アラーム

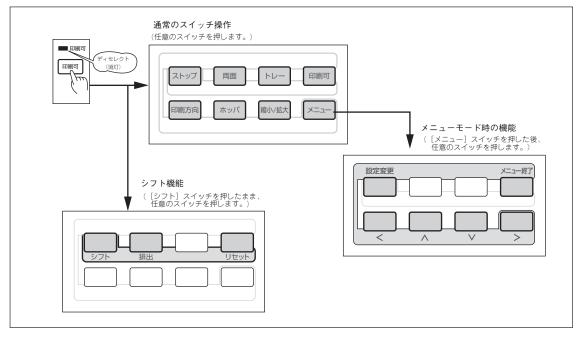
アラームランプ(赤)

点灯　EPカートリッジのトナーが少ない、またはEPカートリッジの寿命です。新しいEPカートリッジと交換してください。詳細については、「6章　日常の保守」(135ページ)をご覧ください。

点滅　用紙なし、指定用紙なし、用紙ホッパーオープン、またはプリンターに異常が発生していることを示します。

消灯　プリンターが正常であることを示します。

スイッチ

プリンターの操作パネルには8個のスイッチがあり、それぞれのスイッチは2つまたは3つの機能をもっています。

スイッチのモード

通常のスイッチ機能	—	[印刷可]スイッチを押し、ディセレクト状態(印刷可ランプが消灯している状態)になって初めて機能します([ストップ]スイッチを除く)。
メニューモード時のスイッチ機能	—	[メニュー]スイッチを押してメニューモードに入ると働く機能です。
シフト時のスイッチ機能	—	[シフト]スイッチを押しながら押すと働く機能です。

- アラームランプが点滅している間はどのスイッチも機能しません。アラームの詳細については「アラーム表示が出ているときは」(150ページ)をご覧ください。
- アプリケーションによっては、スイッチによる設定をアプリケーション側で行えるものもあります。

通常のスイッチ機能

印刷可

[印刷可]スイッチ

このスイッチはプリンターが初期化中でないとき、およびテスト印刷中でないときに機能します。

データを受信できる状態にする。

スイッチを押すごとにデータを受信できる状態(セレクト状態、印刷可ランプ緑点灯)と受信できない状態(ディセレクト状態、印刷可ランプ消灯)に交互に切り替わります。

トレー

[トレー]スイッチ

このスイッチは印刷可ランプとデータランプが消灯しているときに機能します。

給紙先をトレーにする。

ホッパーから用紙を送る状態でこのスイッチを押すと、トレーから用紙を給紙する状態に切り替わります。また、オプションの封筒フィーダー装着時は封筒フィーダーから給紙されます。

トレー給紙の用紙サイズを変更する。

トレー給紙を選択中に、このスイッチを押すたびに用紙サイズの設定が次のように変わります。

本スイッチによる設定とトレーにセットされる用紙のサイズは一致させて使用してください。

*1　[LT]はレターを意味します。
*2　[ハガキ2]は往復はがきを意味します。

両面

[両面]スイッチ*

このスイッチは印刷可ランプとデータランプが消灯しているときに機能します。

* 両面印刷ユニット(オプション)装着時に機能します。
  選択した用紙サイズがはがき、往復はがき、A5横、封筒、定形外用紙以外であること、また用紙種別が普通紙、厚紙1、厚紙2、穴あき紙のとき有効です。

両面印刷モードにする(両面印刷モードを解除する)。

このスイッチを押すたびに両面印刷モードの設定と解除が切り替わります。「厚紙3〜6」または「OHP」、「ラベル紙」を指定した場合は、「リョウメン」が表示されていても、印刷は片面で行われます。

ストップ

[ストップ]スイッチ

このスイッチは常に機能します。

データの受信と印刷を停止し、ディセレクト状態にする。

印刷中にこのスイッチを押すと、印刷中の用紙を排出した後、一時的に印刷を停止します。
受信済みのデータは、プリンター内に残ったままになります。
印刷を再開するときは、[印刷可]スイッチを押します。

メニュー

[メニュー]スイッチ

このスイッチは印刷可ランプとデータランプが消灯しているときに機能します。

メニューモードに入る。

このスイッチを押すと、メニューモードに入ります。

ホッパ

[ホッパ]スイッチ

このスイッチは印刷可ランプとデータランプが消灯しているときに機能します。

給紙先を切り替える。

トレーから用紙を給紙する状態でこのスイッチを押すと、ホッパーから用紙を給紙する状態に切り替わります。

給紙先を選択する(ホッパーを使用しているとき)。

ホッパー給紙を選択中にこのスイッチを押すたびに給紙するホッパーの設定が切り替わります。(選択されたホッパーがディスプレイに表示されます。)

＊　大容量ホッパー装着時のみ表示されます。

- トレーから用紙を給紙する状態でホッパー給紙に切り替えると、メニューモードのホッパー初期設定で指定されているホッパーが選択されます。
- 選択したホッパーがメニューモードで「合紙」に設定されていた場合、そのホッパーは表示されません。通常印刷ではそのホッパーは使用できませんので、選択するホッパーが「合紙」に設定されているかどうか注意してください。

印刷方向

[印刷方向]スイッチ

このスイッチは印刷可ランプとデータランプが消灯しているときに機能します。

印刷方向をポートレートまたはランドスケープに選択する。

このスイッチを押すごとに、ポートレートとランドスケープを交互に切り替えます。

用紙の置き方に関係なく、縦長にした内容を印刷するときはポートレートを、横長にした内容を印刷するときはランドスケープを指定します。選択されている印刷方向は、ディスプレイに表示されています。

ランドスケープ
ランドスケープ
ランドスケープ
ランドスケープ
ランドスケープ

ポートレート
ポートレート
ポートレート
ポートレート
ポートレート
ポートレート

縮小/拡大

[縮小/拡大]スイッチ

このスイッチは印刷可ランプとデータランプが消灯しているときに機能します。また、選択されている用紙サイズがA3、A4、B4、B5のときに機能します。

- アプリケーションによっては縮小・拡大が正しく印刷されないものがあります。
- 印刷データの前に用紙サイズの指定コマンド(FS f c1c2c3)によってA3、B4、または帳票サイズが指定されており、ホッパーにA4サイズの用紙が入っている場合は自動的に縮小して印刷します。詳しくは別売の「NPDL(Level 2)リファレンスマニュアル」、または使用されているアプリケーションのソフトウエアマニュアルをご覧ください。
- 縮小を行った場合、座標などの数値の丸め誤差により、縮小しない場合と印刷結果が異なる場合があります。

縮小／拡大モードの設定をする。

このスイッチを押すと以下のような縮小／拡大印刷ができます。印刷する用紙サイズによって、以下の順序でモード選択されます。

- A3サイズに印刷する

  [A3] → [A4→A3] → [B4→A3] → [A3] → (繰り返し)

- A4サイズに印刷する

  [A4] → [B4→A4] → [LP→A4]＊1 → [A3→A4] → [A4×2]＊2 → [B5→A4] → [A4] → (繰り返し)

- B4サイズに印刷する

  [B4] → [LP→B4]＊1 → [A3→B4] → [B5→B4] → [A4→B4] → [B4] → (繰り返し)

- B5サイズに印刷する

  [B5] → [A4→B5] → [B4→B5] → [B5×2]＊3 → [B5] → (繰り返し)

＊1　LPは帳票サイズ(136桁×66行)を意味します。
＊2　A4×2はA4サイズの2ページ分のデータをA4用紙1枚に印刷します。
＊3　B5×2はB5サイズの2ページ分のデータをB5用紙1枚に印刷します。

メニューモード時のスイッチ機能

メニュー終了

[メニュー終了]スイッチ

メニューモードを終了させる。
メニューモード時にこのスイッチを押すと、メニューモードを終了します。

設定変更

[設定変更]スイッチ

設定変更したい項目(レベル3)を選択する。

メニューモード時でメニューツリーのレベル3の項目を選択中にこのスイッチを押すと、任意の項目の設定を変更することができます。
なお、メニューモードのレベルについては、113〜115ページの「メニューツリー」を参考にしてください。

[>]スイッチ

>

ディスプレイに表示されている設定項目を選択する([→]スイッチとして機能)。

メニューモード時にこのスイッチを押すと、メニューツリーの次のレベル(レベル2またはレベル3)の項目を選択することができます。

[∧]スイッチ

∧

ディスプレイに表示されている設定項目を選択する([↑]スイッチとして機能)。

メニューモード時にこのスイッチを押すと、メニューツリーの同じレベルの項目を選択することができます。

[<]スイッチ

<

ディスプレイに表示されている設定項目を選択する([←]スイッチとして機能)。

メニューモード時にこのスイッチを押すと、メニューツリーのひとつ前のレベル(レベル1またはレベル2)の項目を選択することができます。

[∨]スイッチ

∨

ディスプレイに表示されている設定項目を選択する([↓]スイッチとして機能)。

メニューモード時にこのスイッチを押すと、メニューツリーの同じレベルの項目を選択することができます。

メニューツリーの詳細については「メニューツリー」(113〜115ページ)をご覧ください。

シフト時のスイッチ機能

シフト

[シフト]スイッチ

このスイッチが押されている間、[両面]スイッチおよび[印刷可]スイッチの2つは、それぞれのスイッチの下に表記された機能「排出」、「リセット」が有効となります。

このスイッチを押すと、自動的に印刷可ランプが消灯します。

[排出]スイッチ

このスイッチは印刷可ランプが消灯していて、データランプが点灯している(ディスプレイに“データガノコッテイマス”と表示されている)ときに機能します。アラーム中および用紙がない状態では機能しません。

プリンターに残っている未印刷データをすべて印刷する。

[シフト]スイッチを押した状態でこのスイッチを押すとプリンターに残っているデータをすべて印刷出力します。ただし、インタフェース設定がECPモードでディセレクト中に受信したデータは排出されません。

プリンター内にデータを残したまま次の印刷を行うと、プリンターは残っているデータと次の印刷データを重ねて印刷する場合があります。

[リセット]スイッチ

このスイッチは印刷可ランプが消灯しているときに機能します。アラーム(保守員コール以外)中も機能します。

プリンターを初期状態にする。

[シフト]スイッチを押した状態でこのスイッチを2回続けて押すと、ディスプレイに“リセットジッコウ”と表示され、未印刷データは消失し、プリンターは初期状態(電源スイッチON直後の状態)になります。リセット後、ブザーが2回鳴ります。

リセットすると、スイッチを使って変更したプリンターの設定も、初期状態(電源ON直後の状態)に戻ります。ただし、メニュースイッチを使って変更したメニューモードの内容はリセットされません。詳細は添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されている活用マニュアルの付録の「NPDLの初期状態」をご覧ください。

メニューモード

メニューモードでは、プリンターの操作パネル上のスイッチを使ってプリンターのさまざまな設定を変更することができます。

メニューモードで変更した設定内容は電源をOFFにしても変わりません。

メニューモードでの設定変更のしかた

❶ **[印刷可]スイッチを押して、ディセレクト状態にする。**

印刷可ランプが消灯します。

❷ **データランプが点灯していないことを確認する。**

点灯している場合は[シフト]スイッチを押しながら[排出]スイッチを押して、プリンター内部に残っている印刷データを印刷してください。

データ

❸ **[メニュー]スイッチを押す。**

プリンターはメニューモードに入り、ディスプレイに"テストメニュー　→"と表示します。

テストメニュー　→

❹ **メニューモードの設定を変更する。**

メニューモードの内容は次ページの「メニューモード設定項目一覧」および113～115ページの「メニューツリー」を参照してください。
メニューモード中は次の5個のスイッチで項目の選択、設定の変更を行います。

[>]、[∧]、[∨]、[<]スイッチ	このスイッチを押すとその方向へ進むことを示しています。
[設定変更]スイッチ	押すたびにレベル3をひとつずつ表示し、その内容が自動的に選択されます。

❺ **[メニュー終了]スイッチを押して、メニューモードを終了する。**

プリンターはセレクト状態になり、印刷可ランプが点灯し、ディスプレイは通常表示に戻ります。
変更した設定内容は、このスイッチを押すことによって記憶されます。もしこのスイッチを押さずに電源を落としてしまうと、設定内容の変更は記憶されませんので、ご注意ください。

メニュー終了

ﾎｯﾊﾟ 1　A4ﾖｺ ﾎﾟｰﾄ
ﾌﾂｳｼ　NPDL

メニューモード設定項目一覧

メニューモードで設定できる項目の一覧とそれらの簡単な説明を以下に示します。これらの設定はメモリースイッチからも設定できます。各設定方法で設定できる項目の一覧も以下に示します。

詳細については、添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されている活用マニュアルの7章「メニューモード」を参照してください。

メニューモード設定項目一覧

○：有効　　×：無効

設定項目		説　明	メモリースイッチ(MSW)	ESC/Pエミュレーション
テスト印刷メニュー	ステータス印刷	ステータス印刷を行います。ステータス印刷では、オプションの接続やメモリースイッチの状態など、各プリンターの状態が印刷されます。	×	○
	連続印刷	連続印刷を行います。	×	○
	16進ダンプ印刷	16進ダンプ印刷を行います。	×	○
	LANステータス	標準LAN（インタフェース2）の設定状態を印刷します。	×	○
	通信ログ	標準LAN（インタフェース2）の通信ログを印刷します。	×	○
印刷設定メニュー	コピー枚数設定	コピー枚数は“01”から“99”まで設定できます。	×	○
	トナー節約機能	トナー節約機能を使用するかどうかを選択します。	×	○
用紙メニュー	ホッパ初期設定	電源投入時およびリセット時のホッパー設定を選択します。	×	○
	用紙種別	使用する用紙の種別を選択します。	×	○
	合紙モード設定	合紙（色紙など）給紙するホッパー／トレーを設定します。*1	×	×*4
	リレー給紙設定	リレー給紙機能を使用するかどうかを選択します。*2	×	○
	グループ設定	グループホッパー機能を利用するかどうかを設定します。	×	×*4
	定形外カセット設定	定形外用紙カセット（オプション）の用紙サイズを設定します。	×	×*4
印字位置設定メニュー	ホッパ1微調整	ホッパー、トレー、封筒、両面印刷時の表面・裏面の印刷位置を調整します。 LM TM ABCD 用紙送り方向	×	○
	ホッパ2微調整		×	○
	ホッパ3微調整*3		×	○
	ホッパ4微調整*3		×	○
	ホッパ5微調整*3		×	○
	トレー微調整		×	○
	封筒微調整*3		×	○
	表面微調整*3		×	○
	裏面微調整*3		×	○

*1　合紙モードに設定されたホッパー/トレーからは通常印刷では使用できません。ホッパーまたはトレースイッチから選択もできません。合紙モードを設定する場合は、通常使用するホッパーと違うホッパーを選択してください。また、トレーを合紙に設定する場合は、合紙設定を行う前に用紙サイズをトレースイッチで選択しておいてください。

*2　リレー給紙は、リレー前のホッパー（トレー）とリレーに使用するホッパー（トレー）を共にONに設定してください。

*3　オプション装着時。

*4　メニューモードでの設定は可能ですが、ESC/Pエミュレーションの印刷ではこの機能を使用することはできません。

メニューモード設定項目一覧（続き）

○：有効　×：無効

<table>
<tr><th colspan="2">設定項目</th><th>説　明</th><th>メモリースイッチ(MSW)</th><th>ESC/Pエミュレーション</th></tr>
<tr><td rowspan="3">オプション設定メニュー</td><td>両面印刷設定*5</td><td>両面印刷するかしないか、綴じしろ付加、余白、クリップの設定をします。</td><td>×</td><td>○</td></tr>
<tr><td>フェースアップトレー設定</td><td>フェースアップトレーを使用するかしないかを設定します。</td><td>×</td><td>○</td></tr>
<tr><td>排出先設定*5</td><td>排出先を設定をします。（フェースダウン、フェースアップ、フィニッシャー）</td><td>×</td><td>○</td></tr>
<tr><td rowspan="4">運用メニュー</td><td>節電機能</td><td>節電機能を使用するかしないかを設定します。</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>節電時間設定*1</td><td>節電機能有効時の節電に入るまでの時間設定を行います。</td><td>×</td><td>○</td></tr>
<tr><td>自動排出*2</td><td>自動排出の有効／無効、および設定時間を選択します。</td><td>×</td><td>○</td></tr>
<tr><td>メモリー設定*6</td><td>プリンターが持つメモリーの使用方法を選択します。</td><td>×</td><td>○</td></tr>
<tr><td rowspan="6">フォントメニュー</td><td>1バイト系ゼロ</td><td>1バイト系ゼロの字体を切り替えます。</td><td>○*7</td><td>○*7</td></tr>
<tr><td>2バイト系ゼロ</td><td>2バイト系ゼロの字体を切り替えます。</td><td>×</td><td>○</td></tr>
<tr><td>ANK</td><td>1バイト系コードのフォントのANK文字を選択します。</td><td>×</td><td>○</td></tr>
<tr><td>漢字</td><td>標準フォント（2バイト文字）を選択します。（明朝／ゴシック）</td><td>×</td><td>○*3</td></tr>
<tr><td>文字セット</td><td>2バイト系文字セットを選択します。</td><td>×</td><td>×</td></tr>
<tr><td>国別</td><td>各国文字セットを選択します。</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td rowspan="2">動作メニュー</td><td>動作エミュレーション</td><td>2つのインターフェースの初期動作エミュレーショの設定を行います。</td><td>×</td><td>○</td></tr>
<tr><td>動作自動切り替え</td><td>2つのインターフェースの動作自動切り替えを使用するかどうか、自動切り替え時間の設定を行います。</td><td>×</td><td>○</td></tr>
<tr><td rowspan="3">NPLD設定メニュー</td><td>A4ポートレート桁数</td><td>用紙がA4サイズ、ポートレート方向で使われるときの1行あたりの文字数を設定します。</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>エミュレーション</td><td>ページプリンターモードか201エミュレーションモードかを選択します。</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>136桁モード設定</td><td>136桁モードの有効・無効を選択します。
有効のときは、用紙位置調整の方向と量を選択します。</td><td>○</td><td>○*4</td></tr>
<tr><td rowspan="2">I/F設定</td><td colspan="2">インターフェース1の設定を行います（双方向、IPアドレス（オプション時））。</td><td>×</td><td>○</td></tr>
<tr><td colspan="2">インターフェース2の設定を行います（IPアドレス等LANの設定）。</td><td>×</td><td>○</td></tr>
<tr><td rowspan="5">設定初期化メニュー</td><td>メニュー初期化</td><td>メニュー項目を初期設定に戻します。</td><td>×</td><td>○</td></tr>
<tr><td>LAN初期化</td><td>LAN項目を初期設定に戻します。</td><td>×</td><td>○</td></tr>
<tr><td>全初期化</td><td>メニュー項目、LAN項目のすべてを初期設定に戻します。</td><td>×</td><td>○</td></tr>
<tr><td>呼び出し</td><td>設定記憶で記憶されている内容を呼び出します。</td><td>×</td><td>○</td></tr>
<tr><td>記憶</td><td>メニューモード内の各種機能設定とトレースイッチで設定した用紙サイズをまとめて記憶します。</td><td>×</td><td>○</td></tr>
<tr><td>メモリースイッチメニュー</td><td colspan="2">メニューモードの中で比較的変更頻度の低いものがまとめられています。</td><td>○</td><td>○</td></tr>
</table>

*1 節電までの時間は目安です。使用状況に応じて設定してください。

*2 コンピューターに負荷がかかっている場合やネットワークのトラフィックが多いときなど、自動排出までの待ち時間（最大30秒）データ送信に時間がかかることがあります。この場合、途中で用紙が排出されるため正常な印刷結果が得られません。自動排出の設定を無効にする必要があります。

*3 「ミンチョウ」「ゴシック」はESC/Pコマンドの「FS K（漢字の書体選択）」によって切り替えることができます。

*4 常に136桁モードになります。

*5 オプション装着時に表示されます。

*6 64MB以上のメモリーを増設した時の初期設定は異なります。

*7 OCR-Bフォントを使用した場合は、設定に関わらず「0」で印刷されます。

メモリースイッチの内容

メモリースイッチは1か0を選択することによって、他のメニューと同じように様々な機能を設定することができます。メモリースイッチは1-1から10-8まであります(未使用のスイッチもあります)。表中の太文字は工場出荷時の設定を示しています。

メニューモードで設定できるメモリースイッチの内容

○：有効　　×：無効

番号	機　能	0	1	ESC/Pモードでの動作
1-1 1-2 1-3	各国文字の切り替え	3つのスイッチの1／0の組み合わせにより、5か国語の文字を切り替えます。（活用マニュアル参照） **すべて0（日本語）**		○
1-4	グレースケールの網点の切り替え	**粗い**	細い	×
1-5	DC1、DC3の有効／無効の切り替え	**有効**	無効	○
1-6	オートリターンの切り替え	**CR+LF**	CRのみ	×
1-7	印刷指令の切り替え	**CRのみ**	CR+その他	×
1-8	CR機能の切り替え	**復帰のみ**	復帰改行	○
2-1	1バイト系コードのゼロの字体の切り替え*	**0**	Ø	○
2-2	電源投入時のエミュレーションモードの切り替え	**201PLエミュレーション**	ページプリンター（NPDL）	×
2-3	ドット列印刷モードの切り替え	**ネイティブモード**	コピーモード	×
2-4～2-5	（未使用）			—
2-6	7ビット／8ビットデータの切り替え	**8ビット**	7ビット	×
2-7	A4ポートレート印刷桁数の切り替え	**78桁**	80桁	○
2-8	B4→A4縮小時の縮小率の切り替え	**4/5倍**	2/3倍	○
3-1 3-2 3-3 3-4	レフトマージン量の設定 または用紙位置微調整量の設定（136桁モード）	4つのスイッチの1／0の組み合わせにより、0インチから15/10インチまでの範囲で設定します。（1/10インチ単位）（活用マニュアルの7章参照） **すべて0（0インチ）**		○
3-5	用紙位置微調整方向の設定（136桁モード）	**左**	右	○
3-6	用紙位置の設定（136桁モード）	**左端合わせ**	中央合わせ	○
3-7	136桁モードの有効／無効の切り替え	**無効**	有効	○
3-8	ブザー機能の有効／無効の切り替え	**有効**	無効	×

*　OCR-Bフォントを使用した場合は、設定に関わらず「0」で印刷されます。

メニューモードで設定できるメモリースイッチの内容(続き)

○：有効　　×：無効

番号	機　能	0	1	ESC/Pモードでの動作
4-1～4-2	(未使用)			―
4-3	ESC c1での登録データを初期化する／しないの切り替え	**初期化する**	初期化しない	×
4-4	FFコードのみで白紙を出力する／しないの切り替え	**出力する**	出力しない	×
4-5	書式回転指定時の回転方向	**反時計回り**	時計回り	○
4-6～4-8	(未使用)			―
5-1	同期コードの無効／有効の切り替え*	**無効**	有効	○
5-2～5-8	(未使用)			―
6-1	SETを使用する／しないの切り替え	**使用する**	使用しない	○
6-2～6-6	(未使用)			―
6-7	節電機能を使用する／しないの切り替え	**使用する**	使用しない	○
6-8	(未使用)			―
7-1	データストローブ信号のデータラッチタイミング［インタフェース1］	**前縁ラッチ**	後縁ラッチ	○
7-2～7-6	(未使用)			―
7-7	FS fコマンドでの指定用紙サイズなしを表示する／しないの切り替え	**表示する**	表示しない	×
7-8	FS fコマンドでの自動縮小をする／しないの切り替え	**自動縮小する**	自動縮小しない	×
8-1 8-2	ビジィアクノリッジ(BUSY－ACK)のタイミング［インタフェース1］ (組み合わせとタイミングについては活用マニュアルの6章参照)	2つのスイッチの1/0の組み合わせで、BUSY－ACKのタイミングを切り替えます。 **タイミングA** (8-1：0、8-2：0)		○
8-3 8-4	アクノリッジ(ACK)の幅 ［インタフェース1］ (組み合わせとタイミングについては活用マニュアルの6章参照)	2つのスイッチの1/0の組み合わせで、ACKの幅を切り替えます。 **1μs** (8-3：0、8-4：0)		○
8-5～8-8	(未使用)			―
9-1	(未使用)			―
9-2	ページフォーマット反転	**反転しない**	反転する	○
9-3～9-6	(未使用)			―
9-7	トナーが残り少ないとき、印刷を停止するかしないかの切り替え	**停止しない**	停止する	○
9-8	(未使用)			―
10-1 ～10-8	(未使用)			―

*　本スイッチを変更した場合は、プリンターの電源を再投入してください。

メニューツリー

次にメニューモードを図式的に表したメニューツリーを示します。（下線部分は出荷時の設定値です。）
「＊」で示す補足的な説明は116ページにあります。

A
インジイチセッテイメニュー
ホッパ1　ビチョウセイ
TM：+3.9mm ～ 0mm ～ –3.9mm［0.3mm単位］
LM：+3.9mm ～ 0mm ～ –3.9mm［0.3mm単位］
ホッパ2　ビチョウセイ
TM：+3.9mm ～ 0mm ～ –3.9mm［0.3mm単位］
LM：+3.9mm ～ 0mm ～ –3.9mm［0.3mm単位］
ホッパ3　ビチョウセイ
*1
TM：+3.9mm ～ 0mm ～ –3.9mm［0.3mm単位］
LM：+3.9mm ～ 0mm ～ –3.9mm［0.3mm単位］
ホッパ4　ビチョウセイ
*1
TM：+3.9mm ～ 0mm ～ –3.9mm［0.3mm単位］
LM：+3.9mm ～ 0mm ～ –3.9mm［0.3mm単位］
ホッパ5　ビチョウセイ
*1
TM：+3.9mm ～ 0mm ～ –3.9mm［0.3mm単位］
LM：+3.9mm ～ 0mm ～ –3.9mm［0.3mm単位］
トレー　ビチョウセイ
*5
TM：+3.9mm ～ 0mm ～ –3.9mm［0.3mm単位］
LM：+3.9mm ～ 0mm ～ –3.9mm［0.3mm単位］
フウトウ　ビチョウセイ
*4
TM：+3.9mm ～ 0mm ～ –3.9mm［0.3mm単位］
LM：+3.9mm ～ 0mm ～ –3.9mm［0.3mm単位］
ウラメン　ビチョウセイ
*6
TM：+3.9mm ～ 0mm ～ –3.9mm［0.3mm単位］
LM：+3.9mm ～ 0mm ～ –3.9mm［0.3mm単位］
オモテメン　ビチョウセイ
*6
TM：+3.9mm ～ 0mm ～ –3.9mm［0.3mm単位］
LM：+3.9mm ～ 0mm ～ –3.9mm［0.3mm単位］
オプションセッテイメニュー
リョウメンインサツメニュー
*6
初期設定：OFF／ON
綴じ代　：ロング1、ショート1、
ロング2、ショート2
余白　：0mm ～ 20mm
クリップ：ON／OFF
フェースアップトレー
未使用、使用
ハイシュツサキ　セッテイ
*7
フェースダウン、フェースアップ、
フィニッシャ
ウンヨウメニュー
セツデンキノウ
*8
無効、有効
セツデンジカン　セッテイ
5分、10分、30分、60分、90分
ジドウ　ハイシュツ
無効、5秒、15秒、30秒
メモリ　セッテイ
標準、電子ソート優先
フォントメニュー
1バイト系ゼロ*9：0、0̸
2バイト系ゼロ　：0、0̸
ANK：標準、イタリック、クーリエ、ゴシック
漢字：明朝、ゴシック
文字セット：JIS1978、JIS1983、JIS1990
国別*10：日本、アメリカ、イギリス、ドイツ、
スウェーデン
ドウサメニュー
ドウサエミュレーション
インタフェース1　：NPDL、ESC/P
インタフェース2*11：NPDL、ESC/P
ドウサジドウ　キリカエ
インタフェース1　：OFF／ON
インタフェース2*11：OFF／ON
タイムアウト　：5秒、15秒、30秒
B

B
NPDLセッテイメニュー
A4ポートレート　ケタスウ
*12
78桁／80桁
エミュレーション
*13
201エミュレーション／ページプリンターモード
136ケタモード　セッテイ
*14
136桁モード*15： 無効／有効
用紙位置*16 ：左／中央
微調整*17 ：0 ～ 左15 ～ 右15
I／Fセッテイメニュー
インタフェース1　セッテイ
双方向設定 ：ニブル、ECP、なし
IPアドレス*18 ：000.000.000.000
サブネットマスク*18：000.000.000.000
インタフェース2　セッテイ
IPアドレス*19 ：000.000.000.000
サブネットマスク*19 ：000.000.000.000
ゲートウェイアドレス*19 ：000.000.000.000
DHCP ：OFF／ON
アクセスセイゲン ：OFF/ON
セッテイショキカメニュー
メニュー初期化、LAN初期化、全初期化、
呼び出し、記憶
メモリスイッチメニュー
MSW1： 0 0 0 0 0 0 0 0
MSW2： 0 0 0 0 0 0 0 0
MSW3： 0 0 0 0 0 0 0 0
MSW4： 0 0 0 0 0 0 0 0
MSW5： 0 0 0 0 0 0 0 0
MSW6： 0 0 0 0 0 0 0 0
MSW7： 0 0 0 0 0 0 0 0
MSW8： 0 0 0 0 0 0 0 0
MSW9： 0 0 0 0 0 0 0 0
MSW10：0 0 0 0 0 0 0 0

*[1] 装着されているホッパーのみ表示されます。

*[2] 厚紙レベル1のみ表示されます。

*[3] 封筒フィーダーは厚紙1〜6で使用できます。封筒フィーダー装着時、出荷時の用紙種別の設定値は厚紙3です。封筒フィーダーを外し、トレーを装着した場合、封筒フィーダーで使用していた用紙種別のままとなりますので、トレーで使用する用紙種別を設定してください。

*[4] 封筒フィーダー装着時に表示されます。

*[5] 封筒フィーダー装着時には、表示されません。

*[6] 両面印刷ユニット装着時に表示されます。

*[7] 装着されたオプションによって表示されます。また、フェースアップトレーを装着したときに表示されます。

*[8] MSW6-7と同期します。

*[9] MSW2-1と同期します。

*[10] MSW1-1〜MSW1-3と同期します。

*[11] 標準LANポートの設定をします。

*[12] MSW2-7と同期します。

*[13] MSW2-2と同期します。

*[14] 201エミュレーションのときのみ表示されます。

*[15] MSW3-7と同期します。

*[16] 136ケタモードが有効のときのみ表示されます。MSW3-6と同期します。

*[17] 136ケタモードが有効のときのみ表示されます。MSW3-1〜MSW3-5と同期します。

*[18] インターフェース1にオプションのLANアダプターが装着され、かつ双方向設定がECPのときのみ表示されます。

*[19] DHCPがONの場合は、DHCPで取得したアドレスが表示されます（入力不可）。

リレー給紙の設定

リレー給紙とは、印刷を行っている時に給紙先の用紙がなくなった場合に用紙がセットされている別の給紙先に自動的に切り替える機能です。この機能を利用するためには同じサイズおよび同じ用紙種別の用紙がホッパー、トレー、または大容量ホッパーにセットされていて、プリンターのリレー給紙設定を有効にする必要があります。

また、A4、A5、B5、レターの用紙サイズをセットした場合は用紙のセット方向を同じにする必要があります。

リレー給紙機能を使うには次のステップで設定する必要があります。

Step 1　リレー給紙を有効にする
Step 2　給紙方法を設定する

Step 1　リレー給紙を有効にする

リレー給紙を有効にするために、プリンターの設定を行います。

❶ **メニューモードに入る。**

[印刷可]スイッチを押してプリンターをディセレクト状態にし、[メニュー]スイッチを押して"テストメニュー　→"を表示させます。

❷ **操作パネルの[V]スイッチ、[>]スイッチ、[設定変更]スイッチを押して、"ヨウシメニュー"の"リレーキュウシ"をONにする。**

詳しくは、「メニューツリー」(113〜115ページ)をご覧ください。

リレー給紙させるホッパーまたはトレーすべての"リレーキュウシ"をONにしてください。

❸ **[メニュー終了]スイッチを押す。**

❹ **設定が終わったら、リレー給紙を有効にしたホッパーまたはトレーの用紙サイズ、用紙の種類、用紙のセット方向が同じになっているか確認する。**

Step 2　給紙方法を設定する

印刷を開始するときに[給紙方法]で[自動]を選択します。

❶ **プリンタードライバーのプロパティダイアログボックスの[用紙]シートを開く。**

❷ **ホッパーの給紙方法が[自動]になっていることを確認する。**

プリンタードライバーの給紙方法を確認するには、5章の「印刷の詳細設定」(124ページ)を参照してください。

❸ **[印刷]ダイアログボックスで印刷範囲、印刷部数を指定し、[OK]をクリックして印刷する。**

グループホッパーの設定

複数のホッパーおよびトレーを一つのホッパーとして取り扱うことで、用紙を補給する手間が省けます。グループ化は、2個までできます。

例）グループA............................ホッパー1、2
　　グループB............................ホッパー3、5、トレー

グループホッパー機能を使うには次のステップで設定する必要があります。

Step 1　グループホッパーを有効にする
Step 2　給紙方法を設定する

Step 1　グループホッパーを有効にする

グループホッパーを有効にするために、プリンターの設定を行います。

❶ **メニューモードに入る。**

[印刷可]スイッチを押してプリンターをディセレクト状態にし、[メニュー]スイッチを押して"テストメニュー　→"を表示させます。

❷ **操作パネルの[∨]スイッチ、[>]スイッチ、[設定変更]スイッチを押して、"ヨウシメニュー"の"グループセッテイ"を選択する。**

詳しくは、「メニューツリー」（113〜115ページ）をご覧ください。

グループ゜　セッテイ
←XXXXX　　　グループ゜A＊

❸ **[メニュー終了]スイッチを押す。**

❹ **設定が終わったら、グループホッパーを有効にしたホッパーおよびトレーの用紙サイズ、用紙の種類、用紙のセット方向が同じになっているか確認する。**

Step 2　給紙方法を設定する

印刷を開始するときに[給紙方法]で[グループA]または[グループB]を選択します。

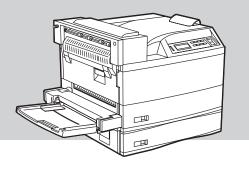
❶ **プリンタードライバーのプロパティダイアログボックスの[用紙]シートを開く。**

❷ **ホッパーの給紙方法が[グループA]または[グループB]になっていることを確認する。**

プリンタードライバーの給紙方法を確認するには、5章の「印刷の詳細設定」（124ページ）を参照してください。

❸ **用紙の種類、用紙のサイズがプリンターメニューモードと同じになっていることを確認する。**

❹ **[印刷]ダイアログボックスで印刷範囲、印刷部数を指定し、[OK]をクリックして印刷する。**

5章
印刷するには

この章では、アプリケーションから印刷する手順、および定形外用紙に印刷する手順を説明します。また、MultiWriter 4550のもつ便利な機能を紹介します。

実際に印刷を始める前に、ホッパーやトレーで使用できる用紙サイズおよび用紙の種類を次ページの表で、ご確認ください。

使用できる用紙サイズと種類

各用紙サイズでの動作対応表

給紙方法・排紙方法／用紙サイズ		A3	A4		A5		B4	B5		レター		はがき	往復はがき	封筒	定形外	
		タテ	ヨコ	タテ	ヨコ	タテ	タテ	ヨコ	タテ	ヨコ	タテ	ヨコ	タテ	ヨコ	長さ	幅
給紙方法	ホッパー1	○	○	—	○	—	○	○	—	○	—	—	—	—	—	
	ホッパー2	○	○	—	—	—	○	○	—	○	—	—	—	—	—	
	ホッパー3	○	○	—	—	—	○	○	—	○	—	—	—	—	—	
	ホッパー4	—	○	—	—	—	—	○	—	○	—	—	—	—	—	
	ホッパー5	—	○	—	—	—	—	○	—	○	—	—	—	—	—	
	トレー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○*1	105.0～431.8mm	100.0～297.0mm
	封筒フィーダー	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○*2	—	
	定形外用紙カセット1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	139.7～431.8mm	182.0～297.0mm
	定形外用紙カセット2、3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	182.0～431.8mm	182.0～297.0mm
排紙方法	フェースダウン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	フェースアップ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	—	○	
	フィニッシャー	○	○	○	—	—	○	○	○	○	○	—	—	—	—	
オフセット排紙	本体	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	—	—	
	フィニッシャー*3	○	○	○	—	—	○	○	—	○	○	—	—	—	—	
フィニッシャー機能	ステープル	○	○	○	—	—	○	○	—	○	○	—	—	—	—	
	パンチ	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
両面印刷		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	—	—	

*1　定形外として使用（ユーザー定義で用紙サイズを入力）
*2　洋形4号のみ
*3　ステープル時は、オフセット排紙の指定はできません。

各用紙種類での動作対応表

給紙方法・排紙方法/用紙種類*5		普通紙	厚紙1	厚紙2*1	厚紙3*1	厚紙4*1	厚紙5*1	厚紙6*1	ラベル紙*5	穴あき紙	OHP	封筒
給紙方法	ホッパー1	○	○	—	—	—	—	—	—	○	○	—
	ホッパー2	○	○	○	○	○	○	○*4	○	○	○	—
	ホッパー3	○	○	○	○	○	○	○*4	○	○	○	—
	ホッパー4	○	○	○	○	○	○	○*4	○	○	—	—
	ホッパー5	○	○	—	—	—	—	—	—	○	—	—
	トレー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	封筒フィーダー	—	○	○	○	○	○	○	—	—	—	○
	定形外用紙カセット1	○	○	—	—	—	—	—	—	○	○	—
	定形外用紙カセット2、3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
排紙方法	フェースダウン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	フェースアップ	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	フィニッシャー	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—
オフセット排紙	本体	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	フィニッシャー	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—
フィニッシャー機能	ステープル	○*2	○*3	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	パンチ	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—
両面印刷		○	○	○	—	—	—	—	—	○	—	—

*1 厚紙2〜6の用紙坪量の関係は目安になっています。テスト印刷を実施して定着性を確認してください。

*2 最大50枚まで可能

*3 用紙厚90g/m^{2}までは最大40枚、105g/m^{2}までは最大30枚まで可能

*4 180g/m^{2}以下の用紙でも定着性が弱いときは厚紙6モードを使用してください。

*5 厚紙モード設定時の印刷動作は下表のとおりです。

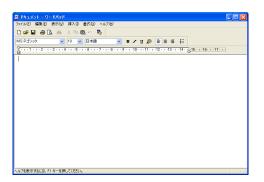
厚紙種類	印刷動作
厚紙1	通常の連続印刷
厚紙2	印刷前に6秒のアイドリングを行い、45ページ印刷毎に6秒のアイドリングを行う。
厚紙3	印刷前に15秒のアイドリングを行い、15ページ印刷毎に15秒のアイドリングを行う。
厚紙4（ラベル紙）	印刷前に30秒のアイドリングを行い、15ページ印刷毎に30秒のアイドリングを行う。
厚紙5	印刷前に45秒のアイドリングを行い、15ページ印刷毎に45秒のアイドリングを行う。
厚紙6	印刷前に60秒のアイドリングを行い、15ページ印刷毎に60秒のアイドリングを行う。

注：上記ページ数は、A4横（レター横）サイズ以下の用紙サイズの場合

印刷手順

アプリケーションから印刷する

ここでは、Windows XPに付属されている日本語ワードプロセッサー「ワードパッド」を例にとって一般的な印刷手順について説明します。Windows 2000/Me/98/95、およびWindows NT 4.0の場合は多少画面の表示が異なりますが基本的な操作は同じです。

❶ [スタート]メニューからワードパッドを起動し、印刷したいデータを開く。

❷ [ファイル]メニューの[印刷]をクリックする。

❸ [印刷]ダイアログボックスの[プリンタの選択]に[NEC MultiWriter 4550]が選択されていることを確認する。

選択されていなければ、[プリンタの選択]から[NEC MultiWriter 4550]を選択してください。

Windows XP

Windows 2000

Windows NT 4.0/Me/98/95の場合は、［プリンタ名］から［NEC MultiWriter 4550］を選択してください。

Windows NT 4.0/Me/98/95

❹ **必要に応じてプロパティダイアログボックスで印刷の詳細を設定する。**

プロパティダイアログボックスの開き方については次ページをご覧ください。

❺ **ページ範囲と印刷部数を指定して、［OK］をクリックする。**

［MOPYING設定ウィンドウを表示する］が設定されている場合は、この後MOPYING設定ウィンドウが表示されます。次の手順に進んでください。

設定されていない場合は、印刷が開始されます。

❻ **［MOPYING設定ウィンドウを表示する］が設定されている場合は、複数ページレイアウト印刷、排出方法などを設定し、［印刷開始］をクリックする。**

印刷が開始されます。

MOPYING設定ウィンドウは、アプリケーションから印刷を行うごとに表示されます。表示する必要がない場合は、「今後このウィンドウを表示しない」をチェックしてください。

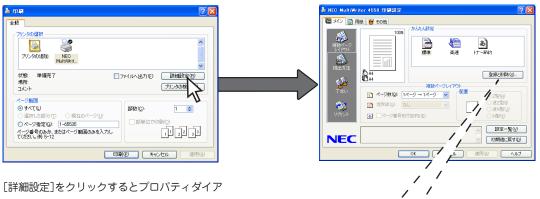
印刷の詳細設定（プロパティダイアログボックスの開き方）

印刷の詳細設定はプロパティダイアログボックスで行います。設定内容などの詳細については各プロパティダイアログボックスのヘルプをご覧ください。以下は、アプリケーションメニューからプロパティダイアログボックスを開いた例です。

各OSとも、プロパティダイアログボックスはアプリケーションのメニューから開く方法と［プリンタとFAX］フォルダー*から開く方法があります。

アプリケーションメニューから開いた場合は、一般的にそのアプリケーションでのみ有効な設定になります。また、［プリンタとFAX］フォルダー*から開いた場合は、すべてのアプリケーションの基本設定になります。

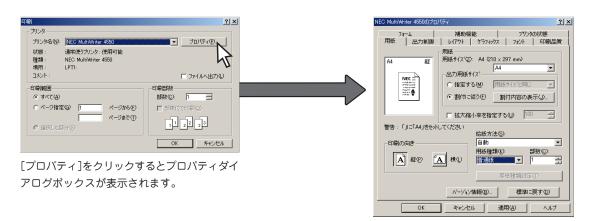
* Windows XP以外の場合は、［プリンタ］フォルダー

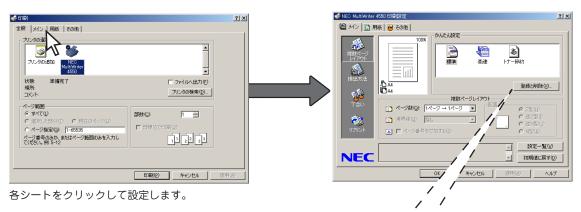
Windows XPの場合

［詳細設定］をクリックするとプロパティダイアログボックスが表示されます。

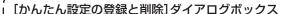
［かんたん設定の登録と削除］ダイアログボックス

［プリンタとFAX］フォルダーからプロパティダイアログボックスを開いた場合に、［メイン］シートの［登録と削除］ボタンをクリックすると「かんたん設定」の登録が行えます。「かんたん設定」とは、よく使う印刷設定をあらかじめ登録しておける機能です。詳細は活用マニュアルまたはヘルプをご覧ください。

Windows Me/98/95の場合

[プロパティ]をクリックするとプロパティダイアログボックスが表示されます。

Windows 2000/NT 4.0*の場合

各シートをクリックして設定します。

* Windows NT 4.0の場合は印刷のダイアログ画面イメージが多少異なります。

[かんたん設定の登録と削除]ダイアログボックス

[プリンタ]フォルダーからプロパティダイアログボックスを開いた場合に、[メイン]シートの[登録と削除]ボタンをクリックすると「かんたん設定」の登録が行えます。「かんたん設定」とは、よく使う印刷設定をあらかじめ登録しておける機能です。詳細は活用マニュアルまたはヘルプをご覧ください。

定形外用紙に印刷する

定形外サイズ用紙や厚紙などの用紙に出力するには、以下の手順を行ってください。

定形外サイズの用紙に印刷する

Step 2およびStep 3は、OSごとに説明します。

Step 1　定形外用紙をセットする（詳細は3章を参照してください。）
Step 2　ユーザー定義サイズを設定する
Step 3　ユーザー定義サイズで印刷する

定形外用紙カセットに定形外サイズの用紙をセットする場合はあらかじめ使用できる用紙の種類、用紙サイズを確認しておいてください。（用紙については付録の「用紙の規格」をご覧ください。）

チェック

- プリンターにセットできる用紙サイズは、トレーでは幅100.0〜297.0mm、長さは105.0〜431.8mmです。ホッパー1では幅182.0〜297.0mm、長さは139.7〜431.8mmです。ホッパー2、3では幅182.0〜297.0mm、長さは182.0〜431.8mmです。
- 定形外用紙カセットにセットされた用紙は、定形用紙（A4など）がセットされても定形外用紙として扱われます。

Step 1　定形外サイズの用紙をセットする

手順は、3章の「定形外用紙カセットに用紙をセットする」（91ページ）を参照してください。

Step 2　ユーザー定義サイズを設定する

定形外用紙の用紙サイズをユーザー定義サイズとして、次の手順で設定します。各OSごとに説明します。

- Windows XP/2000/NT 4.0の場合、複数の用紙サイズ（ユーザー定義サイズ）を追加することができます。設定できる用紙サイズは幅100〜597mm、長さは105〜840mmです。詳しくはOSのヘルプを参照してください。

- Windows Me/98/95の場合、設定できる用紙サイズ（ユーザー定義サイズ）は一種類のみです。設定できる用紙サイズは幅100〜297mm、長さは105〜431.8mmです。

各OSとも、プロパティダイアログボックスはアプリケーションのメニューから開く方法と[プリンタとFAX]フォルダー*から開く方法があります。

アプリケーションメニューから開いた場合は、一般的にそのアプリケーションでのみ有効な設定になります。また、[プリンタとFAX]フォルダー*から開いた場合は、すべてのアプリケーションの基本設定になります。

*　Windows XP以外は[プリンタ]フォルダー

<Windows XP/2000/NT 4.0の場合>

❶ **［プリンタとFAX］フォルダーを開く。**

Windows XP以外の場合は、［プリンタ］フォルダーを開きます。

❷ **［ファイル］メニューから［サーバーのプロパティ］をクリックする。**

❸ **［用紙］シートを開く。**

❹ **［新しい用紙を作成する］をチェックして、任意の用紙名、用紙サイズを入力し、［用紙の保存］をクリックする。**

❺ **リストボックスに新規作成した用紙名が追加されたことを確認して［閉じる］をクリックする。**

Windows XP/2000

Windows NT 4.0

これで新しい用紙サイズが追加されました。

<Windows Me/98/95の場合>

❶ **［プリンタ］フォルダーを開く。**

❷ **使用するプリンターのアイコンをクリックする。**

❸ **［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックする。**

［プロパティ］ダイアログボックスが表示されます。

❹ **［用紙］シートを開き、［用紙サイズ］ダイアログボックスから［ユーザ定義］を選ぶ。**

✔チェック

- ［ユーザ定義サイズ］を選択すると給紙方法でホッパーは選択できません。
- 坪量70g/m²を越える用紙の場合［用紙種類］ダイアログボックスで［厚紙］を指定してください。

❺ **用紙の［幅］と［長さ］を入力し、［OK］をクリックする。**

❻ **［OK］をクリックし、［プロパティ］ダイアログボックスを閉じる。**

これでユーザー定義の用紙サイズが設定できました。

Step 3　ユーザー定義サイズで印刷する

＜Windows XP/2000/NT 4.0の場合＞

❶ **アプリケーションの[ファイル]メニューで[印刷]をクリックし、[印刷]ダイアログボックスを開く。**

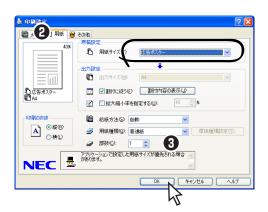
アプリケーションによっては、この手順後に[印刷]ダイアログボックスの[詳細設定]または、[プロパティ]をクリックします。

❷ **[用紙]シートを開き、[用紙サイズ]ボックスから、Step2で追加した用紙サイズを選択する。**

✔チェック

- [ユーザ定義サイズ]を選択すると給紙方法でホッパーは選択できません。
- 坪量70g/m²を超える用紙の場合[用紙種類]ダイアログボックスで[厚紙]を指定してください。

❸ **印刷部数を指定し、[OK](または[印刷])をクリックする。**

＜Windows Me/98/95の場合＞

❶ **アプリケーションの[ファイル]メニューで[印刷]をクリックし、[印刷]ダイアログボックスを開く。**

❷ **[プロパティ]をクリックする。**

❸ **[用紙]シートを開き、[用紙サイズ]ボックスから、[ユーザ定義サイズ]を選択する。**

✔チェック

- [ユーザ定義サイズ]を選択すると給紙方法でホッパーは選択できません。
- 坪量70g/m²を超える用紙の場合[用紙種類]ダイアログボックスで[厚紙]を指定してください。

❹ **[ユーザ定義サイズ]ダイアログボックスで[幅]と[長さ]を確認し、[OK]をクリックする。**

❺ **印刷部数を指定し、[OK]をクリックする。**

厚紙に印刷する

ホッパーまたはトレーに厚紙をセットする場合はあらかじめ設定できる用紙の厚さを確認しておいてください。(用紙については付録の「用紙の規格」をご覧ください。)
ホッパー1、5では厚紙レベル1(坪量64〜105g/m²)まで、ホッパー2〜4、およびトレーでは厚紙レベル6(坪量64〜200g/m²)まで、選択できます。使用できる用紙坪量と厚紙レベルの関係は、下表のとおりです。

用紙種類	用紙坪量
普通紙	64〜70g/m²
厚紙1	70〜105g/m²
厚紙2	105〜120g/m²
厚紙3	120〜140g/m²
厚紙4	140〜160g/m²
厚紙5	160〜180g/m²
厚紙6	180〜200g/m²

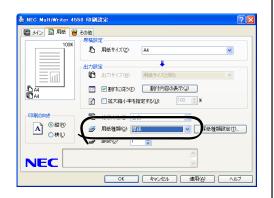
Step 1　厚紙をセットする

手順は、「3章　用紙のセット」を参照してください。

Step 2　用紙の種類を選択する

印刷を開始するときに[用紙種類]で[厚紙]を選択します。

❶ プリンタードライバーのプロパティダイアログボックスの[用紙]シートを開く。

❷ 用紙の種類が[厚紙]になっていることを確認する。

❸ [厚紙種類設定]で厚紙の種類を指定する。

❹ [印刷]ダイアログボックスで印刷範囲、印刷部数を指定し、[OK]をクリックして印刷する。

MOPYING設定ウィンドウを使って印刷する

MultiWriter 4550のプリンタードライバーには、より快適にMOPYINGするために、MOPYING設定ウィンドウがあります。MOPYING設定ウィンドウを使って印刷する場合は以下の手順を行ってください。

Step 1　MOPYING設定ウィンドウを有効にする
Step 2　MOPYING設定ウィンドウを使って印刷する

MOPYING設定ウィンドウは一部のアプリケーションにのみ対応しています。対応アプリケーションや使用する際の注意事項などについては、プリンタードライバーのヘルプ、または添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されている「¥MW4550¥Disk1¥Drivers.txt」をお読みください。

Step 1　MOPYING設定ウィンドウを有効にする

❶ [プリンタとFAX]フォルダーを開く。

Windows XP以外の場合は、[プリンタ]フォルダーを開きます。

❷ [NEC MultiWriter 4550]アイコンをクリックする。

❸ [ファイル]メニューの[印刷設定]*をクリックする。

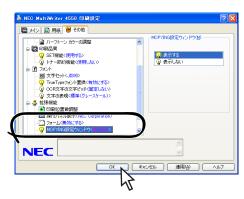
プロパティダイアログボックスが表示されます。

* 　Windows Me/98/95の場合は[プロパティ]
　　Windows NT 4.0の場合は[ドキュメントの既定値]

❹ MOPYING設定を有効にする。

＜Windows XP/2000/NT 4.0の場合＞

[その他]シートをクリックします。
[拡張機能]の下の[MOPYING設定ウィンドウ]を選び[表示する]を選択し、[OK]をクリックします。

＜Windows Me/98/95の場合＞

[補助機能]シートを開きます。[印刷開始時にMOPYING設定ウィンドウを表示する]をチェックし、[OK]をクリックします。

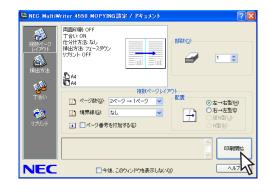
Step 2　MOPYING設定ウィンドウを使って印刷する

❶ **アプリケーションの[ファイル]メニューで[印刷]をクリックし、[印刷]ダイアログボックスを開く。**

❷ **[印刷]ダイアログボックスの[印刷]をクリックする。**

MOPYING設定ウィンドウが表示されます。

❸ **複数ページレイアウト印刷、排出方法などの設定をし、[印刷開始]をクリックする。**

印刷が開始されます。

設定を解除する

MOPYING設定ウィンドウの表示を無効にする手順を説明します。

❶ **プロパティダイアログボックスを開く(124ページをご覧ください)。**

❷ **MOPYING設定を解除する。**

<Windows XP/2000/NT 4.0の場合>

[その他]シートをクリックします。
[拡張機能]の下の[MOPYING設定ウィンドウ]を選び、[表示しない]を選択し、[OK]をクリックします。

<Windows Me/98/95の場合>

[補助機能]シートを開きます。[印刷開始時にMOPYING設定ウィンドウを表示する]のチェックを外し、[OK]をクリックします。

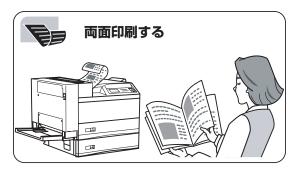
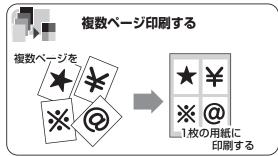
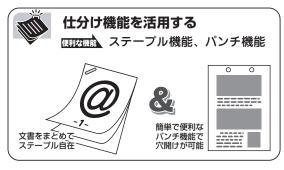
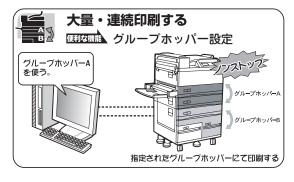
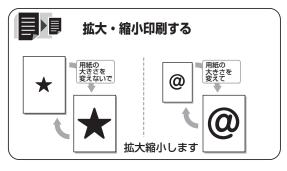
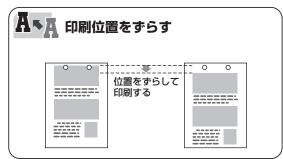
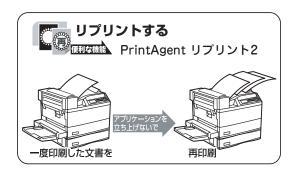
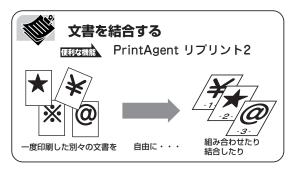
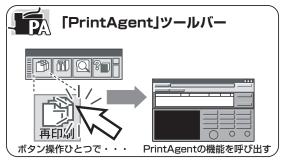
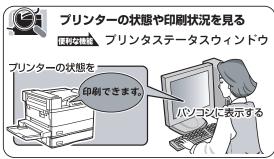
チェック

この手順以外でもMOPYING設定ウィンドウが表示されているときに、[今後、このウィンドウを表示しない]をチェックすることにより、MOPYING設定を無効にすることができます。

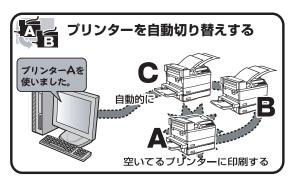
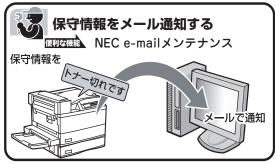
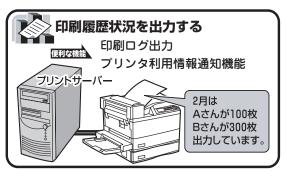
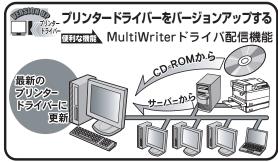
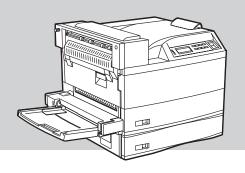
機能の紹介

前に説明した以外にもMultiWriter 4550にはいろいろな機能があります。

各機能の詳細、および設定方法については添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されている活用マニュアルまたはヘルプをご覧ください。

以下の項目は、「MOPYINGとは」でもご紹介したMOPYINGを使った様々な便利な機能です。多種多様な印刷作業ができます。

以下に記載した項目は、ネットワーク環境でMultiWriterを使用するときに便利な機能です。MultiWriterを一元管理することができます。

Web PA
ブラウザーでプリンターの状況を見る
便利な機能
Web PrintAgent
ブラウザを使って
ネットワーク
プリンターの状態を見る

VERSION UP
プリンタードライバー
プリンタードライバーをバージョンアップする
便利な機能
MultiWriterドライバ配信機能
CD-ROMから
サーバーから
最新のプリンタードライバーに更新

6章
日常の保守

この章では、日常の保守として消耗品の交換およびプリンターの清掃について説明します。清掃は、MultiWriter 4550を正しく動作させるために定期的に行うことをお勧めします。プリンター内部の精密な部分の清掃については、定期保守の時にサービス担当者が行います。

EPカートリッジの交換

アラームランプが点灯または点滅し、ディスプレイに次の表示が出たら、EPカートリッジの交換時期です。

ディスプレイ表示	意味	対処方法
XXXX ﾄﾅｰｻﾞﾝｼｮｳ　EPｺｳｶﾝ	EPカートリッジ内のトナーが少なくなってきています。	次ページの「交換する前に」を参照してください。
XXXX OPCｼﾞｭﾐｮｳ　EPｺｳｶﾝ	EPカートリッジ内部のOPCドラムが劣化してきています。	
76　ﾄﾅｰﾅｼ EPｺｳｶﾝ	EPカートリッジ内のトナーがなくなりました。	EPカートリッジを速やかに交換してください。
87　OPCｼﾞｭﾐｮｳ EPｺｳｶﾝ	EPカートリッジ内部のOPCドラムが寿命となりました。	

交換する前に

ディスプレイの下段に“トナーザンショウ　EPコウカン”と表示された場合、交換する前に使用中のEPカートリッジをプリンターから取り出し、トナーが均一になるようにゆっくりと振ってみてください。取り出し方については「EPカートリッジの交換手順」(138ページ)を参照してください。

- EPカートリッジの取っ手を持たないよう、図のように両端部を軽く持ってゆっくり振ってください。
- EPカートリッジを激しく振ると、カートリッジ内のトナーがこぼれたり、落下やOPCドラムにキズがつくおそれがあります。

もう一度セットしてアラームランプが消灯すれば、まだしばらく、そのEPカートリッジを使用することができます。それでもアラームランプが点灯したままなら、その状態から約750ページ(A4用紙画像面積比5%連続印刷の場合)印刷することができますが、この期間に新しいEPカートリッジに交換してください。アラームランプ点灯前でも、印刷が薄くなったり、部分的に印刷が抜けるような場合はEPカートリッジを取り出してゆっくり振り、トナーを均一にしてください。

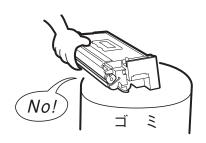
チェック

ディスプレイの下段に“OPCジュミョウ　EPコウカン”と表示された場合は、OPCドラム劣化によるEPカートリッジの寿命です。このままでもしばらく印刷を続けられますが、OPCドラムが劣化すると印刷に汚れが発生します。なるべく早くEPカートリッジを交換してください。

EPカートリッジの回収と購入

回収について

ご使用済みのNEC製EPカートリッジは地球資源の有効活用を目的として回収し、再利用可能な部品は再利用しております。

ご使用済みのNEC製EPカートリッジは捨てずに、EPカートリッジ回収センタに直接お送りいただくか、お買い上げの販売店、または添付の「NECサービス網一覧表」に記載されているサービス窓口までお持ち寄りください。なお、その際はEPカートリッジの損傷を防ぐため、ご購入時の梱包箱に入れてください。

- EPカートリッジ回収に関するホームページ

  「ECOLOGY & TECHNOLOGY」

  URL：http://www.nec.co.jp/eco/ja/recycle/ep_recycle.html

購入について

新しいEPカートリッジは、本プリンターをお買い求めになった販売店、または添付の「NECサービス網一覧表」に記載されているサービス窓口などでお求めになれます。

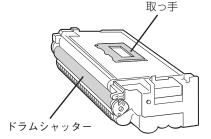
PR-L4550でお使いになれるEPカートリッジは、PR-L4550-12です。N1153-L4550でお使いになれるEPカートリッジは、EF-3464です。詳しくは「9章　オプション」をご覧ください。

EPカートリッジ取り扱い上のご注意

EPカートリッジの取り扱いについては、以下の注意事項をお読みください。

- トナーが手や衣服についたときはすぐに洗ってください。
- トナーが目に入った場合は、目に痛みがなくなるまで水でよく洗い、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- トナーが皮膚に付着した場合は、せっけんを使ってよく洗い流してください。
- トナーを吸い込んだ場合は、トナーの粉が飛んでいる場所から離れて、多量の水でよくうがいをしてください。
- トナーを飲み込んだ場合は、飲み込んだものを吐き出し、速やかに医師に相談し指示を受けてください。
- 床などにこぼしたトナーは、ほうきで掃き取るか、または石けん水を湿らせた布等でふき取ってください。掃除機でトナーを吸い取ると、吸い取ったトナーが掃除機内部で粉じん発火・爆発するおそれがあります。

チェック

- EPカートリッジは、使用するまでは開封せずに風通しのよい場所に保管してください。
- 直射日光や強い光の当たる場所を避け、室内の明かりの下でも、できるだけ5分以内で作業を終了してください。
- 強い光が当たるとOPCドラムが劣化します。使用中のEPカートリッジをプリンターから取り外した場合は、梱包されていたアルミ袋に入れるか、厚い布などに包んでください。
- ドラムシャッターは、中の感光体(ドラム)に光が当たらないように保護しています。ドラムシャッターをむやみに開けないでください。
- ドラム表面には手を触れないでください。ドラムを汚したり、傷つけることがあります。
- 寒い所から暖かい所に移動した場合は、1時間以上室温に慣らしてから使用してください。
- 立てたり、取っ手のある面を下にして置かないでください。

- トナーシールを引き抜いたあと必要なとき以外はEPカートリッジを振ったり、衝撃を与えたりしないでください。トナーがこぼれることがあります。
- 印刷の途中でEPカートリッジを交換するときは、プリンターの電源を入れたままで行ってください。電源を切るとプリンター内に残っている印刷データや、プリンターのメモリー上に蓄えられた情報が消去されてしまいます。

EPカートリッジの交換手順

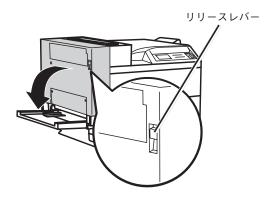
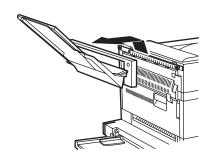
⚠ 注意

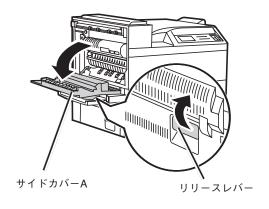
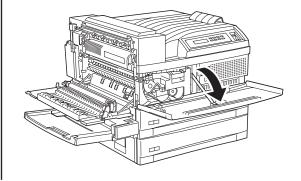
- 「高温注意」ラベルが貼ってある周辺には絶対に触れないでください。やけどをするおそれがあります。
- EPカートリッジを取り出すときは、上部の取っ手がすべて見えたらすぐに上部の取っ手を手で持って引き出してください。上部の取っ手を持たずにEPカートリッジを引き出しすぎると、落として床を汚したり、身体にぶつかりけがをするおそれがあります。
- 床などにこぼしたトナーは、ほうきで掃き取るか、または石けん水を湿らせた布等でふき取ってください。掃除機でトナーを吸い取ると、吸い取ったトナーが掃除機内部で粉じん発火・爆発するおそれがあります。

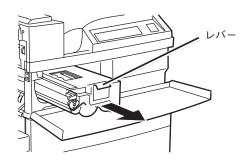
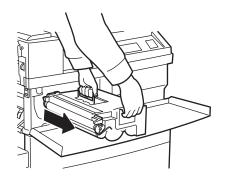
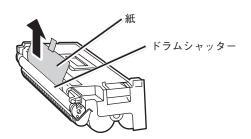
新しいEPカートリッジを使い始めてしばらくの間は、網点画像や1ドットラインの印刷濃度が薄くなっている場合があります。

❶ 電源スイッチをOFFにする。

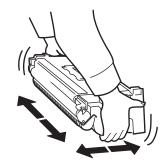
電源ランプが消灯します。

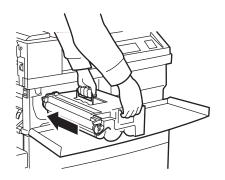
❷ 両面印刷ユニット（オプション）が装着されている場合は、トレーを下に倒し、リリースレバーを引きながらゆっくりと下に倒す。

❸ サイドカバーAにフェースアップトレー（オプション）が装着されている場合は、フェースアップトレーを持ち上げるようにして、フックから取り外す。

❹ リリースレバーを引きながら、ゆっくりとサイドカバーAを開く。

プリンター内部の部品には手を触れないでください。印刷不良の原因となります。

❺ フロントカバーを開ける。

❻ **レバーを引いて、カートリッジをゆっくり引き出しながら、上部の取っ手を起こして持つ。**

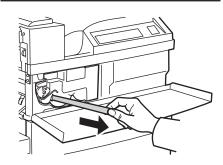
トナーなどで床を汚さないように、取り出したEPカートリッジを置く場所にはあらかじめ用紙などを敷いておくことをお勧めします。

❼ **EPカートリッジ上部の取っ手とレバーを持って、EPカートリッジを取り出す。**

❽ **新しいEPカートリッジを袋から取り出し、ドラムシャッターの間に入っている紙を取り除く。**

- ドラムシャッターは、中の感光体(ドラム)に光が当たらないように保護しています。ドラムシャッターをむやみに開けないでください。
- ドラム表面には手を触れないでください。ドラムを汚したり、傷つけることがあります。

❾ **EPカートリッジを水平に持って、図のように5〜6回振り、中のトナーを分散させる。**

トナーの状態が均一でないと、印刷品質が低下することがあります。

❿ **EPカートリッジの上部の取っ手とレバーをそれぞれ両手で持ち、プリンター内部の形状に合わせながら奥までセットする。**

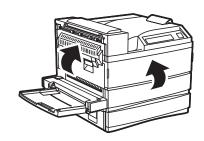
「カチッ」と音がして、EPカートリッジが元の位置に戻り、確実にセットされたことを確認してください。正しくセットされていないと印刷不良の原因となります。

⓫ **トナーシールを引き抜く。**

トナーシールは正常に引き抜いた場合、全部で約60cmほどです。

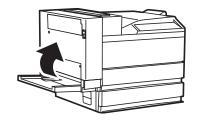
- トナーシールは、カートリッジと平行にまっすぐ引き抜いてください。斜めに引くと、途中でトナーシールが切れてしまうことがあります。
- トナーシールを引き抜いたあと必要なとき以外はEPカートリッジを振ったり、衝撃を与えたりしないでください。トナーがこぼれることがあります。

⓬ **サイドカバーAおよびフロントカバーを閉じる。**

リリースレバーは持たずにカバー表面の中央部を押して、サイドカバーAを閉じます。

チェック

EPカートリッジが正しくセットされていないと、サイドカバーAが閉じません。サイドカバーAが閉じない場合は、再度EPカートリッジを正しくセットしなおしてください。

⓭ **フェースアップトレー（オプション）を取り外した場合は、フェースアップトレーを45度傾けるようにして、先端のくぼみをサイドカバーAのくぼみに掛ける。**

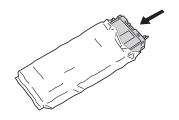
⓮ **両面印刷ユニット（オプション）が装着されている場合は、両面印刷ユニットを閉じる。**

チェック

- 各カバーが確実にロックしていることを確認してください。完全にロックしていないと、印刷不良が発生することがあります。
- EPカートリッジをセットしたあと、1、2枚目までの出力の際に音がすることがありますが、動作および画質には影響ありません。

⓯ **フェースアップトレーを取り付ける。**

⓰ **交換したEPカートリッジを袋または包装箱に入れて保管する。**

チェック

EPカートリッジは地球資源の有効利用を目的とし、再利用可能部品は再利用しております。詳しくは「EPカートリッジの回収と購入」（136ページ）を参照してください。

⚠注意

EPカートリッジを絶対に火の中に投げ入れないでください。残留しているトナーの粉じん爆発により、やけどのおそれがあります。

⓱ **テスト印刷を実行する。**

1章の「7　テスト印刷をする」（30ページ）に従って印刷が正しく行われることを確認してください。

EPカートリッジの寿命

MultiWriter 4550に添付されているEPカートリッジ(PR-L4550-12、EF-3464相当品)の寿命は、A4用紙で画像面積比率(1ページ中の黒い部分の面積と印刷範囲の面積との比率)約5%の連続印刷を行ったとき、約30,000ページになります。

以下は、画像面積比率約5%を目安とした文書例です。

EPカートリッジの寿命について

本プリンタの消耗品の「EP カートリッジ」には寿命３０、０００頁（A4、画像面積比5%）のものがあります。

ここで画像面積比５％の意味及びEP カートリッジの寿命について説明します。
従来、シリアル系ドットインパクトプリンタ、熱転写プリンタ等においては、消耗品であるインクリボンの寿命は「何文字」という表現をしていました。これに対し、本プリンタの様なページプリンタにおいては、「何頁」という単位で表現されています。
この様に、表現が「文字数」から「頁数」に変化した理由は、
① ページプリンタにおいては、処理の単位がページ単位であること。
② ①にも関連して、グラフィック等、文字数では十分把握できない様な印刷を行うケースが増えてきている。
の２つが考えられます。

EPカートリッジの寿命を決定するものの１つに、そのEPカートリッジ内部に収納されているトナーの量があります。トナーをすべて消費してしまえばEP カートリッジの寿命となります。(これは従来のインクリボンにおいてインクがなくなるまでをリボンの寿命と呼んだのと同じことです)。

従って「頁数」で寿命と考えるときは、１ページの中でどれくらいのトナーを消費しているかということが問題となります。

１ページ中の印刷領域(印刷用紙の上下左右端から各々5mmの部分を除く領域)に黒い部分がどの位の割合であるか表したものが画像面積比です。　１ページの中に印刷が全くない状態が０％、印刷領域全域が真っ黒にすべてのドットを埋め尽くした状態が１００％です。
この画像面積比によりカートリッジの寿命は長くも短くもなります。このことから「画像面積比何%のときに寿命が何頁」という表現をします。従って、印刷する内容の画像面積比が５％より高い場合、３０，０００頁印刷する前にEP カートリッジの寿命となる場合があります。

なお、この印刷サンプルが画像面積比約５％相当の目安となります。

画像面積比5%の印刷例

- EPカートリッジの寿命は画像面積比率、印刷用紙サイズ、両面印刷などの印刷条件によって異なります。
- 画像面積比率は、お使いのコンピューターの環境(OS、アプリケーション、使用フォントなど)により変化します。
- 間欠印刷を繰り返すとトナーが残っていても、OPCドラムの劣化によりEPカートリッジが寿命となることがあります。

ステープル針の補充

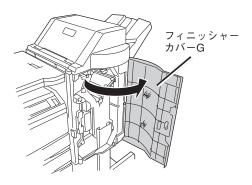
ディスプレイ上段に“78　ステープルイジョウ”、下段に“ステープル”または“カートリッジナシ”と表示され、アラームランプが点滅したら、以下の状態を示しています。それぞれのページを参照して対処してください。

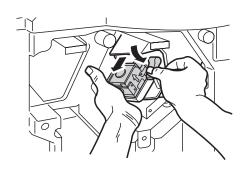
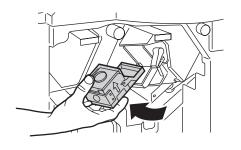
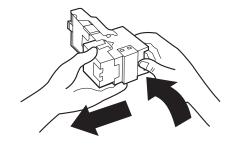
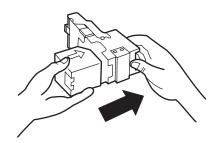
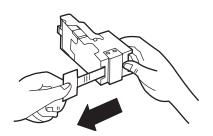
状態	参照先
ステープル針の未装着	「ステープル針の補充手順」（142ページの手順❶、❻、❼）
ステープル針の補充時期	「ステープル針の補充手順」（142ページ）
ステープル針づまり	「故障かな？と思ったときは」の「ステープルどめがうまくいかないときは」（190ページ）

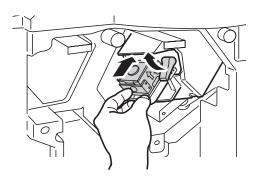
購入について

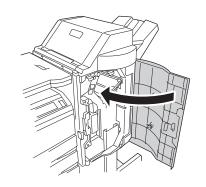
新しいステープル針は、本プリンターをお買い求めになった販売店、または添付の「NECサービス網一覧表」に記載されているサービス窓口などでお求めになれます。
PR-L4550でお使いになれるステープル針は、PR-L4050-SPです。N1153-L4550でお使いになれるステープル針は、EF-3972です。詳しくは、「9章　オプション」をご覧ください。

ステープル針の補充手順

❶ **フィニッシャーカバーGを開ける。**

❷ **オレンジ色のレバーを図のように押し、カートリッジを取り出す。**

チェック

ステープル針の落下を防ぐために、必ずカートリッジの下に手を添えてください。

❸ **空になったステープル針ケースを取り出す。**

❹ 新しいステープル針ケースをステープルカートリッジに挿入する。

❺ ステープル針ケースについているシールを引き抜いて取り除く。

❻ オレンジ色のレバーが元の位置に戻るまでステープルカートリッジを押し込む。

✔チェック

ステープルカートリッジは必要以上に強く押し込まないでください。破損の原因となります。

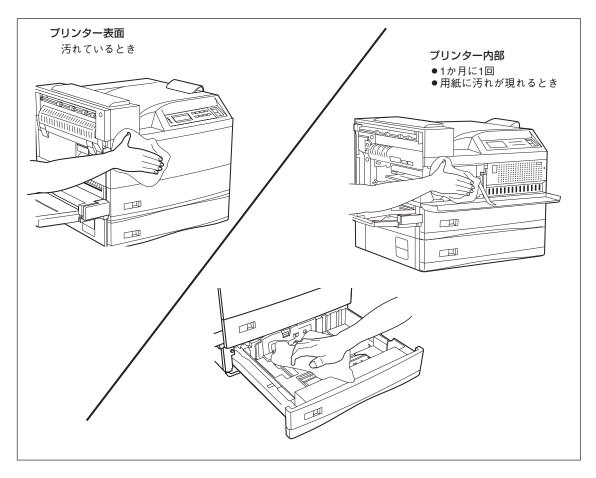
❼ フィニッシャーカバーGを閉じる。

清　掃

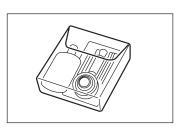
MultiWriter 4550を正しく動作させるためには、図に示す箇所を定期的に、あるいは必要に応じて清掃することをお勧めします。プリンター内部の清掃は定期保守の時にサービス担当者が行います。

清掃箇所と清掃時期

清掃する箇所と清掃時期について示します。

プリンター表面
汚れているとき

プリンター内部
- 1か月に1回
- 用紙に汚れが現れるとき

清掃には、糸くずの出ない乾いた柔らかい布を用意してください。清掃用にクリーニングキットを別売しています。

クリーニングキット（型番 PC-PR601-14）

プリンターの清掃に便利な用具一式が入っています。

プリンターの清掃

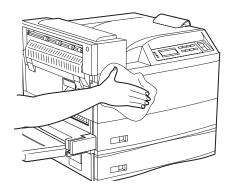
プリンターの清掃手順について説明します。

- 清掃するときは、電源スイッチをOFFにし、電源コードをコンセントから抜いてください。感電するおそれがあります。また、電源コードはプラグを持って抜いてください。コード部分を引っ張るとコードが傷み、火災や感電の原因となることがあります。
- 電源スイッチをOFFにした直後は、定着器周辺、プリンター内部の金属部、およびEPカートリッジの取っ手は高温になっている場合があります。やけどをするおそれがありますので、十分に冷めてから取り扱ってください。
- 「高温注意」ラベルが貼ってある箇所(定着器やその周辺)には、絶対に触れないでください。やけどするおそれがあります。

チェック

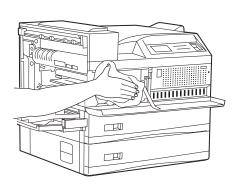
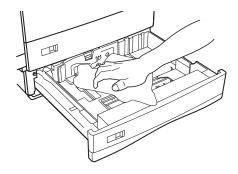
清掃にベンジン、シンナーなど揮発性のものを使用したり、殺虫剤をかけたりしないでください。カバー類の変色、変形、ひび割れの原因となります。

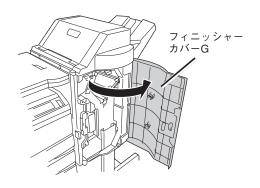
❶ **外部の清掃をする。**

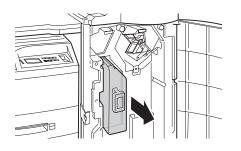
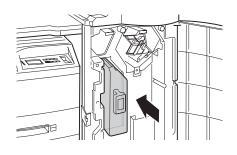
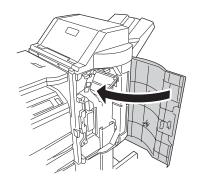
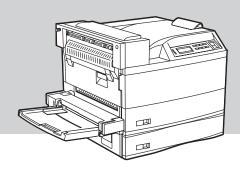
プリンター表面の汚れは、やわらかい布に水またはうすめた中性洗剤を少量含ませて、軽くふいてください。

❷ **最後に乾拭きをする。**

❸ **内部の清掃をする。**

紙づまりの処置やEPカートリッジの交換が終了し、フロントカバーを閉じる前に次の内部点検を行ってください。

- 紙片が残っているときは取り除きます。
- ほこり、汚れなどがあるときは、乾いた清潔な布などで拭き取ります。

パンチ屑の処理

ディスプレイ上段に"79　パンチイジョウ"、下段に"ボックスフル"または"ボックスナシ"と表示され、アラームランプが点滅したらパンチ屑ボックス内のパンチ屑が溜まっているか、パンチ屑ボックスが取り付けられていません。
次の手順に従ってパンチ屑の処理またはパンチ屑ボックスの取り付けを行ってください。

❶ **フィニッシャーカバーGを開ける。**

❷ **パンチ屑ボックスを取り出し、中身を空にする。**

❸ **パンチ屑ボックスをフィニッシャー内部に戻す。**

❹ **フィニッシャーカバーGを閉める。**

7章
故障かな？と思ったら

この章では、「故障かな？」と思ったときの症状を以下の項目に分けて、原因と処置方法を説明します。下記以外の症状については添付のCD-ROMに収録されている活用マニュアルをご覧ください。

- 印刷できないときは
- 印刷に異常が見られるときは
- PrintAgentを正しく動作させるために
- アラーム表示が出ているときは
- 思うように印刷できないときは
- 紙づまりのときは

また、プリンター本体を運搬するときの方法、プリンター本体および、消耗品の廃棄方法についても記載しています。その他プリンターソフトウエアを利用する際の補足情報はプリンターソフトウエアの「はじめにお読みください」(Readme. txt)に記載されています。これらはプリンターソフトウエアCD-ROMのメニュープログラムから参照できます。

修理に出す前に

「故障かな？」と思ったら、修理に出される前に以下の手順を実行してください。

❶ **電源コードおよびプリンターケーブルが正しく接続されているかどうかを確認する。**

❷ **定期的な清掃を行っていたか、またEPカートリッジの交換は確実に行われていたかを確認する。**

❸ **本章の148〜161ページを参照し、該当する症状があれば、記載されている処理を行う。**

以上の処理を行っても、なお異常があるときは無理な操作をせずに、お近くのサービス窓口にご連絡ください。その際にディスプレイのアラーム表示の内容や、不具合印刷のサンプルがあると、修理の際の有力な情報となることがあります。故障時のディスプレイによるアラーム表示は修理の際の有用な情報となることがあります。サービス窓口の電話番号、受付時間については「NECサービス網一覧表」をご覧ください。

なお、保証期間中の修理は、保証書を添えてお申し込みください。

重要

海外でのご使用について

このプリンターは日本国内仕様のため、海外でご使用になる場合NECの海外拠点で修理することはできません。また、日本国内での使用を前提としているため、海外各国での安全規格などの適用認定を受けておりません。したがって、本装置を輸出した場合に当該国での輸入通関、および使用に対し罰金、事故による補償等の問題が発生することがあっても、弊社は直接・間接を問わず一切の責任を免除させていただきます。

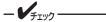
印刷できないときは

プリンターにデータを送ったのに印刷ができないなどの症状、および原因と処理方法を示します。それぞれの方法に従って原因の確認、処理を行ってください。

症　状	原因と処理方法
電源ランプが点灯しない	**[電源]スイッチがOFFになっている。** →　[電源]スイッチをONにしてください。 **電源コードがきちんと差し込まれていない。** →　プリンター側とコンセント側の両方を確認してください。 **コンセントに電気が供給されていない。** →　配電盤などの状態を調べてください。
データを送り終わったのに印刷ができない、または長い間印刷を開始しない	**印刷可ランプが消灯している。** →　[印刷可]スイッチを押して、印刷可ランプを点灯させてください。 **プリンターケーブルまたはネットワークケーブルが正しく選択されていないか、または正しく接続されていない(データランプ消灯)。** →　35ページまたは234ページを参照して、プリンターケーブルまたはネットワークケーブルの種類を確認後、接続してください。 **改ページまたは排出コードがない(データランプ点灯)。** →　[シフト]スイッチを押しながら[排出]スイッチを押して、プリンター内に残っている未印刷データを印刷してください。また、この状態が多く発生するソフトウエアをお使いの場合は、メニューモードで自動排出を選択することをお勧めします。 **用紙がなくなったか、または指定されたサイズの用紙がない(アラームランプ(赤)点滅)。** →　「3章　用紙のセット」(79ページ)を参照して、用紙を補給してください。 **アラームランプ(赤)が点滅している。** →　「アラーム表示が出ているときは」(150ページ)をご覧ください。 **データ送信中(データランプ(橙)点滅)** →　プリンターはページ単位で処理するプリンターなので、1ページ分のデータがそろわないと印刷を開始しません。また、グラフィックモードで多量のデータを送る場合などは、データ転送に時間がかかります。 もう少しお待ちください。 **MultiWriter 4550が「通常使うプリンタ」として選択されていない。** →　MultiWriter 4550を「通常使うプリンタ」として選択してください。 **コンピューターのメモリーが不足している。** →　コンピューターのメモリーを増やしてください。

症　状	原因と処理方法
ホッパーにセットした用紙サイズを認識しない	**用紙のセットのしかたが悪い。** →　「用紙カセットに用紙をセットする」(84ページ)を参照して、用紙をセットし直してください。 **用紙ガイドが正しくセットされていない。** →　「用紙カセットに用紙をセットする」(84ページ)を参照して、サイドガイド、エンドガイドを用紙に合わせてセットし直してください。
トレーから印刷ができない	**給紙方法が自動またはホッパーになっている。** →　プリンタードライバーの給紙方法をトレーに設定し直してください。 **用紙のセットのしかたが悪い。** →　「トレーに用紙をセットする」(87ページ)を参照して用紙をセットし直してください。
封筒フィーダーから印刷ができない	**給紙方法が自動またはホッパーになっている。** →　用紙サイズを封筒洋形4号に設定し直してください。 →　プリンタードライバーの給紙方法を[封筒フィーダー]に設定し直してください。 **封筒のセットのしかたが悪い。** →　「封筒フィーダーに封筒をセットする」(93ページ)を参照して封筒をセットし直してください。

アラーム表示が出ているときは

保守が必要な時期になったりエラーが発生したりすると、アラームランプ(赤)が点滅または点灯し、ディスプレイにその内容が表示(アラーム表示)されます。このとき、ブザーが30秒ごとに6回鳴ります。

メモリースイッチ3-8の設定がONのときは、ブザーは鳴りません。

次の表に、アラーム表示とその内容、および処理方法を示します。それぞれの方法に従って処理してください。

ディスプレイ表示	アラームの内容と処理方法
ホッパ゚ 1　A4ヨコ　ホキュウ この位置にホッパー番号（1～5）が表示されます。 トレー　A4タテ　セット フウトウ セット この表示は封筒フィーダー装着時に表示されます。	**用紙がない。または印刷フォーマットで指定されたサイズの用紙がない。** → 表示されているサイズの用紙をそれぞれ指定された場所に補給してください。
72　カバ゙ーオープ゚ン XXX この箇所にフロント、サイドX、リョウメン（両面印刷ユニット装着時）、フィニッシャX（フィニッシャー装着時）が表示されます。	**カバーが開いている。** → それぞれ指示されたカバーをきちんと閉じてください。 ● “フロント”............. フロントカバー ● “サイドX”............... サイドカバーA、サイドカバーB、サイドカバーC ● “リョウメン”.......... 両面印刷カバー ● “フィニッシャX”... フィニッシャーカバーE、フィニッシャーカバーF、フィニッシャーカバーG、フィニッシャーカバーH
73　EPカートリッジ゙ ナシ	**EPカートリッジが取り付けられていない。** → EPカートリッジを取り付け直してください。EPカートリッジを取り付けた後、フロントカバーおよびサイドカバーAをきちんと閉じてください。
74　カミヅ゙ マリ XXX　XX この箇所にホンタイ、キュウシ、リョウメン（両面印刷ユニット装着時）、フィニッシャ（フィニッシャー装着時）が表示されます。	**紙づまりが発生している。** → 「紙づまりのときは」(168ページ)を参照して、つまった用紙を取り除いてください。
75　ヨウシサイズ゙ エラー XXX この箇所にホッパー番号（1～5）、トレー、フウトウ（封筒フィーダー装着時）が表示されます。	**指定サイズと異なる用紙がセットされている。** → 指定サイズの用紙をホッパーまたはトレーにセットして、[印刷可]スイッチを押してください。

ディスプレイ表示	アラームの内容と処理方法
76 トナーナシ EPコウカン	**EPカートリッジの交換時期を示している。** → 「EPカートリッジの交換」(135ページ)に従って、EPカートリッジを交換後、フロントカバーとサイドカバーAをきちんと閉じて、[印刷可]スイッチを押してください。
77 テイキホシュ XX	**定期保守(定着器などの交換)の必要な時期を示している。** → サービス担当者または販売店にお問い合わせください。 このアラームが発生してもただちに印刷できなくなるわけではありません。[印刷可]スイッチを押してプリンターをセレクト状態にすれば、印刷を続けることはできます。しかし、なるべく早く定期保守を行ってください。"77 テイキホシュ"アラームは、電源をOFFにしても、次にONにしたときに再発生します。
78 ステープ゚ルイジ゛ョウ ステープ゚ル 78 ステープ゚ルイジ゛ョウ カートリッジ゛ナシ	**ステープルがフィードできない。またはステープルカートリッジが装着されていない。** → ステープル針を交換補充するか、ステープルカートリッジをセットし直し、[印刷可]スイッチを押してください。「日常の保守」(142ページ)をご覧ください。
79 パ゚ンチイジ゛ョウ ボ゛ックスフル 79 パ゚ンチイジ゛ョウ ボ゛ックスナシ	**フィニッシャーのパンチ屑ボックスにパンチ屑がいっぱいである。またはパンチ屑ボックスが装着されていない。** → パンチ屑を捨てるか、パンチ屑ボックスをセットし直し、[印刷可]スイッチを押してください。
82 セットフリョウ	**フィニッシャーが正しくセットされていない。** → フィニッシャーを正しく接続し直し、[印刷可]スイッチを押してください。
83 ヨウシピ゚ックミス XXX この箇所にホッパー番号（1～5）、トレー、フウトウ（封筒フィーダー装着時）が表示されます。	**用紙ピックミスが発生している。** → この後の「紙づまりのときは」に従って、給紙できなかった用紙を取り除いて再度用紙をセットしてください。
84 フォーム オーバ゛ーXXX	**フォーム登録に必要なメモリーが不足している。** → 処理必要な印刷データです。操作パネルからリセット操作を行ってください。
85 スタックフル XXX この箇所にフェースダウン、フィニッシャ（フィニッシャー装着時）が表示されます。	**排紙トレー、およびフィニッシャーのいずれかに規定量を越える枚数の用紙が排出されている。** → 排出されている用紙を取り除いてください。
87 OPCジ゛ュミョウ EPコウカン	**EPカートリッジの寿命を示している。** → 「EPカートリッジの交換」(135ページ)に従って、EPカートリッジを交換後、フロントカバーとサイドカバーAをきちんと閉じて、[印刷可]スイッチを押してください。
88 EPタイプ゚チガ゛イ EPコウカン	**EPカートリッジのタイプが違う。** → 正しいEPカートリッジを取り付けてください。

ディスプレイ表示	アラームの内容と処理方法
89 トレー ミソウチャク	**トレーまたはオプションの封筒フィーダーが装着されていない、またははずれかかっている。** → 電源をOFFにして、トレーまたは封筒フィーダーを装着後、もう一度電源をONにしてください。それでもアラームが発生する場合は、プリンターの故障が考えられます。保守サービス窓口に修理をお申し付けください。
上記以外の表示	**障害が発生している。** → 電源をOFFにして、もう一度ONにしてください。それでもアラームが再発する場合は、プリンターの故障が考えられます。保守サービス窓口に修理をお申し付けください。

印刷に異常が見られるときは

印刷にカスレや汚れなど異常が発生する場合は、次の表を参照して異常原因を取り除いてください。

表に示す対処方法を実施しても現象が変わらない場合は、サービス担当者または保守サービス会社にご連絡ください。

症　状	原因と処理方法
印刷が薄いとき(かすれる、不鮮明な)とき	**用紙が湿気を吸収している可能性がある。** → 「用紙をセットする」(26ページ)を参照して、セットしてある用紙をすべて交換してください。 **EPカートリッジが劣化または損傷している可能性がある。** → EPカートリッジの交換時期です。「EPカートリッジの交換」(135ページ)を参照して、EPカートリッジを交換してください。 **EPカートリッジ内にトナーが残っていない。** → EPカートリッジの交換時期です。「EPカートリッジの交換」(135ページ)を参照して、EPカートリッジを交換してください。 **用紙が規格に合っていない。** → 「用紙の規格」(237ページ)を参照して、確認してください。
黒点が印刷される	**EPカートリッジが劣化または損傷している可能性がある。** → EPカートリッジの交換時期です。「EPカートリッジの交換」(135ページ)を参照して、EPカートリッジを交換してください。 **用紙が規格に合っていない。** → 「用紙の規格」(237ページ)を参照して、確認してください。
黒い線が印刷されるとき	**EPカートリッジが劣化または損傷している可能性がある。** → EPカートリッジの交換時期です。「EPカートリッジの交換」(135ページ)を参照して、EPカートリッジを交換してください。
等間隔に汚れがおきるとき	**用紙搬送路に汚れが付着している。** → 数枚テスト印刷をしてください。 **EPカートリッジが劣化または損傷している可能性がある。** → EPカートリッジの交換時期です。「EPカートリッジの交換」(135ページ)を参照して、EPカートリッジを交換してください。

症　状	原因と処理方法
黒く塗りつぶされた部分に白点が現れたとき	**用紙が規格に合っていない。** → 「用紙の規格」(237ページ)を参照して、確認してください。 **EPカートリッジが劣化または損傷している可能性がある。** → EPカートリッジの交換時期です。「EPカートリッジの交換」(135ページ)を参照して、EPカートリッジを交換してください。
指でこするとかすれるとき	**厚紙の設定レベルが低い。** → メニューモードまたはプリンタードライバーで厚紙設定のレベルを上げてください。 **用紙が湿気を吸収している可能性がある。** → 「用紙をセットする」(26ページ)を参照して、セットしてある用紙をすべて交換してください。 **用紙が規格に合っていない。** → 「用紙の規格」(237ページ)を参照して、確認してください。 **フロントカバーが完全に閉じていない。** → フロントカバーを閉じ直してください。フロントカバーの両端が確実にロックしていることを確認してください。
用紙全体が黒く印刷されたとき	**EPカートリッジが劣化または損傷している可能性がある。** → EPカートリッジの交換時期です。「EPカートリッジの交換」(135ページ)を参照して、EPカートリッジを交換してください。 **高圧電源が故障している可能性がある。** → サービス担当者または販売店にご連絡ください。
何も印刷されない	**EPカートリッジのトナーシールが取り付けられたままである。** → 「EPカートリッジを取り付ける」(24ページ)を参照して、トナーシールを引き抜いてください。 **一度に複数枚の用紙が搬送されている(重送)。** → 「用紙をセットする」(26ページ)を参照して、用紙をセットし直してください。 **EPカートリッジ内にトナーが残っていない。** → EPカートリッジの交換時期です。「EPカートリッジの交換」(135ページ)を参照して、EPカートリッジを交換してください。 **EPカートリッジが劣化または損傷している可能性がある。** → EPカートリッジの交換時期です。「EPカートリッジの交換」(135ページ)を参照して、EPカートリッジを交換してください。 **高圧電源が故障している可能性がある。** → サービス担当者または販売店にご連絡ください。

症　状	原因と処理方法
部分的に白く抜けるとき	**用紙が湿気を吸収している可能性がある。** → 「用紙をセットする」(26ページ)を参照して、セットしてある用紙をすべて交換してください。 **使用している用紙が規格に合っていない。** → 「用紙の規格」(237ページ)を参照して、確認してください。 **EPカートリッジのトナーシールが完全に引き抜かれていない。** → 「EPカートリッジの交換」(135ページ)を参照して、新しいEPカートリッジと交換してください。 **冬期はプリンター内部が結露している可能性がある。** → 電源をONにしたまま30分～1時間放置してから印刷してください。 **EPカートリッジに問題がある可能性がある。** → 「EPカートリッジの交換」(135ページ)を参照して、新しいEPカートリッジと交換してください。
用紙にしわが入ったり、文字がにじむとき	**用紙が規格に合っていない。** → 「用紙の規格」(237ページ)を参照して、確認してください。 **用紙が正しく補給されていない。** → 「用紙をセットする」(26ページ)を参照して、もう一度用紙をセットし直してください。 **用紙が湿気を吸収している可能性がある。** → 「用紙をセットする」(26ページ)を参照して、新しい用紙と交換してください。高温・高湿や低温・低湿などの環境条件でプリンターを使用する場合は、常温に比べて、用紙が環境の影響を受けやすいため、用紙の保管方法に注意してください。 **厚紙の設定レベルが高い。** → メニューモードまたはプリンタードライバーで厚紙設定のレベルを下げてください。レベルを下げるときは、定着性を確認しながら行ってください。
縦線の形状で白く抜けるとき	**EPカートリッジが正しく取り付けられていない。** → 「EPカートリッジの交換」(135ページ)を参照して、EPカートリッジを取り付け直し、数枚テスト印刷をしてください。 **EPカートリッジのトナーシールが完全に引き抜かれていない。** → 「EPカートリッジの交換」(135ページ)を参照して、トナーシールを引き抜いてください。 **EPカートリッジが劣化または損傷している可能性がある。** → EPカートリッジの交換時期です。「EPカートリッジの交換」(135ページ)を参照して、EPカートリッジを交換してください。

症　状	原因と処理方法
ななめに印刷されるとき	**用紙が規格に合っていない。** → 「用紙の規格」(237ページ)を参照して、確認してください。 **用紙が正しく補給されていない。** → 「用紙をセットする」(26ページ)を参照して、もう一度用紙をセットし直してください。 **用紙が湿気を吸収している可能性がある。** → 「用紙をセットする」(26ページ)を参照して、新しい用紙と交換してください。 **ホッパーのサイドガイドが正しい位置にセットされていない。** → 「用紙をセットする」(26ページ)を参照して、サイドガイドやエンドガイドを正しい位置にセットしてください。 **セットする用紙の量が多すぎる。** → サイドガイドの用紙上限線(MAX)以下にセットしてください。
改行量(行の間隔)が2倍になる 行が2行にわたる 各行の文字が重なって印刷されてしまう 用紙の途中から印刷が始まってしまう	**アプリケーションで設定した用紙サイズと、使用する用紙サイズが異なっている。** → ソフトウエアの用紙サイズ設定と使用する用紙サイズを合わせてください。 → 他の用紙サイズに印刷するか、メニューモードを使ってA4ポートレート桁数を80桁にしてください。A4ポートレート桁の用紙に80桁分の印刷(パーソナルコンピューターの画面コピーなど)を行うと、このような症状になることがあります。 **アプリケーションのプリンター設定が[シリアルプリンター]になっている** → [ページプリンター]を選択してください。 → メニューモードを使ってプリンターの136桁モードを有効にしてください。アプリケーションがシリアルプリンター専用に作られている場合には、136桁モードを有効にすることでこれらの症状は改善されます。特に、「用紙の途中から印刷が始まってしまう」場合には、136桁モードの用紙位置設定を中央に合わせることで正しい印刷結果が得られるようになります。

思うように印刷できないときは

プリンターの動作がおかしくて思うように印刷ができないとき、プリンターまたはアプリケーションの設定を変えれば、ほとんどの場合は改善できます。

ここで説明する項目を参照して原因の確認と処置を行ってください。

症　状	原因と処理方法
電源が入らない	**部屋のブレーカーがOFFになっている。** → ブレーカースイッチがOFFになっている原因を調べ、問題がなければONにしてください。 **電源コードが抜けている。** → プリンターの電源スイッチをいったん切り、電源コードを確実に差し込んでください。その後、プリンターの電源スイッチを入れてください。 **電源の電圧が適切ではない。** → 電源が100V、15Aであることを確認してください。プリンターの最大消費電力(約1500W)に見合った電源容量が確保されていることを確認してください。
正常に印刷できない	**他のプリンタードライバーが同一のポートを使用している。** → プリンタードライバーによっては接続先のポート(LPT1:、COM1:など)に対して常に通信を行おうとするため、同一ポートに接続されているプリンターに悪影響を与えることがあります。Windowsのヘルプを参照して、他のプリンタードライバーのポートを本プリンタードライバーと違うポートに変更するか、他のプリンタードライバーを削除してください。 **プリンターのメモリースイッチ5-1がONになっている。** → PrintAgentの機能(プリンターステータスウィンドウの使用)をご利用になる場合、メモリースイッチ5-1をOFFにしてご利用ください。ただし、お使いのプリンターをPC-PTOSからお使いの場合は、メモリースイッチ5-1をONにする必要があります。
斜線の太さが均一でない(線の角度によって、線の太さが違っている) 写真などの絵やグラデーションがおかしい	**SETの設定が「ON」になっている。** → プリンタードライバーまたはメニューモードでSETの設定を「使用しない」にしてください。SETは、印刷時の解像度を拡張して斜線や曲線の印刷品質を向上させるための機能ですが、印刷内容によってはこのような症状になることがあります。 **トナー節約機能がONになっている。** → プリンタードライバーまたはメニューモードでトナー節約機能を「OFF」にしてください。トナー節約機能はトナーの使用を節約する試し印刷用の機能です。この機能を使うと細い線、濃度の薄い印刷、網かけ、グラデーションが不鮮明になることがあります。

症　状	原因と処理方法
印刷位置が以前使用していたプリンターと合わない	**アプリケーションの用紙・印刷に関する設定が間違っている。** → アプリケーションのマニュアルを見て正しく設定してください。ソフトウエアによっては、わずかでも異なる設定項目があると、印刷位置がずれる場合があります。 **プリンターのA4ポートレートの印刷桁数が80桁に設定されている。** → メニューモードでA4ポートレート桁数を78桁にしてください。A4ポートレートの印刷桁数が80桁に設定されている場合には、本来の印刷位置よりわずかに左にずれて印刷されます。したがって、80桁に設定されているプリンターとそうでないプリンターとでは印刷位置が異なります。 **使用している用紙がプリンターの規格に合っていない。** →「用紙の規格」(237ページ)を参照して、規格に合っているか確認してください。本プリンターのようなレーザープリンターは、用紙送りをローラーの摩擦によって行っています。そのため、他のカット紙プリンターと同様に縦方向、横方向とも多少の誤差が発生します。この誤差は用紙によっても異なります。 **以前使用していたプリンターと本プリンターとの間に印刷位置の互換性がない。** → プリンターの印刷位置は、PC-PR2000/6W等のNPDLまたはNPDL(Level2)対応のプリンターおよびPC-PR601、PC-PR602、PC-PR602Rに対して互換性があります。その他のプリンターに対しては印刷位置の互換性はありません。
“データガノコッテイマス”を表示したまま印刷を開始しない	**改ページコードまたは排出コードがない。** → [印刷可]スイッチを押して印刷可ランプを消灯させてから、[シフト]スイッチを押しながら[排出]スイッチを押してください。 本プリンターはページ単位で処理するプリンターなので、1ページ分のデータが揃わないと印刷を開始しません。また、アプリケーションの中にはページの最後に排出コードなどのページの終わりを示す制御コードをプリンターに送らないものがあります。このような場合は上記の方法で処理してください。 なお、メニューモードで自動排出を有効にしておくと設定した時間内に印刷データが来ない場合、自動的に印刷・排出されます。ただしコンピューターからのデータ送信が長い時間途切れるような場合には、この機能を使用しないでください。 **アプリケーションのプリンター設定が「シリアルプリンター」になっている。** → ページプリンターまたはレーザープリンターを選択してください。ソフトウエアのプリンター設定がシリアルプリンターになっていると、排出コードをプリンターに送らないためにこのような症状が起こります。 また、新たにソフトウエアを作成する場合には、このような症状を防ぐため、各ページの最後に排出コード(0Ch)を付加するようにしてください。 **コンピューターからのデータ送信が途切れている。** → プリンターへのデータ送信について、プリンタードライバーの[タイムアウト設定]の設定時間を長くしてください。複雑なデータやアプリケーションによっては、設定時間が短いとデータ送信を中止することがあります。

症　状	原因と処理方法
ページの途中までしか印刷されない または1ページ分のデータが2ページにわたって印刷されてしまう	**自動排出機能が有効になっている。** →　メニューモードで自動排出を無効にしてください。 プリンターには自動排出機能（コンピューターからのデータの送信が一定時間途切れると、そこまでのデータが自動的に印刷・排出する機能）があります。このとき、コンピューターからのデータ送信が設定した自動排出時間以上に途切れた場合には、ページの途中でもそれまでのデータを印刷・排出してしまいます。 また、各OSでプリンターへのデータ送信についてタイムアウト時間を設定できます。このタイムアウト設定の時間が短いと、複雑なデータなどでプリンターのビジー時間が長くなった場合、コンピューターが印刷データの送信を中止する場合があります。その場合にはプリンターの自動排出を無効にするだけでなく、タイムアウト設定の時間を長くしてください。タイムアウト設定の時間変更は各OSのマニュアルを参照してください。 **綴じしろが合っていない。** →　印刷範囲を確認してください。両面印刷のときにはクリップ機能を使うと印刷範囲を超えた分のデータを次のページに印刷しないようになります。
用紙の左側が空白になる（印刷文字が用紙の右側にかたよって印刷される）	**一部のソフトウエアでは、用紙位置が異なる場合がある。** →　メニューモードで136桁モードを有効にし、用紙位置を調整してください。
縮小すると、縮小前と印刷結果が異なる	**印刷データによっては、縮小すると印刷結果が異なる場合がある。** →　プリンターでは、座標値などを縮小することにより縮小印刷を行っています。このときに、数値の丸め誤差が生じ、図形と図形の重なりなどが変わることにより、印刷結果が異なってしまう場合があります。
改行量がおかしくなり、徐々にずれてしまう	**一部のソフトウエアには、ソフトウエアの指定によって改行で用紙を排出するものがある。** →　ソフトウエアの設定をシートフィーダー付きにするか、1ページの長さを67行(A4サイズの用紙の場合）に設定してください。
画面の文字と異なる文字が印刷された	**ご使用のコンピューター環境に最も適した方法でプリンターを指定していない。** →　「2章　プリンターソフトウエアのインストール」(53ページ）を参照して確認してください。 **適切なエミュレーションモードを選択していない。** →　「メニューモード」(108ページ）を参照して、エミュレーションモードを選択し直してください。 **プリンターケーブルがきちんと接続されていない。** →　プリンター側とコンピューター側の接続状態を確認してください。 **プリンターバッファーや切り替え器を使用している。** →　プリンターバッファーや切り替え器を使用しない接続方法に変更してください。

症　状	原因と処理方法
白紙が出る	**ソフトウエアのプリンター設定がシートフィーダー付きになっている。** → シートフィーダー付きになっている場合は、メニューモードまたはメモリースイッチの設定で「136桁モード」を有効にしてください。
両面印刷が正しく機能しない	**メニューモード、メモリースイッチが合っていない。** → 設定し直してしてください。 **セットされている用紙サイズが合っていない。** → セットされている用紙サイズを確認してください。 **セットされている用紙の種類が合っていない。** → 「用紙について」(80ページ)を参照して、セットされている用紙の種類を確認してください。 **両面印刷ユニットが正しく取り付けられていない。** → 両面印刷ユニット(オプション)の取り付けが正しく行われているか確認してください。
リプリント機能が使用できない	**プリンターとコンピューターの双方向通信が設定されていない。** → PrintAgentで双方向通信をサポートする設定になっていることを確認してください。 → ご使用のプリンターケーブルは正しいものが使われているかどうかチェックしてください。 **[リプリント機能を使用する]がチェックされていない。** → [プロパティ]ダイアログボックスの[用紙]シートを開き、確認してください。 **[リプリント機能を提供する]がチェックされていない。** → [PrintAgentのプロパティ]を開き、確認してください。(ネットワーク共有プリンターをご使用の場合は、サーバー上の[PrintAgentのプロパティ]を開き、設定を確認してください。)
オフセット排紙機能が使用できない	**トレーの用紙サイズが設定されていない。** → トレーの用紙サイズを設定してください。 **トレーの用紙種類を普通紙以外に設定している。** → トレーから印刷する場合、用紙の種類を普通紙に設定してください。 **[オフセット排紙機能]がチェックされていない。** → ネットワーク環境で共有プリンターとして使用しているすべての利用者(クライアント)の設定をプリンタードライバーで[オフセット排紙機能]をチェックしてください。 **セットされている用紙サイズが合っていない。** → 「各用紙サイズでの動作対応表」(120ページ)を参照してセットされている用紙のサイズを確認してください。 **セットされている用紙種類が合っていない。** → 「各用紙種類での動作対応表」(121ページ)を参照してセットされている用紙の種類を確認してください。

症　状	原因と処理方法
リレー給紙ができない	**リレー前とリレーされるホッパー（トレー）の用紙サイズが違うか、リレー前と後のホッパー（トレー）が共にリレーONになっていない。** → 同じサイズ、同じ向きに用紙をセットしてください。メニューモードでリレーしたいホッパーとリレー前のホッパー（トレー）を共にONにします。 **リレー前とリレーされるホッパー（トレー）の用紙種類が違う。** → メニューモードで同じ用紙種類に設定してください。

PrintAgentを正しく動作させるために

PrintAgentはネットワーク環境で使用することで、より効果を発揮します。以下はPrintAgentを正常に機能させるための注意事項についてネットワーク関連の設定を中心に説明します。

PrintAgentを動作させる前に

PrintAgentをインストール/アンインストールする時の注意事項

PrintAgentをインストールまたはアンインストールする時は以下のことに注意してください。

- インストールプログラムを実行する前に、起動中のアプリケーションをすべて終了させてください。
- [PrintAgent セットアップ]のウィンドウが閉じるまで、CD-ROMやフロッピーディスクなどインストール元のメディアを取り出さないでください。
- PrintAgentのインストールまたはアンインストール終了後、再起動を促すメッセージが表示されることがあります。画面の指示に従ってコンピューターを再起動してください。
- インストール時に指定したPrintAgentソフトウエアのフォルダー(ディレクトリー)名を変更するとアンインストールできません。インストール時のフォルダー(ディレクトリー)名に戻してからアンインストールしてください。
- プリンターのプロパティダイアログボックスを表示している時、およびMultiWriterが印刷中の時、PrintAgentをアンインストールすることができません。プリンターのプロパティダイアログボックスを閉じ、印刷が終了してからアンインストールしてください。
- Windows XP/2000、Windows NT 4.0で、インストールしようとしているコンピューターに他のユーザーがログオンしている場合は、インストールはできません。各ユーザーに切り替えてすべてのユーザーをログオフしてからインストールしてください。
- Windows XP/2000、Windows NT 4.0にPrintAgentをインストールまたはアンインストールするユーザーは、アカウントの種類が[コンピュータの管理者]である必要があります。また、Windows 2000またはWindows NT 4.0にPrintAgentをインストールまたはアンインストールするには、[Administrators]または[Domain Admins]グループのメンバーである必要があります。
- Windows XP/2000、Windows NT 4.0でPrintAgentのインストールする場合、アクセス権により使用可能なユーザーが制限されているフォルダー(ディレクトリー)にインストールしないでください。
- Windows XP/2000、Windows NT 4.0で[プリンタの追加ウィザード]より、他のコンピューターに接続されたプリンターを指定してインストールしたプリンタードライバーをPrintAgentで使用している時に、さらに[プリンタの追加ウィザード]でローカル接続のプリンタードライバーをインストールする場合は、[現在のドライバを使う(推奨)]ではなく、[新しいドライバに置き換える]を選択してインストールしてください。

- Windows XPの場合は[コントロールパネル]の[プログラムの追加と削除]より、Windows 2000、Windows NT 4.0、Windows Me/98/95の場合は[コントロールパネル]の[アプリケーションの追加と削除]より起動したPrintAgentの追加と削除でPrintAgentオプションの追加をすると、セットアップに必要なファイル*を要求する画面が表示される場合があります。この場合は、以前にインストールで使用したプリンターソフトウエアCD-ROMを挿入するか、もしくはプリンターソフトウエアCD-ROMよりインストールプログラムを実行しカスタムインストールにてPrintAgentのオプションを追加してください。

共有プリンターの利用/提供について

Windows XP/2000およびWindows NT 4.0で、共有プリンターの提供の設定は[コンピュータの管理者]およびAdministrators権限のある方が変更できます。
[共有プリンタを利用する]、[共有プリンタを提供する]は、通常はONのままで支障ありませんが、次の場合はOFFにすることをお勧めします。

- **ネットワークの回線速度が遅い**

  低速回線を経由する共有プリンターに対して、PrintAgentを使用すると、通信速度の関係でプリンタステータスウィンドウなどの操作がしにくかったり、状態の表示が遅れたりすることがあります。この場合は、[PrintAgentのプロパティ]で[共有プリンタを利用する]のチェックを外してください。ネットワーク共有プリンターについてのPrintAgentの双方向通信機能を無効にすることができます。

- **転送データ量に応じて課金されるネットワーク環境**

  転送データ量に応じて課金される従量課金制のネットワークを経由してPrintAgentを使用している場合に、PrintAgentの双方向通信によってデータ転送が発生し、課金されることがあります。
  考慮すべきネットワーク環境の例としては以下のケースがあります。

  - ネットワークプリンターが、公衆回線を経由した別のネットワーク上に存在する場合
  - プリントサーバー、DNSサーバー、WINSサーバーが公衆回線を経由した別のネットワーク上に存在する場合
  - ローカルネットワークの通信自体が課金ネットワークの場合

  これを避けたい場合にも、上記操作によってネットワーク共有プリンターについてのPrintAgentの双方向通信機能を無効にしてください。

- **コンピューターの処理能力が十分でない**

  コンピューターの性能があまり高くない場合、PrintAgentのご利用により、他の作業の処理速度に影響する可能性があります。この設定を外してもローカルに接続しているプリンターでは、引き続きPrintAgentがご利用になれます。

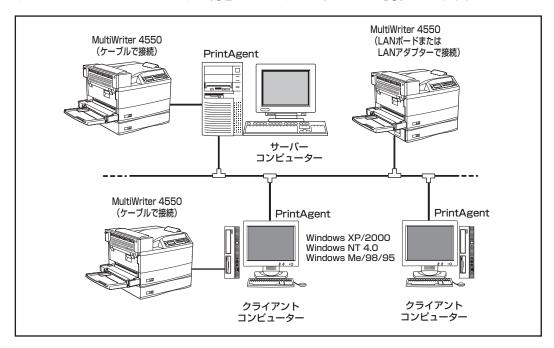
* フロッピーディスクをご利用の場合、メッセージに従ってNMPSディスクを挿入してください。

従量課金回線での課金を最小限(印刷時のみ)とするためには

- クライアントコンピューター側で[PrintAgentのプロパティ]の[共有プリンタを利用する]のチェックを外します。
- サーバーコンピューター側で[PrintAgentのプロパティ]の[共有プリンタを提供する]のチェックを外します。
- サーバーコンピューターがWindows Me/98/95の場合は、プリンターの[プロパティ]の[詳細]-[スプールの設定]-[このプリンタの双方向通信機能をサポートしない]を選択してご利用ください。
- サーバーコンピューターがWindows XP/2000の場合は[プリンタのプロパティ]、Windows NT 4.0の場合は[デバイスプロパティ]の[ポート]-[双方向サポートを有効にする]のチェックを外してご利用ください。

クライアント・サーバーシステムでお使いの場合

PrintAgentをクライアント・サーバーシステムでお使いの場合、以下のことに注意してください

- PrintAgentはローカルプリンターに対してもネットワーク上の共有プリンターに対しても使用できます。ただし、ネットワーク上で使われる場合PrintAgentソフトウエアはサーバーコンピューター、クライアントコンピューター両者にインストールされている必要があります。

- 1台のサーバーコンピューターに接続されたクライアントコンピューターの中でPrintAgentを使用するクライアントコンピューターは30台以下を推奨します。サーバーコンピューターの性能やネットワークトラフィックによっては、印刷時にプリンターの状態情報が取得できなくなる、クライアントコンピューターでオフライン作業になる、またはネットワークプリンターの状態が不明になる場合があります。このような場合、印刷時以外は[PrintAgentのプロパティ]の設定の[共有プリンタを利用する]のチェックを外してPrintAgentを動作させないようにするか、PrintAgentを終了させて運用してください。

- プリントサーバーコンピューターには64Mバイト以上のメモリーを搭載し、運用することを推奨します。(Windows XP/2000 日本語版をプリントサーバーコンピューターとしてご利用の場合には、256Mバイト以上を推奨します。)

PrintAgentの機能を十分に発揮させるために

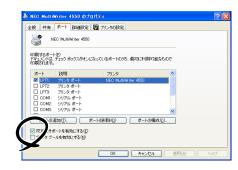
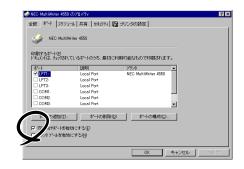
PrintAgentの機能を十分に発揮させるために、双方向通信でお使いになることをお勧めします。

● 双方向通信が可能なポートに接続してください。

OS	パラレルインターフェース接続	LAN接続
Windows XP/2000	LPTx	NEC Network Port
Windows NT 4.0	LPTx	NEC Network Port
Windows Me/98/95	LPTx	NEC TCP/IP Printing System

上記の表以外のポートでご利用の場合には双方向通信を無効に設定してください。PrintAgentの機能はご利用になれません。

● 双方向通信を有効にしてください。

<Windows XP/2000の場合>
[プロパティ]ダイアログボックスの[ポート]シートで[双方向サポートを有効にする]をチェックする。

<Windows NT 4.0の場合>
[プロパティ]ダイアログボックスで[ポート]シートの[双方向サポートを有効にする]をチェックする。

<Windows Meの場合>
[プロパティ]ダイアログボックスの[詳細]-[スプールの設定]-[このプリンタの双方向通信機能をサポートする]を選択する。

<Windows 98/95の場合>
[プロパティ]ダイアログボックスの[詳細]-[スプールの設定]-[このプリンタで双方向通信機能をサポートする]を選択する。

その他の注意事項

PrintAgentを動作させる前に、以下のことに注意してください。

- ネットワーク共有プリンターが直接つながっているコンピューターのOSがWindows XP/2000/NT 4.0の場合、プリンタープールはサポートしていません。サーバーコンピューター上ですべてのプリンターのプリンタープールを無効にする必要があります。サーバーコンピューターがWindows XP/2000の場合は[プリンタのプロパティ]、Windows NT 4.0の場合は[デバイスプロパティ]の[ポート]-[プリンタプールを有効にする]のチェックを外してください。[プリンタプールを有効にする]をチェックした場合、プリンターの状態が正しく表示されません。権限がない場合は管理者に連絡してください。

- PrintAgentがサポートしているネットワークプロトコルはTCP/IPです。また、LANボード／LANアダプターを装着したプリンターと接続する場合、サポートしているネットワークプロトコルもTCP/IPのみです。

- PrintAgentはWindows 2000 Advanced Server、Windows 2000 Datacenter Server、Windows NT Server,Enterprise Edition 4.0のクラスタ機能を使ったクラスタリングシステム、あるいはWindows NT Server 4.0,Terminal Server Edition、Windows 2000のTerminal Serviceをインストールしたシステムには対応していません。これらのシステムでは、PrintAgentが正常に動作しない場合がありますので、PrintAgentをインストールしないでご利用ください。またこれらのシステムでご使用の際には、双方向通信に対応していないプリンタードライバーをお使いください。双方向通信に対応していないプリンタードライバーは添付のプリンターソフトウエアCD-ROMの以下に収録しています。

  ーWindows 2000対応ドライバー　：¥MW4550¥WIN2KTS
  ーWindows NT 4.0対応ドライバー　：¥MW4550¥NT40TSE

  プリンタードライバーのインストール方法については、活用マニュアルの「3章　ターミナルサービス用プリンタードライバーのインストール」を参照してください。また、OSの「プリンタの追加」機能で上記のフォルダーを指定することでプリンタドライバーのインストールを行うこともできます。

- PrintAgentをインストール時に指定するPrintAgentモジュールのフォルダー名(指定しなければ「PrintAgent」になります)はインストール終了後に変更しないでください。フォルダー名を変更するとアンインストールが正常に行えません。また、PrintAgentが正しく動作しません。Windows 3.1やDOS上でフォルダーの移動などを行うと、フォルダーの名前が「PRINTA~1」などに変わってしまう場合があります。

- プリンターソフトウエアをインストールする際に指定する出力ポート(インターフェースコネクター)に、プリンターインターフェース変換アダプターやプリンターバッファーを使用している場合、PrintAgentはご利用になれません。PrintAgentをインストールしないでご利用ください。また、PrintAgentを利用する場合は、出力ポート(インターフェースコネクター)からプリンターインターフェース変換アダプターやプリンターバッファーなどを取り外してお使いください。

- ドメインに参加していないWindows XPをプリントサーバーとしてご使用の場合、プリンタステータスウィンドウやリプリントが正しく動作しない場合があります。

- コンピューターのOSがWindows Me/98/95の場合でネットワークアダプターが他のインターフェースなどと同一の割り込み要求(IRQ)に設定されていると、Windows起動時にエラーが発生することがあります。このような場合は、使用していないインターフェースの割り込み要求(IRQ)を解放し、ネットワークアダプターで使用する割り込み要求(IRQ)と競合しないように設定を変更してください。割り込み要求(IRQ)の解放、変更についてはお使いのコンピューター、ネットワークアダプターの取扱説明書または各OSのヘルプ等を参照してください。

PrintAgentはプリンタステータスウィンドウの表示に加えて音声メッセージを通知させることもできます。この機能を利用できるのはPCM録音・再生など「サウンド機能」を持ったコンピューターです。お手持ちのコンピューターが音声メッセージ機能を使用できるかどうかはコンピューターに添付のマニュアルをご覧ください。

PrintAgentの動作中は

コンピューターにPrintAgent対応プリンターが複数インストールされている場合、プリンタステータスウィンドウを表示させるとき、ダイアログボックスで「プリンタの選択」を要求されることがあります。

PrintAgentの制限事項

- PrintAgentとプリンターポートを直接アクセスしてプリンターの状態を監視するユーティリティー（DMITOOLなど）を同時に使用すると正しく動作しない場合があります。このような場合は、お使いのユーティリティーに応じて、プリンターの監視を行わないように設定してください。

- プリンターとお使いのコンピューターのプリンターポート（パラレルポート）の設定が異なる場合、PrintAgentの動作に不具合が生じることがあります。（例えば、コンピューターはECPモード、プリンターはニブルモードといった場合です。）双方の設定を合わせてご使用ください。設定を変更する場合、お使いのコンピューターの取扱説明書を参照して、プリンターポート（パラレルポート）の設定を変更するか、プリンターの設定を変更してください。プリンターの設定を変更するには「メニューモード」（108〜116ページ）を参照してください。

OSをアップグレードする場合

お使いのコンピューターのOSをアップグレードする場合、以下のことに注意してください。

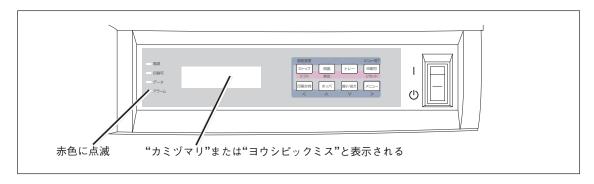
- OSをアップグレードする前に、2章の「プリンタードライバーの削除」（69ページ）、「PrintAgentの追加・削除」（73ページ）の手順に従ってプリンタードライバーおよびPrintAgentを削除してください。OSをアップグレードした後に、再度プリンターソフトウエアをインストールしてください。

- 従来OS用のPrintAgentはWindows XP/2000では使用できません。Windows Me/98/95、Windows NT 4.0/3.51からWindows XP/2000にアップグレードする場合は、PrintAgentをアンインストールしてからWindows XP/2000へのアップグレードを行ってください。OSのアップグレードが正しく行えた後に、Windows XP/2000に対応したPrintAgentをインストールし、ご使用ください。

チェック

- アップグレード前のOSがWindows NT 3.51で、他のMultiWriterシリーズやPrintAgent対応プリンターのPrintAgentをインストールしてご使用の場合、PrintAgentをアンインストールした後、Windows 2000へのアップグレードを行うと、正しくアップグレードできないことがあります。できなかった場合には、「PrintAgent Eraser」をWindows NT 3.51上で使用して、PrintAgentを削除してください。
- すでにOSをWindows XP/2000にアップグレードしてしまった場合、PrintAgentをアンインストールせずにWindows XP/2000上で「PrintAgent Eraser」を使用してPrintAgentを削除してください。「PrintAgent Eraser」は、添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されている「¥PAeraser¥Readme.txt」をご覧ください。

紙づまりのときは

紙づまりが発生すると、操作パネルのアラーム(赤)ランプが点滅し、ディスプレイに“74　カミヅマリ”、または“83　ヨウシピックミス”と表示されます。同時にプリンターは印刷を中止し、ディセレクト状態(印刷可ランプが消灯)になります。

紙づまりの発生箇所

紙づまり、またはピックミス(用紙給紙ミス)のときのディスプレイ表示と発生箇所は次の表のとおりです。ディスプレイ下段の表示は紙づまり、またはピックミス(用紙給紙ミス)が発生している箇所を表しています。

ディスプレイ表示		紙づまり発生箇所
上段	下段	
“74　カミヅマリ”	“ホンタイサイド　A”	本体部　サイド　A
	“ホンタイサイド　B”	本体部　サイド　B
	“キュウシサイド　C”	給紙部　サイド　C
	“リョウメン”	両面印刷ユニット部　D
	“フィニッシャ　E　XX”	フィニッシャー部　E
	“フィニッシャ　F　XX”	フィニッシャー部　F
	“フィニッシャ　G　XX”	フィニッシャー部　G
	“フィニッシャ　H　XX”	フィニッシャー部　H
“83　ヨウシピックミス”	“ホッパ1　サイドA”	ホッパー1およびサイドA
	“ホッパ2　サイドB”	ホッパー2およびサイドB
	“ホッパ3　サイドB”	ホッパー3およびサイドB
	“ホッパ4　サイドC”	ホッパー4およびサイドC
	“ホッパ5　サイドC”	ホッパー5およびサイドC
	“トレー”	手差し部

XXには、任意の数字が表示されます。

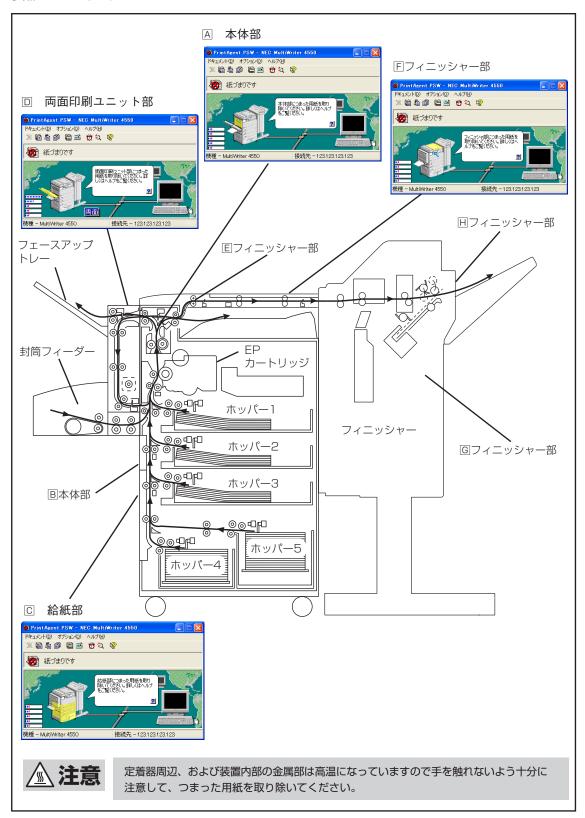
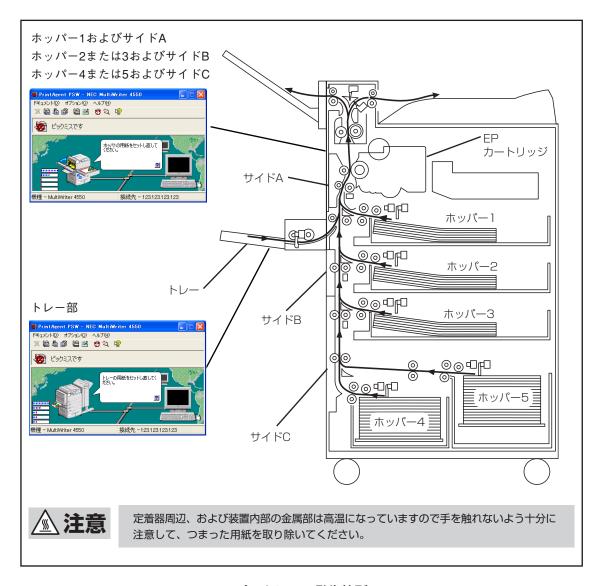
次ページの図を参考にしてA、B、C、E、F、G、Hのいずれかを開けて、つまった箇所を調べてください。つまった箇所に応じて、171ページからの手順に従って用紙を取り除いてください。

Ａ～Ｈで示す部分が紙づまり、またはピックミスの発生箇所です。処理手順については171ページ以降を参照してください。

注意　定着器周辺、および装置内部の金属部は高温になっていますので手を触れないよう十分に注意して、つまった用紙を取り除いてください。

紙づまりの発生箇所

注意

定着器周辺、および装置内部の金属部は高温になっていますので手を触れないよう十分に注意して、つまった用紙を取り除いてください。

ピックミスの発生箇所

紙づまりの処理

発生箇所(A、B、C、D、E、F、G、H)に応じて、紙づまりの処理をしてください。

つまった用紙を取り除くことができたら、カバー類を閉めてください。完全に取り除かれていればアラームは解除され、自動的に印刷は再開されます。

紙づまりが頻発するようでしたら、「紙づまり、ピックミス処理後の確認」(189ページ)を参照して紙づまりを誘発させる事柄がないか確認してください。

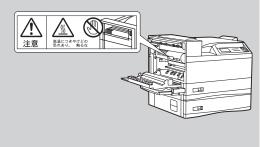
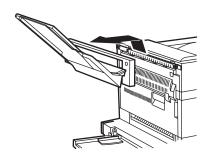
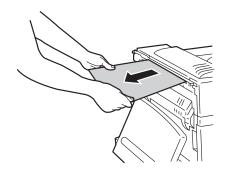
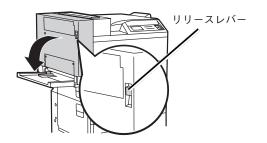
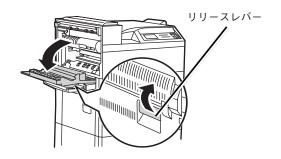
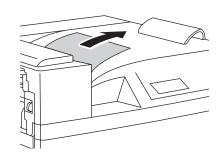
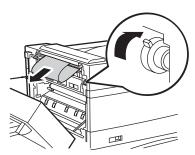
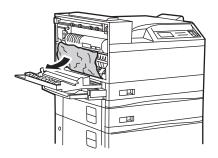
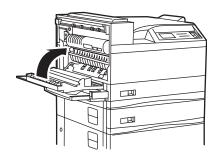
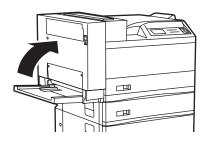
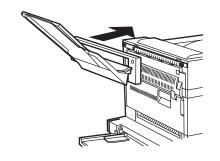
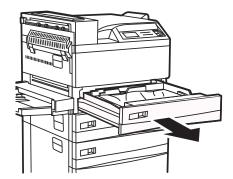
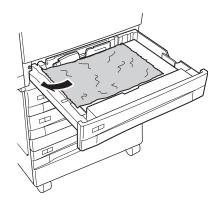
- つまった用紙は、このマニュアルの手順どおりに取り除いてください。無理に引き抜こうとすると、用紙が破れ、残った紙片がプリンターの正しい用紙送りを妨げることがあります。
- 紙づまりが発生した場合、つまった用紙が取り除かれると、紙づまりによって正しく排出されなかった用紙の印刷データから印刷を再開します。しかし、紙づまりが発生した位置によっては、正しく排出されなかった印刷データから印刷を再開できない場合があります。

A　本体部の紙づまり

本体部で紙づまりが発生した場合の処理方法を説明します。

注意

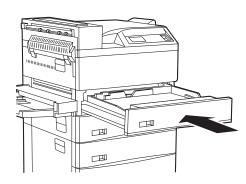
高温注意を促すラベルが貼ってある箇所(定着器やその周辺)には、絶対に触れないでください。やけどのおそれがあります。

なお定着器に用紙が巻き付いているときには無理に取らないで、ただちに電源を切り、サービス担当者またはお買い求めの販売店にご相談ください。

❶ **フェースアップトレー(オプション)が装着されている場合はフェースアップトレーを持ち上げるようにして取り外す。**

❷ **フェースアップ排紙口につまっている用紙があったら、排紙方向にまっすぐ引き抜いて取り除く。**

❸ 両面印刷ユニット（オプション）を装着している場合はリリースレバーを押し上げてゆっくりと開く。

❹ リリースレバーを引きながらサイドカバーAをゆっくりと開く。

❺ 排紙口につまっている用紙があったら、排紙方向にまっすぐ引き抜いて取り除く。

❻ 定着器に用紙がつまっていたら定着器に触れないように注意し、ノブを押しながら回して、用紙を矢印の方向に引き抜く。

❼ プリンター内に用紙が残っていないかどうかを確認し、あったら取り除く。

❽ サイドカバーAを閉じる。

❾ 両面印刷ユニットを装着している場合は、両面印刷ユニットを閉じる。

❿ フェースアップトレーを装着している場合はフェースアップトレーを取り付ける。

⓫ **ホッパー1のカセットを引き出す。**

⓬ **用紙がつまっていたら取り除く。**

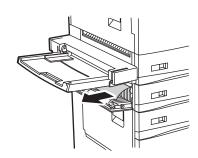
⓭ **用紙のセット方法、およびセットした用紙の種類が正しいか確認する。**

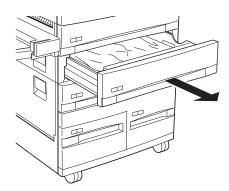
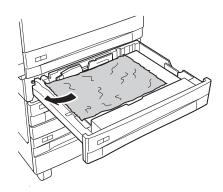
エンドガイドとサイドガイドの位置が正しいか確認してください。
「3章　用紙のセット」(79ページ)を参照してください。

⓮ **ホッパー1のカセットを奥に突き当たるまでゆっくりと押し込む。**

B 本体部の紙づまり

❶ **リリースレバーを引きながらサイドカバーBをゆっくりと開く。**

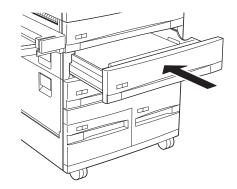
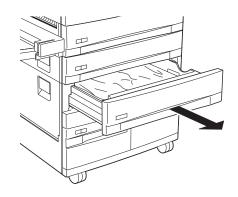
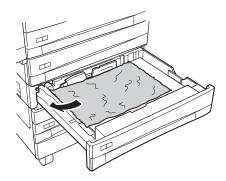
サイドカバーBを開けるために、トレーをたたんだり、封筒フィーダー(オプション)を取り付けている場合は封筒フィーダーを抜き出してください。

❷ **プリンター内に用紙が残っていないかどうかを確認し、用紙があったら取り除く。**

❸ **サイドカバーBを閉じる。**

❹ **ホッパー2のカセットを引き出す。**

❺ **用紙がつまっていたら取り除く。**

❻ **用紙のセット方法、およびセットした用紙の種類が正しいか確認する。**

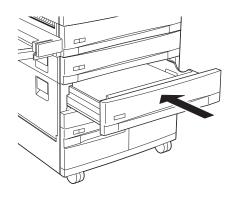
エンドガイドとサイドガイドの位置が正しいか確認してください。
「3章　用紙のセット」(79ページ)を参照してください。

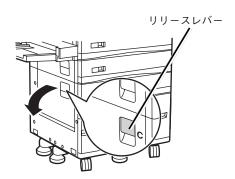
❼ **ホッパー2のカセットを奥に突き当たるまでゆっくりと押し込む。**

❽ **ホッパー3のカセットを引き出す。**

❾ **用紙がつまっていたら取り除く。**

❿ **用紙のセット方法、およびセットした用紙の種類が正しいか確認する。**

エンドガイドとサイドガイドの位置が正しいか確認してください。
「3章　用紙のセット」(79ページ)を参照してください。

⓫ **ホッパー3のカセットを奥に突き当たるまでゆっくりと押し込む。**

C　給紙部の紙づまり

給紙部で紙づまりが発生した場合の処理方法を、大容量ホッパーを装着した場合を例にして説明します。

❶ **リリースレバーを引きながらサイドカバーCをゆっくりと開く。**

❷ **プリンター内に用紙が残っていないかどうかを確認し、用紙があったら取り除く。**

❸ **サイドカバーCを閉じる。**

❹ **ホッパー5が指定されている場合は、ホッパー3のカセットを引き出す。**

ホッパー3のカセットをいっぱいに引き出し、持ち上げるようにして取り外します。

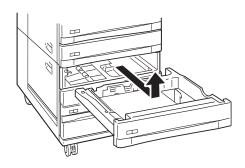
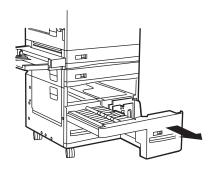
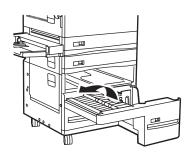
用紙がセットされていると重くなっているため、両手でカセットを持ってください。

ホッパー3のカセットを取り外さずにホッパー5での紙づまり処置を進めると、中に紙片が残ってしまうことがあります。

❺ **ホッパー5の上部に見えているつまった用紙を慎重に引き出す。**

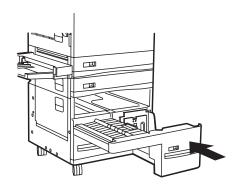
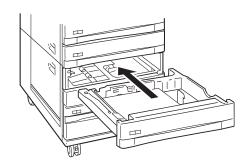
❻ **ホッパー5のカセットを引き出し、つまっている用紙を取り除く。**

❼ **カバーの下につまっている用紙があったらカバーを開けて取り除く。**

チェック

ホッパー5での紙づまりは、ホッパー5の中でも発生する場合があり、その場合でもディスプレイ上には"サイドC"と表示されます。よく見ると、「キュウシサイドC XX」の番号が違っています。

❽ **用紙のセット方法、およびセットした用紙の種類が正しいか確認する。**

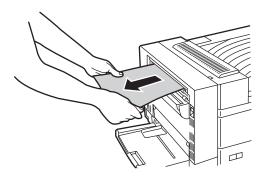
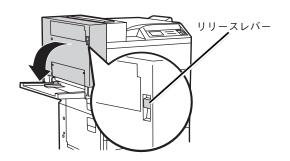
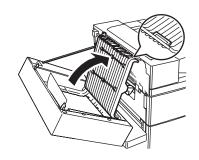
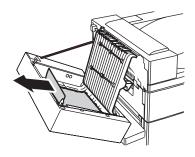
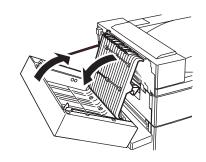
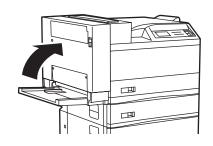
エンドガイドとサイドガイドの位置が正しいか確認してください。
「3章　用紙のセット」(79ページ)を参照してください。

❾ **カセットをホッパー5の奥に突き当たるまでゆっくりと押し込む。**

❿ **ホッパー3のカセットを奥に突き当たるまでゆっくりと押し込む。**

D 両面印刷ユニット部の紙づまり

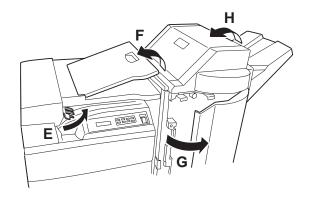
両面印刷ユニット部で紙づまりが発生した場合の処理方法を説明します。

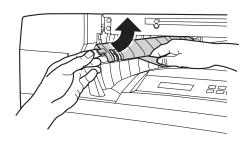
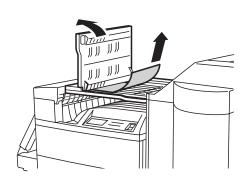
チェック

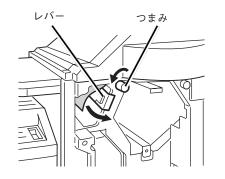
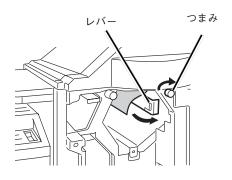
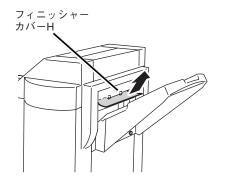
プリンターの電源を入れたままで紙づまりの処置をしてください。電源を切ると、プリンター内に残っている印刷データや、プリンターのメモリー上に蓄えられた情報は消去されます。

1 両面印刷ユニットの排紙口につまった用紙があったら、排紙方向にまっすぐに引いて取り除く。

2 リリースレバーを上に押し上げながら、ゆっくりと両面印刷ユニットを開く。

3 グリーンの取っ手を持って内側のカバーを開く。

4 両面印刷ユニットの内部につまっている用紙を取り除く。

5 内側のカバーを閉じる。

6 両面印刷ユニットを閉じる。

E、F、G、H　フィニッシャー部の紙づまり

フィニッシャー部で紙づまりが発生した場合の処理方法を説明します。
用紙を引き抜くときに開けるカバーは次の4つです。

- フィニッシャゲートE .... 本体排紙口
- フィニッシャカバーF .... 用紙搬送部上面
- フィニッシャカバーG .... フィニッシャー正面部
- フィニッシャカバーH .... フィニッシャー排紙部

❶ **フィニッシャーゲートEを開けながら用紙を引き抜く。**

引き抜けないようなら「A 本体部の紙づまり」(171ページ)の手順にしたがって定着器から用紙を取り除きます。

❷ **フィニッシャーカバーFを開け、つまっている用紙を取り除く。**

❸ **フィニッシャーカバーGを開け、つまっている用紙を取り除く。**

向かって左側のレバーを開け、つまみを反時計回りに回して、用紙を取り除きます。

向かって右側のレバーを開け、つまみを時計回りに回して、用紙を取り除きます。

❹ 排紙側に用紙がつまっている場合は、フィニッシャーカバーHを持ち上げて、つまっている用紙を取り除く。

ピックミス(用紙給紙ミス)の処理

発生箇所(ホッパーまたはトレー)に応じて、ピックミス(用紙給紙ミス)の処理をしてください。

給紙されなかった用紙を取り除くことができたら、カバー類を閉めてください。完全に取り除かれていればアラームは解除され、自動的に印刷は再開されます。

ピックミスが頻発するようでしたら、「紙づまり、ピックミス処理後の確認」(189ページ)を参照してピックミスを誘発させる事柄がないか確認してください。

給紙できなかった用紙は、このマニュアルの手順どおりに取り除いてください。無理に引き抜こうとすると、用紙が破れ、残った紙片がプリンターの正しい用紙送りを妨げることがあります。

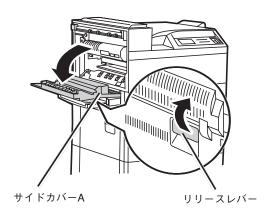
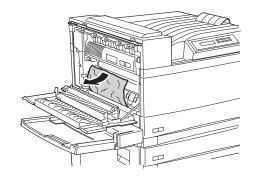
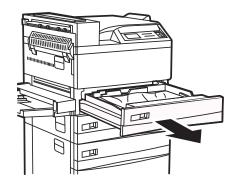
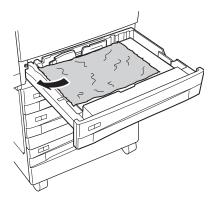
用紙カセットでのピックミス

ホッパーでピックミスが発生した場合の処理方法を説明します。

チェック

- プリンターの電源を入れたままで紙づまりの処置をしてください。電源を切ると、プリンター内に残っている印刷データや、プリンターのメモリー上に蓄えられた情報は消去されます。
- 本体側と給紙口にまたがって紙づまりになった場合は、ホッパーの開閉のみではアラームは解除されません。本体カバーの開閉が必要となります。

ホッパー1でのピックミス

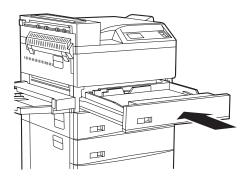
❶ **リリースレバーを引きながらサイドカバーAをゆっくりと開く。**

❷ **プリンター内に残っている用紙を引き抜く。**

❸ **サイドカバーAを閉じる。**

❹ **ホッパー1のカセットを引き出す。**

❺ **用紙がつまっていたら取り除く。**

❻ **用紙のセット方法、およびセットした用紙の種類が正しいか確認する。**

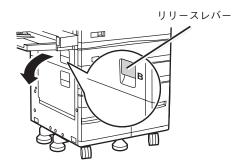
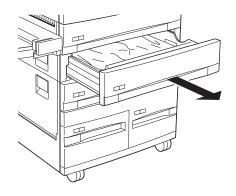
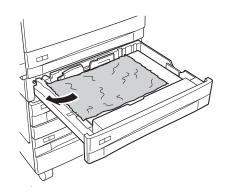
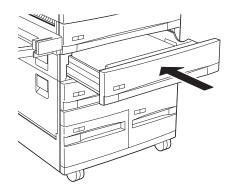
エンドガイドとサイドガイドの位置が正しいか確認してください。
「3章　用紙のセット」(79ページ)を参照してください。

❼ **カセットをホッパー1の奥に突き当たるまでゆっくりと押し込む。**

ホッパー2でのピックミス

❶ **リリースレバーを引きながらサイドカバーBをゆっくりと開く。**

サイドカバーBを開けるために、トレーをたたんだり、封筒フィーダー(オプション)を取り付けている場合は、封筒フィーダーを抜き出してください。

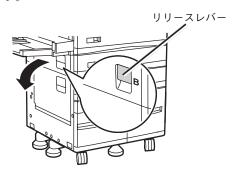
❷ **カバー内で用紙がつまっていたら引き抜く。**

❸ **サイドカバーBを閉じる。**

❹ **ホッパー2のカセットを引き出す。**

❺ **用紙がつまっていたら取り除く。**

❻ **カセットをホッパー2の奥に突き当たるまでゆっくりと押し込む。**

❼ **用紙のセット方法、およびセットした用紙の種類が正しいか確認する。**

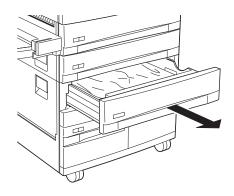
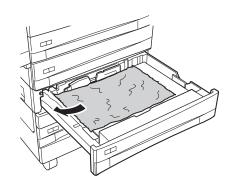
エンドガイドとサイドガイドの位置が正しいか確認してください。
「3章　用紙のセット」(79ページ)を参照してください。

ホッパー3でのピックミス

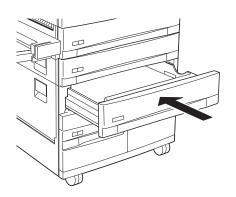
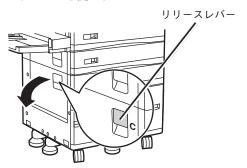
❶ **リリースレバーを引きながらサイドカバーBをゆっくりと開く。**

サイドカバーBを開けるために、トレーをたたんだり、封筒フィーダー(オプション)を取り付けている場合は、封筒フィーダーを抜き出してください。

❷ **カバー内で用紙がつまっていたら引き抜く。**

❸ **サイドカバーBを閉じる。**

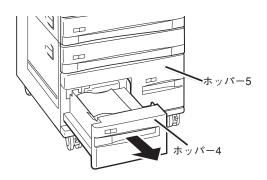
❹ **ホッパー3のカセットを引き出す。**

❺ **用紙がつまっていたら取り除く。**

❻ **用紙のセット方法、およびセットした用紙の種類が正しいか確認する。**

エンドガイドとサイドガイドの位置が正しいか確認してください。
「3章　用紙のセット」(79ページ)を参照してください。

❼ **カセットをホッパー3の奥に突き当たるまでゆっくりと押し込む。**

ホッパー4でのピックミス

❶ **リリースレバーを引きながらサイドカバーCをゆっくりと開く。**

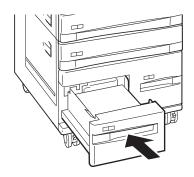
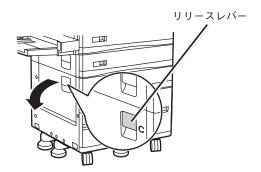
❷ **カバー内で用紙がつまっていたら引き抜く。**

❸ **サイドカバーCを閉じる。**

❹ **ホッパー4のカセットを引き出す。**

❺ **用紙がつまっていたら取り除く。**

❻ **用紙のセット方法、およびセットした用紙の種類が正しいか確認する。**

エンドガイドとサイドガイドの位置が正しいか確認してください。
「3章　用紙のセット」(79ページ)を参照してください。

❼ **カセットをホッパー4の奥に突き当たるまでゆっくりと押し込む。**

ホッパー5でのピックミス

❶ **リリースレバーを引きながらサイドカバーCをゆっくりと開く。**

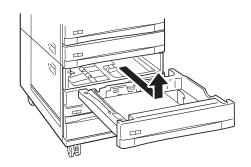
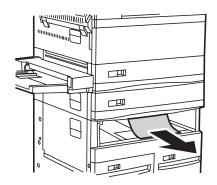
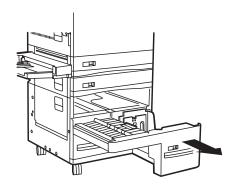
❷ **カバー内で用紙がつまっていたら引き抜く。**

❸ **サイドカバーCを閉じる。**

❹ **ホッパー5が指定されている場合は、ホッパー3のカセットを引き出す。**

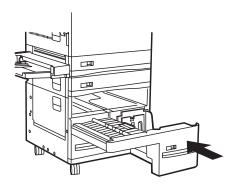
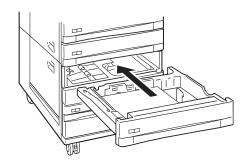
ホッパー3のカセットをいっぱいに引き出し、持ち上げるようにして取り外します。

用紙がセットされていると重くなっているため、両手でカセットを持ってください。

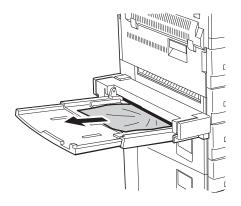
ホッパー3のカセットを取り外さずにホッパー5での紙づまり処置を進めると、中に紙片が残ってしまうことがあります。

❺ **ホッパー5の上部に見えているつまった用紙を慎重に引き出す。**

❻ **ホッパー5のカセットを引き出し、つまっている用紙を取り除く。**

❼ **カバーの下につまっている用紙があったらカバーを開けて取り除く。**

❽ **用紙のセット方法、およびセットした用紙の種類が正しいか確認する。**

エンドガイドとサイドガイドの位置が正しいか確認してください。
「3章　用紙のセット」(79ページ)を参照してください。

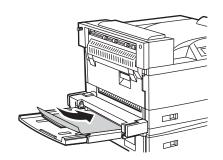
❾ **ホッパー5のカセットを奥に突き当たるまでゆっくりと押し込む。**

❿ **ホッパー3のカセットを奥に突き当たるまでゆっくりと押し込む。**

トレー

トレーでピックミスが発生した場合の処理方法を説明します。

❶ **つまっている用紙を矢印の方向に引き、取り除く。**

✔チェック

給紙されなかった用紙はトレーから取り去って、再セットしないでください。用紙の折れ曲がりなどにより紙づまりの原因となります。

❷ **印刷したい面を下にして、差し込み口に軽く突き当たるまで入れる。**

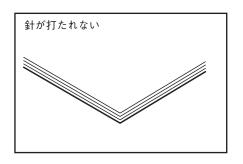
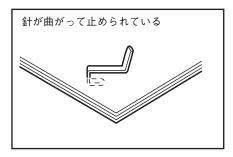
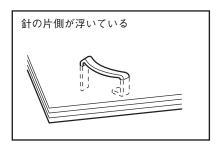
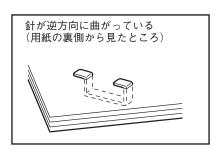
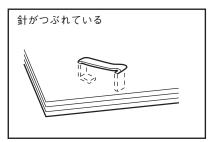
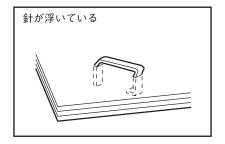
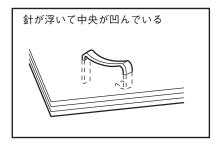
用紙のセットのしかたについては、3章の「トレーに用紙をセットする」(87ページ)を参照してください。

紙づまり、ピックミス処理後の確認

給紙できなかった用紙または、つまっていた用紙を取り除いたら、紙づまりの再発を防止するために次の事項を確認してください。

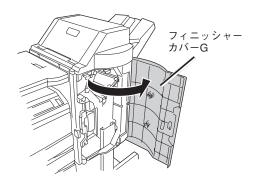
- □ 用紙の破片が紙づまりした場所に残っていませんか。
- □ 用紙は正しくセットされていますか。
- □ 用紙は規格内のものを使用していますか。また、「用紙の規格」(237ページ)に記載されている事柄は守られていますか。
- □ セットする用紙の量が多すぎませんか。サイドガイドの用紙上限線(MAX)以下にセットされていますか。(坪量64.0g/m²(連量55kg)の普通紙で、標準ホッパーの容量は500枚です。)
- □ 一度印刷した用紙を使用していませんか。
- □ サイドカバー、フロントカバーは確実に閉じられていますか。
- □ 標準用紙カセット、または定形外用紙カセットが奥までまっすぐに差し込まれていますか。
- □ 標準用紙カセット、または定形外用紙カセット内のサイドガイドおよびエンドガイドが用紙サイズに合っていますか。
- □ トレーにセットした用紙サイズと[トレー]スイッチで選択した用紙サイズは合っていますか。

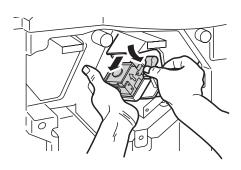
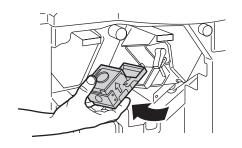
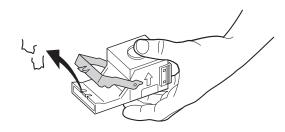
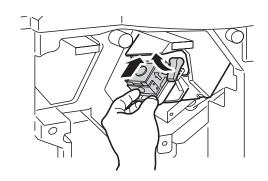
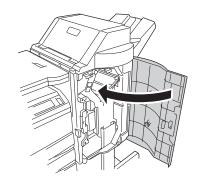
上記の確認後、「テスト印刷をする」(30ページ)に従って、印刷が正しく行われることを確認してください。(紙づまり処理直後はローラーなどに付着したトナーで用紙が汚れることがあります。数ページ、テスト印刷をしてください。)

ステープルどめがうまくいかないときは

フィニッシャーでステープルどめをした場合のトラブルについて説明します。針が打たれなかったり、針が曲がってとめられているときは、ステープル本体を確認します。次のページからの処置方法に従ってください。

下図のように針が打たれているときは、お買い上げの販売店にご連絡ください。

- ステープルどめできるのは坪量64.0～105.0g/m^2(連量55～90kg)の普通紙、最大50枚までです。
- ステープルどめをする場合は、用紙サイズ、用紙方向をそろえてホッパーまたはトレーに用紙をセットしてください。また、合紙をセットする場合も、同一サイズ、同一方向に用紙をセットしてください。

針づまりの処理手順

フィニッシャーでステープル針がうまく打たれなかったり、針が曲がってとめられているときは、ステープル針本体を確認します。以下の処置手順に従ってください。

❶ **フィニッシャーカバーGを開ける。**

❷ **オレンジ色のレバーを図のように押し、ステープルカートリッジを取り出す。**

ステープル針の落下を防ぐために、必ずカートリッジの下に手を添えてください。

❸ **ステープルカートリッジのカバーを開け、つまっている針を取り除く。**

❹ **ステープルカートリッジをオレンジ色のレバーが元の位置に戻るまで押し込む。**

❺ **フィニッシャーカバーGを閉じる。**

プリンターを運搬するときは

引っ越しや修理などでプリンターを運搬するときは、次の手順でプリンターから付属品、消耗品、および オプションを取り外してから行ってください。

❶ **付属品および消耗品(EPカートリッジ、電源コード、プリンターケーブル)を取り付けたときと逆の手順で取り外す。(「1章プリンターの設置」を参照してください。)**

重要

どの付属品を取り外すときも、電源がOFFになっていることを確認してください。

❷ **オプションを取り付けている場合は、各オプションの取扱説明書か、「9章　オプション」を参照して取り外す。**

❸ **購入時の箱や緩衝材がない場合は、プリンターに衝撃を与えないよう柔らかいもので保護し、静かに運搬する。**

⚠注意

プリンターの質量は約44.5kgです。(ＥＰカートリッジ含まず。)

2人以下で運ぶと腰を痛めるおそれがあります。3人以上で運んでください。

また、装置の重心は背面にありますので、背面方向へ倒れないように注意してください。

プリンター・消耗品を廃棄するときは

- プリンターの廃棄については各自治体の廃棄ルールに従ってください。詳しくは、各自治体へお問い合わせください。また、廃棄の際はEPカートリッジを取り外してお出しください。
- NEC製EPカートリッジは地球資源の有効活用を目的として回収し、再利用可能な部品は再利用しています。ご使用済みのNEC製EPカートリッジは捨てずに、EPカートリッジ回収センターに直接お送りいただくか、お買い上げの販売店、または添付の「NECサービス網一覧表」に記載されているサービス施設まで、お持ち寄りください。なお、その際はEPカートリッジの損傷を防ぐため、ご購入時の梱包箱に入れてください。回収については、6章の「EPカートリッジの回収と購入」(136ページ)を参照してください。
- 本書はリサイクルに配慮して製本されています。本書が不要となった際には、資源回収またはリサイクルにお出しください。

8章
ユーザーサービス

NECはMultiWriter 4550の「お客様登録」をされた方々にさまざまなユーザーサービスを用意しています。ユーザーサポートをお受けになる前に、ここで説明している保証およびサービスの内容について確認してください。

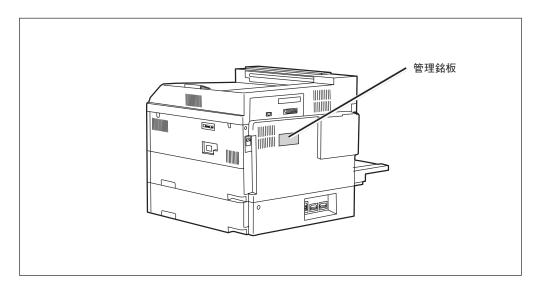
お客様登録申込書*について

添付の「お客様登録申込書」に記載されている事項をよくお読みになり、登録してください。

* N1153-L4550には、添付されていません。

保証について

プリンターには「保証書」が付いています。「保証書」は販売店で所定事項を記入してお渡ししますので、記載内容を確認して大切に保管してください。保証期間中に万一故障が発生した場合は、「保証書」の記載内容に基づき、無料修理します。詳細については「保証書」、および次ページの「保守サービスについて」をご覧ください。また、プリンターに添付の「NECサービス網一覧表」に記載されているサービス窓口へお問い合わせください。

本体の背面に、製品の型式、SERIAL No.(製造番号)、定格、製造業者名、製造国が明記された管理銘板が貼ってあります(下図参照)。販売店またはサービス窓口にお問い合わせする際にこの内容をお伝えください。また、管理銘板の製造番号と保証書の保証番号が一致していないと、万一プリンターが保証期間内に故障した場合でも保証を受けられないことがあります。お問い合わせの前にご確認ください。

管理銘板の位置

保守サービスについて

保守サービスは純正部品を使用することはもちろん、技術力においてもご安心してご利用いただける、当社指定の保守サービス会社をご利用ください。保守サービスには次のような種類があります。

- 契約保守 .... 年間一定料金で契約を結び、サービス担当者を派遣するシステムです。
- 出張修理 .... サービス担当者がお客様のところに伺い、修理をするシステムです。料金は修理の程度、内容に応じて異なります。

保守サービスの種類

種　類	概　要	修理料金		お支払い方法	受付窓口*[1]
		保証期間内	保証期間外		
契約保守	ご契約いただきますと、修理のご依頼に対しサービス担当者を派遣し、修理いたします。(原則として派遣日にその場で修理いたしますが、故障の程度・内容により、お引き取りして修理する場合もありますのでご了承ください。) 保守料は、システム構成に応じた一定料金を前払いしていただくため一部有償部品を除き、修理完了時にその都度お支払いいただく必要はありません。保守費用の予算化が可能になります。	機器構成、契約期間に応じた一定料金		契約期間に応じて一括払い	NECフィールディング(株)
出張修理	修理のご依頼に対してサービス担当者を随時派遣し、修理いたします。(原則として派遣日にその場で修理いたしますが、故障の程度・内容により、引き取りさせていただいて修理する場合もありますのでご了承ください。) ご契約は不要です。	無料*[2]	修理料 + 出張料	そのつど清算	

*[1] 受付窓口の所在地、連絡先などは添付の「NECサービス網一覧表」もしくは、インターネットのホームページアドレス http://www.fielding.co.jp/per/index.htmをご覧ください。

*[2] 本製品は「出張修理対象品」ですので、保証期間内の出張修理は無料です。出張修理の対象となっていない製品は出張料のみ有料となります。

プリンターの寿命について

MultiWriter 4550の製品寿命は、印刷枚数が200万ページ、または使用年数5年のいずれか早いほうです。定期保守については、販売店または「NECサービス網一覧表」に記載のサービス窓口にご相談ください。

補修用性能部品および消耗品について

本製品の補修用性能部品および消耗品の最低保有期間は製造打ち切り後7年です。

N型製品における消耗品の最低保有期間については、「レーザプリンタN1153-L4550補足説明書」を参照願います。

ユーザーズマニュアルの再購入について

もしユーザーズマニュアルを紛失されたときは、下記のPCマニュアルセンターに品名を次のように指定してお申し込みください。ユーザーズマニュアル(コピー版)を実費で再度購入することができます。

品名　MultiWriter 4550　ユーザーズマニュアル

なお、ユーザーズマニュアルの紛失に備えて、品名をメモしておくようにしてください。

PCマニュアルセンター

URL：http://pcm.mepros.com/

電話：03-5476-1900
受付時間　月曜から金曜　10：00〜12：00/13：00〜16：00
(土曜、日曜、祭日は、ご利用になれません)

FAX：03-5476-1967
受付時間　24時間(いただいたFAXに対するご回答は翌営業日以降となります。)

情報サービスについて

- プリンター製品に関する最新情報

  インターネット 「NEC 8番街」 URL：http://nec8.com/

- プリンターに関する技術的なご質問、ご相談

  NEC 121コンタクトセンター
  (電話番号、受付時間などについては、「NECサービス網一覧表」をご覧ください。)

プリンターソフトウエアをフロッピーディスクで必要な場合

通常プリンターソフトウエアのインストールは添付のCD-ROMから行いますが、フロッピーディスクを使ってインストールしたい場合は、いったんCD-ROMに収録されているプリンターソフトウエアをフロッピーディスクにコピーしてからインストールします。フロッピーディスクの作成手順については次ページの「FD作成」をご覧ください。

もし「CD-ROMドライブを持っていない」などでフロッピーディスクにコピーできない場合は、あらかじめ以下の必要事項を調べていただいた上で、最寄りのPCクリーンスポットまでご連絡ください。PCクリーンスポットの連絡先は、添付の「NECサービス網一覧表」をご覧ください。無償でご希望のフロッピーディスクをお送りします。

必要事項

① プリンターの名称	MultiWriter 4550
② プリンターの製造番号	保証書をご覧ください。9桁の英数字です。
③ フロッピーディスクタイプ	3.5インチ型の1.44MBタイプ*1、または3.5インチ型の1.2MBタイプ*2
④ ご住所	
⑤ ご氏名	
⑥ ご連絡先	昼間ご連絡がとれる電話番号をお知らせください。また自宅か勤務先かも明記してください。

*1　PC98-NXシリーズを含むIBM PC/AT互換機(DOS/V対応機)に対応
*2　PC-9800シリーズに対応

FD作成(インストール媒体の作成)

「FD作成」はプリンターソフトウエアCD-ROMの内容を任意の項目で構成し、フロッピーディスク、またはハードディスクなど任意の媒体にインストール用のプリンターソフトウエアをコピーする機能です。

コピーされる形式は次の2通りです。

- マスターとして　本プリンター用プリンターソフトウエアをすべてコピーします。(1.44MBもしくは1.25MBでフォーマットされたフロッピーディスクが10枚が必要です)
- 「カスタム」インストール用として　機能を選択して、インストール用のプリンターソフトウエアをコピーします。(1.44MBもしくは1.25MBでフォーマットされたフロッピーディスクが10枚が必要です)

> プリンターソフトウエアをコピーしたハードディスクを他のコンピューターも共有できるようにしておけば、CD-ROMを使わずにネットワークを介してプリンターソフトウエアをインストールすることができます。複数台のコンピューターに同じ内容のソフトウエアを短時間にインストールしたい場合などに便利です。

ここでは、Windows XP環境でFD作成をする手順を説明します。他のOSにおいても同様の手順です。

❶ プリンターソフトウエアCD-ROMをセットし、メニュープログラムを立ち上げる。

メニュープログラムを立ち上げる手順はお使いになるコンピューターの環境によって異なります。各OSのインストール方法を参照してください。

① 左側のボタンから[インストール]を選択します。
② [MultiWriter4550]を選んで[インストール開始]をクリックします。

❷ FD作成の[作成]をクリックする。

❸ インストール媒体の作成先、媒体種別を指定し、[次へ]をクリックする。

作成先にフロッピーディスクドライブを指定するとプリンターソフトウエアがフロッピーディスクにコピーされます。
インストール媒体作成先に、ハードディスク、ネットワークパスを指定することができます。

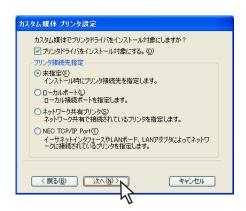
[マスタ媒体として作成する。]を選ぶとCD-ROMと、同様の内容をすべてコピーします。

<[マスタ媒体として作成する]を選んだ場合>

手順❼へ進んでください。

<[カスタム媒体として作成する]を選んだ場合>

手順❹へ進んでください。

❹ プリンタードライバーのインストール、プリンターの接続先を選び、[次へ]をクリックする。

＜[未指定]を選んだ場合＞

手順❺に進んでください。

＜[ローカルポート]を選んだ場合＞

希望するポートを選び、[次へ]をクリックする。

＜[ネットワーク共有プリンタ]を選んだ場合＞

プリンターの接続先を指定し、[次へ]をクリックする。

＜[NEC TCP/IP Port]を選んだ場合＞

LANボード、またはLANアダプターのIPアドレスあるいは、ホスト名を設定して[次へ]をクリックする。

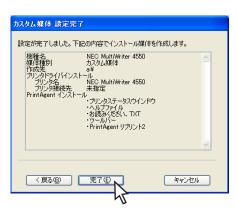
❺ 任意の機能を選ぶ。

[全追加]をクリックするとすべてチェックされます。[全削除]をクリックするとすべてチェックが外れます。

ここで選択されなかった機能はクライアントでインストールした後に、クライアントで追加を行おうとしても追加できません。インストールした機能のみ削除できます。

❻ **インストール先、スプール先を指定し、[次へ]をクリックする。**

ここであらかじめインストール先を固定しておけば、個々のコンピューターからインストールするときの手順が簡略化できます。

❼ **設定した内容を確認し、[完了]をクリックする。**

❽ **[OK]をクリックする。**

インストール媒体の作成が開始します。

❾ **[OK]をクリックする。**

FD作成によって作成されたフロッピーディスクは、以下のような構成になります。

Disk 1：インストールプログラム

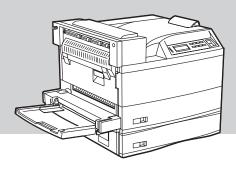
Disk 2：Windows Me/98/95
プリンタードライバー

Disk 3：Windows NT 4.0
プリンタードライバー

Disk 4：Windows XP/2000
プリンタードライバー

Disk 5～Disk 10：PrintAgent
ソフトウエア

作成したフロッピーディスクでプリンターソフトウエアのインストールを行うには、Disk1にあるSETUP.EXEを実行してください。

9章
オプション

この章では、MultiWriter 4550用として提供される別売品（オプション）を紹介し、その取り付け、取り外し、テスト印刷の方法などについて説明します。

フェースアップトレー（型番PR-L4050-FT、N1154-L4050-FT）

フィニッシャ
（型番PR-L4550-FS、
N1154-L4550-FS）

両面印刷ユニット
（型番PR-L4550-DL、
N1154-L4550-DL）

封筒フィーダ
（型番PR-L4050-EF、
N1154-L4050-EF）

大容量ホッパ
（型番PR-L4550-03、
N1154-L4550-03）

ハードディスク
（本体内蔵オプション）
（型番PR-L4550-HD、
N1154-L4550-HD）

増設メモリ
（本体内蔵オプション）
（型番PR-MW-M012、N1154-MW-M012）
（型番PR-MW-M013、N1154-MW-M013）
（型番PR-MW-M014、N1154-MW-M014）

LANアダプタ(TCP/IP)
（リモート電源制御対応）
（型番 PR-NP-03TR2）

マルチプロトコルLANボード
（型番 PC-PR-L02）
無線LANプリンターボード
（型番 PR-WL-11）

LANアダプタ(TCP/IP)
（型番 PR-NP-02T2）

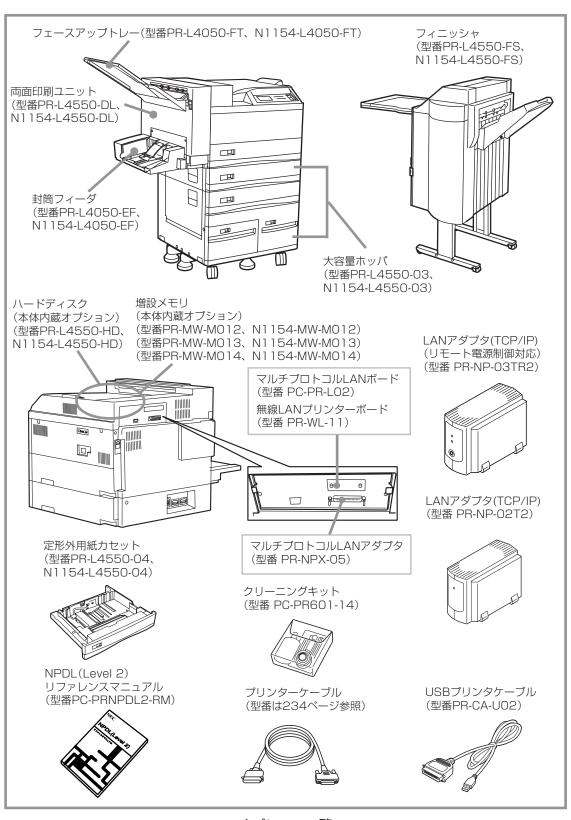
マルチプロトコルLANアダプタ
（型番 PR-NPX-05）

定形外用紙カセット
（型番PR-L4550-04、
N1154-L4550-04）

クリーニングキット
（型番 PC-PR601-14）

NPDL（Level 2）
リファレンスマニュアル
（型番PC-PRNPDL2-RM）

プリンターケーブル
（型番は234ページ参照）

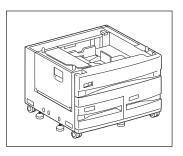
USBプリンタケーブル
（型番PR-CA-U02）

オプション一覧

フィニッシャーは大容量ホッパーがないと取り付けられません。

オプション品・消耗品の紹介

オプション品・消耗品のご購入については、お買い求めの販売店、または添付の「NECサービス網一覧表」に記載されているサービス窓口などにお問い合わせください。

オプション

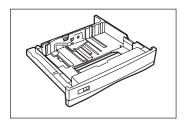
大容量ホッパ (型番 PR-L4550-03、N1154-L4550-03)

ホッパー3にセットできる用紙はA3、A4、B4、B5、レターサイズの用紙で最大500枚(64g/m²)までセットすることができます。用紙サイズを自動的に認識することができます。ホッパー4、5にはA4、B5、レターサイズの用紙を最大1,000枚(64g/m²)までセットすることができます。

用紙サイズラベルと用紙サイズシールが添付されています。

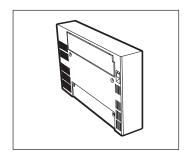
ホッパー3には用紙サイズラベルを、ホッパー4、5には用紙サイズシールをお使いください。

ホッパーの切り替えについては209ページをご覧ください。

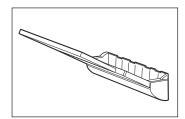
項目	型番PR-L4550-03、N1154-L4550-03		
ホッパー	ホッパー3	ホッパー4	ホッパー5
サイズ	555（W） x 521（D）x 426（H）mm		
質量	約35kg		
用紙種類 サイズ	普通紙、厚紙、穴あき紙： A3、A4、B4、B5、レター ラベル紙：B4、A4 OHP：A4	普通紙、厚紙、穴あき紙： A4、B5、レター ラベル紙：A4	普通紙、厚紙、穴あき紙： A4、B5、レター
用紙坪量	64～180g/m²		64～105g/m²
給紙容量	最大500枚（64g/m²）	最大1000枚（64g/m²）	
備考	サイズラベル使用	用紙サイズシール使用	

定形外用紙カセット (型番 PR-L4550-04、N1154-L4550-04)

定形外用紙を印刷するための用紙カセットです。標準ホッパー1、2または大容量ホッパー3と交換して使用します。

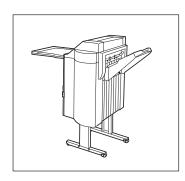
項目	型番PR-L4550-04、N1154-L4550-04
サイズ	520（W） x 490（D）x 115（H）mm
質量	約3.5kg
用紙サイズ	ホッパー1：182～297mm x 139.7～431.8mm ホッパー2、3：182～297mm x 182～431.8mm
給紙容量	最大500枚（64g/m²）
備考	1段目、2段目、3段目に取付可能

両面印刷ユニット (型番 PR-L4550-DL、N1154-L4550-DL)

両面印刷をするためのユニットです。A3、A4、B4、B5、A5、レターサイズの用紙に両面印刷できます。

項目	型番PR-L4550-DL、N1154-L4550-DL
サイズ	92（W） x 484（D） x 169（H） mm
質量	約5.5kg
用紙種類サイズ	普通紙、穴あき紙：A3、B4、A4、A5、B5、レター
用紙坪量	64～120g/m^2

フェースアップトレー (型番 PR-L4050-FT、N1154-L4050-FT)

用紙をフェースアップ（印刷された面が上になる状態）でスタックするためのトレーです。最大200枚（64g/m^2）スタックできます。

項目	型番PR-L4050-FT、N1154-L4050-FT
サイズ	414（W） x 562（D） x 100（H） mm
質量	約2.5kg

フィニッシャ (型番 PR-L4550-FS、N1154-L4550-FS)

A4サイズ横置きで最大3,000枚（64g/m^2）、大容量排紙ができます。（ステープルどめする場合は、200部まで利用できます。）

オフセット排紙機能*1があります（ステープルどめする場合は、部ごとに自動でオフセットします）。

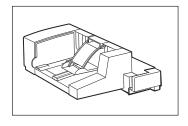
ステープル機能付きで、最大50枚までステープルどめできます。（51枚以上の場合はステープルどめされません。）

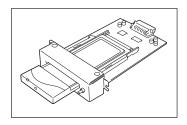
また、用紙に穴あけを行うことができます（パンチ機能）。

取り付けには大容量ホッパー（オプション）が必要です。

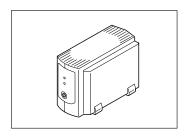
項目	型番PR-L4550-FS、N1154-L4550-FS
サイズ	751（W） x 585（D） x 1,146（H） mm
質量	約56.5kg
用紙種類サイズ	普通紙：A3、B4、A4、B5*2、レター
用紙坪量	64～105g/m^2
排紙容量	最大3000枚（64g/m^2）
後処理機能	オフセット排紙、ステープル、パンチ*3

＊1：印刷ジョブごとに用紙を左右にずらして排紙トレーに排出する機能です。
＊2：B5縦置きは後処理機能を使用できません。
＊3：A3縦、A4横のみ使用可能。

封筒フィーダ (型番 PR-L4050-EF、N1154-L4050-EF)

封筒用の給紙フィーダーです。封筒(洋形4号)を100枚までセットすることができます。標準トレーとの併用はできません。

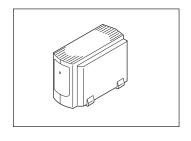
無線LANプリンターボード(型番 PR-WL-11)

IEEE 802.11b規格に準拠し、転送速度最大11Mbpsの無線LAN環境にプリンターを接続する内蔵型LANボードです。従来の有線LANシステムのようにネットワークケーブルが散乱することなく、ネットワークケーブル敷設工事の必要がないため、安価に、また手軽にLAN環境が構築できます。世界標準のPrinter-MIBに対応し、このMIBを監視するネットワーク管理ソフトウエアによって、プリンターの管理が行えます。

添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているユーティリティー「無線LANプリンタ導入ウィザード」を使用すると、無線LAN環境を初めて構築する方や不慣れな方でも、設定項目ごとにウィザード画面上でサポートされている解説や操作手順により、簡単に分かりやすく設定を行うことができます。

LANアダプタ(TCP/IP)(型番 PR-NP-03TR2)

100BASE-TX、10BASE-Tインターフェースを装備し、SNMP(ネットワーク管理プロトコル)に対応している外置き型LANアダプターです。

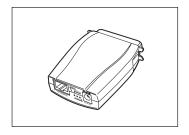
世界標準のPrinter-MIBに対応し、このMIBを監視するネットワーク管理ソフトウエアによってプリンターの管理が行えます。

PrintAgent(プリンタ管理ユーティリティ)のリモート電源制御機能を使って、コンピューターからプリンターの電源のON/OFFができます。(詳細は添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されている活用マニュアル4章の「リモート電源制御」をご覧ください。)

LANアダプタ(TCP/IP)(型番 PR-NP-02T2)

100BASE-TX、10BASE-Tインターフェースを装備し、SNMP(ネットワーク管理プロトコル)に対応している外置き型LANアダプターです。

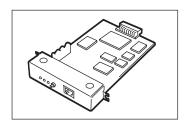
世界標準のPrinter-MIBに対応し、このMIBを監視するネットワーク管理ソフトウエアによってプリンターの管理が行えます。

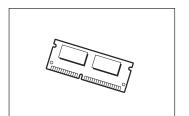
LANアダプターが対応しているPrinter-MIB、操作パネルによるIPアドレス設定などの機能を有効にするためには、プリンターの動作双方向をECPモードにする必要があります。詳しくは、1章の「Step2　IPアドレスとサブネットマスクを設定する」(37ページ)を参照してください。

マルチプロトコルLANアダプタ(型番 PR-NPX-05)

100BASE-TX、10BASE-Tインターフェースを装備し、プリンターのパラレルインターフェースに直接接続する外付けLANアダプターです。本LANアダプターはPrintAgent、NEC Internet Printing System(IPP)、NEC TCP/IP Port、SNMP(Printer-MIB、Host Resource MIB)には対応していません。詳しくはPR-NPX-05のセットアップガイドをご覧ください。

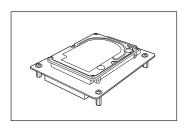
LANアダプターネットワーク環境

PR-NP-02T2/PR-NP-03TR2		PR-NPX-05	
ネットワークOS	プロトコル	ネットワークOS	プロトコル
Windows XP/2000	TCP/IP	Windows XP	TCP/IP
		Windows 2000	TCP/IP NetBEUI
Windows NT 4.0		Windows NT 4.0	
Windows Me/98/95 （NEC TCP/IP Printing Systemにより対応）		Windows Me/98/95 （NEC Network Printer Portにより対応）	
UNIX		UNIX	TCP/IP
		NetWare　3.X/4.X/5.X	IPX/SPX

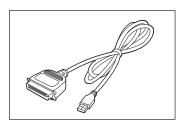
マルチプロトコルLANボード(型番 PC-PR-L02)

100BASE-TX、10BASE-Tインターフェースを装備しているプリンター内蔵型LANボードです。

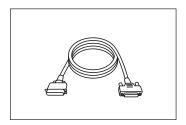
増設メモリ (型番 PR-MW-M012、N1154-MW-M012)
(型番 PR-MW-M013、N1154-MW-M013)
(型番 PR-MW-M014、N1154-MW-M014)

このボードは、SDRAMを搭載したSO-DIMMです。MultiWriter 4550には、64MB、128MB、256MBのいずれか1枚だけ取り付けることができます。取り付けにより次の効果があります。

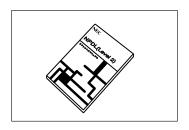
- 電子ソート機能
- 複雑な印刷データの印刷性能向上
- フォーム登録数の増加
- 受信バッファーの拡大

ハードディスク(型番 PR-L4550-HD、N1154-L4550-HD)

プリンター本体に内蔵することにより、より強化された電子ソート機能が可能となります。電子ソートとは、印刷データの複数部コピー要求があった場合にプリンター内部で部数毎に印刷を繰り返し、1つのトレーに出力する機能です。

電子ソート機能をご使用の場合は、64MB以上のメモリーの増設が必要です。ハードディスクをご使用になることにより、電子ソートの上限は用紙サイズによらず200枚となります。

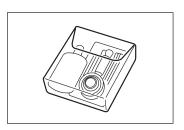
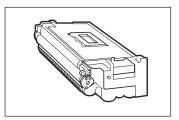
USBプリンタケーブル(型番 PR-CA-U02)

USBプリンタケーブルをご使用になる場合、コンピューターにUSBプリンタードライバーをインストールする必要があります。すでにコンピューターにプリンタードライバーがインストールされている場合でも、ケーブルドライバーのアップデートが必要になる場合があります。

プリンターケーブル

プリンターケーブルはお使いのコンピューターの種類によって違います。詳細については、234ページの「使用できるプリンタケーブル」をご覧ください。

日本語ページプリンタ言語NPDL(Level 2)リファレンスマニュアル
(型番 PC-PRNPDL2-RM)

ページプリンターの様々な動作を制御する命令およびプログラミングについての詳しい解説書です。

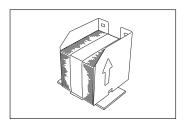
クリーニングキット(型番 PC-PR601-14)

プリンターの清掃に便利な用具一式が入っています。

消耗品

EPカートリッジ (型番 PR-L4550-12、EF-3464)

1個当たり、約30,000ページの印刷が可能なEPカートリッジです。

✔チェック

- EPカートリッジの1個あたりの印刷可能ページ数はA4用紙サイズに画像面積比5%の連続印刷を行なったとき(141ページ参照)の値です。印刷用紙サイズ、画像面積比、OPC寿命などの印刷に関する設定の要素によって、印刷可能ページ数は異なります。
- 間欠印刷を頻繁に行うとトナーが残っていても、EPカートリッジ内のOPCが劣化してEPカートリッジの寿命となる場合があります。

ステープル針 (型番 PR-L4050-SP、EF-3972)

フィニッシャーで使用される替えのステープル針です。1セット15,000針(5,000針/個 × 3個)です。フィニッシャーには1個(5,000針)添付されています。

大容量ホッパー

大量印刷をサポートするために、MultiWriter 4550には大容量ホッパーが用意されています。

大容量ホッパーの取り付け

大容量ホッパーの設置作業はサービス担当者が行いますので別途料金が必要です。

大容量ホッパーへの用紙のセット

大容量ホッパーへの用紙のセット方法については、3章の「用紙カセットに用紙をセットする」(84ページ)および「大容量ホッパーに用紙をセットする」(89ページ)をご覧ください。

大容量ホッパーの切り替え

大容量ホッパーを取り付けたときに必要なホッパーの切り替えについて説明します。

取り付けた大容量ホッパーから給紙するためには、操作パネル上でホッパー表示を「ホッパ3」、「ホッパ4」、または「ホッパ5」にします。

ホッパーの選択には、選択した状態をどこまで維持させるかによって、2つの方法があります。

- プリンターの電源がOFFされるまで維持する方法 .... [ホッパ]スイッチによる切り替え
- プリンターが初期化されても大容量ホッパーが選択される方法 ... メニューモードによる切り替え

次にそれぞれの選び方について説明します。

プリンターの電源がOFFされるまで維持する方法

操作パネルの[ホッパ]スイッチを使って大容量ホッパーを選択します。

❶ **[印刷可]スイッチを押し、印刷可ランプを消灯させる。**

❷ **[ホッパ]スイッチを押し、ディスプレイの表示を“ホッパ3”、“ホッパ4”または“ホッパ5”にする。**

```
ﾎｯﾊﾟ3      A4ﾖｺ ﾎﾟｰﾄ
ﾌﾂｳｼ            NPDL
```

❸ **[印刷可]スイッチを押し、印刷可ランプを点灯させる。**

❹ **コンピューターからデータを送る。**

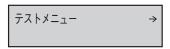
この状態は、以下の方法で変更しない限り、設定は維持されます。

- 同じ方法でホッパーの選択を変更する
- トレー給紙に変更する
- 電源をOFFにする
- コンピューターから変更する
- プリンターを初期化する

プリンターが初期化されても大容量ホッパーが選択される方法

メニューモード内のプリンターの初期設定を変更します。

❶ **メニューモードに入る。**

[印刷可]スイッチを押してプリンターをディセレクト状態にし、[メニュー]スイッチを押して“テストメニュー　→”を表示させせます。

❷ **[∨]スイッチを2回押す。**

“ヨウシメニュー　→”と表示されます。

❸ **[>]スイッチを2回押す。**

ホッパー初期設定の表示になります。

```
 ホッパ゜ ショキセッテイ
←          ホッパ゜1*
```

❹ **[設定変更]スイッチを押して、ディスプレイ下段を　“←　ホッパ3＊”、“←　ホッパ4＊”または“←　ホッパ5＊”に変更する。**

```
 ホッパ゜ ショキセッテイ
←          ホッパ゜3*
```

❺ **[メニュー終了]スイッチを押し、印刷可ランプを点灯させる。**

ディスプレイ上段に“ホッパ3　××　×××”、“ホッパ4　××　×××”、または“ホッパ5　××　×××”*と表示されていれば設定は完了です。表示されていないときはもう一度最初からやり直してください。

```
ホッパ゜3    A4ヨコ ポ゜ート
フツウシ          NPDL
```

この状態は、同じ方法でホッパーの選択を変更しないかぎり維持されます。

テスト印刷

大容量ホッパーが正しく取り付けられたことを確認するために、テスト印刷のステータス印刷を行います。

❶ **[印刷可]スイッチを押し、印刷可ランプを消灯させる。**

❷ **[メニュー]スイッチを1回押す。**

ディスプレイには“テストメニュー　→”と表示されます。

❸ **[>]スイッチを1回押す。**

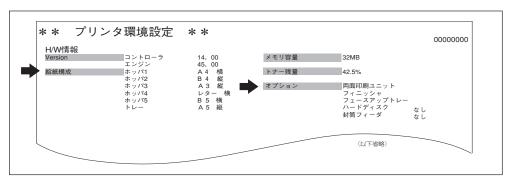
ディスプレイ下段には“ステータスインサツジッコウ　→”と表示されます。

```
テストメニュー
←ステータスインサツジ゛ッコウ→
```

❹ **さらに[>]スイッチを1回押す。**

プリンターはステータス印刷を開始し、ディスプレイには“テストインサツチュウ”と表示されます。

```
テストインサツチュウ
```

大容量ホッパーを取り付けた場合は、「給紙構成」にホッパー3〜5が、フィニッシャーを取り付けた場合は、「オプション」にフィニッシャーが印刷されます。

ステータス印刷の例

ステータス印刷が終了すると、自動的に印刷可ランプが点灯し、印刷できる状態になります。これで、大容量ホッパーの取り付け確認は完了です。

リレー給紙について

印刷している給紙先の用紙がなくなったときに、自動的に別の給紙先から用紙を吸入し印刷を続ける機能です。ホッパー、トレー、または大容量ホッパーを装着し、同じ用紙サイズおよび同じ用紙種別の用紙をセットした場合のみ実現できます。
リレー給紙を有効にするために、メニューモードのリレー給紙設定をする必要があります。以下の手順で印刷してください。

❶ メニューモードに入る。

[印刷可]スイッチを押してプリンターをディセレクト状態にし、[メニュー]スイッチを押して“テストメニュー　→”を表示させます。

❷ [∨]スイッチを2回押す。

“ヨウシメニュー　→”と表示されます。

```
ヨウシメニュー　　　　　　→
```

❸ [＞]スイッチを1回、[∨]スイッチを3回、[＞]スイッチを1回押す。

リレー給紙設定の表示になります。

```
　リレーキュウシ　セッテイ
←ホッパ゜1　リレー　OFF　＊
```

❹ 操作パネルの[∨]スイッチ、[∧]スイッチ、[設定変更]スイッチを押して、リレー給紙させるホッパーまたはトレーをONにする。

リレー給紙させるホッパーまたはトレーのすべての“リレーキュウシ”をONにしてください。

❺ [メニュー終了]スイッチを押す。

❻ 設定が終わったら、リレー給紙を有効にしたホッパーまたはトレーの用紙サイズ、用紙の種類、用紙のセット方向が同じになっているか確認する。

❼ プリンタードライバーのプロパティダイアログボックスの[用紙]シートで、給紙方法が[自動]になっていることを確認する。

❽ [印刷]ダイアログボックスで印刷範囲、印刷部数を指定し、[OK]をクリックして印刷する。

大容量ホッパーの取り外し

大容量ホッパーの取り外し作業はサービス担当者が行いますので、プリンターに添付の「NECサービス網一覧表」に記載されているサービス窓口へお問い合わせください。

フィニッシャー

大量印刷をサポートするために、MultiWriter 4550にはフィニッシャーが用意されています。

フィニッシャーの取り付け

チェック

- このオプションは、お客様による設置ができません。設置作業はサービス担当者が行いますので(有償)、ご購入の際は、お買い求めの販売店に設置を依頼してください。
- フィニッシャーを接続した場合は、プリンター本体の排出トレーのプリント収容可能枚数は300枚(64g/m^2)となります(通常は500枚(64g/m^2))
- ステープルどめをして印刷をしている場合に、針がなくなったときは、印刷は停止します。また、ステープルどめで印刷中に排紙フィニッシャートレーが一杯になった場合も、スタックフルで印刷は停止します。

テスト印刷

フィニッシャーが正しく取り付けられたことを確認するために、テスト印刷のステータス印刷を行います。手順については本章の210ページを参照してください。

フィニッシャーの取り外し

フィニッシャーの取り外し作業はサービス担当者が行いますので、プリンターに添付の「NECサービス網一覧表」に記載されているサービス窓口へお問い合わせください。

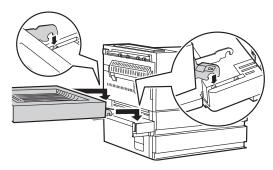
両面印刷ユニット

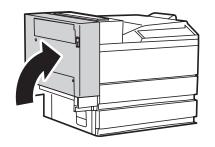
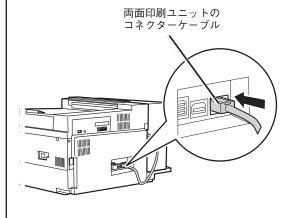
両面印刷をするために、MultiWriter 4550には両面印刷ユニットが用意されています。両面印刷ユニットでは、A3、A4、A5、B4、B5、レターサイズの用紙に印刷が可能です。

両面印刷ユニットの取り付け

両面印刷ユニットは、プリンターに接する面を常に上向きにして作業してください。

❶ **両面印刷ユニットを両手で水平に倒して持ち、両面印刷ユニット下側の左右の金属フック(小)をプリンターに引っ掛ける。**

❷ **両面印刷ユニット右側の金属フック(大)をプリンターフレームに強く押し込む。両面印刷ユニットを支えたまま、安全ワイヤをプリンターのフックに引っ掛ける。**

❸ **両面印刷ユニットをプリンター側に起こし、「カチッ」と音がするまで閉じる。**

❹ **両面印刷ユニットのコネクターケーブルをプリンターに接続する。**

テスト印刷

両面印刷ユニットが正しく取り付けられたことを確認するために、テスト印刷のステータス印刷を行います。手順については210ページを参照してください。

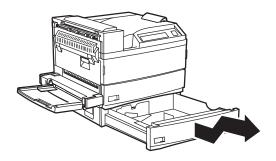
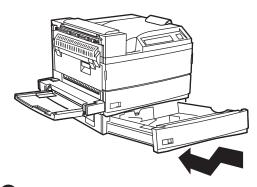
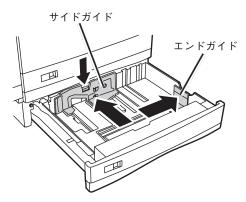
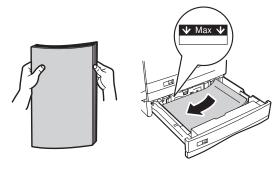
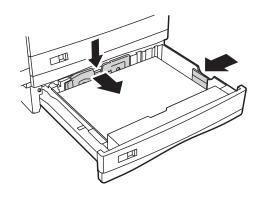
両面印刷ユニットの取り外し

両面印刷ユニットを取り外す場合は取り付けの逆の手順で行ってください。

定形外用紙カセット

定形外用紙を印刷するために、MultiWriter 4550では定形外用紙カセットが用意されています。定形外用紙カセットは、標準ホッパー1、2および大容量ホッパー3(オプション)のそれぞれの標準用紙カセットと交換して使用します。

定形外用紙カセットの取り付け

❶ 使用するホッパーの標準用紙カセットを一杯に引き出し、少し上方に持ち上げて取り出す。

❷ 取り外したホッパーに定形外用紙カセットを取り付ける。

❸ サイドガイド、エンドガイドをセットする用紙サイズより外側にずらす。

❹ 用紙をそろえ、印刷したい面を上にして用紙カセットの左手前に合わせて、用紙上限線を越えないようにセットする。

❺ セットした用紙のサイズに合うように、サイドガイドとエンドガイドを内側にずらす。

テスト印刷

定形外用紙カセットが正しく取り付けられたことを確認するために、テスト印刷のステータス印刷を行います。手順については210ページを参照してください。

定形外用紙カセットの取り外し

定形外用紙カセットを取り外す場合は取り付けの逆の手順で行ってください。

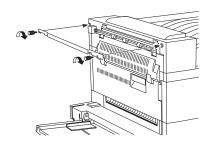
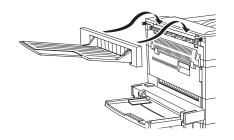
フェースアップトレー

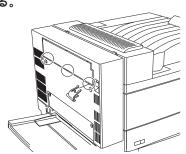
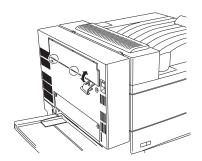
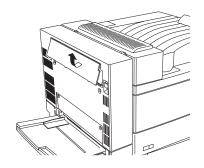
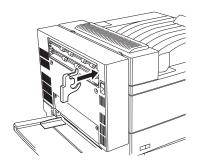
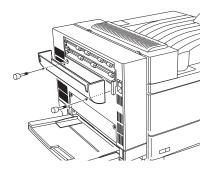
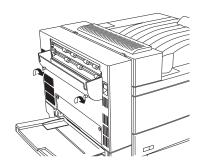
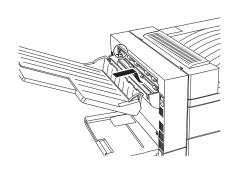
印刷された用紙の印刷面が上になるようにスタックできるトレーです。最大200枚(64g/m²)スタックできます。

フェースアップトレーの取り付け

フェースアップトレーの取り付け方法は、両面印刷ユニットが取り付けられている場合と取り付けられていない場合で異なります。

両面印刷ユニットが取り付けられていない場合

❶ 付属のプレートをネジ2本でプリンターに固定する。

❷ フェースアップトレーをプレートにしっかり固定する。

両面印刷ユニットが取り付けられている場合

❶ 両面印刷ユニットのカバーを付属のリンクを差し込んで、下側の接続部分3か所を切り取る。

❷ カバーを手前に持ち上げて上部の接続部分を折り、切り離す。

❸ 付属のリンクを取り付ける。

❹ 付属のトレーカバーをネジ2本で取り付ける。

❺ トレーを垂直に立ててから、45度傾けるようにしてトレー先端のくぼみを両面印刷ユニットの金属の凸部に掛ける。

メニューモードの設定

❶ メニューモードに入る。

[印刷可]スイッチを押してプリンターをディセレクト状態にし、[メニュー]スイッチを押して“テストメニュー　→”を表示させせます。

```
テストメニュー              →
```

❷ [∨]スイッチを4回押す。

“オプションセッテイメニュー　→”と表示されます。

```
オプ゜ションセッテイメニュー　→
```

❸ [>]スイッチを1回押す。

両面印刷設定の表示になります。

```
オプ゜ションセッテイメニュー
←リョウメンインサツ　セッテイ→
```

❹ [∨]スイッチを1回押す。

“オプションセッテイメニュー　フェースアップトレー→”と表示されます。

```
オプ゜ションセッテイメニュー
←フェースアップ゜トレー      →
```

❺ [>]スイッチを1回押す。

フェースアップトレーの初期設定の表示になります。

```
 フェースアップ゜トレー
←                 ミシヨウ*
```

❻ [設定変更]スイッチを押して、ディスプレイ下段を“シヨウ”に変更する。

```
 フェースアップ゜トレー
←                   シヨウ*
```

❼ [メニュー終了]スイッチを押し、印刷可ランプを点灯させる。

この状態は、同じ方法でフェースアップトレーの選択を変更しないかぎり維持されます。

メニューの内容については「メニューツリー(113〜116ページ)を参照してください。

テスト印刷

フェースアップトレーが正しく取り付けられたことを確認するために、テスト印刷のステータス印刷を行います。手順については210ページを参照してください。

フェースアップトレーの取り外し

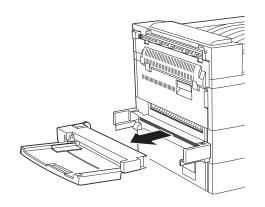
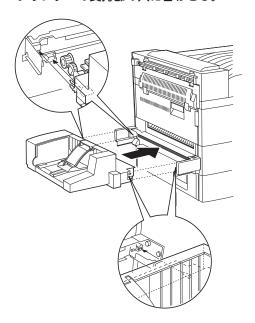
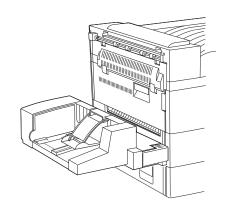
フェースアップトレーを取り外す場合は取り付けの逆の手順で行ってください。

封筒フィーダー

封筒用の給紙フィーダーです。封筒(洋形4号)を100枚までセットできます。また、封筒フィーダーは、トレーと併用できません。

トレーから封筒フィーダー、または封筒フィーダーからトレーに交換する場合は、一度電源をOFFにし、交換後、再び電源をONにしてください。電源を再投入しないと認識できません。

封筒フィーダーの取り付け

❶ トレーを取り外す。

❷ 封筒フィーダーを水平に支え、先端の突起をプリンターの支持部の穴に合わせる。

❸ 封筒フィーダーが完全に入るまでプリンターの支持部に差し込む。

テスト印刷

封筒フィーダーが正しく取り付けられたことを確認するために、テスト印刷のステータス印刷を行います。手順については210ページを参照してください。

封筒フィーダーの取り外し

封筒フィーダーを取り外す場合は取り付けの逆の手順で行ってください。

LANボード

MultiWriter 4550をネットワークに接続するためのLANボードは、無線LANプリンターボード（型番：PR-WL-11）、マルチプロトコルLANボード（型番：PC-PR-L02）の2種類が用意されています（詳細は205、206ページ参照）。
以下にLANボードの取り付け・取り外し手順を説明します。

使い方や操作方法については、LANボードに添付の取扱説明書をご覧ください。

重要

- LANボードは大変デリケートな電子部品です。ボードを取り扱うときは、プリンター背面のコネクターが付いているフレームなどに触れて身体の静電気を逃がしてから行ってください。また、ボードは端の部分を持って取り扱い、表面の部品には触れないようにしてください。
- LANボードを取り付けた場合は、パラレルインターフェースコネクターは使用できません。

無線LANプリンターボードの取り付け

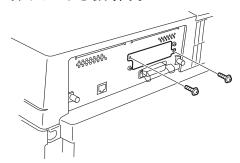
ここでは、無線LANプリンターボード（型番：PR-WL-11）の取り付け手順について説明します。

❶ プリンターの電源をOFFにし、電源コードとプリンターケーブルをプリンターから取り外す。

警告

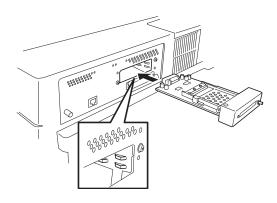
プリンターの電源はOFFにして、電源コードをコンセントから抜いてください。電源コードを接続したまま取り付けると、故障の原因となるばかりでなく、感電のおそれがあります。

❷ LANボード用スロットからネジ2本を外して、プレートを取り外す。

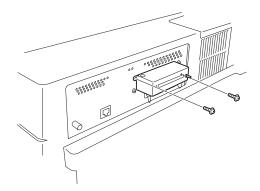
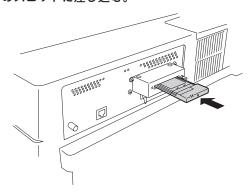
チェック

LANボード用スロットのプレートおよびネジは大切に保管しておいてください。ボードを取り外しプリンターを元に戻すときに必要です。

❸ 無線LANカード用のスロットの方を手前にして、図のようにガイドレールに沿って無線LANプリンターボードを両手で差し込む。

手ごたえがあるまで押し込みます。

注意

無線LANプリンターボードを差し込む際、指や手をはさまないようにゆっくり作業してください。

図のように無線LANプリンターボードの下の方に親指をあてて、水平に押してください。

❹ **ネジ2本で無線プリンターLANボードを固定する。**

❺ **無線LANカードを無線LANプリンターボードのスロットに差し込む。**

⚠注意

- 無線LANカードを差し込む際、指や手をはさまないようにゆっくり作業してください。
- MACアドレスが記載されているラベルが貼られている面を下にして、カードをスロットに差し込んでください。向きを間違うと故障や発火の原因となります。

❻ **電源コードをプリンターに取り付ける。**

無線LANプリンターボードの取り外し

無線LANプリンターボードを取り外すときは、プリンターの電源をOFFにしてから取り付け手順を逆に行ってください。

プリンターの電源はOFFにして、電源コードをコンセントから抜いてください。電源コードを接続したまま取り外すと、故障の原因となります。

マルチプロトコルLANボードの取り付け

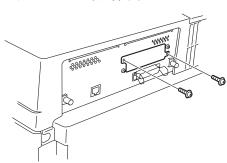
ここでは、マルチプロトコルLANボード(型番：PC-PR-L02)の取り付け手順を説明します。

❶ **プリンターの電源をOFFにし、電源コードとプリンターケーブルをプリンターから取り外す。**

警告

プリンターの電源はOFFにして、電源コードをコンセントから抜いてください。電源コードを接続したまま取り付けると、故障の原因となるばかりでなく、感電のおそれがあります。

チェック

無線LANプリンタボードをお使いの場合は、LANボード用スロットから無線LANプリンタボードを取り外してください。取り外し手順は「無線LANプリンタボードの取り外し」(前ページ)をご覧ください。

❷ **LANボード用スロットからネジ2本を外して、プレートを取り外す。**

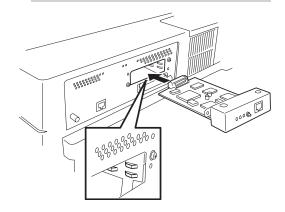
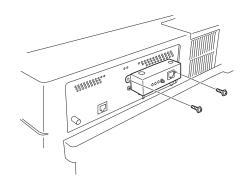
チェック

LANボード用スロットのプレートおよびネジは大切に保管しておいてください。ボードを取り外しプリンターを元に戻すときに必要です。

❸ **イーサネットコネクター側を手前にして、図のようにガイドレールに沿ってマルチプロトコルLANボードを差し込む。**

手ごたえがあるまで押し込みます。

注意

マルチプロトコルLANボードを差し込む際、指や手をはさまないようにゆっくり作業してください。

❹ **LANボードの前面にあるネジ2本でマルチプロトコルLANボードを固定する。**

❺ **ネットワークケーブルを接続する。**

❻ **電源コードをプリンターに取り付ける。**

次の手順は、1章の「9　ネットワークに接続する」(34ページ)をご覧ください。

マルチプロトコルLANボードの取り外し

マルチプロトコルLANボード(型番：PC-PR-L02)を取り外すときは、プリンターの電源をOFFにしてから取り付けの手順を逆に行ってください。

プリンターの電源はOFFにして、電源コードをコンセントから抜いてください。電源コードを接続したまま取り外すと、故障の原因となります。

LANアダプター

MultiWriter 4550をネットワークに接続するためにLANアダプターはPR-NP-02T2、PR-NP-03TR2、PR-NPX-05の3種類が用意されています。（205、206ページ参照）

LANアダプターの取り付け・取り外し手順を説明します。なお、PR-NP-02T2、PR-NP-03TR2、PR-NPX-05の取り付け手順は異なります。詳しくは各LANアダプターに添付の取扱説明書をご覧ください。

使い方や操作方法については、LANアダプターに添付の取扱説明書をご覧ください。

LANアダプターのコネクター部には手を触れないでください。手を触れると、コネクター部の接点が汚れ、接触不良になることがあります。

LANアダプターの取り付け

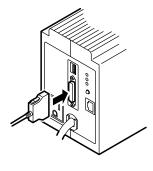
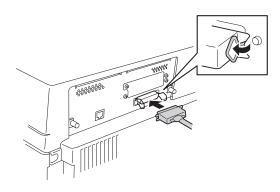
ここでは、PR-NP-03TR2を例に取り付け手順を説明します。

❶ **プリンターの電源をOFFにし、電源コード、プリンターケーブルをプリンターから取り外す。**

重要

電源は確実にOFFにしてください。ONにしたまま取り付けると、故障の原因となることがあります。

❷ **LANアダプターの電源をOFFにし、LANアダプターの電源コードを抜く。**

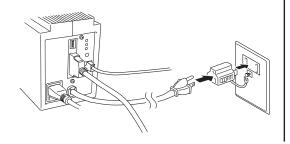
❸ **LANアダプターのインターフェース用ソケットとプリンターのインターフェースコネクターをLANアダプター添付のプリンターケーブルで接続する。**

LANアダプター

プリンターのパラレル
インターフェースコネクター

❹ **プリンターの電源コードのプラグをLANアダプター背面のACコンセントに差し込む。**

LANアダプタ（型番 PR-NP-02T2）の場合は、プリンターの電源コードをACコンセントに差し込んでください。

❺ ネットワークケーブルのコネクターをLANアダプターのイーサネット用コネクターに差し込む。

❻ LANアダプターの電源コードをコンセントに差し込む。

LANアダプターの電源コードは3極プラグです。2極の壁付きACコンセント(AC100V、電源容量15A以上)に差し込む場合は、3極/2極変換プラグをご使用ください。

❼ LANアダプター前面のランプが緑色に点灯することを確認する。

❽ プリンターの電源を入れてからLANアダプター前面のスイッチを押す。

LANアダプターの取り外し

LANアダプターを取り外すときは、LANアダプターがデータの受信中でないことを確認してから、プリンターおよびLANアダプターの電源をOFFにして取り付け手順❻から逆に行ってください。

増設メモリー

増設メモリーを取り付けることで、次のような効果があります。

- 電子ソート機能を有効にする
- フォーム登録数の増加
- 受信バッファーの拡大
- 両面印刷時のメモリー不足の解消
- 印刷時のメモリー不足の解消
- 複雑な印刷データの印刷性能向上

重要

- MultiWriter用の増設メモリーをご使用ください。他の情報処理機器には使用しないでください。また本増設メモリー以外のRAMボードを使用すると、本プリンターが破損する場合があります。
- 指定のSO-DIMMタイプの増設メモリーを使用してください。指定以外の増設メモリーを使用すると、故障の原因となることがあります。
- MultiWriter 4050用の増設RAMサブボード(PR/MM1)は、使用できません。使用すると、故障の原因となります。

増設メモリーの取り付け

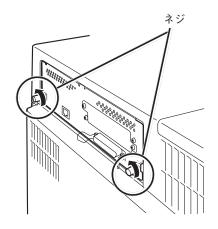
重要

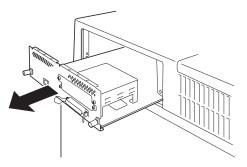
増設メモリーは大変デリケートな電子部品です。増設メモリーを取り扱うときは、プリンター背面のインターフェースコネクターが付いているフレームなどに触れて身体の静電気を逃がしてから行ってください。また、ボードは端の部分を持って取り扱い、表面の部品には触れないようにしてください。

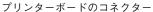
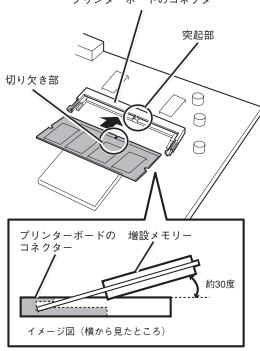
❶ **プリンターの電源をOFFにし、電源コードとプリンターケーブルをプリンターから取り外す。**

警告

プリンターの電源はOFFにして、電源コードをコンセントから抜いてください。電源コードを接続したまま取り付けると、故障の原因となるばかりでなく、感電のおそれがあります。

❷ **ネジ2本を緩める。**

❸ **プリンターボードを引き抜く。**

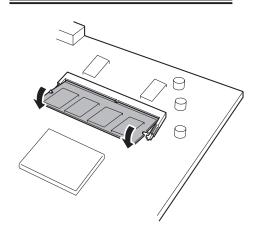
緩めたネジでプリンターボードを引き抜いてください。

❹ **増設メモリーをプリンターボードの右側にあるコネクターに取り付ける。**

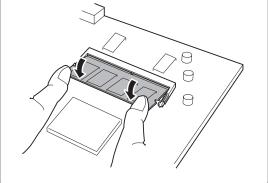
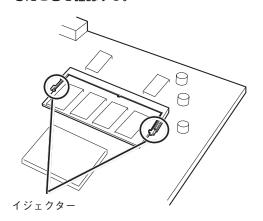
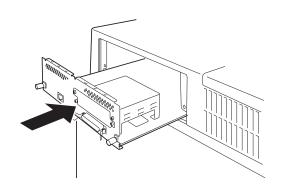
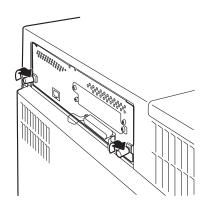
増設メモリーの切り欠き部をプリンターボードのコネクター突起部に合わせ、プリンターのコネクターに対して約30度の挿入角度で増設メモリーの端子が当たるまで挿入します。

重要

- 増設メモリーの切り欠き部の向きがとコネクターの突起部と正しく合っていることを確認してください。逆の場合は増設メモリーの切り欠き部とコネクターの突起部の位置が合わず、挿入することができません。
- 奥まで確実に押し込んでください。

❺ **「カチッ」という音がするまでソケットに倒し込む。**

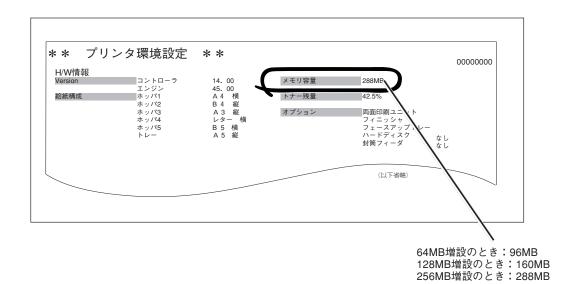
重要

奥までしっかり倒し込んでください。しっかり押し込まずに次の手順を行うと、コネクターまたは増設メモリーを破損するおそれがあります。

倒し込みが固いときは、増設メモリーの左右の角に親指を添えて倒し込んでください。

9 オプション

❻ イジェクターが立ち上がり、しっかり固定できたことを確認する。

❼ プリンターボードを奥まで差し込む。

❽ ネジ2本で固定する。

❾ 電源コードとプリンターケーブルを取り付ける。

テスト印刷

増設メモリーが正しく取り付けられたかを確認するために、テスト印刷のステータス印刷を行います。手順については、210ページを参照してください。

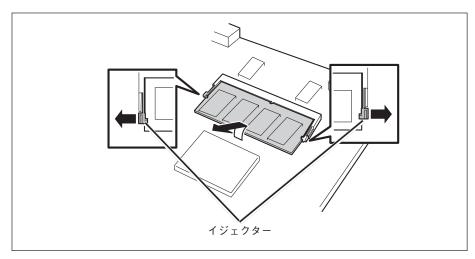
次ページのように印刷されていれば、増設メモリーは正しく取り付けられたことになります。

増設メモリーを取り付けた時のステータス印刷の例
（標準メモリー32MBに256MBメモリーを増設した場合）

ステータス印刷が終了すると、自動的に印刷可ランプが点灯し、印刷できる状態になります。これで増設メモリーの取り付けは完了です。

増設メモリーの取り外し

増設メモリーを取り外すときは、プリンターの電源をOFFにし、電源コードをプリンターから取り外し、取り付けの手順を逆に行ってください。

プリンターの電源はOFFにして、電源コードをコンセントから抜いてください。電源コードを接続したまま取り外すと、故障の原因となります。

なお、増設メモリーを取り外すときはコネクターのイジェクターを横に押し広げて斜めに引き抜いてください。

ハードディスク

ハードディスクを取り付けると、電子ソート機能のページ数が増加できます。

重要

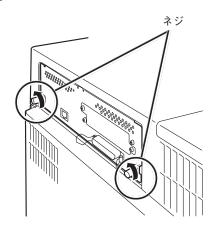
- ハードディスクをご使用の場合は、64MB以上の増設メモリー(オプション)の装着が必要です。
- ハードディスクを取り付けた場合、丁合い可能なページ数は用紙サイズに関係なく一律200ページです。
- ハードディスクと増設メモリーが装着されていないと丁合い機能は動作しません。

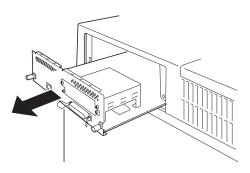
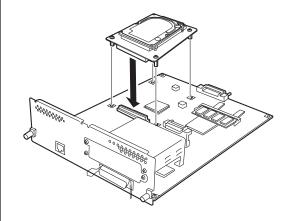
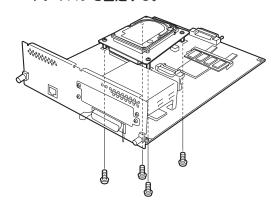
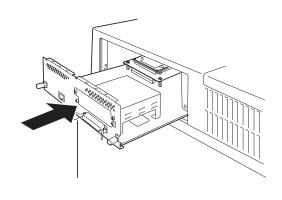
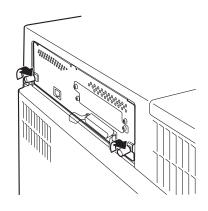
ハードディスクの取り付け

❶ **プリンターの電源をOFFにし、電源コードとプリンターケーブルをプリンターから取り外す。**

重要

電源は確実にOFFにしてください。ONにしたまま取り付けると、故障の原因となることがあります。

❷ **ネジ2本を緩める。**

❸ **プリンターボードを引き抜く。**

緩めたネジでプリンターボードを引き抜いてください。

❹ **ハードディスクをプリンターボードに取り付ける。**

❺ プリンターボードの裏側から、ネジ4本でハードディスクを固定する。

❻ プリンターボードを奥まで差し込む。

❼ ネジ2本を取り付ける。

❽ 電源コードとプリンターケーブルを取り付ける。

テスト印刷

ハードディスクが正しく取り付けられたことを確認するために、テスト印刷のステータス印刷を行います。手順については210ページを参照してください。

ハードディスクの取り外し

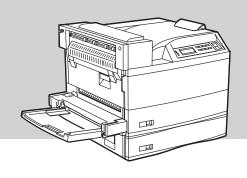
ハードディスクを取り外す場合は取り付けの逆の手順で行ってください。

使用できるプリンターケーブル

MultiWriter 4550で使用できるプリンターケーブルは次の表のとおりです。お使いになっているコンピューターによって使用できるプリンターケーブルが異なります。

コンピューター		プリンターケーブル*[1]
PC98-NXシリーズを含むIBM PC/AT互換機（DOS/V対応機）	PC98-NXシリーズ	PC-PRCA-01 PC-CA205*[2] PR-CA-U02
	IBM、富士通、東芝、DELL、その他各社	PC-PRCA-01 PR-CA-U02
PC-9800シリーズ デスクトップタイプ ミニタワータイプ	98MATEシリーズ（除くAp・As・Ae・Af） 98MATEサーバシリーズ 98FELLOWシリーズ（除くBA・BX） 98MULTiシリーズ（除くCe） 98MULTi CanBeシリーズ VALUE STARシリーズ CEREB 98FINE PC-H98シリーズ *[4]	PC-CA202*[3] PC-CA204*[2]
	PC-98XA・XL・XL^2・RL*[4]	PC-PR801-21 （パソコン本体に標準添付）
	上記以外の14ピンパラレルインターフェースを持つデスクトップタイプ	PC-CA203*[2]
98サーバシリーズ	SV-H98シリーズ *[4] SV-98シリーズ	PC-CA202*[3] PC-CA204*[2]
98NOTEシリーズ	Lavieシリーズ Aileシリーズ 98NOTE Light PC-9821Nf・Np・Nx・Nd・Nm・Ne3・Ne2・Nd2 PC-9801NL/A・NS/A	PC-CA202*[3] PC-CA204*[2]
	上記以外の20ピンパラレルインターフェースを持つ98NOTEシリーズ	PC-9801N-19
PC-9800シリーズ ラップトップタイプ	PC-9821Ts	PC-CA202*[3] PC-CA204*[2]
プリンタ増設インタフェースボード（PC-9801-94）		PC-CA202*[3] PC-CA204*[2]
Express5800シリーズ		K210-10（01）*[3] K210-10（04）*[2]

*[1] 他社のケーブルをお使いになる場合、運用した結果の影響については責任を負いかねます。
*[2] PC-CA203、PC-CA204、PC-CA205、K210-10(04)のケーブルの長さは4.0m。
*[3] PC-CA202、K210-10(01)のケーブルの長さは1.5m。
*[4] ハイレゾリューションモードでは、プリンタステータスウィンドウ機能、音声メッセージ機能は利用不可。

付録
技術情報

仕　様

印刷方式	電子写真記録方式 露光方式：レーザーダイオード+ポリゴンスキャナー 現像方式：1成分乾式
印刷速度	約45ページ/分*1（A4用紙横置き、ホッパー1給紙片面印刷、普通紙モード時）
ウォームアップの待ち時間（室温22℃）	電源投入時 ：最大60秒以内 節電時：最大60秒以内
ファーストプリントタイム	片面印刷時　A4サイズ　約4.0秒（A4用紙横置き、ホッパー1給紙、印刷間隔30秒以内の場合） 両面印刷時　A4 サイズ　約8.6 秒（A4 用紙横置き、ホッパー1 給紙、印刷間隔30秒以内の場合）
用紙容量*2	ホッパー：1000枚（坪量64.0g/m²の用紙の場合、500枚×2段） トレー：50 枚（坪量64.0g/m²の用紙の場合）
スタック容量*2	500枚（A4用紙、坪量64.0g/m²相当、排紙トレーの場合）
ドット間隔	0.0423mm×0.0423mm（1/600インチ×1/600インチ）
CPU	RC64574（200MHz）
RAM	標準32MByte 最大288MByte （オプション増設時）
オプションRAMソケット	1ソケット（SO-DIMM用）

インターフェース	● セントロニクス仕様に準拠*3 ● イーサーネット(100BASE-TX/10BASE-T　:TCP/IP のみ) ● IEEE802.11b　準拠の無線LAN(オプション)
データ形式	NPDL Level 2(201PLエミュレーション含む)
環境	動作温度:10〜32.5℃　動作湿度:20〜80%(結露しないこと) 保管温度:0〜35℃　保管湿度:15〜85%(結露しないこと) 塵埃量　:一般事務室程度　ガス成分:一般事務室程度 気圧　:1013　〜752.4hPa　(海抜0〜2500m　)
騒音	動作時(音圧レベル、A補正):56.0dB以下(標準) 動作時(音圧レベル、A補正):59.0dB 以下(フルオプション) 待機時(音圧レベル、A補正):30.0dB 以下
電源	電圧　:100V ± 10% 周波数　:50/60Hz ±1Hz
消費電力*4	動作時最大(プリンター単体時)　:1290W　1350VA 動作時最大(フルオプション時)　:1420W　1490VA 動作時平均(プリンター単体時)　:910W　950VA 節電モード時(プリンター単体時)　:28W 以下
寸法	幅645mm×奥行き533mm×高さ486mm(本体のみ)
質量	約44.5kg(本体のみ　消耗品含む)
製品寿命*7	印刷枚数200万ページ(A4用紙換算)または使用年数5年のいずれか早い方
消耗品寿命	● EPカートリッジ(本体添付):約30,000ページ*5(印刷枚数) ● EP カートリッジ(消耗品:型番 PR-L4550-12、EF-3464): 約30,000　ページ*5(印刷枚数) ● ステープル針(フィニッシャー添付)*6:ステープル針5,000　本 ● ステープル針(消耗品:型番 PR-L4050-SP、EF-3972)*6　: ステープル針15,000　本/箱(5,000　本×3箱)
フォント	アウトラインフォント　2種類(明朝体、ゴシック体)
対応OS	● Microsoft Windows XP 日本語版、Microsoft Windows 2000 日本語版、Microsoft Windows NT 4.0 日本語版、Microsoft Windows Me 日本語版、Microsoft Windows 98 日本語版、Microsoft Windows 98 Second Edition 日本語版、Microsoft Windows 95 日本語版 ● 日本語MS-DOS(Ver. 3.3以上)、MS-DOS 5.0/V以上またはIBM DOS Ver.J5.0/V以上(DOS/V)

*1　印刷速度は連続印刷の場合の最大値です。最初のページ、また印刷データの内容あるいはコンピューターからのデータの送り方などによって異なります。

*2　連量55kg用紙

*3　IEEE1284規格準拠双方向パラレルインターフェース

*4　最大値は瞬間的ピークを除いた値です。また、同系列の電源に入力条件が厳しい機器を接続する場合は、NECフィールディング(株)にご相談ください。

*5　ただしA4用紙、画像面積比5%連続印刷時

*6　フィニッシャー装着時のみ

*7　30万ページ印刷ごとに定期交換部品の交換が必要です。

用紙の規格

<table>
<tr><th>用紙の種類</th><th>寸法</th><th>坪量</th><th>表面電気抵抗</th><th>その他</th></tr>
<tr><th colspan="5">片面印刷時</th></tr>
<tr><td>普通紙
（乾式PPC用紙）</td><td rowspan="2">A3判（297 x 420mm）
A4判（210 x 297mm）
A5判（148 x 210mm）
B4判（257 x 364mm）
B5判（182 x 257mm）
レターサイズ
（約216 x 約280mm）
定形外用紙
（トレー用（100～297 x 105.0～431.8mm）、定形外用紙カセット用（182～297 x 139～431.8mm））*[3]</td><td>ホッパー給紙：64～105g/m^2
（連量*[1]55～90kg）
トレー給紙：64～105g/m^2
（連量*[1]55～90kg）</td><td rowspan="2">1 x 10^9～1 x 10^{12}Ω</td><td>用紙種別は
64～70g/m^{2}は普通紙、70～105g/m^{2}は厚紙1を選択してください。穴あき紙は穴あき紙を選択してください。</td></tr>
<tr><td>厚紙</td><td>ホッパー*[2]：105～180g/m^2
（連量*[1]90～171kg）
トレー給紙：105～200g/m^2
（連量*[1]90～171kg）</td><td>用紙種別は105～120g/m^{2}は厚紙2、120～140g/m^{2}は厚紙3、140～160g/m^{2}は厚紙4、160～180g/m^{2}は厚紙5、180～200g/m^{2}は厚紙6を選択してください。*[4]</td></tr>
<tr><td>はがき

官製はがき、官製往復はがきと同等の寸法、坪量のものを使用してください。ただし、往復はがきは折り目がないものを使用してください。</td><td>官製はがき
（100 x 148mm）

官製往復はがき
（200 x 148mm）</td><td>トレー給紙：157g/m^2
（連量*[1]135kg）</td><td>－</td><td>トレー給紙のみ
官製はがきは横置きのみです。往復はがきは縦置きのみです。</td></tr>
<tr><td>OHPフィルム

乾式PPC用、表面処理されているものを使用してください。</td><td>A4判（210 x 297mm）</td><td>厚さ：0.1mm± 0.025mm
（100μm± 25μm）</td><td>－</td><td>ホッパー1、2、3および
トレーからの給紙ができます。
用紙種別はOHPを選択してください。</td></tr>
<tr><td>ラベル紙

乾式PPC用、台紙全体がラベルで覆われたものを使用してください。</td><td>A4判（210 x 297mm）
B4判（257 x 364mm）</td><td>－</td><td>－</td><td>ホッパー2、3、4および
トレーからの給紙ができます。
用紙種別はラベル紙を選択してください。</td></tr>
<tr><td>封筒

洋形4号、内カマス、のりなしのものを使用してください。ただし材質によってご使用になれない場合があります。</td><td>105 x 235mm</td><td>－</td><td>－</td><td>封筒フィーダー装着時および
トレー*[5]</td></tr>
<tr><th colspan="5">両面印刷時</th></tr>
<tr><td>普通紙
（乾式PPC用紙）</td><td rowspan="2">A3判（297 x 420mm）
A4判（210 x 297mm）
A5判（148 x 210mm）
B4判（257 x 364mm）
B5判（182 x 257mm）
レターサイズ
（約216 x 約280mm）</td><td>ホッパー給紙：64～105g/m^2
（連量*[1]55～90kg）

トレー給紙：64～105g/m^2
（連量*[1]55～90kg）</td><td rowspan="2">1 x 10^9～1 x 10^{12}Ω</td><td>用紙種別は
64～70g/m^{2}は普通紙、70～105g/m^{2}は厚紙1を選択してください。穴あき紙は穴あき紙を選択してください。</td></tr>
<tr><td>厚紙</td><td>ホッパー*[2]：105～120g/m^2
（連量*[1]90～103kg）
手差し給紙：105～120g/m^2
（連量*[1]90～103kg）</td><td>用紙種別が厚紙2の時のみ両面印刷が可能です。</td></tr>
</table>

*1　連量とは、用紙788×1091mm（四六判）のサイズの用紙1000枚あたりの重さを示します。

*2　ホッパー2、3、4のみ使用できます。

*3　ホッパー2、3の場合は、182～297 x 182～431.8mmとなります。

*4　厚紙2～6と用紙坪量の関係は目安です。用紙の種類等により定着性は変化しますので、テスト印刷を実施し確認を行ってください。

*5　定形外用紙として使用（ユーザー定義で用紙サイズを入力）

一般的に使用されている連量55kg相当の用紙に関して弊社で推奨している紙質特性を以下に示します。用紙メーカーに用紙を発注するときは下記の値を参照ください。

- 坪量　64～67g/m^2(JIS P8124)
- 紙厚　0.085～0.092mm(JIS P8118)
- 平滑度 25～50sec(JIS P8119)
- 剛度　60cm^3/100以上(クラーク式：JIS P8143)
- 表面電気抵抗 1×10^9～1×10^{12}Ω

用紙設計に関する事項

用紙の紙質

用紙は１枚毎に切り離された枚葉形体の１枚用紙が使用できます。用紙に使用される原紙の紙質は、JISに規定されている良質な木材化学パルプから製造されたNIP上質紙であり、PPC用紙として開発された実績のある用紙を使用することが必要です。一般には次の要件を満足することが必要です。

- 用紙がバインダー穴から破れないような十分な強さをもつもの
- 鉛筆、万年筆、ボールペンによる筆記性に優れるもの
- 折れ、しわ、裂け目、紙紛、著しい湾曲、波打ち、汚れ、変色、用紙端面、または角部の損傷などがないこと
- 粘着液、油などのしみがないこと
- 表裏面がコーティングされたり、プラスチック(熱可塑性樹脂)物質を含まないこと
- 切れ端やその他の用紙クズ、固形異物(ろう、金属片等)を含まないこと
- 蛍光強度が強くないこと
- 印刷直後のカール状態が最大値20mm以下を満足すること

  定着により用紙中の水分が変化すると用紙が収縮し、カールしたり波打ちの現象が発生し、紙づまりの原因となったり、印刷の一部分がかすれる場合があります。用紙の含水量、繊維の方向、カール量には特に注意を払ってください。
- 繊維は均等かつ不透明で、両面とも印刷に適していること

次ページの表は、坪量64g/m^{2}用紙の各特性の参考値です。

坪量64g/m^2用紙の特性参考値

項目	方向	単位	規格値	測定方法	備考
米坪量	—	g/m^2	64～67	JIS-P-8124	指定のないものは20℃65%24H
紙厚	—	μm	95～92	JIS-P-8118	—
平滑度	表	sec	30±12	J-TAPPI No.5 B法	—
	裏	sec	23±10		—
透気度	—	sec/100cc	+5 10-3	J-TAPPI No.5 B法	—
剛度	タテ	cm^3/100	90 ±25	JIS-P-8143	クラーク法
	ヨコ	cm^3/100	40 ±15		
表面強度	表	A	10以上	JIS-P-8129	ワックス法
	裏	A	10以上		
摩擦係数	静	—	0.6 ±0.15	JIS-P-8147	—
	動	—	0.55 ±15		—
引張り強度	タテ	kg	7.5 ±2.5	JIS-P-8113	—
	ヨコ	kg	4.0 ±1.5		—
引き裂き	タテ	g	50 ±15	JIS-P-8116	—
	ヨコ	g	55 ±15		—
サイズ度	—	sec	5.0 ±1 .0	J-TAPPI No.12	—
用紙・料量	—	%	5 ±2	—	重量比
白色度	—	%	82 ±2	JIS-P-8123	—
不透明度	—	%	84 ±3	JIS-P-8138	—
水分	—	%	4.5 ±0.5	JIS-P-8127	—
電気抵抗	体積	Ω・cm	10^{10}～10^{11}	—	20℃65%24H
	表面	Ω	10^{9}～10^{12}	—	
引張伸び	タテ	%	2.5 ±1.0	JIS-P-8132	—
	ヨコ	%	5.0 ±3.0		—
ダート	—	個/m^2	a≦0.08mm^2　規定せず 0.08＜a≦0·3 10 0.3＜a≦5.0　5 5.0＜a　　　0		JIS-P-8145
PH値	—	—	7.5 ±0.5	JIS-P-8133	冷却抽水法

用紙サイズ

本装置で使用できる定形用紙サイズは、A系列(A3、A4、A5)、B系列(B4、B5)、レターです。加工仕上げ寸法精度は、JIS規格に準ずることとします。特に裁断面については、バリが発生しないように加工上、注意が必要です。

用紙坪量と填料

64g/m^{2}から105g/m^{2}のものまで使用できます。
規定範囲外の坪量の用紙を使用すると、紙づまりの原因となりますので、必ず規定内の用紙を使用してください。用紙には、パルプ以外に電気抵抗値を調整したり、表面の平滑さを改善するなどの目的で各種の物質を添付します。これらの物質を填料と呼びます。
坪量が規定範囲外でも填料を多くしてパルプを少なくした用紙の場合は、用紙のこしが弱く、紙づまり、紙折れ、しわの原因となることがあり、特にタルク(酸化マグネシウム、カルシウム、コットン)の多い用紙は、印刷品質の低下や装置の損傷の原因となることがあるので配分率は、5%以下を推奨します。

用紙の水分率

水分率

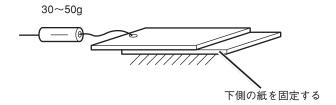
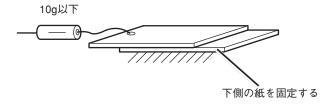
電子写真印刷では、転写過程(感光体に付着させたトナーを用紙に転写する過程)で静電気を発生させるが、水分量が少なく、電気抵抗が高いと静電気が用紙上に残りやすくなるため、スタック不良の原因となります。また、水分量が多く、電気抵抗が低いと転写過程で適切な静電気を保持することができず、印刷品質低下や紙づまりの原因となります。
このため、電子写真方式の印刷に使用する用紙は、水分率4.5±0.5%で保持する必要があります。

水分量とカール

電子写真印刷では、定着過程(トナーを用紙上に定着する過程)で用紙に高熱が加わり、用紙の水分が瞬間的に蒸発するため、用紙が収縮します。水分量が多い用紙は、カール、波打ち、しわ等を生じやすく紙づまりの原因となります。

平滑度

平滑度が高すぎると用紙間の密着力が強くなり、給紙ミスの原因となります。特に空気を通さない離型剤の層のあるものやコーティング材を使用したものは、平滑度が高すぎると強い密着力が生じます。
平滑度が低すぎても用紙搬送時の負荷増大による紙づまりや印刷品質低下の原因となります。

平滑度が高すぎたり低すぎたりする場合、紙間の密着力が30〜50gとなり、給紙ミスの原因となります。

平滑度が20〜30秒（JIS）の場合は、紙間の密着力は最も弱く、10g以下となります。

用紙色

ここでいう用紙色とは、事前印刷だけでなく紙の製造工程で着色される色（原紙色）についても規定します。用紙の原紙色は、見やすさにも関係しますが、一般的には白色または淡色系が望まれます（色濃度をできる限り薄くして使用すること）。

プレ印刷とプレ印刷用インク

プレ印刷を行う際の注意事項

- 印刷インクの影響で印刷品質が低下する場合があるので、重要データを印刷する部分へのプレ印刷を避けたデザインが望ましい。
- ベタ印刷を行うと紙面を完全に覆うため、印刷品質への影響が大きくなるため、バックカラー印刷や地紋印刷の場合は、ベタ印刷は避け、網点印刷するのが望ましい。
- プレ印刷した枠内にプリンター印刷を行うと、印刷位置ずれが目立つことがあるので、本装置の印刷精度を考慮し、枠の寸法を大きくする(余白の目安：3.0mm)か、地紋印刷での代替え、オーバレイで枠を印刷する方が望ましい。
- インク量は極力少なくすむデザインをし、印刷の濃淡は、インク色でカバーし、インク量を減らす方が望ましい。
- 両面印刷時、第1面を定着するときの熱の影響で用紙の収縮をおこすために第2面の寸法が変化する。このため、第2面にプレ印刷枠を印刷するとずれが大きく生じるため、第1面にプレ印刷デザインを持ってくるか、オーバレイ枠による印刷または、プレ印刷枠を印刷しないこと。
- 両面印刷時、第1面を定着させるときの熱の影響で用紙の収縮を起こすため、紙面に凹凸が生じ、第2面の印刷品質低下の原因となるので水分量の均一化とデザインを考慮すること。

プレ印刷用インクの注意事項

- 金属を含んだインクは使用しないこと。カーボン入り墨インクは、印刷用紙紙質によって変質する場合があるため、事前に通紙確認を行うこと。
- インクは十分に乾燥させること。乾燥が不十分だと定着器、ドラム、ローラー等に付着し、本装置の障害の原因となります。

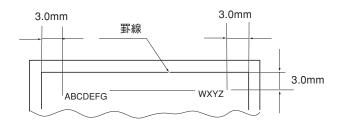
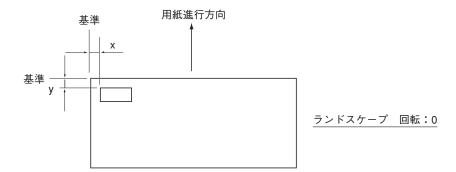
プレ印刷用インクの選択

インク乾燥時間	使用インク
即時	耐熱UVタイプ（感光性樹脂のインクと紫外線乾燥による組み合わせ） 推奨インク FDFWO耐熱性シリーズ（東洋インク製造（株）） UVS BOF FCシリーズ（ザ・インテック（株）） 耐熱乾式用インクシリーズ（大日本インキ化学工業（株）） UVHR（（株）T&K TOKA）
2週間以上	耐熱UVタイプ（酸化重合体の耐熱のインクと一般の乾燥による組み合わせ）
1か月以上	一般フォーム印刷用インク（200℃耐熱仕様インク）

- OCR文字印刷時に使用する用紙のプレ印刷は、ドロップ・アウト・カラーであること。
- 乾燥パウダーの使用は、プリンターの故障の原因となることがあるので避けること。
- 使用できないインクは、以下のとおりである。

  クイックセットインク、コールドセットインク、沈殿乾燥型インク、析出乾燥型インク、しみ込み乾燥型インク、金属混入インク、導電性インク、ラバーベースインク

印字位置精度

本装置は、連続用紙ページプリンターに比べ、印刷時の用紙走行性が不安定であり、斜行や左右方向の位置ずれがあり得ます。
印字精度を要求されるプレ印刷用紙は、あらかじめ上記斜行および左右方向のずれ等の印字位置誤差が許容される範囲を考慮しプレ印刷の設計をする必要があります。帳票の罫線は、データ文字から3.0mm以上離して設計してください。

ただし、印刷の位置は次の位置を基準とします。

バインダー穴、カット

ファイル用のバインダー穴が必要になる場合は、用紙送り系の問題、用紙切れ、画像不良を避けるために下表に示す諸点に留意してください。加工上の注意事項の詳細に関しては、穴あき紙の項を参照してください。

バインダー穴の制限事項

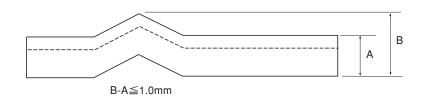
項目	制限事項
バインダー穴の大きさ	バインダー穴の直径　φ6±0.3mm バインダー穴ピッチ　20mm未満であってはならない バインダー穴の数　4個以上あってはならない
バインダー穴周辺の印刷禁止領域	バインダー穴から3.0mm以内に印刷しないこと
加工上の注意	穴だれのないこと

ミシン目用紙

事前評価

サイズ分けや分類などに用いるミシン目加工を施した用紙をご使用になる場合は、本プリンターに対する影響、印刷品質などの事前評価が十分に必要となります。

用紙加工上の注意事項

- ミシン目に凹凸、ばり、かすがあると紙づまり、印刷品質低下の原因となる。加工時にミシン目の押しつぶしを実施するように加工メーカーに指導すること。凹凸の目安は、1000枚積み重ねたとき、1.0mm以下とする。

- 用紙端部に必ずタイ部(接合部)がくるように加工すること。用紙端部にカット部がくると用紙のめくれなどを発生しやすく、紙づまりや印刷品質低下の原因となる。

- ミシン目のタイカット比の目安は、以下のとおり。

  <普通ミシン目の場合>

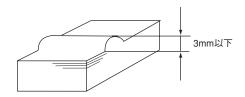
  厚い用紙(81g/m²以上)　タイ部0・8mm　比率1:2〜1:3

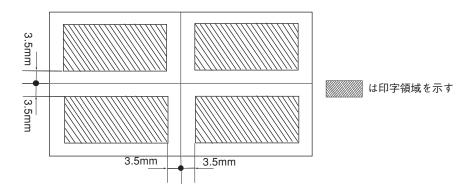
  薄い用紙(81g/m²未満)　タイ部1.0mm　比率1:2〜1:3

  <マイクロミシン目の場合>

  タイ部0.23mm　カット部0.28mm

  目安よりタイカット比率が大きくなると用紙破断、紙づまりの原因となる。また、目安よりタイカット比が小さくなると事後処理時に扱いにくい用紙となってしまう。ミシン目加工時には、極力、目安を守るようにすること。

- ミシン目の膨らみにより用紙を積み上げたときに平らにならず、紙づまりや斜行の原因となる。15cmの高さに積み上げた膨らみを3mm以下とする。

印刷上の注意事項

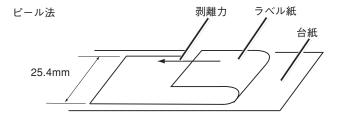
- ミシン目周囲から3.5ｍｍ以内の範囲には、印刷を避けること。ミシン目部は、凹凸やばりが存在している場合、印刷品質が低下してしまう。従って、上記範囲内は、印刷不可領域となる。

- ミシン目から裁断したときにデータが分割されてしまうことを防ぐためにミシン目にまたがったデータ作成を避けること。

ラベル紙

事前評価

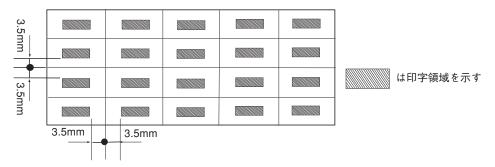
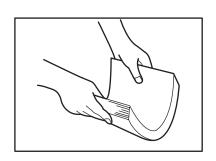
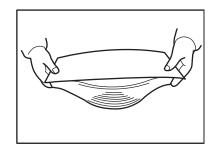
ラベル紙をご使用になる場合は、本プリンター自身に対する影響、印刷品質などの事前評価が十分に必要となります。

用紙加工上の注意事項

- 接着剤がカット面からはみ出すと紙づまりや装置破損の原因となるので、接着剤のはみ出しがないように加工すること。
- 台紙の厚さは、ラベルの厚さと同じか、より厚いものを使用すること。
- 熱の影響が少ないアクリル系接着剤を使用すること。
- 接着剤の強度は、ピール法で50g/25.4mm以上とする。

接着剤の強度

- ラベル紙と台紙の紙質や厚さが異なると定着時の熱で熱収縮差が大きくなり、カールの原因となるのでラベル紙と台紙は、同様の用紙を使用すること。
- 台紙全体がラベル紙で覆われている用紙を使用すること。
- カット部での用紙剛性が小さくなるため、ラベルのサイズは極力大きくし、A4 20面取りを最小サイズとする。
- ラベルのめくれがないこと。

印刷時の注意事項

- カット部付近は、印刷低下があるので、カット部付近の印刷は避けること(余白の目安は3.5mm)。

- 両面印刷は不可。
- カールの少ない用紙を使用すること。カールが大きい場合は、しばらく放置して、さばきを入れてカールが小さくなってから使用すること。
- 用紙を下図のようにさばいて使用すること。用紙を両手で持ち、前後に数回曲げてほぐす。このとき、用紙を傷めないようにすること。しわになったり、曲がった用紙は取り除くこと。

メールシール用紙(封筒タイプ)

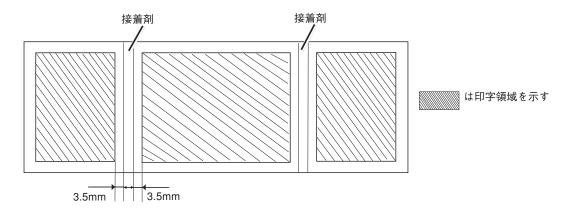
事前評価

部分的に糊加工されたメール用紙をご使用になる場合は、本プリンターに対する影響、印刷品質などの事前評価が十分に必要となります。ホッパーへの用紙のセットは、用紙端の間近に接着剤がこない方を先端側にしてください。ピックミスの原因となります。

加工上の注意事項

- 接着剤は熱圧着用に開発された感圧接着剤を使用すること。
- 接着剤に盛り上がりが極力少ないこと。

印刷時の注意事項

- 接着剤を塗布されている部分に印刷すると印刷低下につながるため、接着剤上および、その近傍(周囲3.5mm)への印刷は避けること。

- 両面印刷は不可(片面印刷のみサポートする)。

保管上の注意事項

- 用紙の積み重ねは、3000枚以内とする(段ボール箱の積み上げは5段以内)。
- 保管期間は、製造日より3か月以内。開封後は、指定包装紙に包んでも1か月以内とする。

メールシール用紙(はがきタイプ)

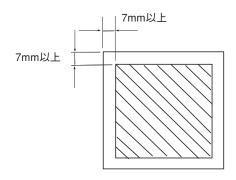
事前評価

用紙の全面に糊加工されたメールシール用紙をご使用になる場合は、本プリンター自身に対する影響、印刷品質などの事前評価が十分必要となります。

加工上の注意事項

- 接着剤の剥離が極力ないように、塗布量を十分注意すること。
- 接着剤は熱圧着用に開発された感圧接着剤を使用すること。

印刷上の注意事項

- はがきのシーリングで相対する面の印字が極力左右対称とならないレイアウトにすること（シーリングの不良防止）。
- ベタ印刷（罫線・文字は除く）は極力使用しないこと（シーリングの不良防止）。
- 網点印刷は10%を上限とする（シーリングの不良防止）。
- シール面を先に印刷すること（給紙部への糊落ち防止）。
- 印刷範囲は用紙端面より7mm以上のこと（カール防止）。

保管上の注意事項

- 本用紙は湿度に弱いため、余った用紙は必ずビニール包装をすること。
- 長期保存性に劣るため、保管期間、保管条件を用紙メーカーに確認のこと。また、先入れ先出しに努めること。
- 積み重ね保管をするとブロッキングが発生する場合がある。積み重ねについては、用紙メーカーに確認すること。
- カール、波打ちを起こした用紙は使用しないこと（カール量・波打ち量が3mm 以下）。

その他の注意事項

- メーカーによっては、感圧糊による定着臭がある場合がある。
- 紙づまり発生率は、PPC用紙と比較して悪い場合がある。

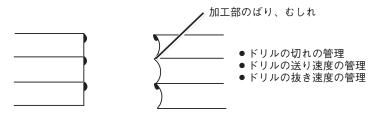
穴あき紙

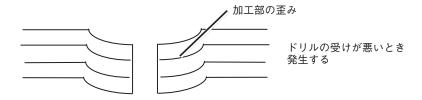
事前評価

ファイリング用に加工された穴あき紙をご使用になる場合は、本プリンターに対する影響、印刷品質などの事前評価が十分に必要となります。

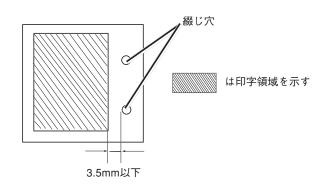
加工上の注意事項

- 綴じ穴部分に凹凸、ばり、かすがあると紙づまりや印刷品質低下の原因となる。加工時は、用紙裁断時に1枚ずつ穿孔すること。ドリル等により重ね穿孔すると穿孔部が盛り上がるので重ね穿孔は行わないこと。
- 残りかすおよび、紙紛は完全に除去すること。
- 加工部のばり、むしれ

  ロットが少なくて加工を行う場合は、加工部のばり、むしれが発生しやすくなるので加工条件の管理を行うこと。

- 加工部の歪み

  ロットが少なく、手加工を行う場合は、加工部の歪みが発生することがあるので注意すること。

- 用紙裁断時に穴加工(自動加工)する場合、カッターの切れを管理すること。

印刷上の注意事項

- 綴じ穴部に印刷データがかかり印刷不良となることを防ぐために重要データは、綴じ穴付近に印刷しないこと。
- 綴じ穴付き用紙の印刷保証エリアは、図のとおりです。

再生紙

事前評価

下記のように標準紙と比較し、特性上の差異があるため、事前評価が十分に必要となります。事前に問題がないことを確認の上、ご使用願います。

特性上の相違

- 密度が低い。同じ坪量の場合、紙厚が厚い。
- 白密度が低い。
- 剛度が低い。
- 引っ張り強度、耐折度等が劣る。
- 含水分が高い。
- 品質のばらつきが大きい(古紙の種類で差が異なる)。

使用上の注意事項

- 紙紛の発生率が多くなるため、紙紛清掃をこまめに実施すること。
- カール、低剛度の要因による紙づまりの発生頻度が増加する。特に用紙の目方向を間違えると頻発する。
- カールの大きい用紙は両面印刷に支障をきたす。
- 機械的強度が低いと紙折れ、しわを起こす。
- 平滑度が低いため、印刷品質が劣る。
- ロット間の差が大きいため、走行性、印刷品質に差がある。

これらの問題が再生紙にあるため、用紙は防湿処理された梱包紙に包んで保管すること。

エンボス紙

用紙に絞りを入れて浮き彫りにした用紙をエンボス用紙と呼びます。用紙の一部に厚さの差や凹凸があると、紙づまりや印刷品質低下の原因となります。エンボス用紙および、これに類した用紙(厚みに差がある用紙)は使用できません。

シークレットラベル紙

はがきを親展するためにはがきの一部に部分的に貼り付ける剥離可能かつ、再貼り付け不可能なラベルをシークレットラベルと呼びます。事前にシークレットラベルを貼り付けた用紙を使用することはできません。

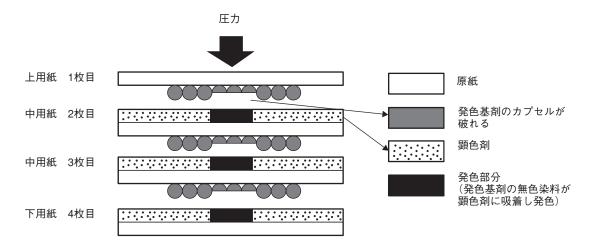
透かし入り用紙

透かし入り用紙は、一度すいた紙に重ねてもう一度すくことにより製造されます。このため、表裏差があり、カールや印刷品質低下の原因となります。また、透かし部分の印刷品質も保証できません。
原則的には透かし入り用紙は使用できません。
やむを得ず使用せざるを得ない場合は、十分に事前評価確認を行ってください。

コート紙

用紙に樹脂等のコーティングを施したコート紙、アート紙は、トナーの定着性が悪いため、使用できません。また、紙づまりや印刷品質低下の原因となる場合があります。

ノンカーボン紙

筆圧で発色する材料(感圧材)を塗布した用紙3種を組み合わせた複写用紙です。

ノンカーボン紙は基本的には使用できません。
電子写真プリンターで複写用紙を印刷する方法としては3種を別々に印刷した後、2枚以上を綴じ合わせる方法で使用する場合は、次項の条件を理解した上で使用してください。

- 事前評価を実施すること。
- 保守部品交換周期、保守条件の見直しが必要。
- 印刷品質、走行性、紙づまり発生率は保証できない。

OCR用紙

用紙表面に帯電防止剤がコーティングされていないOCR用紙を使用してください。

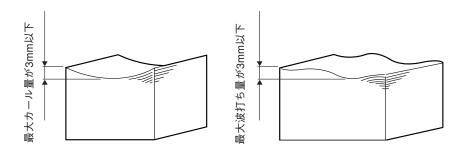
用紙の納入条件

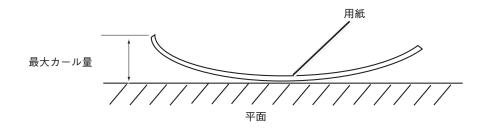
印刷用紙は、印刷実施中においてできるかぎりのオペレーター介入などの問題を避けるために、次の諸点を納入に際し考慮する必要があります。

用紙の加工

カール量

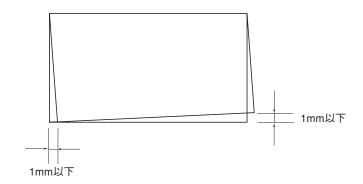
用紙のカールは、レーザープリンターのスタック性、走行性、および画像品質に大きく影響をおよぼし、不良の原因となります。本装置に使用する印刷用紙は、次の品質を満たしている必要があります。

- 用紙を15cmの高さ（70gの用紙が1000枚程度）に積み上げたときのカール／波打ちが3mm以下の用紙を使用すること。

- レーザープリンターの設置場所相当の環境条件で、1枚の用紙を平面に置き、用紙の持ち上がり量の最大値を図のように測定し、印刷直後に20mm以下であることを確認すること。

付録

カッティング

加工仕上げ寸法精度は、JIS規格に準ずるようにしてください。

- 裁断角度

  菱形形状のずれは、カット面にあわせて直角に対し、1.0mm以内とする。ただし、不等辺四角形は許容されない。

- 裁断部の形状

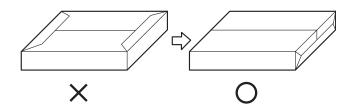
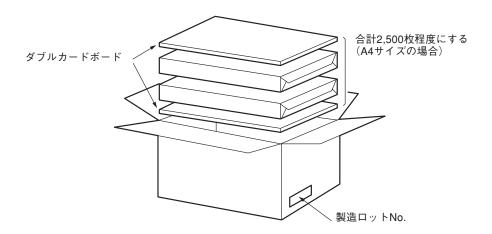
  裁断面は直線とし、良好でばり、だれ(高さ20μm以下を目安)などにより機器の給紙動作に支障を与えないものであり、250枚重ね合わせて裁断面に凹凸のないこと。
- 裁断方法

  押し切りカットは不可、必ずロータリカットによる裁断のこと。

繊維方向

用紙繊維方向は、タテ目にしてください。

梱包および包装

- 梱包および包装は、用紙の輸送時の損傷および環境変化による乾燥や吸湿を防止し、印刷中の用紙走行不良および転写不良をなくすように考慮されることが必要である。したがって、包装紙および段ボールの内側は吸湿防止コーティングを施すこと。
- 包装は250枚から500枚の単位で行う。
- 包装時の両端ののりしろは、下図のように用紙の印刷面に影響を与えないようにする。

- 開封面が表面になるように包装する。
- 梱包は段ボール紙などで構成される収納箱を使用し、人が持ち運ぶのに負担にならない程度の重さにする。
- 包装ごとに製造ロットNOを記載すること。
- 包装された用紙をカートンにまとめる場合、下図に示すようにカートン下部の段差による影響を避けるため、ダブルのカードボードを入れる。ただし、カードボードは、平滑なものを使用すること。

- 梱包開封時に発見される紙角の折れ、曲がりがないこと。

付録

用紙の保管条件

用紙は、温湿度により著しく影響を受けますが、特に湿度条件は印刷プロセスに大きく作用します。次の条件下で保管および使用してください。

保管条件

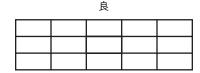
保管条件	未開封状態	開封状態
温度	0～35℃	15～25℃
湿度	20～80%	40～50%

- 使用する用紙は少なくとも使用の1日前にプリンター設置場所に移動し、同一環境下に順応させて使用すること。（開封せず、防湿梱包のまま）
- 梱包された用紙は、直射日光の照射する場所などの温度、湿度の変化の多い場所は避けること。
- 3か月以上を越える用紙の長期保管は避けること。

保管形態

- 用紙は、プリンターで使用する直前まで輸送されてきた箱のままの状態で保管すること。
- 保管場所として直射日光が照射する場所は避け、用紙が水平になるように保管し、また直接床の上に置かないでパレットなどの上に置くこと。
- 箱の強度と安全性を考慮して積み重ねること。
  坪量64g/m²用紙2,500シート／箱の場合、最高5箱までとする。
- 箱の積み重ねは、下図のように積み重ねること。

不良

良

- 箱を移動するときの投げ積みは絶対行わないこと。
- 一部使用済みの箱は、「ごみ」や「ほこり」から用紙を保護するために封印し、一番上に置くこと。また、一部使用済みの箱には適切なマークを付け、それを最初に使用すること。
- 乾燥や吸湿を防ぐために用紙は、防湿処理された段ボール箱と包装紙で包装し、一度開封した用紙は、必ず防湿処理された包装紙で包んで保管すること。

印刷物の保存条件

本装置によって出力される印刷物の長期保存（15年以内）は、下表の条件を守ることが必要です。

印刷物の保存条件

<table>
<tr><th>項番</th><th>項目</th><th colspan="2">条件</th><th>備考</th></tr>
<tr><td>1</td><td>保存環境</td><td colspan="2">温度40℃以下
湿度80%以下</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="3">2</td><td rowspan="3">積み重ね保存</td><td colspan="2">印刷面同士が重ならない場合（印刷面を上に重ねる）
長期保存可能</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">印刷面同士が重なる場合</td><td>横形積み重ね
長期保存可能</td><td></td></tr>
<tr><td>縦形積み重ねの場合、高さが500mm以下で物品による加圧がないとき長期保存可能
ABC
500mm
以下</td><td>500mm以下の時、1年以上の保存はトナー転移を起こすことがある</td></tr>
<tr><td>3</td><td>耐透明フィルム保存</td><td colspan="2">可塑剤を含有しないプラスチック材料に接するとき長期保存可能
・塩化ビニール系材料は、可塑剤を含するので使用を禁止する。
・ポリエチレン系または、ポリプロピレン系材料は一般に可塑剤を含まないので長期保存に適する。</td><td>（1）可塑剤はトナーを軟化させプラスチック材料側に転移させる作用がある。
（2）塩化ビニール系とポリエチレン系、ポリプロピレン系の判別は燃焼させると良い。
・塩ビ系は塩素が分解した異臭を発生させる。
・ポリエチレン、ポリプロピレン系はろうそくが溶けるような臭いがする。</td></tr>
<tr><td>4</td><td>耐直射日光</td><td colspan="2">印刷の変色、退色なし。</td><td>用紙自身が変色する可能性がある。</td></tr>
<tr><td>5</td><td>耐折性</td><td colspan="2">印刷された部分を折り曲げた保存は禁止する。</td><td>曲折線に沿ってトナー剥離を起こすことがある。</td></tr>
</table>

用紙設計および管理の指針についての補足

用紙設計および管理の指針の目的とそれらが守られなかった場合に起こる現象について示します。

用紙設計および管理指針の目的

項目	指針	目的	指針が守れなかったときに発生する現象
用紙の紙質	折れ、しわ、裂け目、破れ、著しい湾曲がないこと	用紙走行を安定に保って、紙づまりを防止する	・用紙斜行、重送不良が生じる ・転写不良が生じ、印刷抜けが生じる
	粘着液、油などのしみがないこと	転写不良、定着不良を防止する	転写不良、定着不良のため、印刷抜けが発生する
	表裏面をコーティングしたり、プラスチック物質を含まないこと	用紙走行を安定に保って、印刷品質を良好に保持する	・用紙走行エラーとなり、プリンターが停止することがある ・熱を含みやすい用紙なので、印刷後、トナー同士が融着することがある。この用紙を開くとトナーが一方の用紙に転移して、他方の用紙はトナー剥がれが生じる
	NIP原紙を使用する	定着部での用紙の熱収縮方向により、両面印刷時の紙づまりやスタック時に用紙がカールすることを防止する	・カールにより、両面印刷での紙づまりや排出時の紙づまりが頻発し、プリンターがそのたびに停止する ・紙づまりが起こらなくてもスタック性が悪くなり、ファイルしにくくなる
用紙サイズ	用紙サイズの寸法精度規格を守る	用紙走行の安定性、紙づまりを防止する	用紙走行不良が発生し、プリンターが停止する
用紙坪量	64g/m²〜105g/m²まで使用可	走行不良、転写不良、スタック性不良を防止する	・用紙斜行、重送不良が生じる ・転写不良が生じ、印刷抜けが生じる
用紙水分量	水分率4.5±0.5%を保持する	用紙走行の安定性、印刷品質を良好に保持する	スタック不良、転写不良など
平滑度	20〜30秒（JIS-P）、高くても40秒以下	用紙走行の安定性、印刷品質を良好に保持する	給紙不良、用紙走行不良、印刷品質の低下など
用紙色	白または淡色系が望ましい	—	—

用紙設計および管理指針の目的(つづき)

項目	指針	目的	指針が守れなかったときに発生する現象
事前印刷用紙	用紙走行における印字位置誤差を考慮する	印字位置を良好にする	事前印刷に対し印刷位置ずれが生じ、指定位置に印字があてはまらない
	事前印刷用インクの選択を守る	インクオフセット現象が起こることを防止して、印刷品質を良好に保つ	インクオフセット現象により、定着ローラーからトナーが余分に転写して印刷面を汚染する 不適当インク ・クイックセットインク ・コールドセットインク ・沈殿乾燥形インク ・折出乾燥形インク ・しみ込み乾燥形インク ・金属混入インク ・導電性インク ・ラバーインク
印刷可能領域	印刷可能領域を守る	印刷品質を良好に保持する	印刷不能領域の印刷は、転写不良による印字抜け、文字のにじみが生じる
バインダー穴、カット	バインダー穴の大きさの制限を守る	印刷品質を良好に保持する	バインダー穴周辺に印刷ぼけ、かぶりが生じる
ミシン目用紙	加工上の注意、タイカット比、印刷領域を守る	用紙走行の安定性、印刷品質を良好に保持する	ミシン目の凹凸、ばり等による紙づまり、印刷品質の低下が生じる
ラベル紙	事前評価が必要	レーザープリンター自身に対する影響を防止する	紙づまり、印刷品質の低下、さらには装置破損の原因となる場合もある
穴あき紙	加工上の注意、および印刷上の注意を守る	用紙走行の安定性、印刷品質を良好に保持する	とじ穴部の凹凸、ばり等による紙づまり、印刷品質の低下が生じる
再生紙	事前評価が必要	用紙走行の安定性、印刷品質を良好に保持する	走行性、印刷品質の低下
エンボス、シークレットラベル、透かし入り用紙	使用不可	用紙走行の安定性、印刷品質を良好に保持する	紙づまり、印刷品質の低下、さらには装置破損の原因となる場合がある
コート紙	使用不可	印刷品質を良好に保持する	定着不良が生じる
ノーカーボン紙	使用不可	用紙走行の安定性、印刷品質を良好に保持する	紙づまり、印刷品質の低下、さらには装置破損の原因となる場合もある
OCR用紙	表面に帯電防止剤がコーティングされていないこと	用紙走行の安定性、印刷品質を良好に保持する	印刷品質の低下

用紙設計および管理指針の目的（つづき）

項目	指針	目的	指針が守れなかったときに発生する現象
用紙の納入条件	カール量の規格を守る	用紙走行の安定性、印刷品質を良好に保持する	紙づまりおよびスタック不良を起こし、また転写不良、にじみなどの画像不良が生じる
	カッティングにばり、だれ等がないこと	用紙走行の安定性、印刷品質を良好に保持する	給紙不良や紙づまり、転写不良が生じる
用紙の保管条件	温湿度の保管条件を守る	用紙の吸湿を防止する	用紙の吸湿による波打ち、カールのため転写不良となり、印字抜けを生じる
	積み重ね方法などの保管形態を守る	用紙折れ、しわの発生を防止する	用紙走行不良のため、紙づまりとなる。しわ、折れ等の用紙変形部分が印刷不良を生じる

印刷範囲

定形用紙

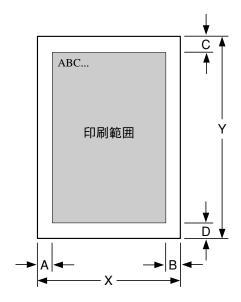
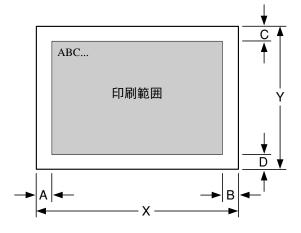
以下に示す印刷範囲は、理論印刷範囲を表しています。実際の印刷範囲と使用環境、プリンター設定により多少異なる場合があります。

添付のプリンタードライバーの標準設定は、余白量(A、B、C、D)がすべて5mmです。添付のプリンタードライバーを使用しない場合は、表に示す印刷範囲(次ページ参照)となります。

添付のプリンタードライバーのプロパティ上で[従来互換の印刷範囲を使用する]をチェックすることにより、添付のプリンタードライバーを使用しても次ページの表に示す印刷範囲とすることができます。

● ポートレート

● ランドスケープ

付録

ポートレート

用紙	X (用紙幅) mm	Y (用紙長) mm	A (左余白) mm	B (右余白) mm	C (上余白) mm	D (下余白) mm
A3	297	420	5.00	4.98	5.00	6.06
A4	210	297	8.00	388	5.00	4.98
A5	148	210	8.00	4.11	5.00	4.34
B4	257	364	8.00	7.70	5.00	5.94
B5	182	257	8.00	3.82	5.00	5.62
はがき	100	148	8.00	5.64	5.00	3.30
往復はがき	200	148	8.00	5.64	5.00	3.30
封筒洋形4号	105	235	5.00	5.00	5.00	5.00
レター	216	280	8.00	4.80	5.00	5.76
A3→A4	210	297	14.77	3.88	19.39	4.98
A3→B4	257	364	10.12	7.70	17.28	5.94
A4→A3	297	420	7.12	12.49	5.00	13.15
A4→B4	257	364	8.11	11.09	5.00	14.51
A4→B5	182	257	10.54	6.36	8.60	9.22
A4×2→A4	210	297	14.77	3.88	21.93	4.98
B4→A3	297	420	13.47	7.73	10.29	6.17
B4→A4	210	297	26.84	22.30	30.82	30.80
B4→B5	182	257	12.66	8.48	10.50	11.12
B5→A4	210	297	10.12	5.36	9.23	6.14
B5→B4	257	364	13.29	5.37	11.35	7.63
B5×2→B5	182	257	13.93	3.82	19.39	5.62
LP→A4	210	297	19.85	3.88	30.82	35.88
LP→B4	257	364	25.78	7.70	35.90	51.66

ランドスケープ

用紙	X (用紙幅) mm	Y (用紙長) mm	A (左余白) mm	B (右余白) mm	C (上余白) mm	D (下余白) mm
A3	420	297	5.00	6.06	4.98	5.00
A4	297	210	5.00	4.98	3.88	8.00
A5	210	148	5.00	4.34	4.11	8.00
B4	364	257	5.00	13.56	7.70	8.00
B5	257	182	5.00	5.62	3.82	8.00
はがき	148	100	5.00	5.84	5.64	8.00
往復はがき	148	200	5.00	5.84	5.64	8.00
封筒洋形4号	235	105	5.00	5.00	5.00	5.00
レター	280	216	5.00	5.76	4.80	8.00
A3→A4	297	210	19.39	4.98	10.65	8.00
A3→B4	364	257	9.66	13.56	9.82	8.00
A4→A3	420	297	5.00	13.15	12.49	7.12
A4→B4	364	257	5.00	14.51	7.91	11.28
A4→B5	257	182	8.60	9.22	6.36	10.54
A4×2→A4	297	210	18.55	8.37	10.65	8.00
B4→A3	420	297	10.29	14.84	16.20	5.00
B4→A4	297	210	30.82	35.88	26.74	22.39
B4→B5	257	182	13.04	13.66	8.48	12.66
B5→A4	297	210	9.23	6.14	7.48	8.00
B5→B4	364	257	11.35	7.63	10.66	8.00
B5×2→B5	257	182	12.20	12.82	9.75	8.00
LP→A4	297	210	30.82	35.88	15.73	8.00
LP→B4	364	257	35.90	51.66	25.48	8.00

ステープルどめとパンチ穴の組み合わせ

ステープルどめと穴あけの組み合わせは、以下のようなものがあります。

●A4サイズ横置き（ホッパー、トレー横置き）の場合

ポートレート			ステープル						
			なし	左上綴じ1点	右上綴じ1点	上綴じ2点	上綴じ1点	左綴じ2点	右綴じ2点
			A	A	A	A	A	A	A
パンチ穴	なし	A	○	○	○	×	×	○	○
	上2点穴	A	×	×	×	×	×	×	×
	左2点穴	A	○	○	×	×	×	○	×
	右2点穴	A	○	×	○	×	×	×	○

ランドスケープ			ステープル						
			なし	左上綴じ1点	右上綴じ1点	上綴じ2点	右綴じ1点	左綴じ2点	右綴じ2点
			A	A	A	A	A	A	A
パンチ穴	なし	A	○	○	○	○	×	×	×
	上2点穴	A	○	○	○	○	×	×	×
	左2点穴	A	×	×	×	×	×	×	×
	右2点穴	A	×	×	×	×	×	×	×

●A4、レターサイズ縦置き（トレー縦置き）の場合

ポートレート			ステープル						
			なし	左上綴じ1点	右上綴じ1点	上綴じ2点	上綴じ1点	左綴じ2点	右綴じ2点
			A	A	A	A	A	A	A
パンチ穴	なし	A	○	×	○	○	○	×	×
	上2点穴	A	×	×	×	×	×	×	×
	左2点穴	A	×	×	×	×	×	×	×
	右2点穴	A	×	×	×	×	×	×	×

ランドスケープ			ステープル						
			なし	左上綴じ1点	右上綴じ1点	上綴じ2点	右綴じ1点	左綴じ2点	右綴じ2点
			A	A	A	A	A	A	A
パンチ穴	なし	A	○	○	×	×	○	○	○
	上2点穴	A	×	×	×	×	×	×	×
	左2点穴	A	×	×	×	×	×	×	×
	右2点穴	A	×	×	×	×	×	×	×

●A3サイズ縦置き（ホッパー、トレー縦置き）の場合

ポートレート			ステープル						
			なし	左上 綴じ1点	右上 綴じ1点	上綴じ 2点	上綴じ 1点	左綴じ 2点	右綴じ 2点
			A	A	A	A	A	A	A
パンチ穴	なし	A	○	○	○	○	×	×	×
	上2点穴	A	○	○	○	○	×	×	×
	左2点穴	A	×	×	×	×	×	×	×
	右2点穴	A	×	×	×	×	×	×	×

ランドスケープ			ステープル						
			なし	左上 綴じ1点	右上 綴じ1点	上綴じ 2点	右綴じ 1点	左綴じ 2点	右綴じ 2点
			A	A	A	A	A	A	A
パンチ穴	なし	A	○	○	○	×	×	○	○
	上2点穴	A	×	×	×	×	×	×	×
	左2点穴	A	○	○	×	×	×	○	×
	右2点穴	A	○	×	○	×	×	×	○

●B4サイズ縦置き（ホッパー、トレー縦置き）の場合

ポートレート			ステープル						
			なし	左上綴じ1点	右上綴じ1点	上綴じ2点	上綴じ1点	左綴じ2点	右綴じ2点
			A	A	A	A	A	A	A
パンチ穴	なし	A	○	○	○	○	×	×	×
	上2点穴	A	×	×	×	×	×	×	×
	左2点穴	A	×	×	×	×	×	×	×
	右2点穴	A	×	×	×	×	×	×	×

ランドスケープ			ステープル						
			なし	左上綴じ1点	右上綴じ1点	上綴じ2点	右綴じ1点	左綴じ2点	右綴じ2点
			A	A	A	A	A	A	A
パンチ穴	なし	A	○	○	○	×	×	○	○
	上2点穴	A	×	×	×	×	×	×	×
	左2点穴	A	×	×	×	×	×	×	×
	右2点穴	A	×	×	×	×	×	×	×

●B5、レターサイズ横置き（ホッパー、トレー横置き）の場合

ポートレート			ステープル						
			なし	左上綴じ1点	右上綴じ1点	上綴じ2点	上綴じ1点	左綴じ2点	右綴じ2点
			A	A	A	A	A	A	A
パンチ穴	なし	A	○	○	○	×	×	○	○
	上2点穴	A	×	×	×	×	×	×	×
	左2点穴	A	×	×	×	×	×	×	×
	右2点穴	A	×	×	×	×	×	×	×

ランドスケープ			ステープル						
			なし	左上綴じ1点	右上綴じ1点	上綴じ2点	右綴じ1点	左綴じ2点	右綴じ2点
			A	A	A	A	A	A	A
パンチ穴	なし	A	○	○	○	○	×	×	×
	上2点穴	A	×	×	×	×	×	×	×
	左2点穴	A	×	×	×	×	×	×	×
	右2点穴	A	×	×	×	×	×	×	×

用語解説

英数字

[?]ボタン

Windows XP/2000/NT 4.0/Me/98/95/で、ダイアログボックスの項目についてのヘルプ画面を表示するためのボタン。[?]ボタンをクリックしてからウィンドウ内の項目をクリックすると項目の説明が表示される。

10BASE-2/10BASE-T/100BASE-TX

ネットワークの伝送路に関する規格。伝送速度は10BASE-2/Tが10Mbps、100BASE-TXが100Mbps。本プリンターではこれらの規格のケーブルを使ってネットワークに接続することができる。

16進ダンプ印刷

プリンターが受信したデータを処理せず、そのまま16進数で印刷すること。プリンターの動作を調べるときに使用する。(→ステータス印刷)

```
1B 48 1C 30 36 46 31 2D 30 30 30 1B 73 30 1B 24
20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 2A 2B 2C 2D 2E 2F
30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 3A 3B 3C 3D 3E 3F
40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 4A 4B 4C 4D 4E 4F
50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 5A 5B 5C 5D 5E 5F
60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 6A 6B 6C 6D 6E 6F
70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 7A 7B 7C 7D 7E 7F
80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 8A 8B 8C 8D 8E 8F
90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 9A 9B 9C 9D 9E 9F
A1 A2 A3 A4 A5 A6 A7 A8 A9 AA AB AC AD AE AF B0
B1 B2 B3 B4 B5 B6 B7 B8 B9 BA BB BC BD BE BF C0
C1 C2 C3 C4 C5 C6 C7 C8 C9 CA CB CC CD CE CF D0
D1 D2 D3 D4 D5 D6 D7 D8 D9 DA DB DC DD DE DF E0
E1 E2 E3 E4 E5 E6 E7 E8 E9 EA EB EC ED EE EF F0
                      .
                      .
```

201PL

NECのシリアルプリンター用標準コードのこと。

AppleTalk

米国アップルコンピュータ社が開発したMacintosh専用のネットワーク用ソフトウエアまたはプロトコル。

CR

Carriage Return(キャリッジリターン)の略。改行を表す文字コード。もともとはタイプライターのキャリッジを左端に戻すという意味。プリンターの制御コード(コマンド)のひとつ。

CSV形式

データベースソフトや表計算ソフトのデータをテキストファイルとして保存する場合の形式のひとつ。データを区切り符号で仕切ることで異なるアプリケーション間でのデータの共有を図ることができる。

DHCP

Dynamic Host Configuration Protocolの略。ネットワーククライアントにIPアドレスなどのパラメーターを配布するプロトコル。DHCPサーバーにおいてIPアドレスなどを一括管理し、クライアントは起動時にDHCPサーバーにIPアドレスの貸し出しを要求する。IPアドレスの一括管理によりアドレスの重複を避け、容易にネットワークの構築ができる。

DPI(dpi)

Dots Per Inchの略。1インチ当たりのドット数。プリンターの解像度などを表す単位。(→解像度)

EPカートリッジ

OPCドラム、現像ユニットなどが一体化された部品。ドラムにトナーを付着させ印刷イメージを形成させるはたらきをする(→OPC)。消耗品のため「76　トナーナシ　EPコウカン」または「87　OPCジュミョウ」が表示されたら交換が必要。1本で印刷できる枚数はカートリッジの種類、印刷するデータによって異なる(詳細は「6章 日常の保守」参照)。

ECP

Extended Capabilities Portの略。コンピューターとプリンターをつなぐパラレルインターフェースであるIEEE1284が使用する、データ転送モードのひとつ。米マイクロソフト社と米ヒューレット・パッカード社が中心となって提案した。データ転送速度は従来のセントロニクスの最大150KB/秒に比べ、2MB/秒と高速である。また、双方向通信機能やデータ圧縮機能を備える。使用するにはコンピューターとプリンターなど周辺機器の両方が対応している必要がある。

ESC/P

セイコーエプソン株式会社が開発したプリンターを制御する命令(コマンド)の集まり。

FF

Form Feedの略。プリンター制御命令のひとつで、改ページを行うためのもの。

IPアドレス

IPはInternet Protocolの略。インターネット上で個々のユーザーを認識する符号(アドレス)。インターネットに接続したコンピューターにはすべてIPアドレスが割り振られる。

IPP

Internet Printing Protocolの略。Windows 2000で標準にサポートされたインターネット印刷プロトコル。イントラネットやインターネットを通じてURLの指定を受けたプリンターに印刷することができる。

IPX/SPX

NetWareをネットワークOSとしてインストールしたコンピューターが使用するプロトコル。

ISO 9660

ISO(International Organization for Standardization:国際標準化機構)が定めたCD-ROM用のファイル形式。多くのCDはこの方式を採っており、OSによって異なるフォルダーやファイルの名前の規則を守ればMacintoshやUNIXマシンでも読み出すことが可能。

LAN

Local Area Networkの略。構内情報通信網のこと。

LAN Manager

マイクロソフト社が開発したネットワークOS。NetBEUIプロトコルを用いる。

Macintosh

米国アップルコンピュータ社が開発したパーソナルコンピューターの総称。Mac OSには、あらかじめAppleTalkソフトウェアが組み込まれており、LocalTalkケーブルシステムやEtherTalkケーブルシステムを使ってネットワークを構築する。

Mac OS

米国アップルコンピュータ社が開発したパーソナルコンピューターのMacintoshのOSのこと。個々の名称はSystem(日本語では漢字Talk)であるが、総称としてMac OSと呼ぶようになった。

MIB

Management Information Baseの略。TCP/IP通信でのネットワーク管理用プロトコルのSNMPで、コンピューター間でやり取りされる管理情報を定義したもの。

MOPYING

Multiple Original coPY and printINGの略。NECが提唱するコピー機の代わりにプリンターでオリジナル印刷する新しい「印刷スタイル」。

MS-DOS

Microsoft Disk Operating Systemの略。マイクロソフト社が開発したOSのひとつ。現在のパソコンの基礎となったオペレーティングシステム。

NetBEUI

ネットビューイと読む。IBMによって開発された小規模LAN用のプロトコル。主にLAN ManagerをネットワークOSにしたときに用いられる。

NetWare

ノベル社が開発したネットワークOS。プロトコルにはIPX/SPXが用いられる。

NPDL

NEC Printer Description Languageの略。NECプリンター記述言語。

OHPフィルム

OHP(オーバーヘッドプロジェクター)用の透明なシート。プレゼンテーションなどに使用する。

OPC

Organic Photo Conductorの略。有機光電導体。ドラムカートリッジのドラムに用いられる有機材。一様に帯電させ、表面に光を照射すると照射量に応じて電荷が失われる現象を利用して潜像を形成する。

OS

Operating System(オペレーティングシステム)の略。コンピューターのハードウエア、ソフトウエアを有効に利用するために総合的管理を行うソフトウエアのこと。本書では特に区別して説明する場合、MS-DOSやWindowsなどプログラムの実行管理などを行う基本的なソフトウエアを「基本OS」、Windows XP/2000、Windows NTやNetWareなどネットワークを強く意識したOSを「ネットワークOS」と呼ぶことがある。

PrintAgent

双方向通信により、コンピューターの画面上で印刷状況の確認、プリンターの設定をすることを実現したソフトウエア。MultiWriterシリーズに搭載。

RGBガンマ

Red Green Blueガンマ
使用しているモニターで中間トーンをどの程度調整する必要があるかを示すもの。専門的にはモニターの特性曲線を線形にするのに使用される指数。

SET

Sharp Edge Technologyの略。MultiWriterシリーズに採用されている高精細印字機能。

SO-DIMM

Small Outline-Dual In-line Memory Moduleの略。コンピューターやプリンターなどに使われるメモリーの一種。

TCP/IP

Transmission Control Protocol/Internet Protocolの略。ネットワークのプロトコルのひとつ。UNIXをはじめWindows XP、Windows 2000、Windows NT 4.0、Windows Me/98/95、Macintoshなど、主要なOSでサポートされる世界的な標準プロトコルになっている。

TrueType

米国アップルコンピュータ社と米国マイクロソフト社が開発したソフトウエアで、Macintosh/Windows用のアウトラインフォントを用いた画面表示と印刷を行う。どんなアプリケーションソフトからでも利用できるアウトラインフォントが使えるので、文字サイズが大きくなってもギザギザにならない。

UNIX

AT&T社のベル研究所で開発された一般的にワークステーションで用いられるOS。プロトコルはTCP/IPを用いるのが標準的。クライアント・サーバシステムにおいてはUNIXマシンをサーバーにする例が多い。

USB

Universal Serial Busの略。キーボード、マウス、スピーカー、モデム、プリンターなどの周辺機器とコンピューターの間を統一したコネクターとケーブルで接続できるインターフェース。

WAN

Wide Area Networkの略。広域情報通信網。離れた場所のLAN同士を接続するネットワークのこと。一般の電話回線や専用回線などを介して接続する。

Windows XP

マイクロソフト社が開発したOS。ビジネスユーザー向けとされるWindows 2000の安定性を受け継ぐ。ただし製品としては、Windows 2000の他、家庭向けのWindows Me/98後継にも位置づけられ、インターネット接続性の機能強化が図れた。

Windows 2000

マイクロソフト社が開発したOSのひとつ。Windows NTの堅牢性とWindows 98の機能を合わせ持つ、ローエンドからハイエンドまですべての領域をカバーするOS。Windows NT 4.0の後継にあたる。

Windows 95

マイクロソフト社が開発した個人ユーザー向けOS。Windows 3.1の後継にあたる。

Windows 98

マイクロソフト社が開発した個人ユーザー向けOS。Windows 95の後継にあたる。不具合の修正と機能の強化を図ったアップデート版としてWinodws 98 Second Editionもある。

Windows Me

マイクロソフト社が開発した個人ユーザー向けOS。Windows 98の後継にあたる。主にマルチメディア、ネットワークなどの機能強化が図られた。

Windows NT

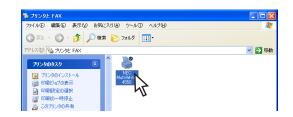
マイクロソフト社が開発したOSのひとつ。サーバーとして用いられることが多い。

WWW

World Wide Webの略。インターネットに公開されている情報を検索するためのシステムのひとつ。ユーザーはWebブラウザーを通して情報の検索や閲覧を行う。

五十音順

アイコン

アプリケーションやドキュメントなどWindowsのいろいろな要素を表す小さな絵。

アウトラインフォント

文字の形を直線や曲線で表された輪郭として記憶し、出力時にその文字データを論理的に処理して表現すること。文字サイズの自由な設定や文字の変形が可能となり、ドット密度に関係なく美しい文字を表現できる。

アクセスポイント

ネットワークに外部から接続(アクセス)するための受け口。MultiWriterのオプション品である無線LANプリンターボードは、アクセスポイント経由の接続に対応する。

アドホック(ad hoc)

無線LAN機器が備える動作設定のひとつ。無線親機(アクセスポイント)なしに、無線LANボードなどの無線子機同士が相互に通信できる。

アドミニストレーター（Administrators）

管理者という意味。ネットワークやシステムの管理を行う最高の権限を持っている人。システムアドミニストレーターと呼ぶこともある。（→システム管理者）

アプリケーション

文書作成や作図など特定の作業に使うプログラム。

アンインストール

インストールしたソフトウエアを削除し、インストール前の状態に戻すこと。

イーサネット（Ethernet）

LANの伝送路に関する規格。米ゼロックス社と米ディジタルイクイップメント（DEC）社と米インテル社が協同で開発、規格した。3社の頭文字をとってDIX規格と呼ぶこともある。IEEE802.3標準の伝送速度10Mbpsの規格とほぼ同義。コンピューター同士をどのようなケーブルで結び、どのような信号で、どうやり取りするかなどを決めている。同軸ケーブル上で電波を使って通信する仕組みで、複数の端末が通信するために、CSMA/CDという信号制御方式を採用している。現在では同軸ケーブルではなくツイストペアケーブルを使うことが多い。

イニシャライズ

初期状態にすること。例えば、メモリーの内容を全部ゼロにしたり、プログラム中のカウンターをゼロにしたりすること。

印刷ジョブ

アプリケーションで作成された文書を印刷する作業単位のこと。スプールされて印刷待ちに追加されるか、直接プリンターに送られる。

印刷の向き

用紙に対して文字やグラフィックが印刷される方向。横長（ランドスケープ）と縦長（ポートレート）がある。

印刷範囲

プリンター用紙に印刷ができる限界のこと。用紙の上下および左右の余白部分を除いた印刷可能領域を指す。

インストール

一般にはシステムや装置を設置するという意味。ソフトウエアではOSやアプリケーションをコンピューターに組み込むという意味。

インターフェース

2つの装置〈デバイス〉を通信できるように接続するための仕様、ケーブルシステム。

ウィンドウ

アプリケーションやドキュメントが表示される画面上の領域で、開いたり、閉じたりすることができる。

ウォームアップ

プリンターの電源をONにした後、ヒートローラーが一定の温度になり印刷が可能になるまでの状態をいう。

エミュレーション機能

他のプリンターのために開発されたソフトウエアの制御コードを本プリンターで使用できるようにする機能。たとえば、PC-PR201系シリアルプリンターの制御コードが使用できる場合を201PLエミュレーションと呼ぶ。この機能を実現するためのプログラムをエミュレーターと呼ぶ。

エリート文字

1インチ当たり12文字の等間隔で印刷する文字のこと。タイプライターが使われていた頃からの用語。

オフセット排紙

用紙の排紙を用紙の向きはそのままに水平方向にずらして出力する機能。

解像度

プリンターが文字や画像を印刷するときの細かさのこと。1インチ（25.4mm）当たりのドット数で表す。

拡張子

MS-DOS、Windowsなどでファイル名の最後に付加する文字列で、ファイルの種類を表すためのもの。ピリオドに続けて表記される。「.txt」や「.jpg」など。

拡張制御コード

制御コードのうち、ESC（1BH）、FS（1CH）、のように後に続くコードと組み合わせて機能を表すコードをいう。（↔基本制御コード）

紙づまり

用紙がつまってプリンターが動作しなくなった状態をいう。

かんたん設定

Windows XP/2000/NT 4.0のプリンタードライバーでのみ使える機能。[印刷設定]ダイアログボックスの[メイン]シート右上のリストビュー。リストビューのアイコンをクリックすると、プリンターで登録済みの設定や、ユーザーが用途に合わせて登録した設定が読み込まれる。

輝度

モニターなどの画面の明るさ。

機能選択バー

Windows XP/2000/NT 4.0のプリンタードライバーでのみ使える機能。[印刷設定]ダイアログボックスの[メイン]シート左側にある縦向きのバー。ボタンをクリックすると[複数ページレイアウト]、[リプリント]などの機能の設定項目が[メイン]シート右下に表示される。

基本制御コード

制御コードのうち、CR（0DH）、LF（0AH）のように単独で機能を表すコード。（↔拡張制御コード）

クライアント

ネットワークを介して他のコンピューター（またはサーバー）にアクセスしている利用者、または利用者のコンピューター。

クライアント・サーバー（システム）

中規模/大規模のネットワークに適した接続形態。専用のコンピューター（サーバー）が共有の資源（ハードディスクやプリンター）を管理し、接続を許されたコンピューター（クライアント）が利用できるようにしたもの。本書ではクライアント・サーバー型ネットワークとも呼んでいる。（→ピア・ツー・ピア）

クリック

マウスのボタンを押して素早く放す操作のこと。

グレースケールイメージ

白黒写真のように色彩情報がなく、ドットの多少により明暗を表現するグラフィックスイメージ。
（→ハーフトーン）

現像ユニット

OPCドラム上に形成された潜像に、負帯電させたトナーを付着させる役目を持つ。ドラムカートリッジに内蔵されている。

コマンド

コンピューターに行わせたい作業を実行するために選択または入力する命令。

コンデンス文字

1インチ当たり約17文字で印刷する文字のこと。タイプライターが使われていた頃からの用語。

コントラスト

グラフィックなどの明るい部分と暗い部分の差の度合い。

コントロールパネル

Windowsで、キーボードやマウスの使用条件、スピーカーの音量、スクリーンセーバーの種類などパソコンのさまざまな設定を行うための画面をいう。

サスペンド機能

データやプログラムを作業時の状態のままにしてパソコンの動作を一時停止させる機能。

システム管理者

コンピューターシステムを管理する人。
あるグループ全体のコンピューターや周辺装置、ソフトウエアなどシステムを構成する様々な要素に関する情報をもとに、システムが効果的に運用できるように管理する。

自動給紙

カット紙（単票用紙）を連続して自動的に給紙することをいう。

自動排出

コンピューターからのデータが一定時間なかったとき、プリンター内のデータを自動的に印刷して排出する機能。

シリアルプリンター

文字単位で印刷を行うプリンターの総称。

ジョブ結合

PrintAgent リプリント2で実現する機能。これを利用すると一度印刷してスプールしてあるドキュメントを組み合わせて、一つにまとめて印刷することができる。再印刷のために複数のアプリケーションを起動する手間を省くことができる。

[スタート]ボタン

Windows XP/2000/NT 4.0/Me/98/95/でアプリケーションソフトの選択、起動、ファイルの検索、Windowsの終了などを行うことができるボタン。

ステータス印刷

テスト印刷のうちのひとつ。給紙構成や動作モード、メモリースイッチの設定状態などプリンターの状態を印刷するもの。

スプール

ドキュメント（文書）を印刷する場合に印刷データをコンピューターのハードディスクにファイルとしていったん保存して、保存した順にプリンターに送ること。これによりプリンターが印刷を終了するのを待たずにコンピューターでは別の作業を行うことができるようになる。プリンターに送り終えたファイルは自動的に消去される。

制御コード

プリンターの動作を制御するためのコード。印刷データと異なり印刷されない。たとえば、CR（改行コード）やFF（改ページ）など。

セントロニクス・インターフェース

旧セントロニクス社が開発したプリンターとコンピューター間の通信仕様。仕様名として当時の会社名がそのまま使われ続けている。8ビットパラレルデータに制御信号を加えてプリンター用のインターフェース規格として広く使用されている。本プリンターは標準の36ピン・パラレルコネクターで使用できる。

双方向通信

コンピューターとプリンターの間で、情報のやり取りをする通信形態のこと。PrintAgent機能を実現するための必須条件。コンピューターから印刷データが送られるだけでなく、プリンターからもコンピューターに情報を送ることができるので、印刷の状況がプリンタステータスウィンドウのアニメーションと音声で、正確にわかる。双方向通信には、セントロニクスインターフェースか双方向通信可能なプリンターインターフェースを装備したコンピューターである、またはUSBやネットワークで接続されていることが必要。

ソフトウエア

コンピューターやプリンターなどハードウエアに作業を実行させるための命令の集まり。プログラム、アプリケーション、オペレーティングシステム、プリンタードライバーなどの総称。（⇔ハードウエア）

ダイアログボックス

設定や操作のために画面に表示されるボタンやリストボックスを持ったウィンドウ。

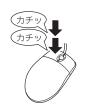
タイトルバー

ウィンドウやダイアログボックスのタイトルを示す、横向きのバー。多くのウィンドウでは、[コントロールメニュー]ボックスや[最大表示]、[アイコン化]、[最小化]ボタンなどもついている。

タブ

Windowsで、ダイアログボックスの中に複数の設定画面（シート）がある場合に表示されるインデックスタイプのつまみのこと。

ダブルクリック

マウスのポインター（矢印）を動かさず、マウスのボタンを素早く2回押して放す動作。アプリケーションを起動するときなどに使う。

チェックボックス

ダイアログボックスの中の小さな正方形で、ON／OFFの切り替えができるオプション（機能）を示す。オンにするとチェックボックスに×や✓印が表示される。

通常使うプリンタ

アプリケーションで[印刷]コマンドを実行し、プリンターの指定を省略したときにその印刷データを印刷するプリンター。

坪量

用紙の重さを表す単位。用紙1枚1m²単位の重さをいう。（本マニュアルで使用している用紙の坪量は、64.0g/m²）。

ツールバー

ウィンドウのメニューバーの下のボタンがついている部分。

定着器

用紙上のトナーを熱によって溶かし、圧力を加えて用紙に固定させるためのもの。ヒートローラーとプレッシャーローラーで構成されている。

テスト印刷

プリンターが正常に動作していることを確認するためのもの。

電子ソート

複数部数を印刷する場合にコンピューターから一部目だけ印刷データを送り、二部目以降はプリンターのメモリーやハードディスク上で印刷データ処理を行う機能。オプションの増設メモリーやハードディスクをプリンターに取り付けることで実現する。

動作環境

ソフトウエアや周辺機器が正しく動作するために必要な環境条件。

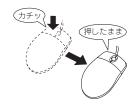
ドライバー

周辺装置やそのインターフェースをコントロールするプログラム。
(→プリンタードライバー)

ドライブ名

ハードディスク内やフロッピーディスクドライブ、CD-ROMドライブなどの領域に割り当てられている文字。「A」や「C」など。

ドラッグ

マウスのボタンを押したまま、マウスを動かす動作。例えば、ウィンドウのタイトルバーをドラッグするとウィンドウを移動させることができる。

ネットワーク

複数のコンピューターや周辺機器をケーブルまたは他の手段を用いて接続し、情報交換したり機器を共有したりできるようにしたコンピューターの集団。

バーコード

白と黒の縞模様を線の太さと間隔を変えながら書き並べてデータを表し、印刷されたコード。国名、商品名、価格など、主として流通や商品管理で必要な管理情報、POS用のコードを表すのに使われる。本製品は、カスタマバーコード、NW-7、JAN、CODE 39、Industrial 2 of 5、Interleaved 2 of 5、UCC/EAN-128に対応する。

ハードウエア

コンピューター本体、キーボード、マウス、コンピューターやプリンターなどコンピューターシステムを構成する個々の機器またはそれらの総称。(↔ソフトウエア)

ハーフトーン

画像を表示・出力する際に、一定間隔の点(網点)に分解し、それぞれの黒い点の大きさを変えることで濃淡を表現する。大きい点は濃いグレー、小さい点は薄いグレーになる。

バッファーフル

ページバッファーに1ページ分の印刷データがたまることをバッファーフルという。バッファーフルになると、自動的にそのページの印刷を行う。

ハブ

LANでコンピューターなどの端末を放射線状に配線する際、中心に配置する集線装置。一般には10BASE-Tや100BASE-TXのLANケーブルを接続する集線装置を指す。RJ-45のジャックを4~32口程度持つ箱で、各コンピューターのLANボードとツイストペアケーブルで接続して使う。動作によってリピーターハブとスイッチングハブ(スイッチ)に大別できる。

パラレルインターフェース

同時に複数の信号を並列に送るデータ転送方式、あるいは物理的な接続コネクターのこと。MultiWriterとコンピューター間ではセントロニクス仕様に準拠した方式(IEEE1284規格準拠双方向パラレルインターフェース)が用いられる。

ピア・ツー・ピア

小規模のネットワークに適した接続形態。専用のサーバーコンピューターを必要とせず、コンピューターどうし、コンピューターとプリンター間で相互に通信が可能となる。本プリンターをピア・ツー・ピア接続して使用するためにはLANボード/LANアダプターが必要。本書ではピア・ツー・ピア型ネットワークとも呼んでいる。(↔クライアント・サーバー)

ピア・ツー・ピア・グループ

無線LAN機器が備える設定のひとつ。無線接続なしに、無線LANボードなどの無線子機が相互に通信できる。

ヒートローラー

定着器にあり、プレッシャーローラーとともに熱と圧力でトナーを定着させる働きをする。

ピクセル

Pixel（Picture elementからの合成語）。画素とも言う。ディスプレイの画面に表示できる情報の最小単位。

ビットマップ

画面やプリンターに出力されるイメージを表す連続した点の集合。

フォーム印刷

見出し文字や罫線枠などのフォームデータを文章データと重ね合わせて印刷すること。フォームデータを作成するには別売のアプリケーションが必要。

フォント

同じ外観、サイズ、スタイルの文字、数字、記号またその他のシンボル等の集合。

不揮発性メモリー

電源をOFFにしても記憶した内容が消えないメモリー。

ブラウザー

インターネット上のWebページを閲覧（ブラウズ）するためのソフトウエア。WWWブラウザーとも呼ぶ。主なものに、Microsoft Internet Explorer やNetscape Navigatorがある。

ブラシパターン

図形を塗りつぶすためのある一定のパターン。

プリンターケーブル

コンピューターとプリンターを接続するケーブル。

プリンタードライバー

コンピューターとプリンターの間のやり取りを仲介するプログラム。インターフェースやフォントの指定、インストールされたプリンターの機能などの情報を、OSに提供する。

プリンターバッファー

一般にコンピューターの処理速度は速くプリンターの処理速度は遅い。したがって、プリンターでの印刷をしている間コンピューターは何もしないで待つという状態が発生する。そこで、コンピューターから送られたデータをいったん記憶装置に蓄え、プリンターの処理に合わせて順次その記憶装置からプリンターに印刷データを送ることにする。これによってコンピューターは印刷の終了を待たずに印刷処理から解放され、別の仕事をすることができる。この記憶装置をプリンターバッファーと呼ぶ。

プリンタープール

複数の同じ印刷装置をひとつの論理プリンターとして関連づけて印刷を行うこと。

プロトコル

コンピューターが他のコンピューターや周辺機器と通信するための規約。

プロパティ

ファイルやソフトウエアなどの固有の情報。フォントやウィンドウの色などさまざまな情報の設定、状態などを表す。プリンターの設定状態などを示す用語として広く使われている。

プロポーショナル文字

印刷される文字ごとに、文字幅が異なる文字のこと。

ページ記述言語

１ページ分のテキスト（文字）やグラフィック（図形）のデータ、位置情報などを正確に表すための言語。

ページプリンター

ページ単位で印刷を行うプリンター。1ページ分のデータをプリントイメージとしてメモリー上に展開（作成）して印刷を行うプリンターのこと。

ポイント（マウスの）

マウスのポインターを目的の項目の上に置く動作。

ポイント（文字の）

印刷される活字の大きさの単位で、1ポイントは1/72インチ。

ポート

コンピューターが外部とデータをやり取りするときに使用するケーブルの接続部分。

ポートレート

用紙を縦長にした内容で印刷する印刷フォーマットのこと。（↔ランドスケープ）

ボタン

ダイアログボックス中のボタンの絵。選択した動作の実行やキャンセルを行う。[OK]ボタンや[キャンセル]ボタンなどがある。

マウスポインター

マウスの動きに応じて画面上を移動する矢印の形をしたマーク。ポインターの形は設定やアプリケーションによって異なる。

丸め誤差

四捨五入や切り捨て、切り上げなどで、切りのいい数字にすることによって生じた誤差。

無線LAN

ケーブルの代わりに電波などを利用してネットワーク（LAN）を構成するシステム。IEEE802委員会がIEEE802.11標準として勧告しているシステムが代表例。MultiWriterのオプション品である無線LANプリンターボードは、IEEE802.11bに準拠している。

メニュー

ウィンドウで使用できるコマンドの一覧。メニュー名をクリックするとメニュー名に関連するコマンドの一覧が表示される。

メニューバー

すべてのメニュー名が表示されるバー。ほとんどのアプリケーションで、このバーは、タイトルバーの下に表示される。

メモリー

データを保存する装置。または情報やプログラムの一時的な記憶場所。

メモリースイッチ（MSW）

不揮発性メモリーを利用してプリンターのさまざまな設定を行うスイッチ。機械的にON／OFFを切り替えるスイッチではなく、電気的に切り替えるスイッチ。

メモリースイッチ設定モード

プリンターの設定をプリンターの操作パネルを使ってメニュー形式で行うモード。

ラジオボタン

ダイアログボックスで複数の項目の中から一つを選ぶためのボタン。どれかを選択すると、それまでONだったものが連動してOFFになる。

ランドスケープ

用紙を横長にした内容で印刷する印刷フォーマットのひとつ。（↔ポートレート）

リストボックス

ユーザーに対して項目の一覧を表示するためのボックス。通常、現在選択されている項目を表示している。

リプリント

一度印刷した印刷データのスプールファイルを利用して再印刷する機能。この機能を使うと、アプリケーションを再起動する必要がない。標準シートとジョブ結合シートがある。

Windows XP/2000/NT 4.0/Me/98/95の場合、PrintAgent リプリント2のウィンドウを使って実現し、その際に、丁合い、ジョブセパレート、両面印刷の設定も可能。

PrintAgent リプリント2のウィンドウ

連量

用紙の重さを表す単位。一般に788×1091mmのサイズの用紙1000枚当たりの重さをいう（本マニュアルで使用している用紙の連量は、70kg）。

ローカルプリンター

コンピューターと直接プリンターケーブルで接続しているプリンター。

索引

記号

A

C

D

E

F

H

I

L

M

N

O

P

ヘ

ホ

マ

ム

メ

モ

ユ

ヨ

ラ

リ

レ

ロ

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

高調波ガイドライン適合品

この装置は、経済産業省通知の家電・汎用品
高調波抑制対策ガイドラインに適合しています。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
本書に従って正しい取り扱いをしてください。

なお、ネットワークオプション*(PR-WL-11 無線LANプリンターボードを除く)を取り付けた場合、この装置は情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

* オプションについては本書の201ページを参照してください。

漏洩電流自主規制について

この装置は、社団法人電子情報技術産業協会（社団法人日本電子工業振興協会）のパソコン業界基準（PC-11-1988）に適合しています。

電源の瞬時電圧低下対策について

この装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。
（社団法人電子情報技術産業協会（社団法人日本電子工業振興協会）のパーソナルコンピューターの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

海外でのご使用について

この装置は、日本国内での使用を前提としているため、海外各国での安全規格などの適用認定を受けておりません。したがって、本装置を輸出した場合に当該国での輸入通関、および使用に対し罰金、事故による補償等の問題が発生することがあっても、弊社は直接・間接を問わず一切の責任を免除させていただきます。